

平成 28 年度 全国学力・学習状況調査 報 告 書

平成 28 年 10 月

香川県教育センター

目 次

目次	1
はじめに	2
I 調査の概要	3
調査の概要	4
数値，グラフ等を見るうえでの留意点	6
香川県重点項目に関する質問事項	8
II 調査結果（概論）	9
全体的な状況	10
正答数分布，全問不正解率，無解答率【小学校】	12
正答数分布，全問不正解率，無解答率【中学校】	14
結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】	16
教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計	18
結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】	22
Question 1「学習意欲」	24
Question 2「学習状況」	26
Question 3「言語活動」	28
Question 4「自尊意識等」	30
Question 5「規範意識」	32
Question 6「学校生活」	33
Question 7「家庭学習」	34
Question 8「メディアの利用」	35
特集1 「カリキュラム・マネジメント」	36
特集2 「アクティブ・ラーニング」	38
III 教科に関する調査結果及び分析	41
1 小学校国語	42
2 小学校算数	54
3 中学校国語	66
4 中学校数学	78
◇ 授業改善に向けて	90
IV 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）	91
1 児童生徒質問紙 調査結果一覧	92
2 児童生徒質問紙回答結果グラフ	98
3 学校質問紙 調査結果一覧	114
4 学校質問紙回答結果グラフ	121

I
調査の概要

II
概
論

III
小
国
語

III
小
算
数

III
中
国
語

III
中
数
学

IV
児
童
生
徒
質
問
紙

IV
学
校
質
問
紙

は じ め に

「学びの地図」の羅針盤

全国学力・学習状況調査の第1回は平成19年度に実施され、現行の学習指導要領告示前でした。活用する力に課題があることを、国際調査とともにこの全国学力・学習状況調査の問題と結果から示していました。今回の改訂で、中央教育審議会は、学習指導要領を「学校教育を通じて子供たちが身に付けるべき資質・能力や学ぶべき内容、学び方の見通しを示す『学びの地図』」と言い表しています。いわば、この全国学力・学習状況調査は、児童生徒の実態を明確にし、学校改善の方向性を示す「羅針盤」と言えるでしょう。

「何ができるようになったか」 授業改善等による学習内容の定着の表れ

調査問題は、学習指導要領の理念・目標・内容等に基づき、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題が出題されており、調査問題の解答状況を分析することで、児童生徒は何ができるようになったかを把握することができます。

香川県は、教科に関する調査の平均正答率では、中学校においては、全ての調査区分で全国平均を上回る結果となりました。小学校においては、算数Bで全国平均を下回ったものの、国語A、国語B、算数Aの調査区分で全国平均を上回る結果となりました。これは、各学校が進めてきたこれまでの授業改善等による学力定着の表れの一側面であると考えています。また、課題となっていた中学校における無解答率についても改善が見られ、ここにも授業改善への取組の成果がうかがえます。

「どのように学んだか」 普及しつつあるアクティブ・ラーニング

「アクティブ・ラーニング」の視点は、学校における質の高い学びを実現し、子供たちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたってアクティブに学び続けるようにするためのものです。

児童生徒質問紙調査で、「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の質問について、肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回っています。協力学校が研究成果を発信し、アクティブ・ラーニングを推進する学校が増加してきたことが、その好結果の一つの要因でしょう。各学校におかれましても、実態に合わせた主体的・対話的で深い学びの推進をお願いします。

「学校教育の改善・充実」 カリキュラム・マネジメント推進の必要性

児童生徒は、学校教育活動全体の取組の中で育ちます。教科等・領域双方の強みやよさを生かしつつ、教育課程総体の力を発揮させて資質・能力を育成するためには、すべての教職員が校内研修や多様な研修の場を通じて理解を深めなければなりません。

学校質問紙調査をみますと、「横断的な視点」「PDCAサイクルの確立」「人的・物的資源等の活用」に関する質問項目の肯定的な回答では、中学校において全国を下回っており、今後の改善に向けた取組が求められます。

Check から Action へ

各市町(学校組合)教育委員会や各学校におかれましては、本報告書で香川県の課題を把握するとともに、自校のデータを表やグラフに表示する「活用ツール」を参考にして、それぞれの実情に照らし合わせて分析と検証を行い、全教職員で自校の課題を共有し、授業実践等において課題解決に取り組んでいただきますようお願いいたします。

当センターといたしましても、指導主事等が直接学校等に出向き、学校力の強化や教職員の資質向上を支援いたしますので、ご活用ください。

平成28年10月

香川県教育センター
所長 藤井 浩史

I 調査の概要

調査の概要

本体調査（全数調査）

1 調査の概要

（１）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（２）調査対象

① 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象

ア（小学校調査）小学校第6学年，義務教育学校前期課程第6学年，
特別支援学校小学部第6学年

イ（中学校調査）中学校第3学年，義務教育学校後期課程第3学年，
中等教育学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年

※平成28年度には、熊本県並びに宮崎県及び大分県の一部の小・中学校の調査結果の数値は含まれない。

② 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

（３）調査事項

① 教科に関する調査（国語，算数・数学）

・国語，算数・数学はそれぞれ、「主として知識に関する問題」※¹と「主として活用に関する問題」※²を出題

※1 主として知識に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

※2 主として活用に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

② 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

（４）調査実施日

平成28年4月19日（火）

(5) 調査を実施した本県の学校・児童生徒数

【小学校調査】

	学校数	児童数
公立学校	156 校	8,546 人

【中学校調査】

	学校数	生徒数
公立学校	71 校	8,380 人

2 調査結果の示し方

文部科学省は、小学校調査及び中学校調査のそれぞれについて、以下の事項等を示す。

- ① 教科に関する調査の結果について、国語、算数・数学のそれぞれ、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題に分けた四つの区分ごとの平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等
- ② 都道府県・市町村・学校・児童生徒の学力に関する分布の形状等が分かるグラフ
- ③ 各教科の設問ごとの正答率等
- ④ 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果
 - ア 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の回答状況
 - イ 児童生徒質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の正答率等との相関関係の分析
 - ウ 学校質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の平均正答率等との相関関係の分析
- ⑤ その他、本調査の目的の達成に資する分析

3 調査結果の活用

各教育委員会、学校等及び文部科学省においては、調査の目的を達成するため、以下のような調査結果を活用した取組に努めることとする。

- ① 各教育委員会、学校等においては、多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと。
- ② 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めるとともに、自らの教育指導等の改善に向けて取り組むこと。
- ③ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を進めること。
- ④ 文部科学省においては、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善に取り組むこと。また、各教育委員会、学校等における取組に対して必要な支援等を行うなど、教育及び教育施策の改善に向けた全国的な取組を進めること。

4 調査結果の取扱いに関する配慮事項

調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。その際、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

数値、グラフ等を見るうえでの留意点

■ 1 調査結果の推移について

全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度より毎年実施(平成 22・24 年度は抽出調査、平成 23 年度は実施していない)されているが、本報告書では、過去 5 年間(平成 24 年度以降)の回答状況を分析している。

■ 2 差について

「差」を表しているグラフや表の数値は、香川県の数値から全国の数値を引いたものを表す。

■ 3 抽出調査の集計値について

平成 24 年度調査は抽出調査であり、各都道府県(公立)の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となるように標本抽出が行われているため、推計値である集計値については、全国(公立)の教科に関する調査及び児童生徒に対する質問紙調査については誤差±0.2%程度、学校質問紙調査については誤差±1%程度並びに各都道府県(公立)の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となっていることにも留意することが必要である。

■ 4 質問紙調査のカテゴリ別集計について ※香川県重点項目に関する質問事項 参照 p 8

児童生徒質問項目の中から、香川県で課題とされるものについてカテゴリ別の集計を行い、各カテゴリの全体的な傾向をとらえる。

例えば、自尊意識等に関する質問は 4 つの質問事項があり、カテゴリの得点を以下のように算出した。

- ① 各質問事項において、肯定的な回答ほど高得点になるように、4 段階の回答を 4 点～1 点として得点化し、各回答の比率から質問事項ごとの平均得点(1～4 点)を算出する。
- ② カテゴリに含まれる質問事項の得点を平均したものを、カテゴリの得点とする。
- ③ 全国と香川県で各カテゴリの得点を算出し、全国での平均得点を 0 とし、全国と香川県との差を図に示す。

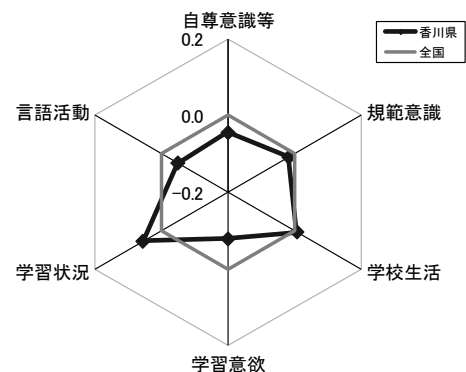
【選択肢】

- 4 点 当てはまる
- 3 点 どちらかといえば、
当てはまる
- 2 点 どちらかといえば、
当てはまらない
- 1 点 当てはまらない

例) カテゴリ【自尊意識等：小学校】

質問事項	平均得点 (点)	
	香川県	全国
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	3.64	3.65
5 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	2.95	2.95
6 自分には、よいところがあると思いますか	2.99	3.05
9 将来の夢や目標を持っていますか	3.39	3.47
【自尊意識等】における平均得点	3.24	3.29
【全国と香川県との差】グラフに表示	-0.04	

*端数処理のため 0.01 の誤差が生じることがあります



■ 5 散布図の見方

散布図は、各都道府県の回答状況について、小学校を縦軸、中学校を横軸に対応させ、全国と各都道府県のデータをプロットしたものである。

【散布図の見方】

- は、児童生徒質問紙を示す
- は、学校質問紙を示す
- 学校質問紙は、(小学校の番号) / (中学校の番号) で示す

- 質問内容を簡潔にした見出しでは、児童生徒質問紙と学校質問紙を次のように文字の背景色で区別している

児童生徒質問紙 → ○○○○
学校質問紙 → ○○○○

【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

学級全員で挑戦する課題

■49/49 児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか
*「よく行った」と回答

・香川県の結果は▲で、全国は■でプロットされている

・縦軸が小学校の割合

小学校 (%)

・横軸が中学校の割合

中学校 (%)

※結果によって目盛りの最小値・最大値が異なっている

- ・香川県と全国の差を「n」で示す

$$n = (\text{香川県}) - (\text{全国})$$

(例)

$5 \leq n$	◎7.2pt
$3 \leq n < 5$	◎4.8pt
$0 < n < 3$	○2.3pt
$n = 0$	○0.0pt
$-3 < n < 0$	▽1.4pt
$-5 < n \leq -3$	▼3.6pt
$n \leq -5$	▼6.1pt

小 ▼4.2pt
中 ◎3.9pt

■ 6 活用ツール

この報告書では全国と香川県の状況を分析して掲載しています。活用ツール (Excel ファイル) を使えば、全国と香川県の状況に加え、あなたの学校の状況をグラフや表に表示することができます。(Excel 2007 以上のバージョンが必要です。)

① 活用ツールのダウンロード

香川県教育センターWebサイトから活用ツール (Excel ファイル) と使用説明 (PDF ファイル) をダウンロードします。 <http://www.kagawa-edu.jp/educ/htdocs>

② 学校データの用意

文部科学省から学校に送付されたCDの内容をコンピュータのデスクトップに展開します。
(別途文部科学省から送付されているのはがきのパスワードが必要です。)

③ 活用ツールの起動

必要なファイル名を選び、実行すると表示されます。

全体的な状況だけでなく、学校の研究主題に関すること、学校生活に関することなどに関係のある質問を選んで表示できます。各学校の調査結果に応じて、グラフの目盛りを調整してください。

香川県重点項目に関する質問事項

重点項目	Q&A (ページ)	質問 番号	質問事項
学習意欲	Q1 (p.24)	47	授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか
		61	国語の勉強は好きですか
		62	国語の勉強は大切だと思いますか
		63	国語の授業の内容はよく分かりますか
		71	算数・数学の勉強は好きですか
		72	算数・数学の勉強は大切だと思いますか
		73	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか
学習状況	Q2 (p.26)	48	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか
		53	授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか
		54	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか
		55	授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか
言語活動	Q3 (p.28)	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
		8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
		49	授業では、学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか
		50	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか
		51	授業で、学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか
		52	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか
		58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか
		59	学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
自尊意識等	Q4 (p.30)	4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
		5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
		6	自分には、よいところがあると思いますか
		9	将来の夢や目標を持っていますか
規範意識	Q5 (p.32)	39	学校のきまり（規則）を守っていますか
		40	友達との約束を守っていますか
		41	人が困っているときは、進んで助けていますか
		42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
		43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
学校生活	Q6 (p.33)	26	学校に行くのは楽しいと思いますか
		27	友達に会うのは楽しいと思いますか
		28	好きな授業がありますか
		29	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか
		30	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていると思いますか
		31	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか

Ⅱ 調査結果（概論）

平成 28 年度全国学力・学習状況調査

全体的な状況

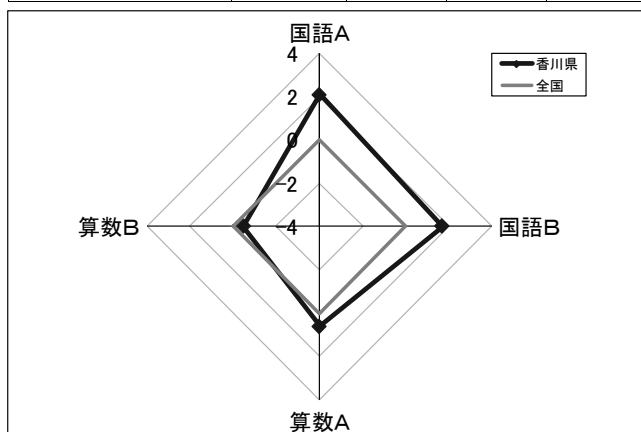
Point

1. 教科に関する調査結果については、小学校において、国語 A、国語 B、算数 A の 3 調査区分で全国平均を上回っているが、算数 B において全国平均を下回っている。中学校において、全ての調査区分で全国平均を上回っている。
2. 児童生徒質問紙調査結果については、小・中学校ともに「自尊意識等」「規範意識」「学習意欲」「言語活動」に課題が見られる。

1 平成 28 年度教科に関する調査結果

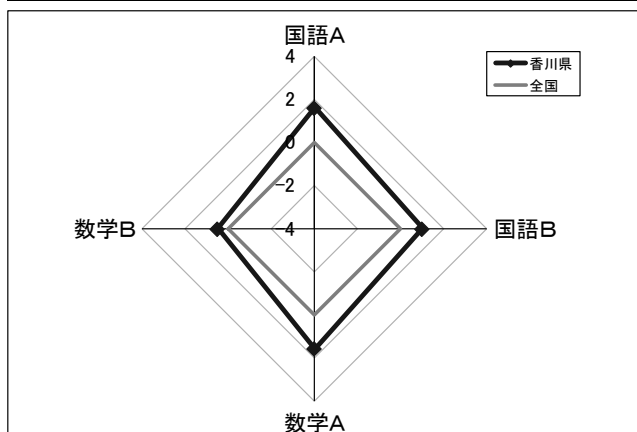
小学校調査結果

調査区分	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
県(公立)平均正答率(%)	75.0	59.5	78.2	46.7
全国(公立)平均正答率(%)	72.9	57.8	77.6	47.2
県と全国の差(pt)	+2.1	+1.7	+0.6	-0.5



中学校調査結果

調査区分	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B
県(公立)平均正答率(%)	77.2	67.5	63.8	44.6
全国(公立)平均正答率(%)	75.6	66.5	62.2	44.1
県と全国の差(pt)	+1.6	+1.0	+1.6	+0.5

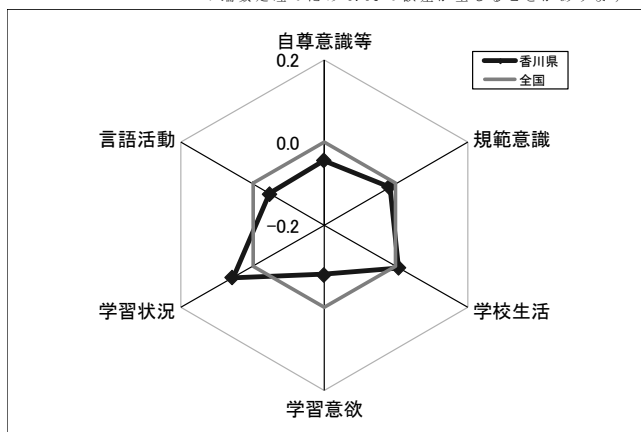


2 平成 28 年度児童生徒質問紙調査結果（香川県重点項目）

小学校調査結果

カテゴリ	自尊意識等	規範意識	学校生活	学習意欲	学習状況	言語活動
県(公立)得点(点)	3.24	3.50	3.36	3.07	3.40	2.88
全国(公立)得点(点)	3.29	3.52	3.35	3.15	3.35	2.93
県と全国の差(点)	-0.04	-0.02	0.01	-0.08	0.06	-0.05

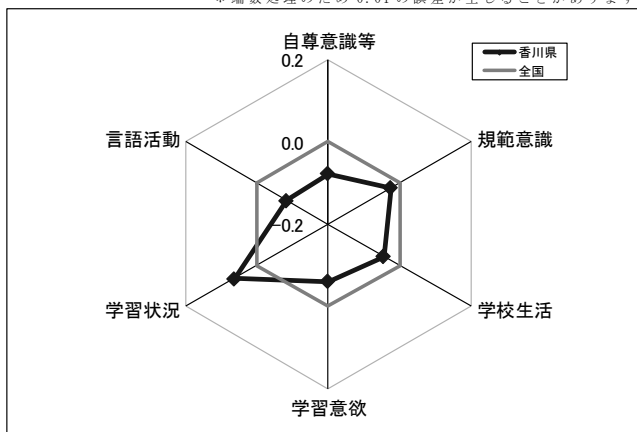
* 端数処理のため 0.01 の誤差が生じることがあります



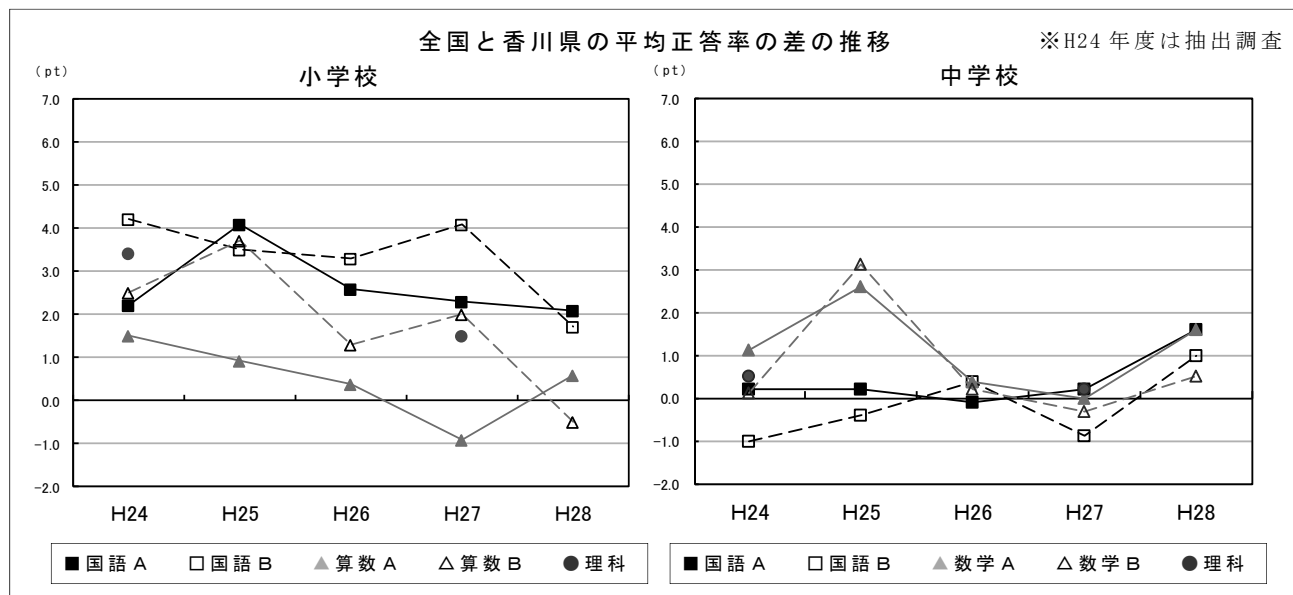
中学校調査結果

カテゴリ	自尊意識等	規範意識	学校生活	学習意欲	学習状況	言語活動
県(公立)得点(点)	3.03	3.50	3.17	2.91	3.17	2.72
全国(公立)得点(点)	3.10	3.52	3.22	2.97	3.11	2.81
県と全国の差(点)	-0.08	-0.02	-0.04	-0.06	0.06	-0.08

* 端数処理のため 0.01 の誤差が生じることがあります



3 全国と香川県の平均正答率の差



◆平成 24～28 年度平均正答率 ※H24 年度の平均正答率は推計値

【小学校調査】

調査区分	国語 A					国語 B				
調査年度	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
県（公立） 平均正答率（%）	83.8	66.8	75.5	72.3	75.0	59.8	52.9	58.8	69.5	59.5
全国（公立） 平均正答率（%）	81.6	62.7	72.9	70.0	72.9	55.6	49.4	55.5	65.4	57.8
県と全国との差（pt）	+2.2	+4.1	+2.6	+2.3	+2.1	+4.2	+3.5	+3.3	+4.1	+1.7

調査区分	算数 A					算数 B				
調査年度	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
県（公立） 平均正答率（%）	74.8	78.1	78.5	74.3	78.2	61.4	62.1	59.5	47.0	46.7
全国（公立） 平均正答率（%）	73.3	77.2	78.1	75.2	77.6	58.9	58.4	58.2	45.0	47.2
県と全国との差（pt）	+1.5	+0.9	+0.4	-0.9	+0.6	+2.5	+3.7	+1.3	+2.0	-0.5

【中学校調査】

調査区分	国語 A					国語 B				
調査年度	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
県（公立） 平均正答率（%）	75.3	76.6	79.3	76.0	77.2	62.3	67.0	51.4	64.9	67.5
全国（公立） 平均正答率（%）	75.1	76.4	79.4	75.8	75.6	63.3	67.4	51.0	65.8	66.5
県と全国との差（pt）	+0.2	+0.2	-0.1	+0.2	+1.6	-1.0	-0.4	+0.4	-0.9	+1.0

調査区分	数学 A					数学 B				
調査年度	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
県（公立） 平均正答率（%）	63.2	66.3	67.8	64.4	63.8	49.4	44.6	60.0	41.3	44.6
全国（公立） 平均正答率（%）	62.1	63.7	67.4	64.4	62.2	49.3	41.5	59.8	41.6	44.1
県と全国との差（pt）	+1.1	+2.6	+0.4	±0.0	+1.6	+0.1	+3.1	+0.2	-0.3	+0.5

平成 28 年度全国学力・学習状況調査

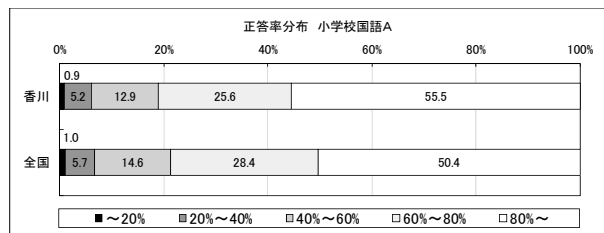
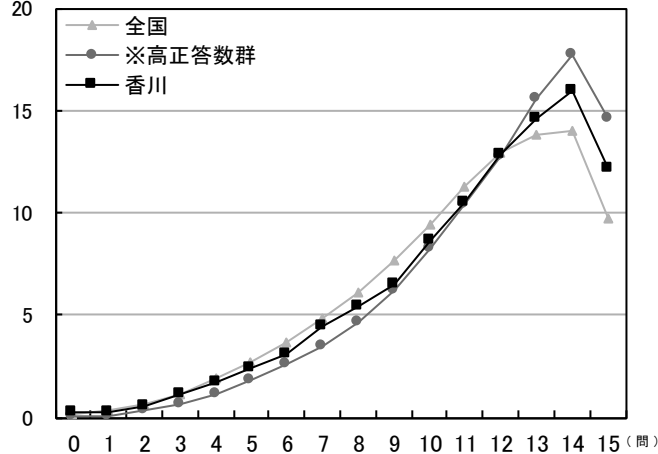
正答数分布，全問不正解率，無解答率【小学校】

Point

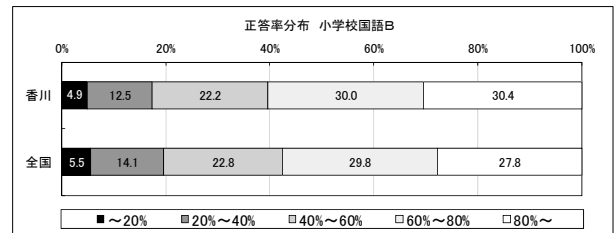
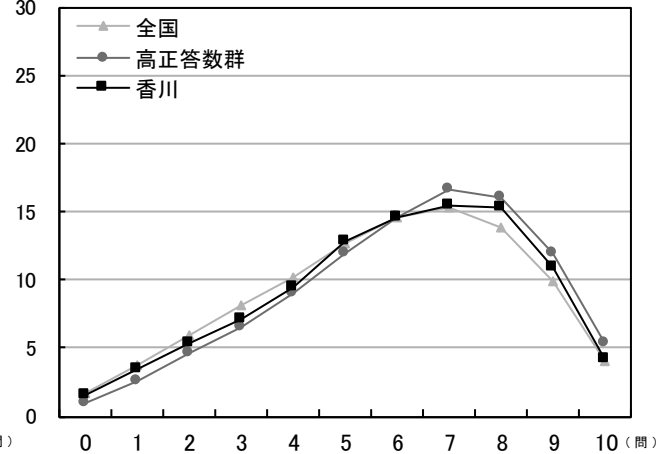
- 1.国語 A，国語 B において，正答率が 20%以下の児童の割合は全国よりも低い。算数 B において正答率が 60～80%及び 80%以上の児童の割合は全国よりも低い。
- 2.無解答率が全国平均を上回る設問数は，全 54 問中，0 問（0.0%）である。

1 小学校正答数分布（※高正答数群：高正答数の 5 県の平均）

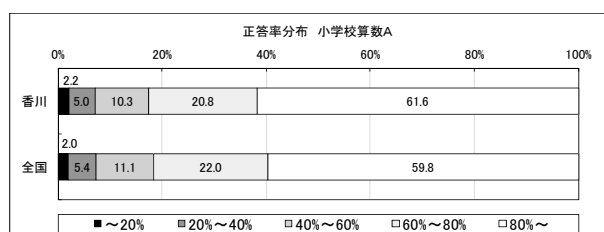
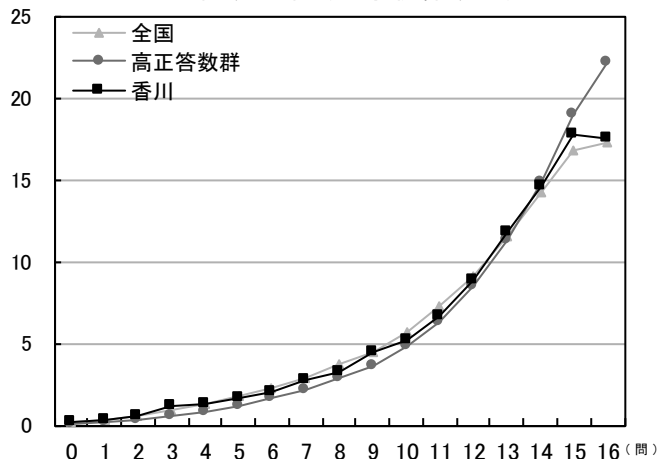
(%) 正答数分布〔小学校国語 A〕



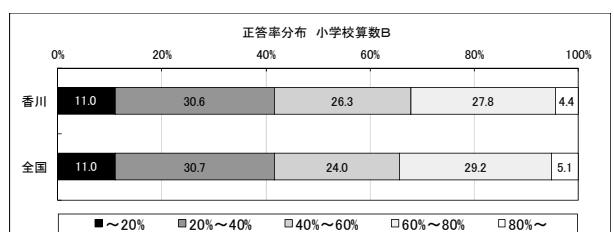
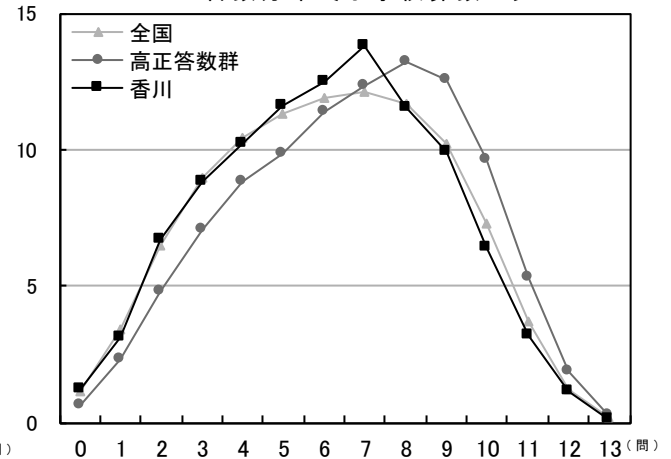
(%) 正答数分布〔小学校国語 B〕



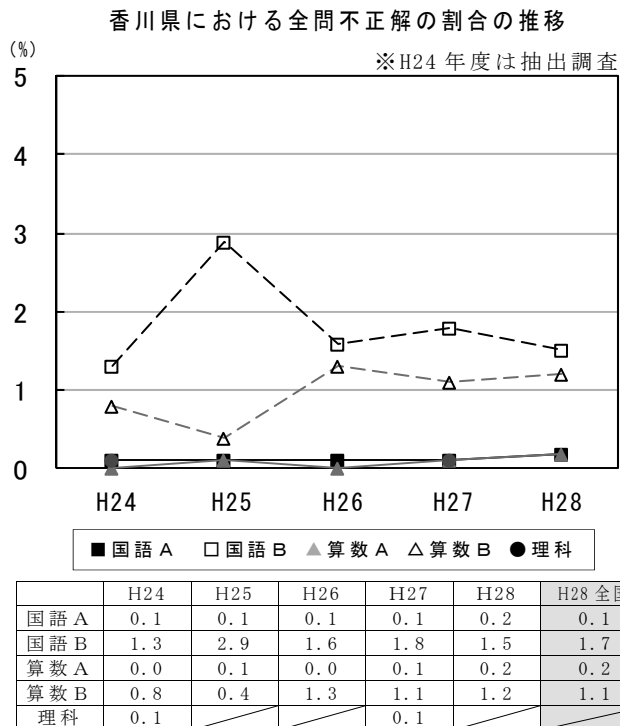
(%) 正答数分布〔小学校算数 A〕



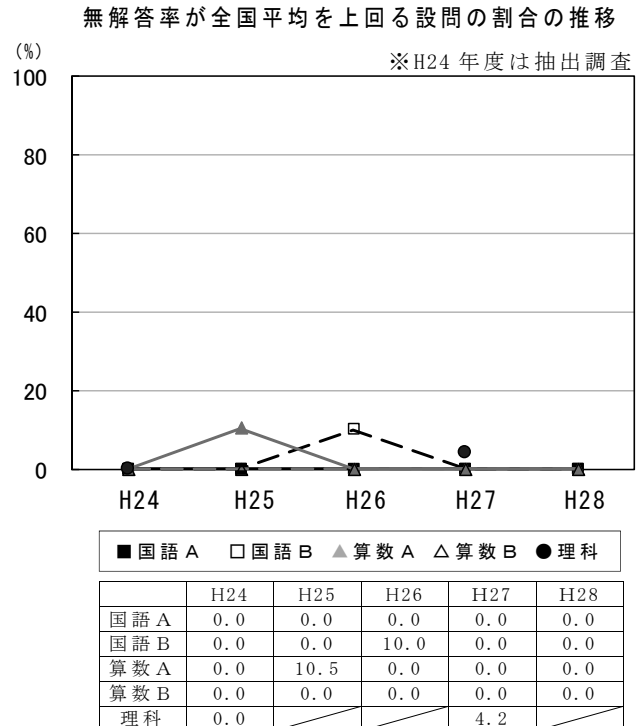
(%) 正答数分布〔小学校算数 B〕



2 全問不正解の児童の割合

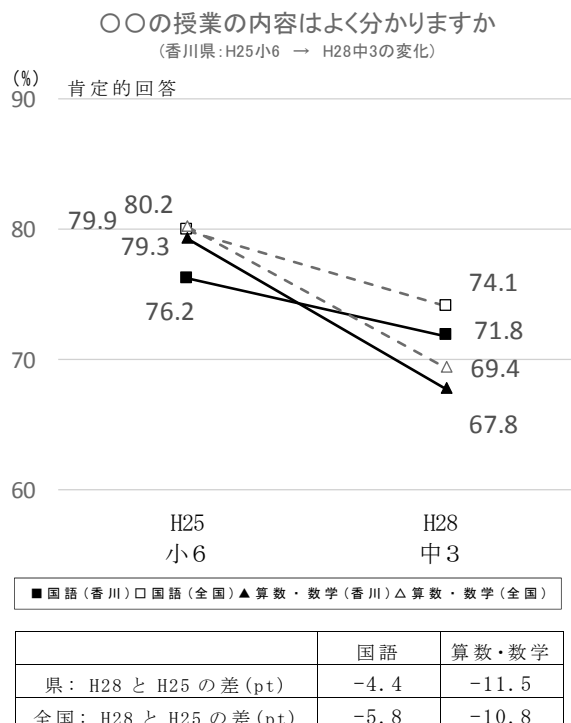


3 無解答率が全国平均を上回る設問の割合の推移

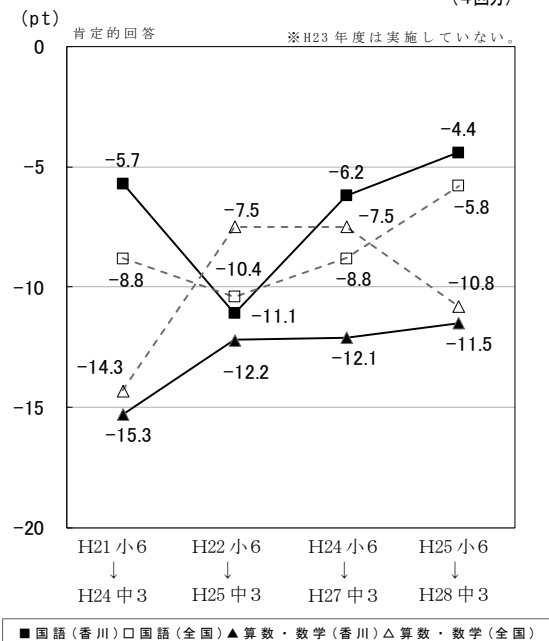


Column

小学校第6学年から中学校第3学年の回答状況の変化



「〇〇の授業の内容はよく分かりますか」の質問について 小学校第6学年から中学校第3学年の回答状況の変化の推移 (4回分)



H25小6からH28中3の回答状況の変化では、香川県も全国も、中学生になると肯定的回答が減少しています。教科ごとに見ると、香川県も全国も、国語よりも算数・数学の減少幅が大きくなっています。

一方、右のグラフに示した4回分の回答状況の変化の推移では、香川県の国語では、H25中3の減少幅が-10.4ptでしたが、H28中3の減少幅が-4.4ptとなり、年々小さくなっています。香川県の算数・数学では、H24中3の減少幅が-15.3ptでしたが、H28中3の減少幅は-11.5ptとなり、年々小さくなっています。

平成 28 年度全国学力・学習状況調査

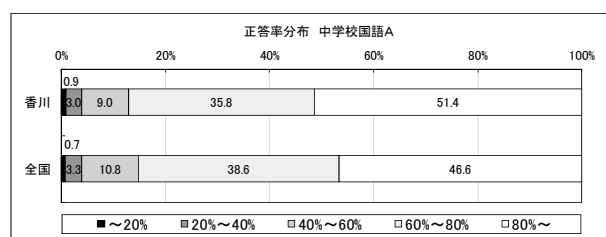
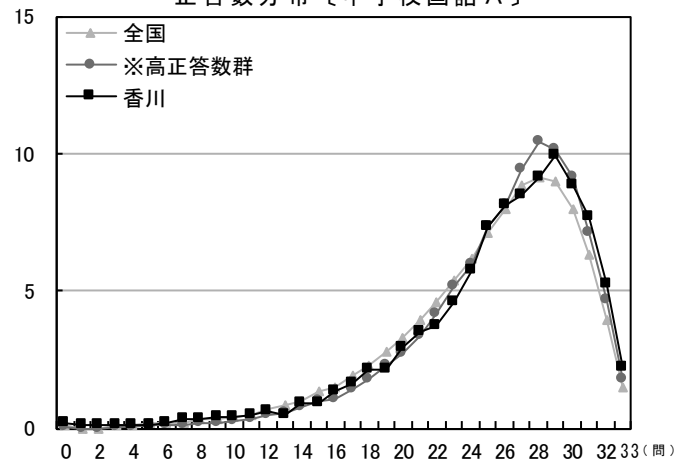
正答数分布，全問不正解率，無解答率【中学校】

Point

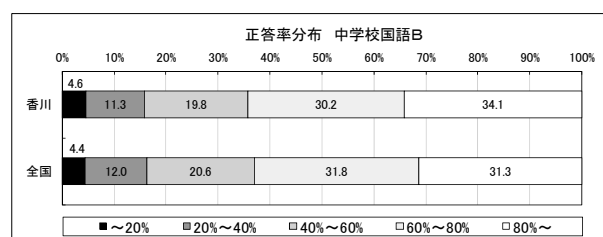
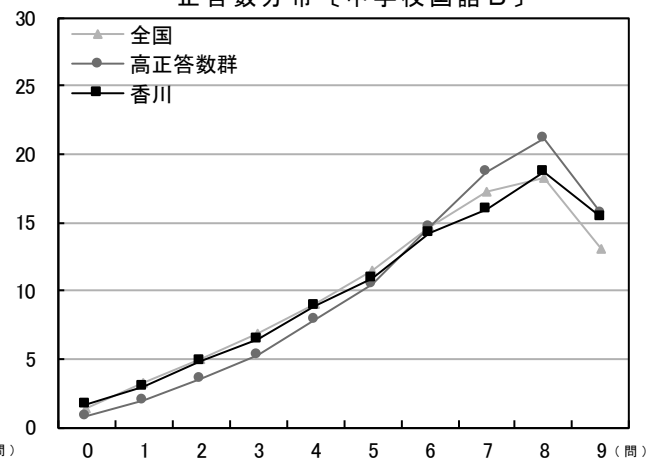
1. 全ての調査区分において，正答率が 20%以下の生徒の割合は全国よりも高い。全ての調査区分において，正答率が 80%以上の生徒の割合は全国よりも高い。
2. 無解答率が全国平均を上回る設問の割合は高いが，全ての調査区分において昨年度と比較して減少した。
無解答率が全国平均を上回る設問数 全 93 問中，54 問（58.1%）

1 中学校正答数分布（※高正答数群：高正答数の 5 県の平均）

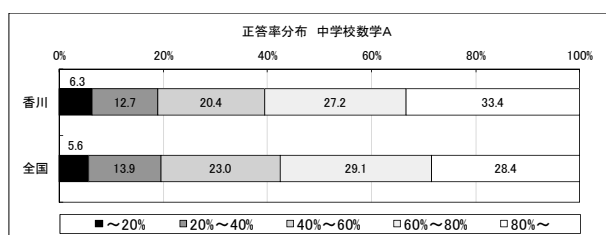
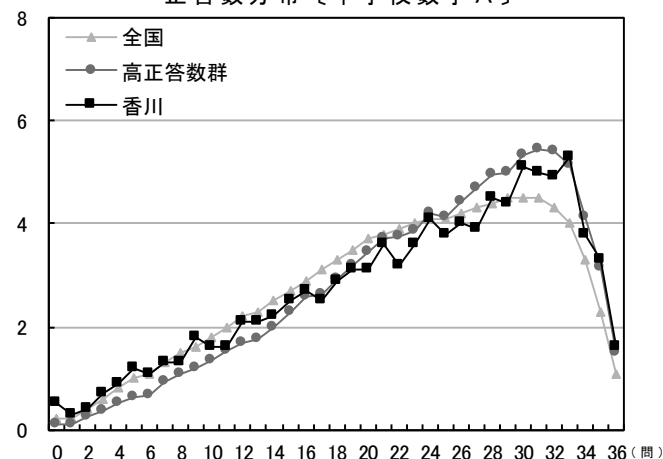
(%) 正答数分布【中学校国語 A】



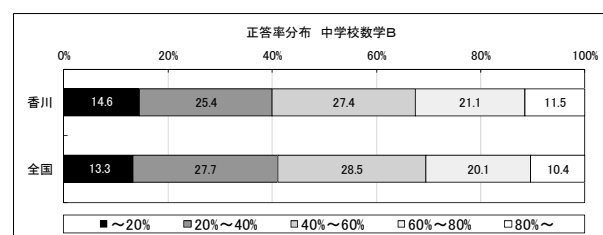
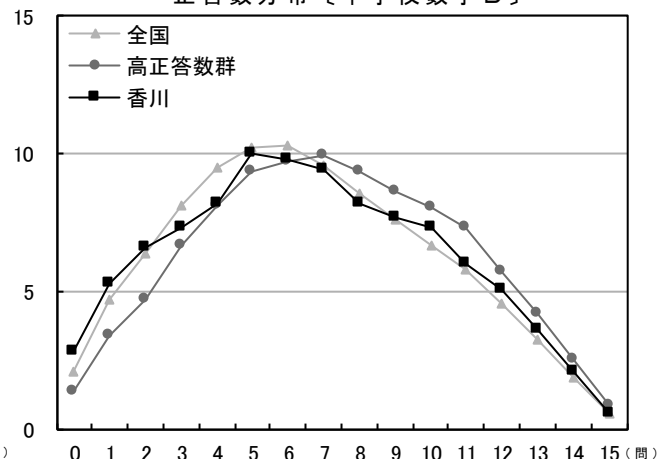
(%) 正答数分布【中学校国語 B】



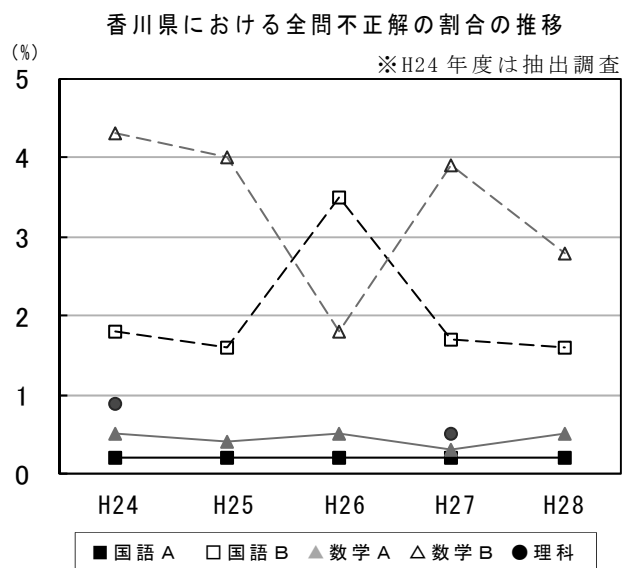
(%) 正答数分布【中学校数学 A】



(%) 正答数分布【中学校数学 B】

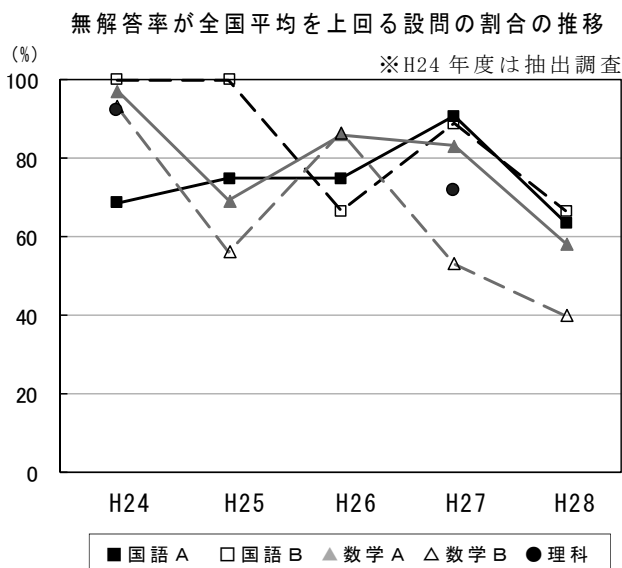


2 全問不正解の生徒の割合



	H24	H25	H26	H27	H28	H28 全国
国語 A	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
国語 B	1.8	1.6	3.5	1.7	1.6	1.3
数学 A	0.5	0.4	0.5	0.3	0.5	0.2
数学 B	4.3	4.0	1.8	3.9	2.8	2.1
理科	0.9			0.5		

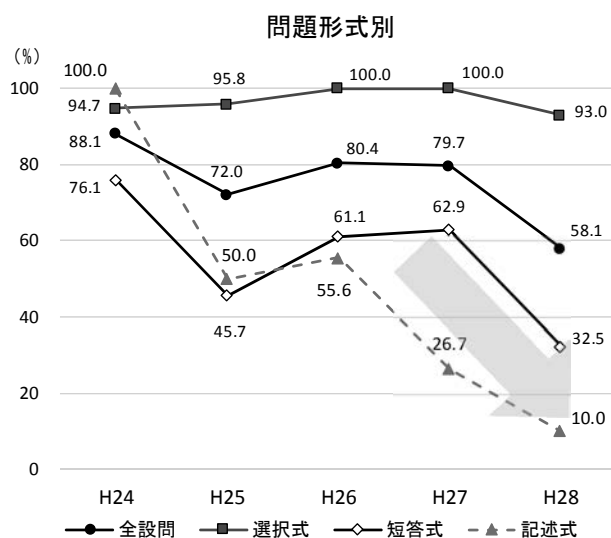
3 無解答率が全国平均を上回る設問の割合の推移



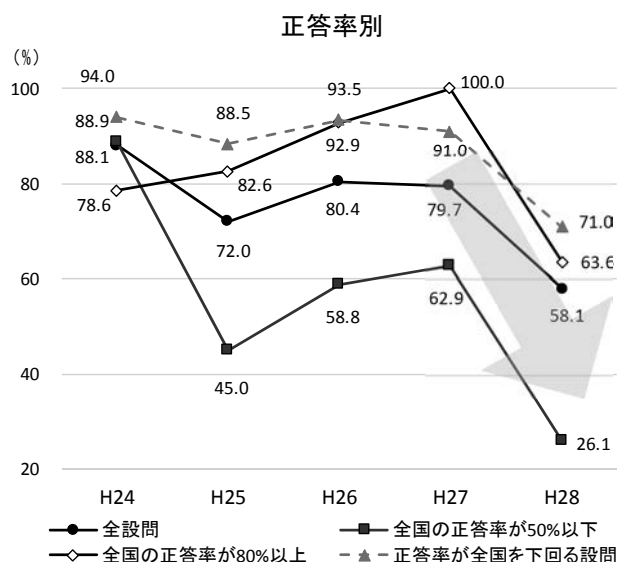
	H24	H25	H26	H27	H28
国語 A	68.8	75.0	75.0	90.9	63.6
国語 B	100.0	100.0	66.7	88.9	66.7
数学 A	97.2	69.4	86.1	83.3	58.3
数学 B	93.3	56.3	86.7	53.3	40.0
理科	92.3			72.0	

Column

無解答率が全国を上回る設問の割合(香川県:中学校)



問題形式ごとに見ると、H28 は選択式では 93.0%の設問で無解答率が全国平均を上回っていました。短答式では 32.5%まで減少しました。特に記述式においては、H24 はすべての設問において全国平均を上回っていましたが、H26 に 55.6%、H28 においては、10.0%まで減少しました。記述式の設問に対して、粘り強く取り組む生徒が増加していることがうかがえます。



正答率から見ると、H27 に全国の正答率が80%以上の設問全てにおいて無解答率が全国平均を上回っていましたが、H28 は 63.6%に減少しました。正答率が全国平均を下回る設問においても無解答率が全国平均を上回る設問は減少しました。全国の正答率が50%以下の設問の無解答率においては、全国平均を上回る設問が 26.1%まで減少しました。正答率が低い、いわゆる難解な問題においても、あきらめず解答しようとする生徒が増加していることがうかがえます。

結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】

【小学校】 肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

質問番号	掲載P	H27番号	質問事項	選択肢1の差	選択肢1+2の差
25	102	新	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	20.0	17.2
57	108	44	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	9.3	8.7
24	102	23	家で、学校の授業の復習をしていますか	6.9	8.4
58	108	45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	3.2	4.7
55	107	43	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	8.1	4.7
30	103	新	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたらして話し合い、意見をまとめていると思いますか	2.3	4.3
29	103	25	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか	5.7	3.7

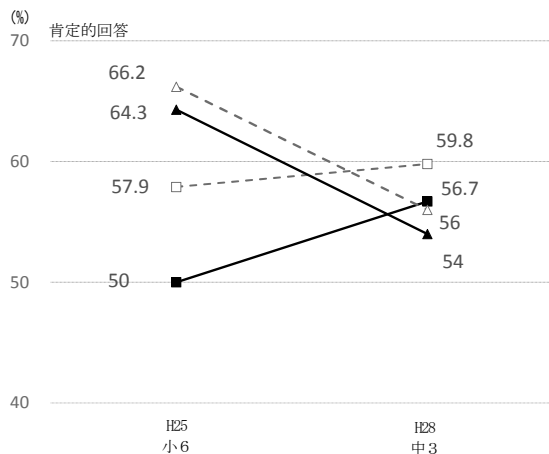
【小学校】 肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

質問番号	掲載P	H27番号	質問事項	選択肢1の差	選択肢1+2の差
61	108	48	国語の勉強は好きですか	-4.8	-7.2
44	106	H22 44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	-4.4	-4.5
7	99	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	-3.3	-4.3
47	106	新	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	-4.2	-3.9
71	110	58	算数の勉強は好きですか	-4.1	-3.7
52	107	新	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	-2.3	-3.2
32	104	H26 28	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	-4.4	-3.1
74	111	61	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	-3.0	-3.0

Column

〇〇の勉強は好きですか

(香川県・H25小6 → H28中3の変化)



■国語(香川) □国語(全国) ▲算数・数学(香川) △算数・数学(全国)

	国語	算数・数学
県：H28とH25の差(pt)	6.7	-10.5
全国：H28とH25の差(pt)	1.9	-10.2

H25小6からH28中3の回答状況の変化を見ると、国語においては、香川県も全国も、中学生になると肯定的回答が増加し、算数・数学においては、中学生になると肯定的回答が減少しています。国語の増加幅は、全国よりも香川県の方が大きく、算数・数学の減少幅はほぼ同じです。

【中学校】 肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

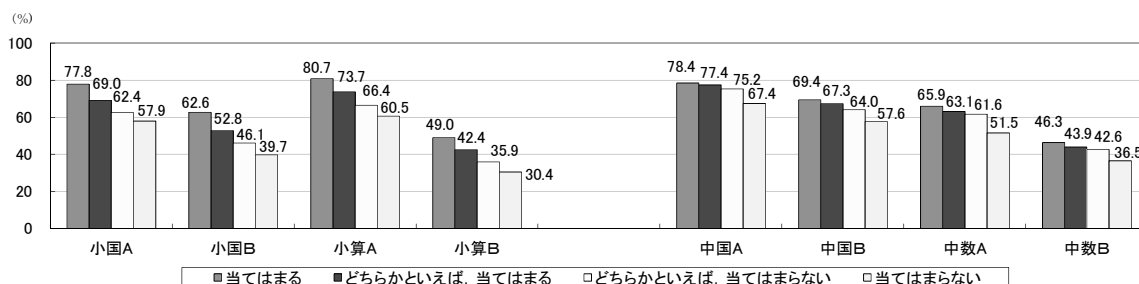
質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
55	107	43	1. 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	6.1	7.1
58	108	45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	7.7	5.9
57	108	44	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	7.4	5.6
83	113	84	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	8.5	4.3

【中学校】 肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
46	106	37	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-5.7	-7.7
7	99	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	-3.9	-7.1
6	99	6	自分には、よいところがあると思いますか	-4.9	-6.5
47	106	新	1. 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	-4.5	-5.6
52	107	新	1. 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	-2.8	-4.6
20	102	H25 35	家の手伝いをしていますか	-1.4	-4.6
41	105	H22 38	人が困っているときは、進んで助けていますか	-5.0	-3.9
67	109	54	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	-2.6	-3.9
31	103	26	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	-6.2	-3.9
50	107	40	1. 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	-2.6	-3.5
65	109	52	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	-4.0	-3.4
69	110	56	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	-2.7	-3.4
61	108	48	国語の勉強は好きですか	-1.1	-3.1

【参考】

「□55 授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか」
に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率 【児童生徒質問紙】



教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計

1 【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問紙調査結果

※4調査区分全てにおいて差が10pt以上の調査結果を示す。教科に関する質問を除く。

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率			
			国語A	国語B	算数A	算数B
1	朝食を毎日食べていますか	① している	76.6	61.2	80.0	48.2
		② どちらかといえば、している	68.8	52.3	71.7	40.9
		③ あまりしていない	62.9	46.9	63.4	35.4
		④ 全くしていない	54.1	38.2	55.1	31.0
		差 (①－④)	22.5	23.0	24.9	17.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	① している	77.2	61.7	80.5	48.8
		② どちらかといえば、している	76.7	61.5	79.8	48.4
		③ あまりしていない	69.4	53.8	73.2	41.7
		④ 全くしていない	59.3	40.9	61.5	31.7
		差 (①－④)	17.9	20.8	19.0	17.1
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	① している	76.4	60.6	79.5	47.9
		② どちらかといえば、している	75.1	60.3	78.3	47.0
		③ あまりしていない	68.9	52.8	73.1	41.1
		④ 全くしていない	55.5	37.0	58.4	29.8
		差 (①－④)	20.9	23.6	21.1	18.1
4	ものごを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	① 当てはまる	77.0	61.6	80.0	48.4
		② どちらかといえば、当てはまる	71.4	56.0	75.4	44.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.9	49.1	70.2	38.4
		④ 当てはまらない	59.8	43.3	62.2	30.4
		差 (①－④)	17.2	18.3	17.8	18.0
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	① 当てはまる	80.7	65.5	84.0	53.2
		② どちらかといえば、当てはまる	76.9	61.6	80.7	49.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	73.5	57.9	76.7	44.8
		④ 当てはまらない	68.8	52.9	71.0	40.1
		差 (①－④)	11.9	12.6	13.0	13.1
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	① 当てはまる	76.6	61.4	79.2	48.0
		② どちらかといえば、当てはまる	74.7	59.2	78.7	46.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	68.4	50.5	71.5	40.5
		④ 当てはまらない	58.6	43.1	63.1	32.9
		差 (①－④)	18.0	18.3	16.1	15.1
13	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	① 4時間以上	62.5	45.9	63.7	34.7
		② 3時間以上、4時間より少ない	64.1	47.0	66.3	35.9
		③ 2時間以上、3時間より少ない	68.7	52.0	71.8	39.6
		④ 1時間以上、2時間より少ない	71.6	54.7	73.9	42.4
		⑤ 30分以上、1時間より少ない	74.0	58.1	77.0	45.7
		⑥ 30分より少ない	76.9	61.8	80.1	48.8
		⑦ 携帯電話やスマートフォンを持っていない	76.9	61.9	80.6	48.9
		差 (⑥－①)	14.4	15.9	16.4	14.1
15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	① 4時間以上	82.5	68.4	86.7	56.8
		② 3時間以上、4時間より少ない	79.9	64.1	82.6	49.8
		③ 2時間以上、3時間より少ない	78.0	62.1	81.2	48.8
		④ 1時間以上、2時間より少ない	76.4	61.1	79.5	47.8
		⑤ 1時間より少ない	72.8	57.4	76.3	45.3
		⑥ 全くしない	65.8	48.9	68.1	37.9
		差 (①－⑥)	16.7	19.5	18.6	18.9
19	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	① している	77.5	62.3	80.0	48.7
		② どちらかといえば、している	75.1	59.6	79.1	46.9
		③ あまりしていない	70.3	54.2	74.4	43.5
		④ 全くしていない	60.9	44.6	65.6	34.8
		差 (①－④)	16.6	17.7	14.4	13.9
21	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	① している	79.2	63.4	82.0	50.6
		② どちらかといえば、している	77.0	61.7	80.1	48.5
		③ あまりしていない	71.4	56.1	75.1	43.5
		④ 全くしていない	65.4	49.3	69.0	38.3
		差 (①－④)	13.8	14.1	13.0	12.3
22	家で、学校の宿題をしていますか	① している	77.1	61.8	80.1	48.5
		② どちらかといえば、している	65.0	48.1	69.5	38.2
		③ あまりしていない	56.8	39.8	60.5	32.9
		④ 全くしていない	46.1	32.0	52.5	26.5
		差 (①－④)	31.0	29.8	27.6	22.0
24	家で、学校の授業の復習をしていますか	① している	80.3	64.5	83.1	51.5
		② どちらかといえば、している	76.4	61.2	79.4	47.7
		③ あまりしていない	70.5	55.3	74.5	43.1
		④ 全くしていない	66.5	50.2	70.0	39.2
		差 (①－④)	13.8	14.3	13.1	12.3
25	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	① している	79.4	63.9	81.8	50.2
		② どちらかといえば、している	72.9	57.5	76.6	45.2
		③ あまりしていない	67.0	51.5	72.4	40.6
		④ 全くしていない	60.6	44.0	64.7	35.4
		差 (①－④)	18.8	19.9	17.1	14.8
29	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか	① そう思う	77.8	62.6	80.7	49.1
		② どちらかといえば、そう思う	74.6	59.2	78.1	46.6
		③ どちらかといえば、そう思わない	68.5	52.5	72.3	41.3
		④ そう思わない	64.5	44.6	67.4	36.3
		差 (①－④)	13.3	18.0	13.3	12.8
30	学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	① そう思う	77.9	63.0	80.8	49.7
		② どちらかといえば、そう思う	77.3	62.1	80.3	48.8
		③ どちらかといえば、そう思わない	72.4	56.5	76.2	44.6
		④ そう思わない	66.5	49.3	69.3	38.1
		差 (①－④)	11.4	13.7	11.5	11.6
35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	① 当てはまる	78.2	62.7	80.7	49.4
		② どちらかといえば、当てはまる	76.1	61.1	79.6	48.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	71.4	55.5	75.2	43.9
		④ 当てはまらない	64.7	47.9	68.4	36.8
		差 (①－④)	13.5	14.8	12.3	12.6

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率			
			国語A	国語B	算数A	算数B
38	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	① よく見る	77.2	62.2	80.0	48.7
		② 時々見る	74.2	58.4	78.3	46.5
		③ あまり見ない	69.9	53.0	73.1	41.6
		④ ほとんど、または、全く見ない	65.5	48.3	68.7	37.4
		差(①－④)	11.7	13.9	11.3	11.3
39	学校のきまりを守っていますか	① 当てはまる	76.8	61.2	79.4	47.8
		② どちらかといえば、当てはまる	75.6	60.4	79.1	47.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	66.7	50.9	70.8	39.4
		④ 当てはまらない	62.9	41.9	65.3	35.7
		差(①－④)	13.9	19.3	14.1	12.1
40	友達との約束を守っていますか	① 当てはまる	76.5	61.0	79.5	47.9
		② どちらかといえば、当てはまる	73.1	57.7	77.2	45.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.5	44.8	63.1	33.8
		④ 当てはまらない	57.4	35.7	57.2	31.3
		差(①－④)	19.1	25.3	22.3	16.6
43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	① 当てはまる	76.3	61.1	79.4	47.8
		② どちらかといえば、当てはまる	73.6	57.5	76.9	46.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	67.0	49.2	70.6	38.3
		④ 当てはまらない	62.7	45.6	67.7	35.6
		差(①－④)	13.6	15.5	11.7	12.2
46	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	80.0	64.6	82.4	50.9
		② どちらかといえば、当てはまる	76.2	61.0	79.7	48.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	71.5	56.1	75.3	43.5
		④ 当てはまらない	65.3	47.8	68.1	37.7
		差(①－④)	14.7	16.8	14.3	13.2
47	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	① 当てはまる	79.0	64.6	82.4	51.3
		② どちらかといえば、当てはまる	76.5	61.1	79.8	48.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	70.1	53.7	73.2	41.9
		④ 当てはまらない	61.9	43.0	64.3	32.2
		差(①－④)	17.1	21.6	18.1	19.1
48	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	① 当てはまる	78.7	63.8	81.9	50.4
		② どちらかといえば、当てはまる	73.5	57.7	76.9	45.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	67.2	50.3	70.7	39.3
		④ 当てはまらない	59.1	40.6	60.4	29.6
		差(①－④)	19.6	23.2	21.5	20.8
49	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	① 当てはまる	78.2	63.1	81.2	49.5
		② どちらかといえば、当てはまる	74.5	59.3	78.2	46.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	69.5	53.3	73.0	41.7
		④ 当てはまらない	63.0	43.3	63.3	33.8
		差(①－④)	15.2	19.8	17.9	15.7
50	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	① 当てはまる	78.4	63.3	81.2	49.5
		② どちらかといえば、当てはまる	76.1	60.7	79.4	48.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	69.9	54.6	74.1	42.7
		④ 当てはまらない	62.8	44.1	64.2	33.9
		差(①－④)	15.6	19.2	17.0	15.6
51	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかり伝えていたと思いますか	① 当てはまる	78.7	63.8	81.6	50.1
		② どちらかといえば、当てはまる	76.2	60.9	79.9	48.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	70.0	54.0	73.3	42.3
		④ 当てはまらない	63.5	44.3	64.3	33.9
		差(①－④)	15.2	19.5	17.3	16.2
52	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	① 当てはまる	78.9	63.6	81.7	50.2
		② どちらかといえば、当てはまる	77.4	62.3	81.0	49.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	72.3	56.6	75.7	44.0
		④ 当てはまらない	65.3	48.3	67.6	37.3
		差(①－④)	13.6	15.3	14.1	12.9
53	5年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	① 当てはまる	78.8	63.8	82.0	50.2
		② どちらかといえば、当てはまる	71.9	56.2	75.4	44.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	64.3	47.7	68.4	37.3
		④ 当てはまらない	58.7	39.7	60.0	30.2
		差(①－④)	20.1	24.1	22.0	20.0
54	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	① 当てはまる	77.5	62.4	80.7	48.9
		② どちらかといえば、当てはまる	75.3	59.8	78.5	47.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	71.2	55.6	75.1	43.8
		④ 当てはまらない	66.1	47.2	67.9	36.7
		差(①－④)	11.4	15.2	12.8	12.2
55	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	① 当てはまる	77.8	62.6	80.7	49.0
		② どちらかといえば、当てはまる	69.0	52.8	73.7	42.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.4	46.1	66.4	35.9
		④ 当てはまらない	57.9	39.7	60.5	30.4
		差(①－④)	19.9	22.9	20.2	18.6
56	5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	① 当てはまる	77.1	61.9	79.8	48.5
		② どちらかといえば、当てはまる	75.6	60.4	79.2	47.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	71.2	55.5	75.0	43.6
		④ 当てはまらない	64.7	45.6	67.3	36.1
		差(①－④)	12.4	16.3	12.5	12.4
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	① そう思う	69.2	52.2	73.1	41.0
		② どちらかといえば、そう思う	73.7	58.6	77.3	45.4
		③ どちらかといえば、そう思わない	78.6	64.2	81.7	50.7
		④ そう思わない	82.2	66.9	83.9	53.5
		差(④－①)	13.0	14.7	10.8	12.5
59	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	① そう思う	78.5	62.9	81.6	50.2
		② どちらかといえば、そう思う	76.4	61.2	79.8	48.5
		③ どちらかといえば、そう思わない	71.5	56.2	75.0	43.1
		④ そう思わない	66.0	48.4	68.1	36.8
		差(①－④)	12.5	14.5	13.5	13.4

2【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問紙調査結果

※教科に関する質問は除く

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率			
			国語A	国語B	数学A	数学B
1	朝食を毎日食べていますか	① している	78.5	69.4	66.2	46.6
		② どちらかといえば、している	72.5	61.4	54.4	36.6
		③ あまりしていない	67.8	54.3	49.0	32.8
		④ 全くしていない	67.7	54.3	46.3	29.7
		差 (①－④)	10.8	15.1	19.9	16.9
7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	① 当てはまる	79.1	70.9	69.1	50.2
		② どちらかといえば、当てはまる	78.2	69.3	65.7	46.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	77.2	67.3	63.1	43.7
		④ 当てはまらない	74.5	63.0	58.8	39.6
		差 (①－④)	4.6	7.9	10.3	10.6
8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	① 当てはまる	78.3	69.7	66.0	46.3
		② どちらかといえば、当てはまる	77.4	67.1	63.1	44.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	72.5	60.7	57.6	39.1
		④ 当てはまらない	61.1	47.8	45.0	29.0
		差 (①－④)	17.2	21.9	21.0	17.3
13	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)	① 4時間以上	67.7	54.2	46.7	29.6
		② 3時間以上、4時間より少ない	73.2	60.8	55.2	36.0
		③ 2時間以上、3時間より少ない	75.3	63.4	59.6	41.0
		④ 1時間以上、2時間より少ない	77.7	68.1	64.0	44.9
		⑤ 30分以上、1時間より少ない	78.9	69.8	67.0	46.8
		⑥ 30分より少ない	79.6	71.7	69.3	49.6
		⑦ 携帯電話やスマートフォンを持っていない	79.9	72.0	69.0	49.7
		差 (⑥－①)	11.9	17.5	22.6	20.0
15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	① 4時間以上	80.4	73.2	72.7	53.1
		② 3時間以上、4時間より少ない	80.1	73.0	69.6	49.1
		③ 2時間以上、3時間より少ない	79.5	70.5	67.8	47.9
		④ 1時間以上、2時間より少ない	78.1	69.0	64.9	45.3
		⑤ 1時間より少ない	76.0	65.0	60.8	41.8
		⑥ 全くしない	67.4	53.6	47.5	32.0
		差 (①－⑥)	13.0	19.6	25.2	21.1
19	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	① している	79.5	71.2	67.4	47.8
		② どちらかといえば、している	77.9	68.6	64.7	45.2
		③ あまりしていない	73.8	62.1	58.1	39.9
		④ 全くしていない	68.2	53.7	52.0	33.8
		差 (①－④)	11.3	17.5	15.4	14.0
21	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	① している	80.4	72.9	70.8	51.0
		② どちらかといえば、している	78.8	70.0	67.1	47.2
		③ あまりしていない	76.6	66.5	62.0	42.8
		④ 全くしていない	72.8	60.5	55.4	38.0
		差 (①－④)	7.6	12.4	15.4	13.0
22	家で、学校の宿題をしていますか	① している	79.7	71.5	68.5	48.8
		② どちらかといえば、している	74.5	62.7	57.8	38.7
		③ あまりしていない	69.0	54.6	49.3	32.1
		④ 全くしていない	60.6	43.8	37.6	24.7
		差 (①－④)	19.1	27.7	30.9	24.1
24	家で、学校の授業の復習をしていますか	① している	80.9	73.6	71.9	52.2
		② どちらかといえば、している	79.1	70.5	67.4	47.3
		③ あまりしていない	76.3	65.7	61.1	42.1
		④ 全くしていない	72.4	60.3	55.1	37.5
		差 (①－④)	8.5	13.3	16.8	14.7
25	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	① している	80.6	72.5	69.6	49.8
		② どちらかといえば、している	77.8	68.5	64.5	44.5
		③ あまりしていない	74.7	63.6	59.6	41.1
		④ 全くしていない	68.9	55.6	50.5	34.1
		差 (①－④)	11.7	16.9	19.1	15.7
27	学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか	① そう思う	77.7	68.2	64.5	45.3
		② どちらかといえば、そう思う	76.7	66.8	63.4	44.2
		③ どちらかといえば、そう思わない	73.8	63.6	58.2	39.5
		④ そう思わない	71.8	61.8	55.5	35.6
		差 (①－④)	5.9	6.4	9.0	9.7
29	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	① そう思う	77.8	68.7	64.5	45.3
		② どちらかといえば、そう思う	77.6	67.8	64.3	44.9
		③ どちらかといえば、そう思わない	77.1	66.8	63.3	44.3
		④ そう思わない	72.5	61.0	58.4	39.8
		差 (①－④)	5.3	7.7	6.1	5.5
31	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	① 当てはまる	78.6	69.8	66.3	46.5
		② どちらかといえば、当てはまる	77.0	66.5	63.1	44.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	75.5	64.8	60.0	41.5
		④ 当てはまらない	71.6	60.5	55.7	38.5
		差 (①－④)	7.0	9.3	10.6	8.0
35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	① 当てはまる	79.4	71.8	66.5	47.7
		② どちらかといえば、当てはまる	78.5	69.3	65.3	45.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	75.5	64.3	62.4	42.8
		④ 当てはまらない	71.4	58.0	55.5	36.8
		差 (①－④)	8.0	13.8	11.0	10.9

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率			
			国語A	国語B	数学A	数学B
38	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	① よく見る	79.2	70.6	66.2	47.1
		② 時々見る	76.3	66.0	62.7	43.2
		③ あまり見ない	73.7	62.2	60.0	40.9
		④ ほとんど、または、全く見ない	68.9	55.3	53.3	34.4
		差 (①－④)	10.3	15.3	12.9	12.7
39	学校の規則を守っていますか	① 当てはまる	78.7	70.1	67.0	47.4
		② どちらかといえば、当てはまる	76.7	66.2	61.8	42.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	67.2	53.1	47.5	31.1
		④ 当てはまらない	53.9	35.7	33.0	20.1
		差 (①－④)	24.8	34.4	34.0	27.3
40	友達との約束を守っていますか	① 当てはまる	77.6	68.2	64.8	45.3
		② どちらかといえば、当てはまる	77.2	67.0	62.5	43.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	74.8	65.2	61.4	41.3
		④ 当てはまらない	53.9	44.7	39.9	26.9
		差 (①－④)	23.7	23.5	24.9	18.4
43	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	① 当てはまる	78.2	69.1	65.6	46.1
		② どちらかといえば、当てはまる	75.9	65.0	61.1	42.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	73.9	62.1	56.3	38.8
		④ 当てはまらない	70.5	57.5	53.6	36.5
		差 (①－④)	7.7	11.6	12.0	9.6
47	1, 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	① 当てはまる	80.0	72.2	69.8	50.8
		② どちらかといえば、当てはまる	78.8	69.9	66.2	46.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	74.6	62.9	58.4	39.1
		④ 当てはまらない	67.7	54.3	49.0	32.1
		差 (①－④)	12.3	17.9	20.8	18.7
48	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	① 当てはまる	79.9	72.1	68.5	49.3
		② どちらかといえば、当てはまる	77.5	67.1	63.2	43.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	72.1	59.0	55.9	36.8
		④ 当てはまらない	59.0	45.3	40.5	26.0
		差 (①－④)	20.9	26.8	28.0	23.3
49	1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	① 当てはまる	78.4	69.8	65.8	46.2
		② どちらかといえば、当てはまる	77.9	68.0	64.4	44.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	76.6	66.1	62.6	44.0
		④ 当てはまらない	65.3	53.2	49.6	33.1
		差 (①－④)	13.1	16.6	16.2	13.1
50	1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	① 当てはまる	77.9	69.2	65.5	45.8
		② どちらかといえば、当てはまる	77.8	68.4	64.7	45.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	77.2	66.8	63.1	44.5
		④ 当てはまらない	72.1	61.6	57.3	39.6
		差 (①－④)	5.8	7.6	8.2	6.2
51	1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	① 当てはまる	79.5	71.8	68.5	49.3
		② どちらかといえば、当てはまる	78.7	69.9	66.1	46.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	74.8	62.7	58.9	40.0
		④ 当てはまらない	67.4	54.3	49.4	32.3
		差 (①－④)	12.1	17.5	19.1	17.0
53	1, 2年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	① 当てはまる	79.5	71.4	67.5	48.0
		② どちらかといえば、当てはまる	77.2	66.6	63.0	43.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	70.6	57.8	54.7	36.9
		④ 当てはまらない	60.2	47.5	43.6	28.1
		差 (①－④)	19.3	23.9	23.9	19.9
55	1, 2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	① 当てはまる	78.4	69.4	65.9	46.3
		② どちらかといえば、当てはまる	77.4	67.3	63.1	43.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	75.2	64.0	61.6	42.6
		④ 当てはまらない	67.4	57.6	51.5	36.5
		差 (①－④)	11.0	11.8	14.4	9.8
57	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	① そう思う	74.2	62.4	61.0	41.5
		② どちらかといえば、そう思う	78.4	69.6	65.0	45.8
		③ どちらかといえば、そう思わない	80.3	72.5	66.6	47.4
		④ そう思わない	81.1	74.1	67.3	49.0
		差 (④－①)	6.9	11.7	6.3	7.5
58	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	① そう思う	74.0	62.3	60.0	40.6
		② どちらかといえば、そう思う	77.6	68.2	64.1	44.5
		③ どちらかといえば、そう思わない	80.4	73.0	67.6	48.6
		④ そう思わない	81.7	74.4	69.9	51.8
		差 (④－①)	7.7	12.1	9.9	11.2

結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】

【小学校】肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
106	※	136	新	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	12.6	11.2
107	105	136	新	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	3.6	9.8

【小学校】肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
83	82	132	新	平成27年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	-9.5	-18.7
82	81	132	類H26 72/70	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	-8.9	-17.6
68	68	129	60	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-2.0	-14.6
32	32	123	新	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、指導事項の系統性が分かるように作成していますか	-2.5	-12.2
103	101	135	新	都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか	-4.4	-11.9
74	74	130	66	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-3.9	-11.1
79	78	131	新	前年度までに、近隣等の中学校と、教育目標を共有する取組を行いましたか	-8.3	-10.9
98	96	134	95/93	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数共通）	-5.4	-9.6
71	71	130	63	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	-9.8	-9.2
85	84	132	82/81	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	-6.4	-9.0
80	79	131	類H26 72/70	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	-8.9	-7.4
86	85	132	83/82	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	-2.9	-7.1
56	56	127	類46	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	-7.7	-6.8
49	49	126	42	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	-4.2	-6.5
44	44	125	37	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	-0.3	-5.7
75	75	130	67	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-2.4	-5.5
37	37	124	30	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れまし	-4.6	-5.2

Column

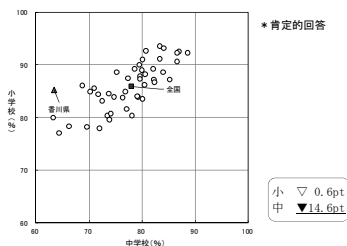
◆教科、学年、小・中学校の枠を超えた系統的・横断的な視点を◆

同じ地域の小学校と中学校が、児童生徒、教育課程、教育目標等についての情報を共有し、指導計画の作成に当たっては、学年や校種を系統的に見るとともに、各教科等を横断的に見ること、児童生徒の「学びの連続性」と「学びの多様性」を意識することが大切です。

p123, 132参照

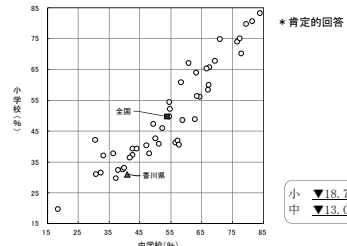
横断的な視点で内容を組織的に配列した指導計画

■30/30 教職員は、指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか



小中学校間での成果や課題の共有

■83/82 前年度までに、前年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか



【中学校】 肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
78	77	131	79/78	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	0.1	9.5
55	55	127	新	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語や数学において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、生徒の資質・能力がどのように伸びているかを、生徒自身が把握できるような評価を行いましたか	-3.5	8.3
98	96	134	95/93	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／数学共通）	-2.3	5.9
75	75	130	67	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-3.2	5.4

【中学校】 肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項	選択肢1の差	選択肢1+2 の差
56	56	127	類46	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行っていましたか	-4.4	-21.5
90	88	133	87/85	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	-13.9	-20.6
34	34	124	新	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	-3.6	-16.3
45	45	125	38	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	-12.8	-16.0
84	83	132	81/80	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	-4.1	-15.8
103	101	135	新	都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか	-7.4	-15.7
108	106	136	新	コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか	-3.9	-15.5
30	30	123	新	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	-4.5	-14.6
85	84	132	82/21	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	-0.7	-14.3
83	82	132	新	平成27年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の小学校と成果や課題を共有しましたか	-6.9	-13.0
19	19	121	21	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	-3.7	-11.4
17	17	121	19	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	-6.0	-11.3
43	43	125	36	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	-8.2	-11.2
21	21	122	新	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	-5.5	-10.4
32	32	123	新	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、指導事項の系統性が分かるように作成していますか	-7.9	-9.2
102	100	135	100/98	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	-8.5	-8.6
82	81	132	類H26 72/70	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	-2.3	-8.4
89	87	133	86/84	P T Aや地域の方が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	-6.4	-8.3
29	29	123	類107/ 105	指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか	-4.2	-7.1
74	74	130	66	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-2.8	-7.1
47	47	126	40	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	-10.3	-6.8
18	18	121	20	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	-11.3	-6.6
91	89	133	88/86	保護者や地域の方の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	-11.4	-6.5
68	68	129	60	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	2.2	-6.3
20	20	122	新	調査対象学年の生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか	-9.1	-5.6
54	54	127	新	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語や数学において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組ませることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行いましたか	-1.4	-5.2

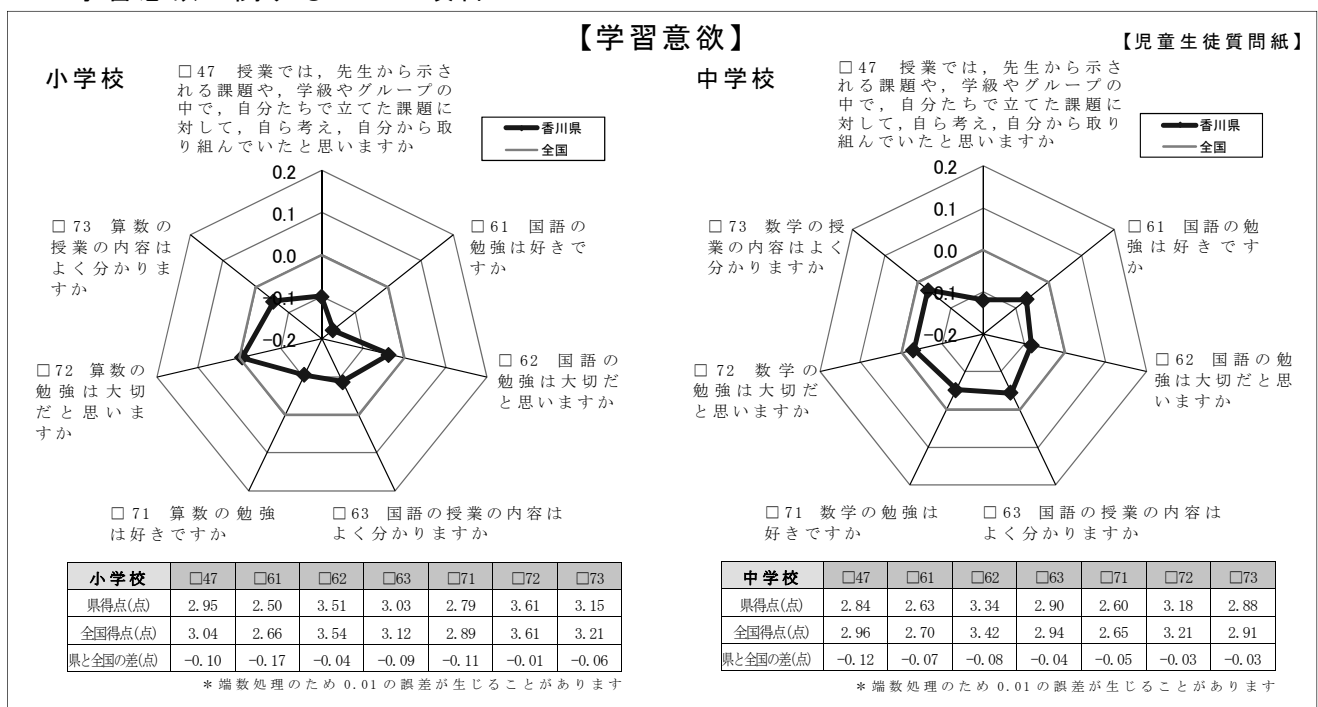
Question 1 学習意欲

本県の課題とされている「学習意欲」にかかわる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、どのような回答状況の変化が見られましたか。

Answer

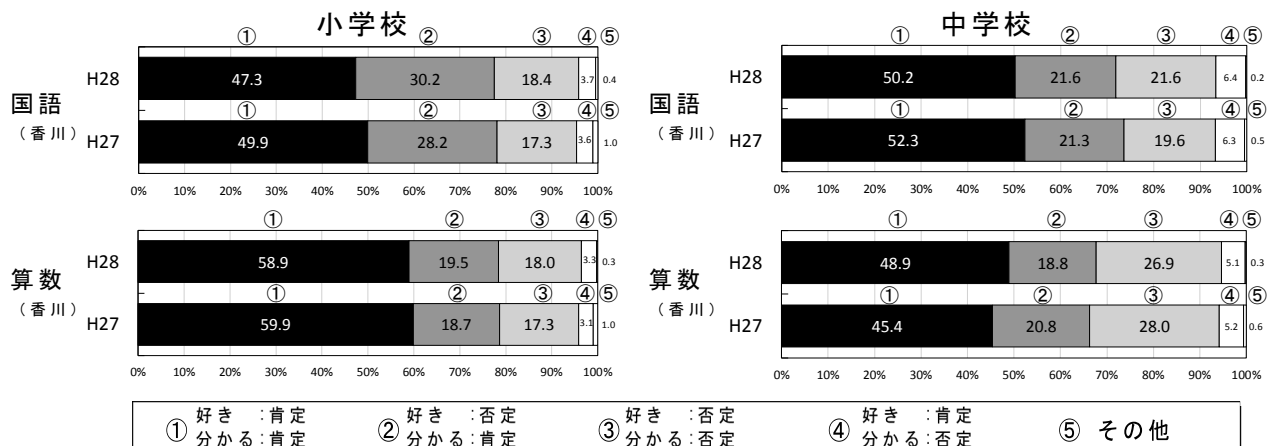
1. 学習意欲に関する項目では、小・中学校ともに、全ての項目において全国を下回っている。
2. 「□61・71 勉強は好きですか」と「□63・73 授業の内容はよく分かりますか」のクロス集計では、小学校国語において30.2%の児童が「好きですか」の質問に否定的に、「分かりますか」の質問に肯定的に回答している。
3. 中学校数学において、「□71 勉強は好きですか」「□73 授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して肯定的に回答している生徒の割合が、昨年度に比べて高くなり、全国平均との差が小さくなっている。

1 学習意欲に関する7つの項目

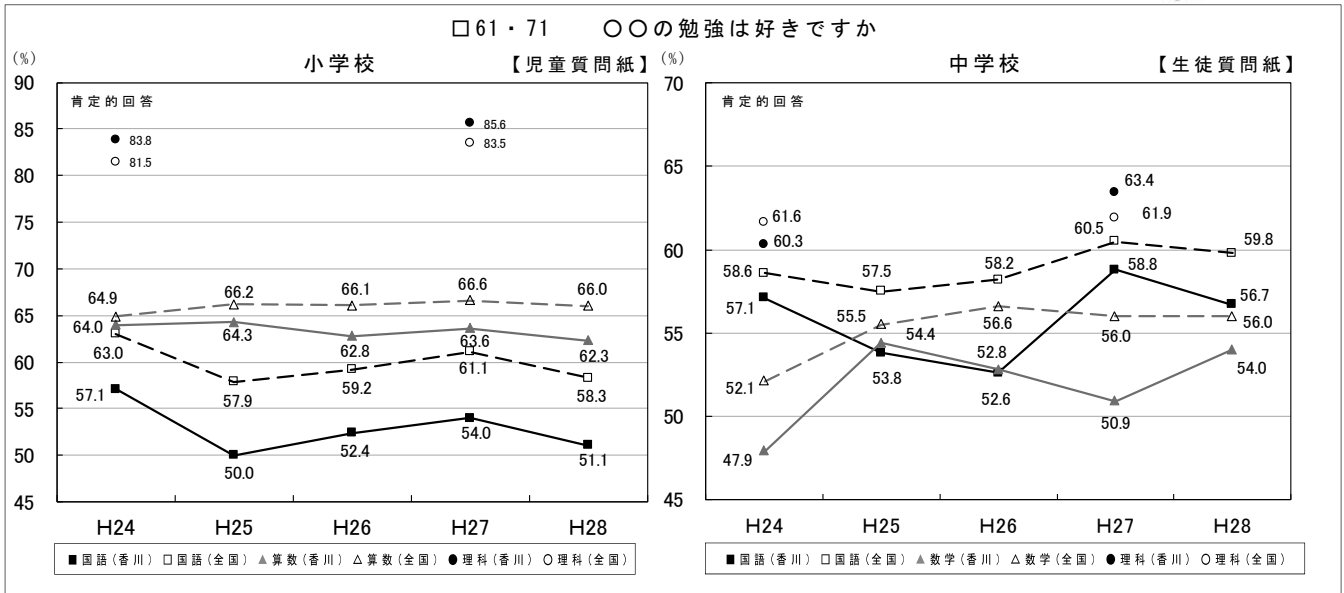


2 「勉強は好きですか」と「授業の内容はよく分かりますか」のクロス集計

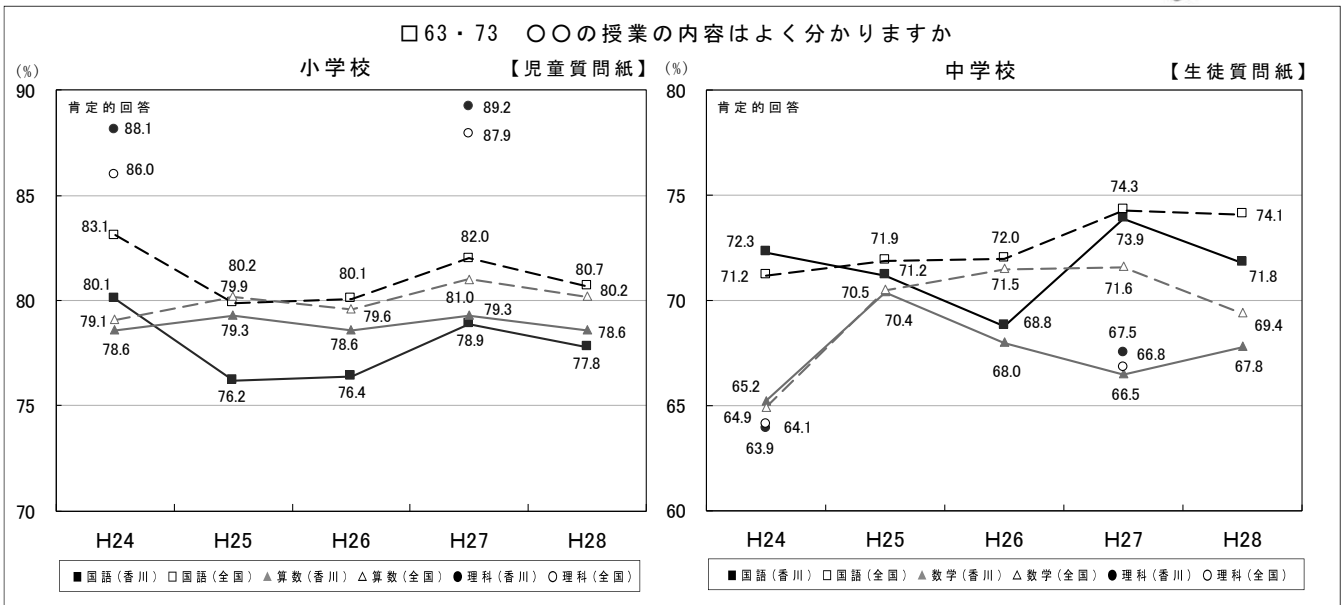
「□61・71 ○○の勉強は好きですか」「□63・73 授業の内容はよく分かりますか」のクロス集計【児童生徒質問紙】



3 学ぶことに対する意識



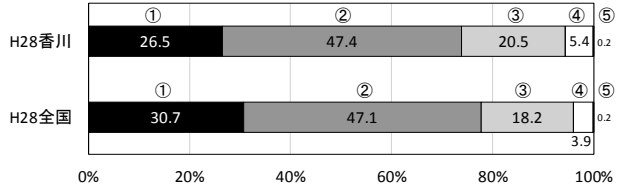
4 授業の内容に対する意識



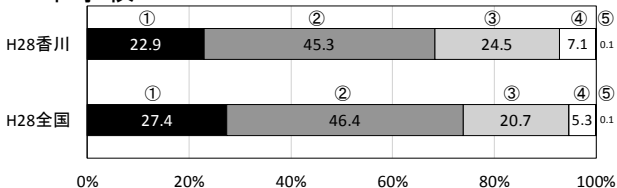
5 課題の解決に対する意識

□47 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか 【児童生徒質問紙】

小学校



中学校



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答

Column

◆主体性を育むために◆

自分で課題を設定させることは、主体性を育む上で有効ですが、主体性を育む場面は課題設定のみでしょうか？課題との出合わせ方は様々であり、児童生徒自身が課題を立てる場合もあれば、教師が課題を示す場合もあります。

しかし、いずれにせよ、主体性を育む上で大切なのは、課題設定後の授業の展開において、児童生徒が「自ら考え、自分から取り組んでいるか」ではないでしょうか。

左の質問 47 は、この点を捉えた今年度新規の質問です。授業において、児童生徒が「自分の力で考えている！」と実感できるような場を、一層、設定していきましょう。

Question 2

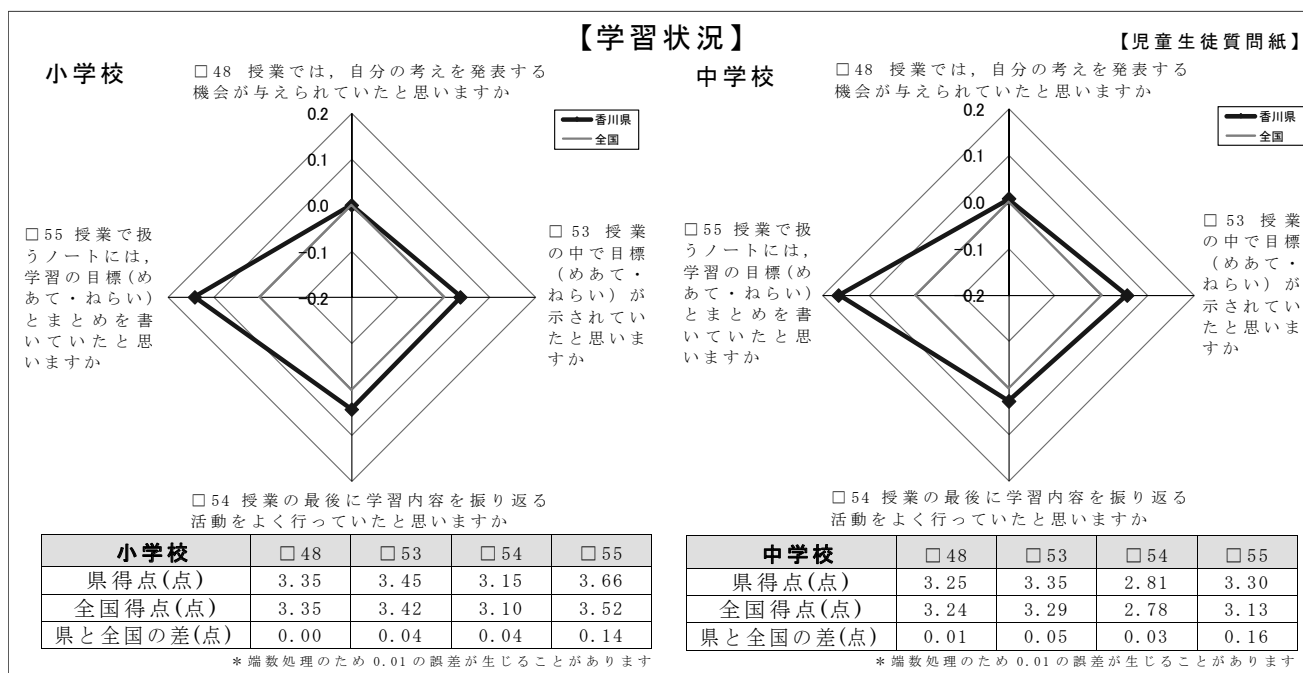
学習状況

「学習状況」にかかわる質問紙調査については、どのような結果になっていましたか。また、どのような回答状況の変化が見られましたか。

Answer

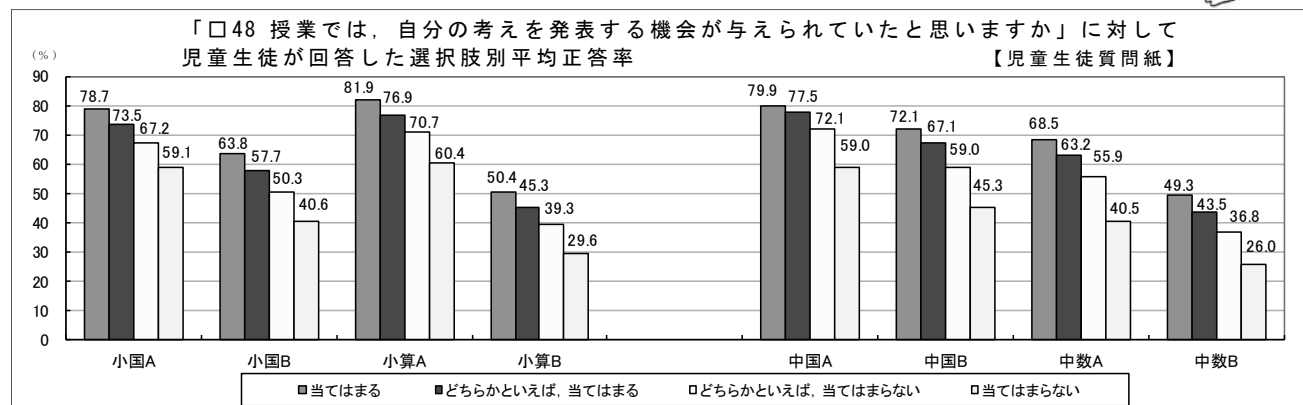
1. 学習状況に関する4つの項目では、小学校において3項目、中学校において4項目全てで全国を上回っている。
2. 発表する機会と平均正答率の関係をみると、「当てはまる」と回答した児童生徒ほど平均正答率が高い。小・中学校ともに、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合と、「当てはまらない」と回答した児童生徒の割合を比べると、4調査区分全て20ポイント程度の差がある。
3. 「□53 授業の中で目標が示されていたと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を小学校で3.1ポイント、中学校で2.9ポイント上回っている。
4. 「□54 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」の質問に対して、中学校では「当てはまる」と回答した生徒の割合が、年々増加し、全国平均を上回っている。

1 学習状況に関する4つの項目



2 発表する機会と平均正答率の関係

p 106

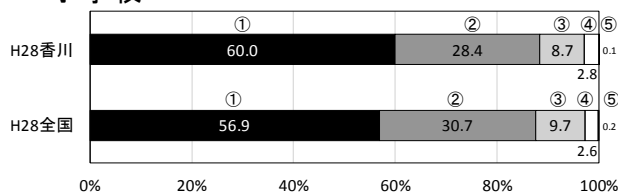


3 授業の目標（めあて・ねらい）や振り返る活動の実施状況

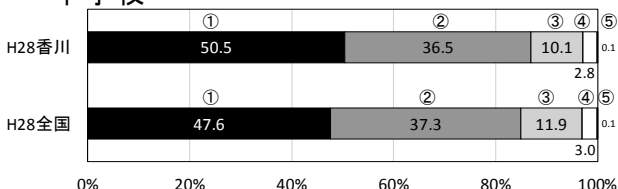
p 107

□53 授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか 【児童生徒質問紙】

小学校

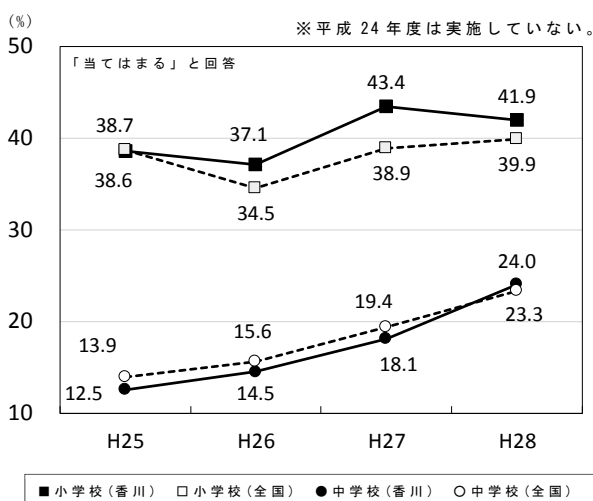


中学校



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない
⑤ その他・無回答

□54 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか 【児童生徒質問紙】

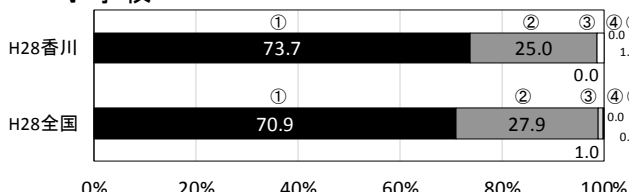


Ⅱ
概
論

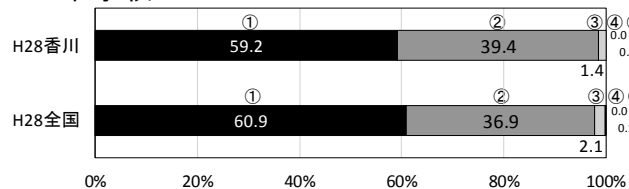
p 124

■36/36 授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか 【学校質問紙】

小学校

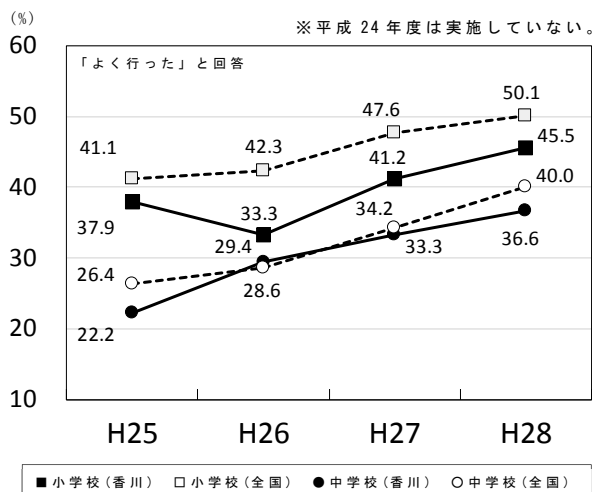


中学校



① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

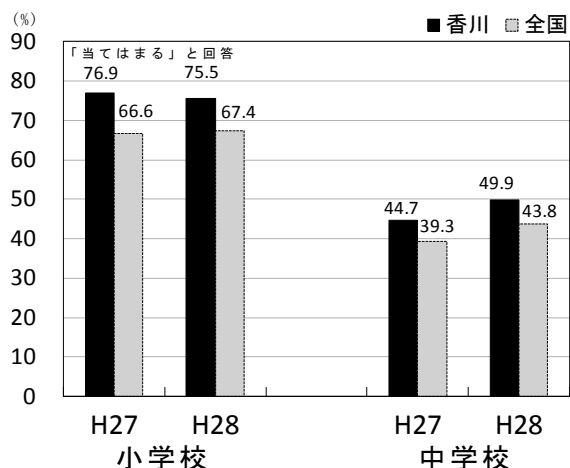
■37/37 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか 【学校質問紙】



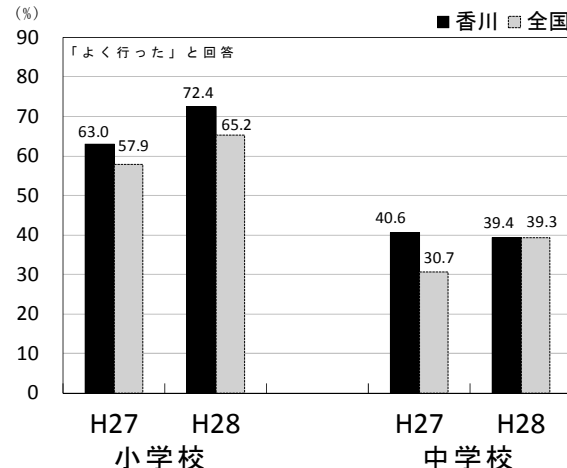
4 ノートへの記述状況

p 107, 125

□55 授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか 【児童生徒質問紙】



■41/41 授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか 【学校質問紙】



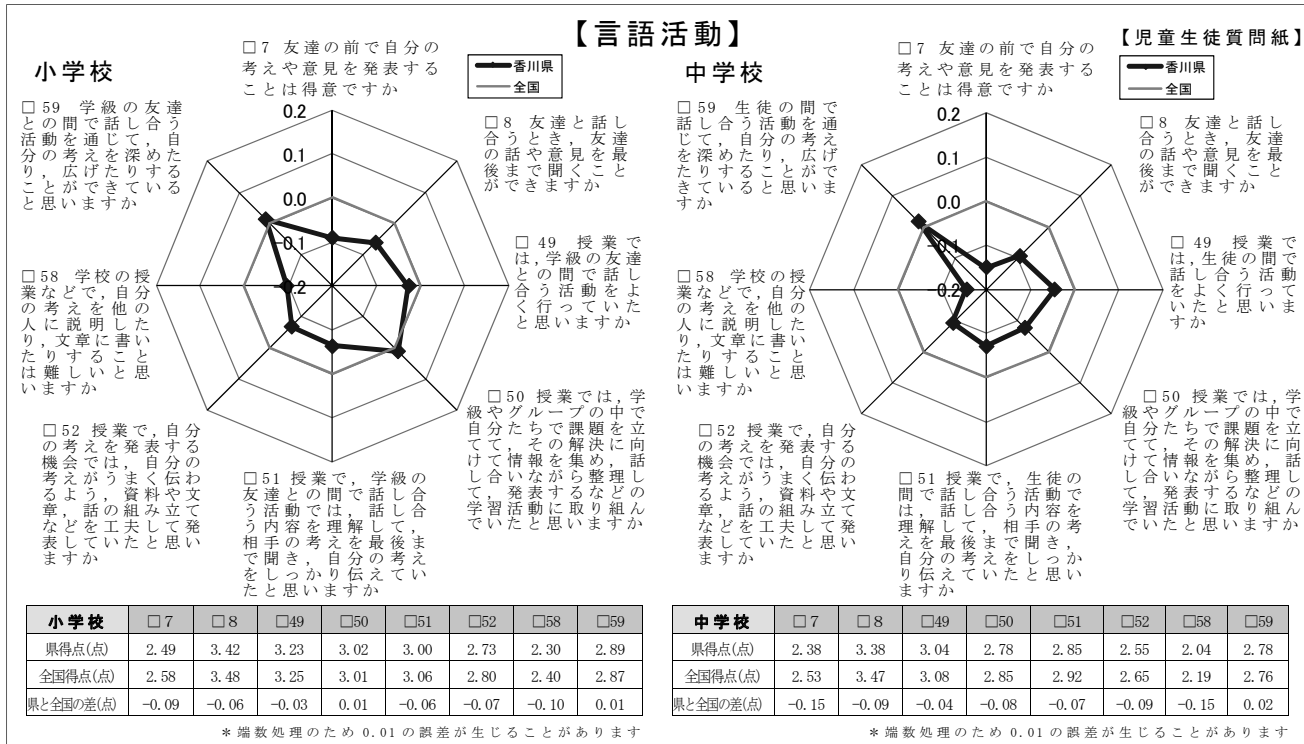
Question 3 言語活動

本県の課題とされている「言語活動」にかかわる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、どのような回答状況の変化が見られましたか。

Answer

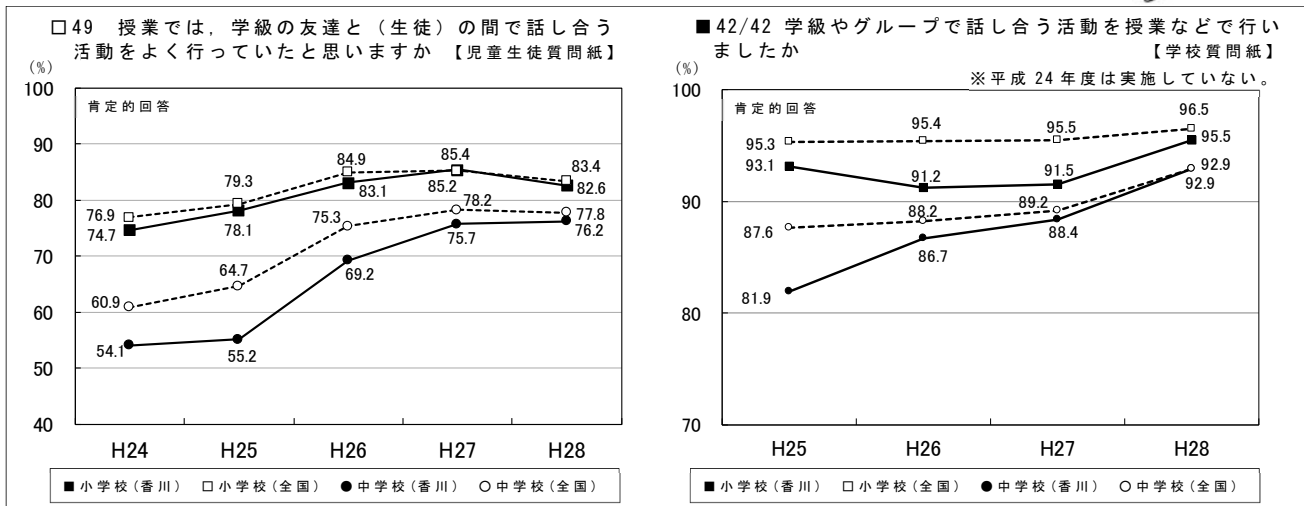
- 1.言語活動に関する質問項目では、昨年度同様、小・中学校ともに「□7 友達の前で自分の考えや意見を発表すること」「□58 自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすること」について、課題が見られる。
- 2.「□59 自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか」の質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度より増加し、全国平均を上回っている。
- 3.「□8 友達の話や意見を最後まで聞くこと」と平均正答率の関係を見ると、「当てはまる」と回答した児童生徒ほど平均正答率が高い。

1 言語活動に関する8つの項目



2 話し合う活動の実施状況

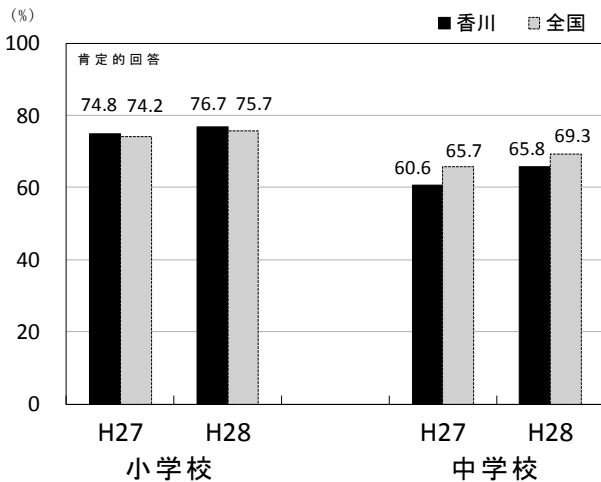
p 106, 125



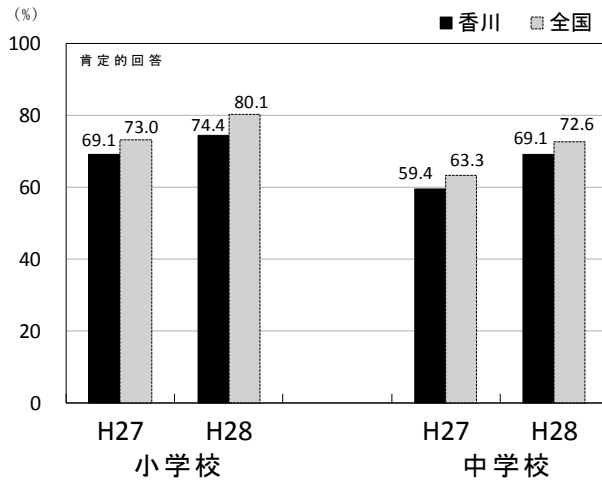
3 課題を立てて解決に向かう学習の実施状況

p 107, 125

□50 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか
【児童生徒質問紙】



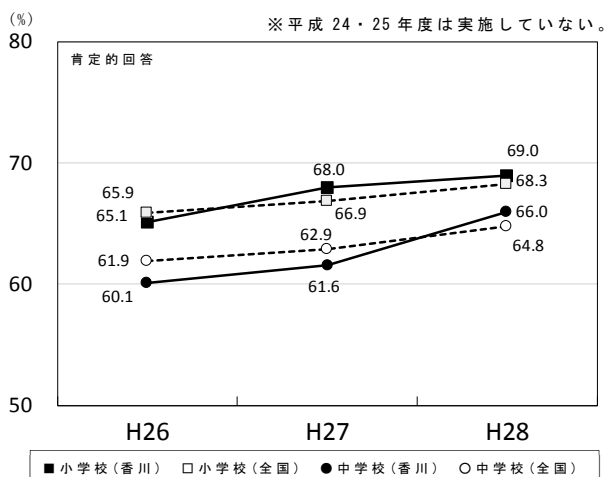
■44/44 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか
【学校質問紙】



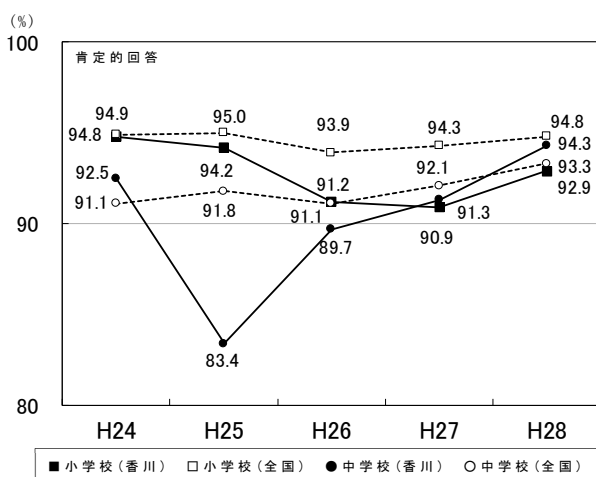
4 思考を深めたり、広げたりする学習の実施状況

p 108, 124

□59 学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
【児童生徒質問紙】



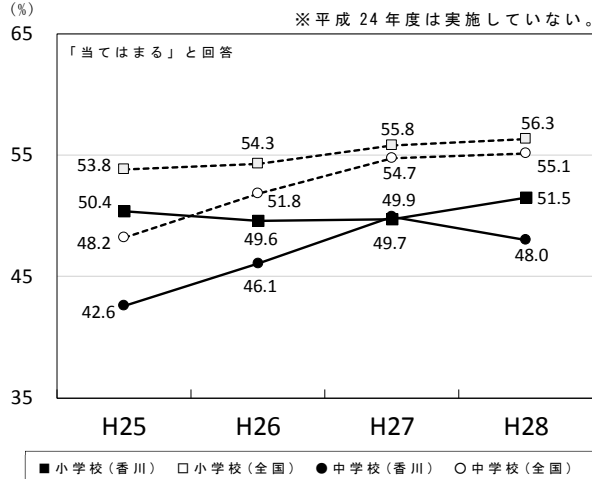
■39/39 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか
【学校質問紙】



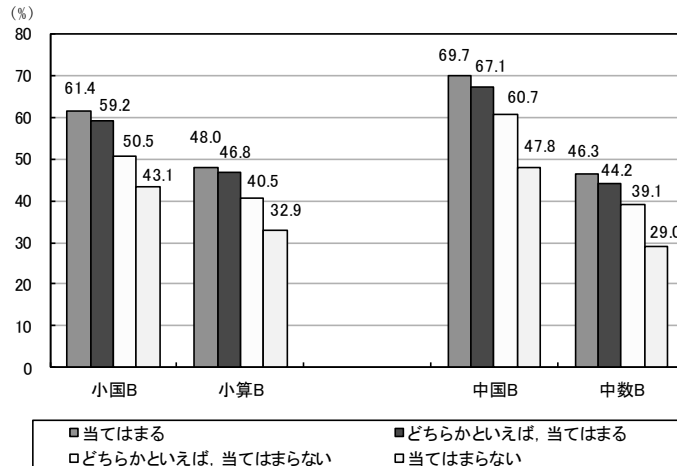
5 友達の話最後まで聞く態度

p 99

□8 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
【児童生徒質問紙】



「□8 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率
【児童生徒質問紙】



*香川県教育基本計画 (H28~32) における平成 32 年度の目標は、「小学校 54.3%」「中学校 51.8%」としている。

Question 4

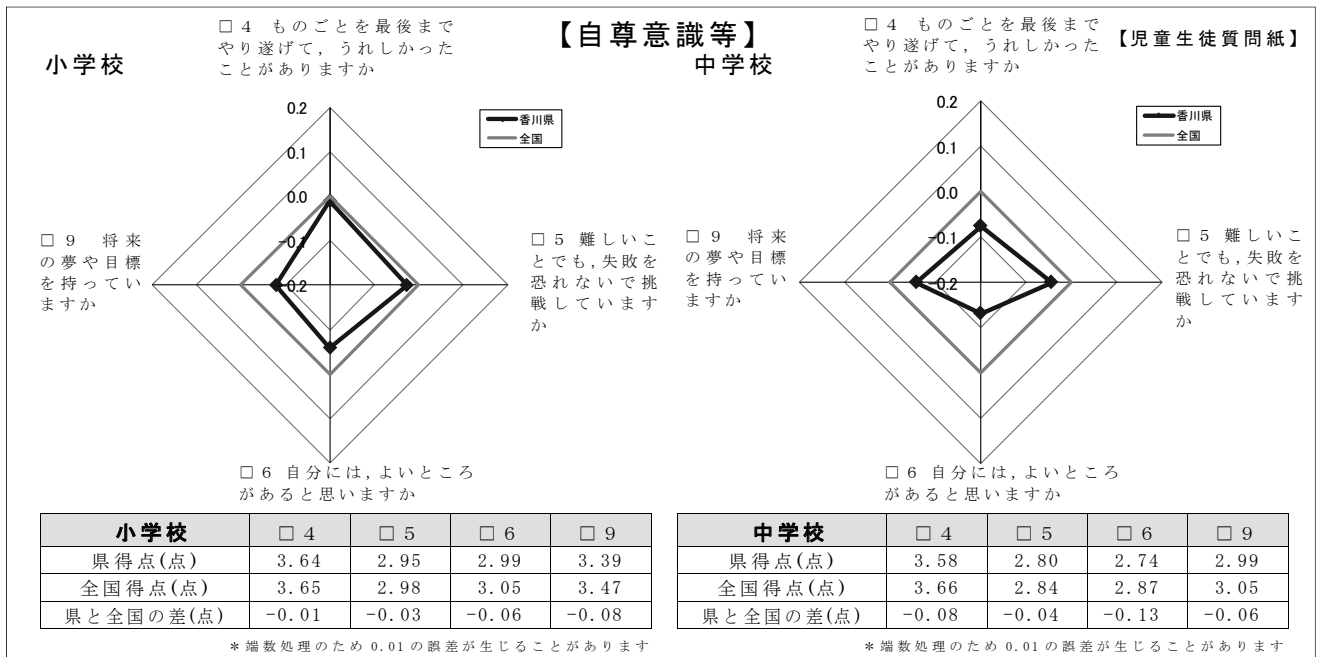
自尊心等

本県の課題とされている「自尊心等」にかかわる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、平均正答率との関係は見られましたか。

Answer

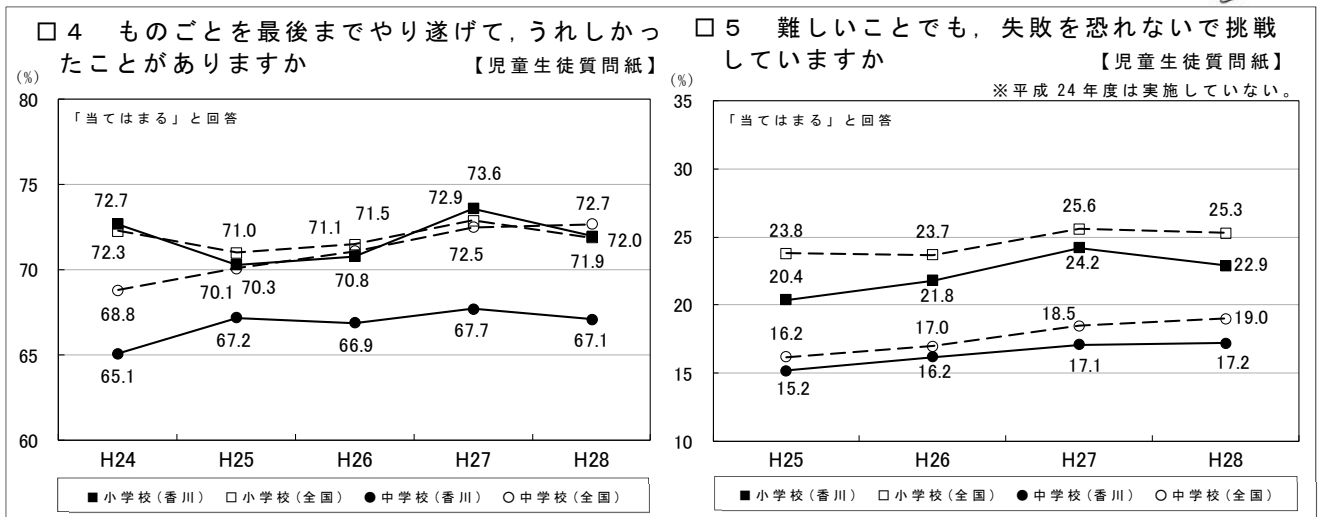
1. 自尊心等に関する4つの項目では、小・中学校ともに全ての項目において全国を下回っている。
2. 「☐6 自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校で 2.3 ポイント、中学校で 4.9 ポイント全国平均を下回っており、引き続き課題が見られる。
3. 「☐4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」の質問と平均正答率の関係をみると、肯定的に回答した児童生徒ほど平均正答率が高い。特に、小学校では、「当てはまる」と回答した児童の割合と「当てはまらない」と回答した児童の割合は、全ての調査区分で 15 ポイント以上の差がある。

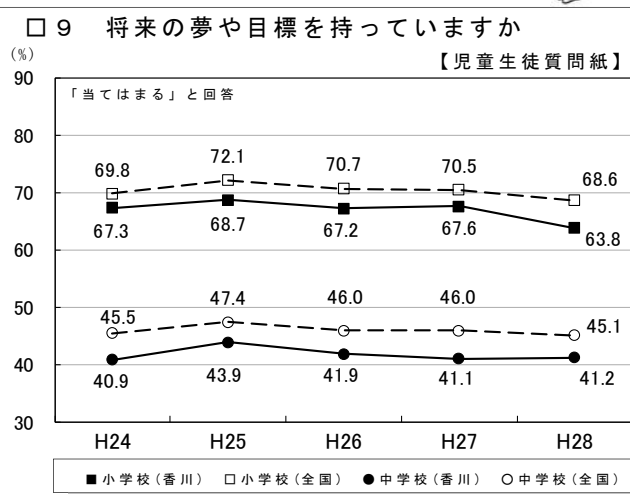
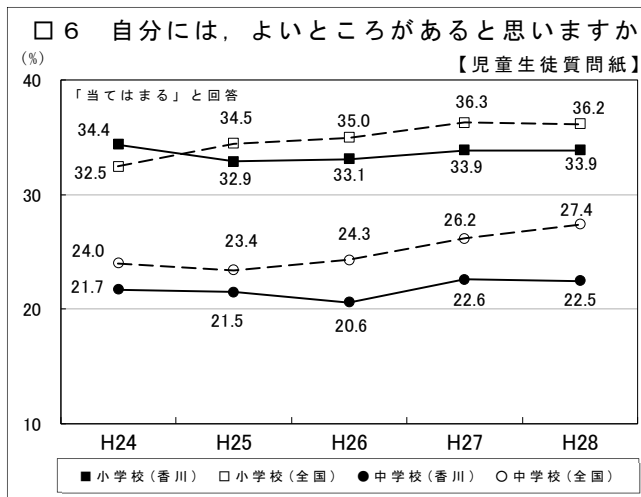
1 自尊心等に関する4つの項目



2 課題となる項目の推移

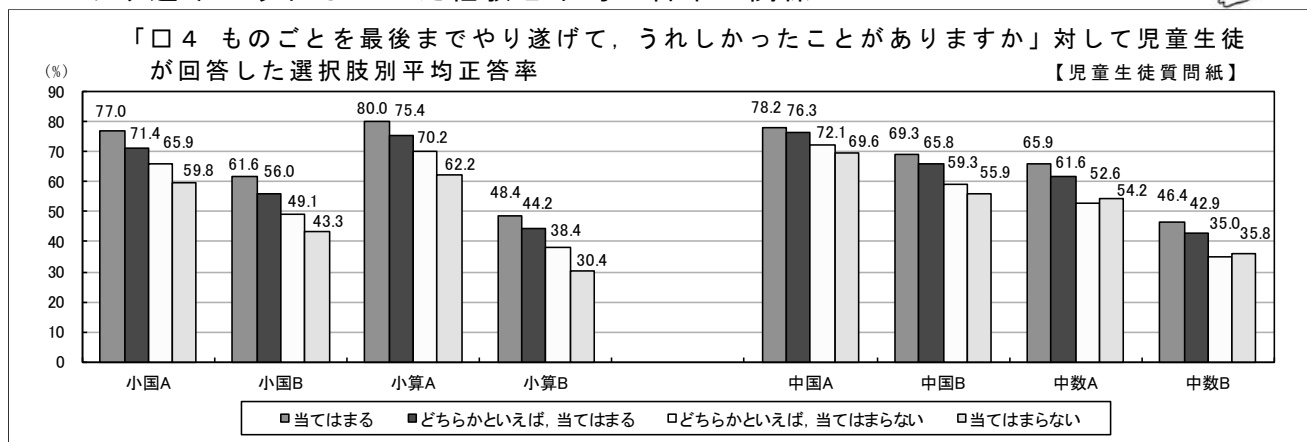
p. 98





3 やり遂げてうれしかった経験と平均正答率の関係

p 98



Column

◆児童生徒へどのような言葉かけをしていますか◆

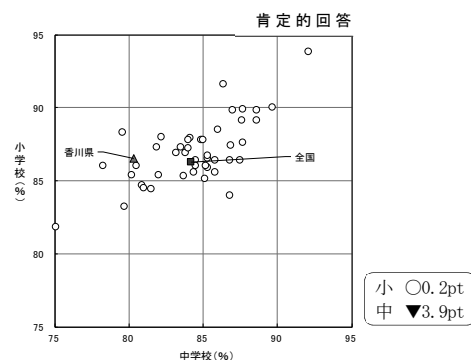
児童生徒は、その子なりのこだわりで、努力したり工夫したりしたことを「認められたい」と感じており、他者からの評価は自尊意識等を向上させる上で大きな影響を与えます。

自分によりよいところがあると感じていない児童生徒が3割前後(1クラス(30~40人)あたり10人程度)いることや、自分のよいところが認められていないと感じている児童生徒が1割程度(1クラス(30~40人)あたり3人程度)いることを意識し、児童生徒の取組の成果だけでなく、挑戦する意欲や取組の過程等も含めて、声かけをしていきましょう。

(参考)

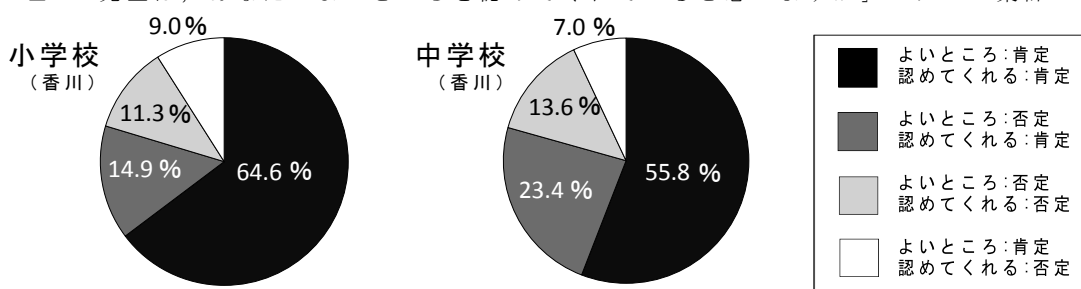
□ 31 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか

【児童生徒質問紙】



p 99, 103, 104

「□ 6 自分には、よいところがあると思いますか」と「□ 32 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」のクロス集計



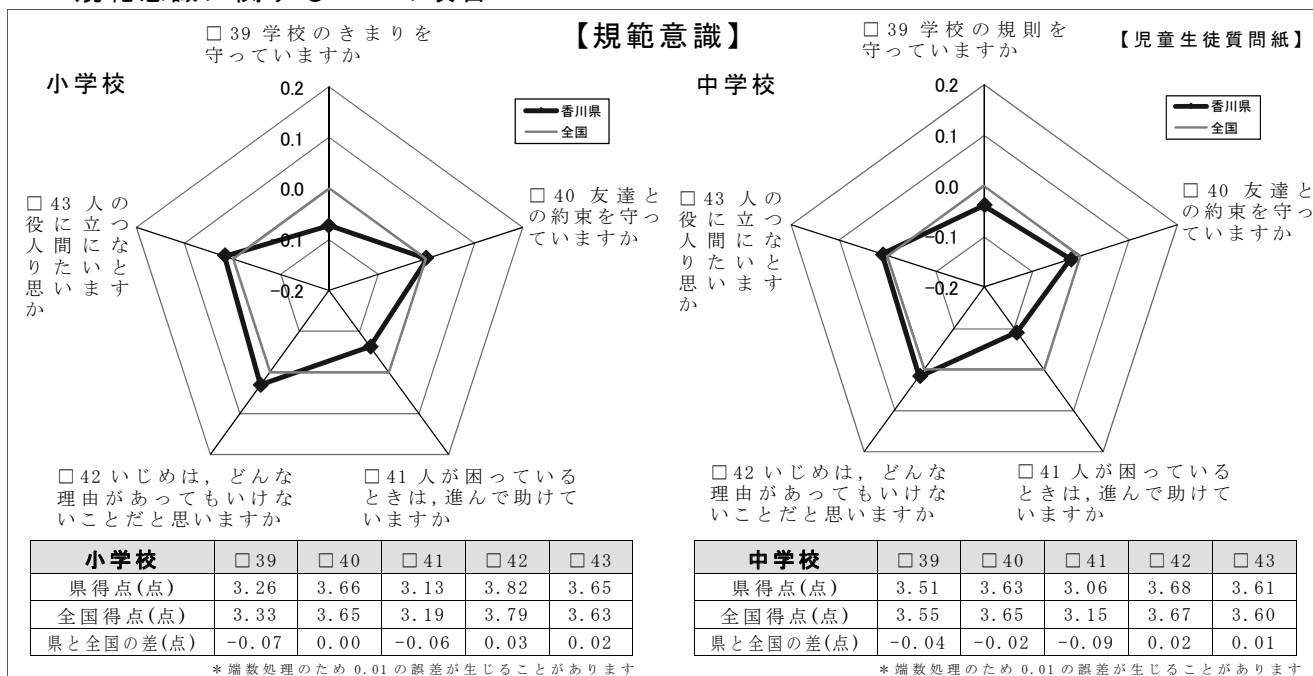
Question 5 規範意識

「規範意識」にかかわる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、どのような回答状況の変化が見られましたか。

Answer

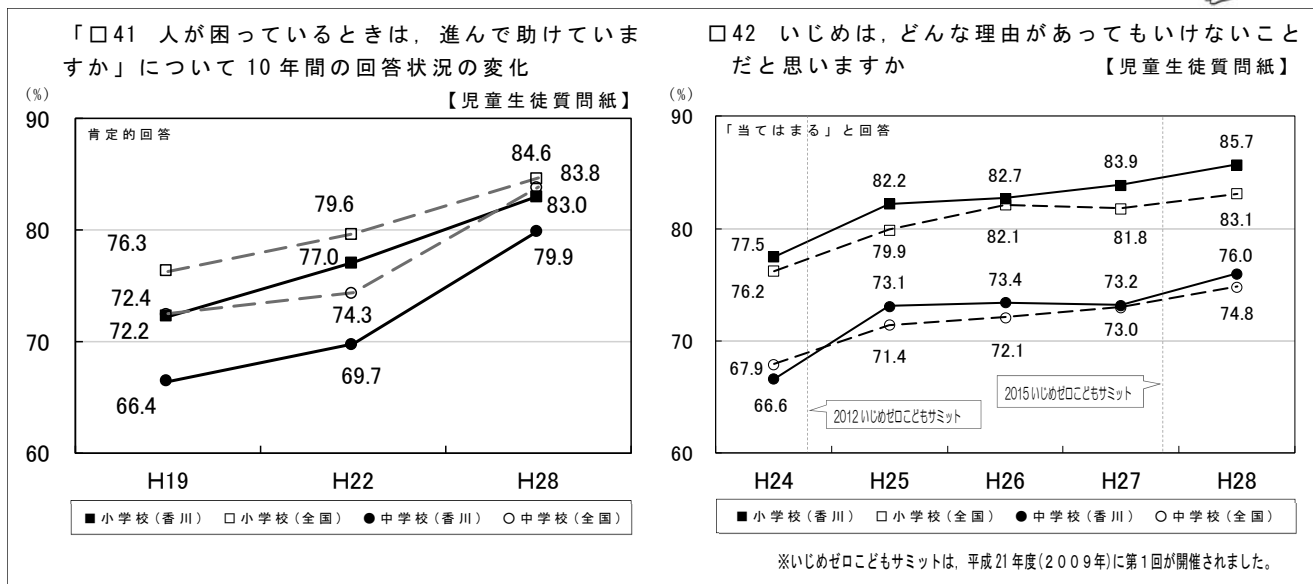
1. 「☐41 人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で 1.6 ポイント、中学校で 3.9 ポイント全国平均を下回っているが、調査開始以来小・中学校ともに、増加傾向が見られる。
2. 「☐42 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、昨年度に比べて小学校で 1.8 ポイント、中学校で 2.8 ポイント増加している。

1 規範意識に関する5つの項目



2 他の人とのかかわりに関することについて

p 105



Question 6

学校生活

「学校生活」にかかわる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、どのような回答状況の変化が見られましたか。

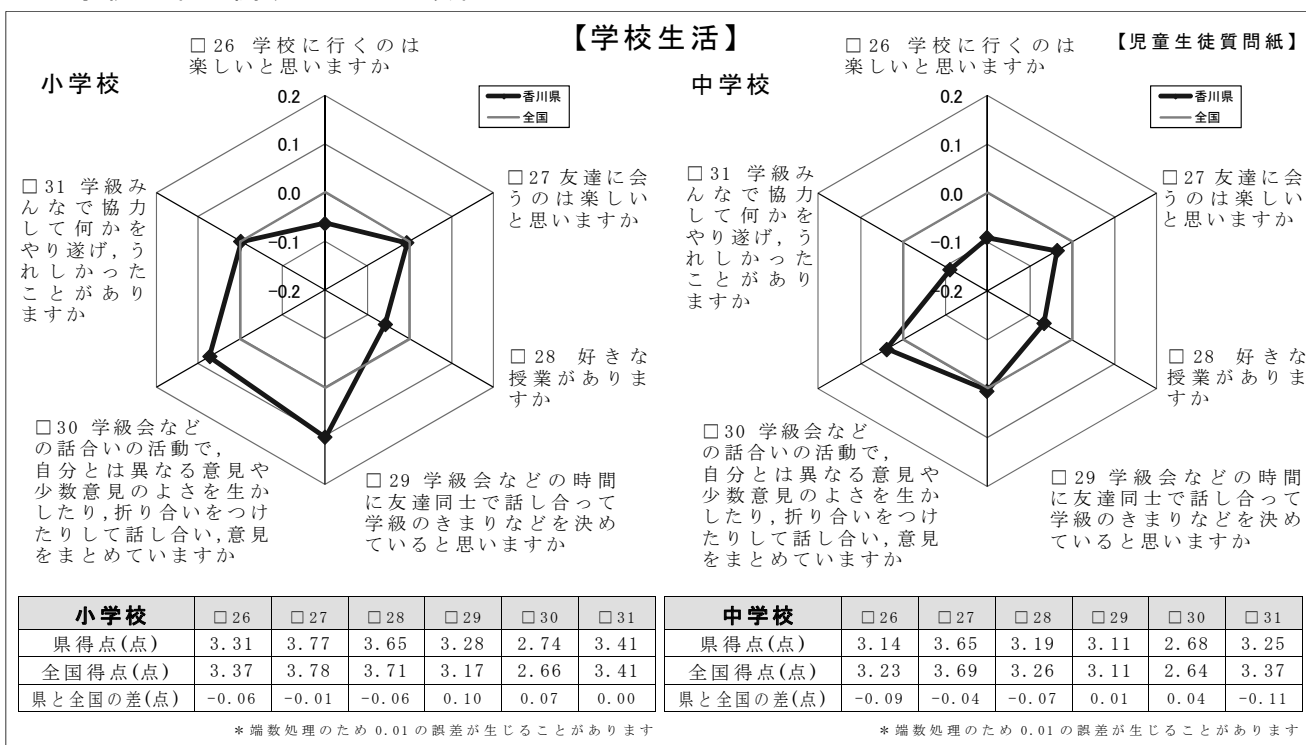
Answer

1. 学校生活に関する6つの項目では、小・中学校ともに「□26 学校に行くのは楽しいと思いますか」「□27 友達に会うのは楽しいと思いますか」「□28 好きな授業がありますか」の質問で課題が見られる。

2. 「□31 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」の質問に対して、「当てはまる」という回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して小学校で 3.0 ポイント、中学校で 3.0 ポイント増加している。

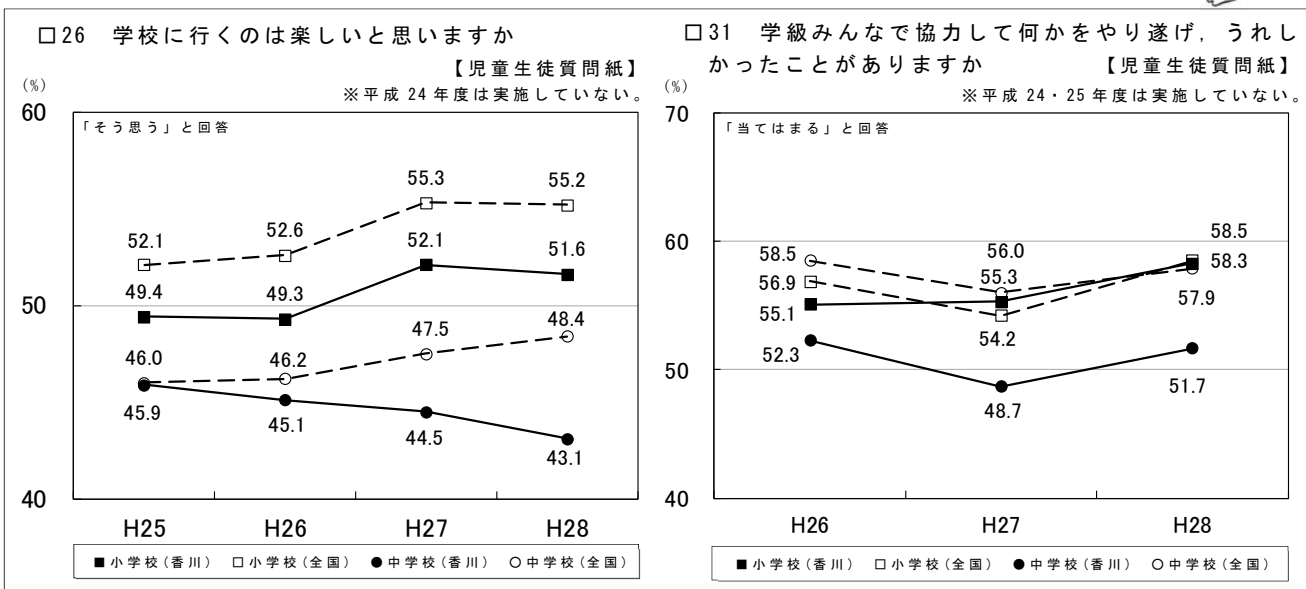
Ⅱ 概 論

1 学校生活に関する6つの項目



2 学校や学級に対する意識

p 103



Question 7 家庭学習

「家庭学習」にかかわる質問紙調査については、どのような結果になっていましたか。また、昨年度課題であった1日当たりの家庭での勉強時間は、どのような結果になっていましたか。

Answer

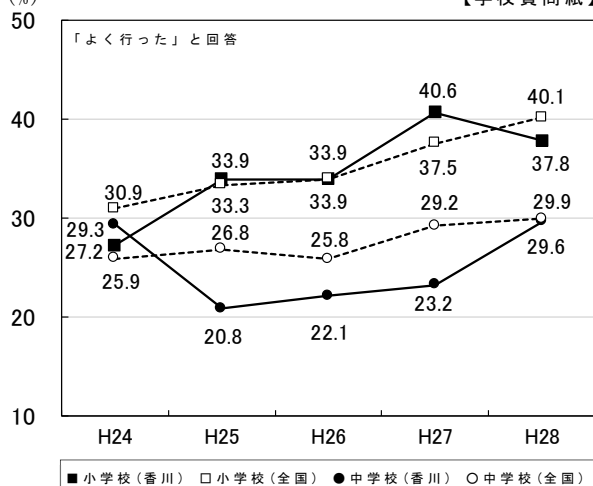
1. 「■99/97 家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか」の質問に対して、「よく行った」と回答している学校の割合は、中学校で昨年度より6.4ポイント増加している。
2. 「□21 家で、自分で計画を立てて勉強していますか」の質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国平均と比較して小学校で1.4ポイント上回り、中学校で1.7ポイント下回っている。
3. 「□14 普段(月～金曜日)、家庭での1日当たりの勉強時間」に関する質問において、勉強時間は小・中学校ともに1～2時間と回答した児童生徒の割合が多い。

1 家庭での学習方法等の指導



p 134

■99/97 調査対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか
(%) 【学校質問紙】

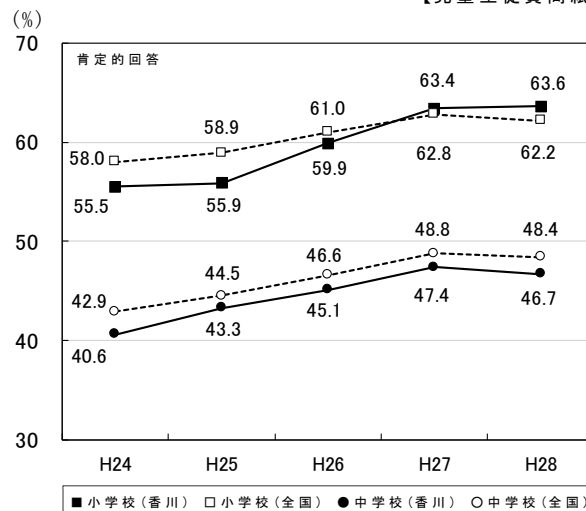


2 家庭での計画的な学習



p 102

□21 家で、自分で計画を立てて勉強していますか
(%) 【児童生徒質問紙】

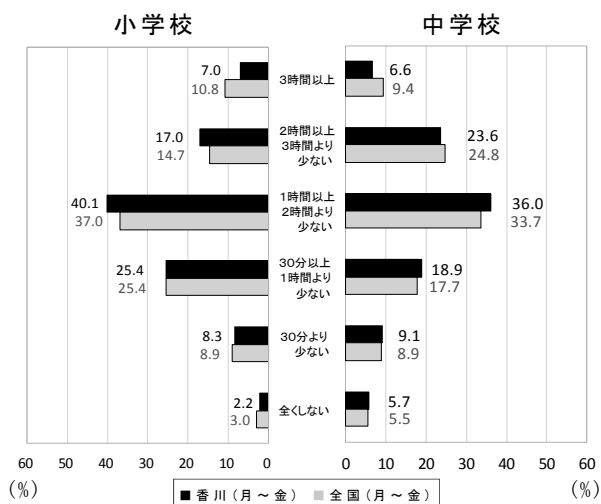


3 普段(月～金曜日)の家庭での1日当たりの勉強時間

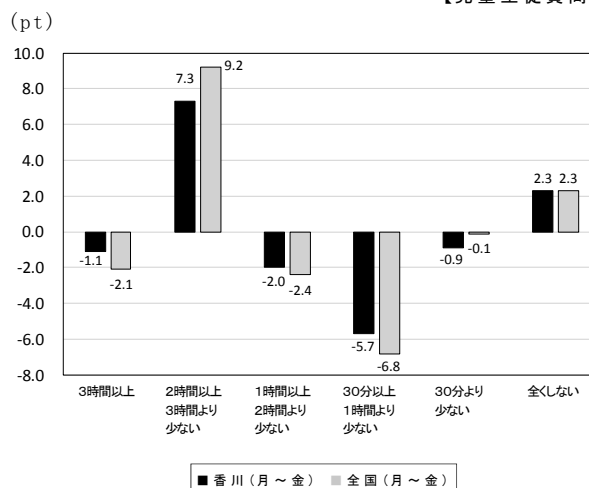


p 101

□14 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか
(%) 【児童生徒質問紙】



H25 小学校第6学年から、H28 中学校第3学年の1日当たりの勉強時間(月～金曜日)の回答状況の差
(pt) 【児童生徒質問紙】



Question 8

メディアの利用

昨年度、課題が見られた「メディアの利用」にかかわる質問紙調査については、今年度はどのような結果が見られましたか。また、どのような回答状況の変化が見られましたか。

Answer

1. 「□13 1日2時間以上携帯電話やスマートフォンをしている」と回答した児童生徒の割合は、小学校で0.5ポイント、中学校で1.5ポイント全国平均を下回っている。携帯電話やスマートフォンを持っていないと回答した児童生徒の割合は、年々減少している。
2. 1日当たり、携帯電話やスマートフォンで通話やメール等をする時間が長い児童生徒の方が、平均正答率が低い。

Ⅱ 概 論

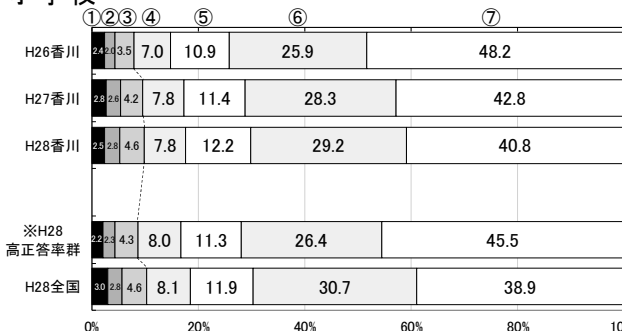
1 1日当たりの携帯電話やスマートフォンの使用時間の推移

p 100

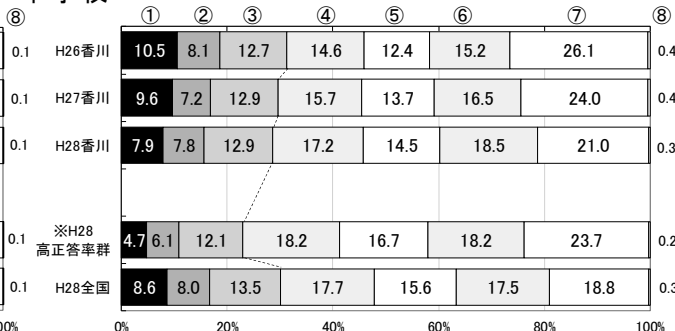
□13 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）（※H28 高正答率群：高正答率の5県の平均）

【児童生徒質問紙】

小学校



中学校

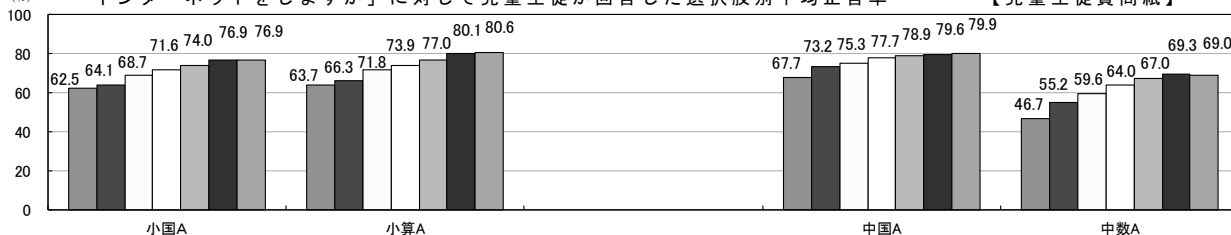


①4時間以上 ②3時間以上、4時間より少ない ③2時間以上、3時間より少ない ④1時間以上、2時間より少ない ⑤30分以上、1時間より少ない ⑥30分より少ない ⑦携帯電話やスマートフォンを持っていない ⑧その他・無回答

2 1日当たりの携帯電話やスマートフォンの使用時間と平均正答率の関係

p 100

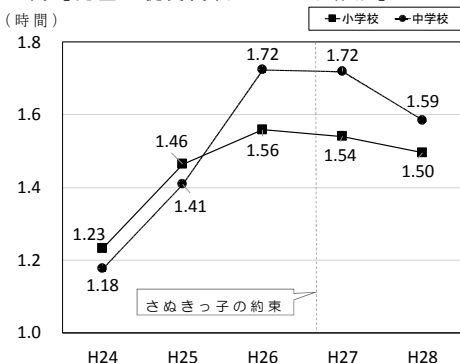
「□13 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率 【児童生徒質問紙】



■4時間以上 ■3時間以上、4時間より少ない ■2時間以上、3時間より少ない ■1時間以上、2時間より少ない ■30分以上、1時間より少ない ■30分より少ない ■携帯電話やスマートフォンを持っていない

3 1日当たりのテレビゲームの平均時間の推移

○テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする1日当たりの平均時間【児童生徒質問紙□12から作成】



※平均時間については、次の集計上の値で算出した。

質問紙の選択肢	集計上の値
4時間以上	4.5時間
3時間以上、4時間より少ない	3.5時間
2時間以上、3時間より少ない	2.5時間
1時間以上、2時間より少ない	1.5時間
1時間より少ない	0.5時間
全くしない	0時間

Column

◆さぬきっ子の約束◆

県教育委員会では、平成27年2月に、子どもたちのスマートフォンやゲーム機等の適正な使用に関する取組について、小中学生を対象とした県全体の共通ルール『さぬきっ子の約束』を策定しました。

「さぬきっ子の約束」

- ①家の人と決めた使用ルールを守ります。
- ②自分も他の人も傷つけない使い方をします。
- ③夜9時までには使用を止めます。

～特集 1～

カリキュラム・マネジメント

1. 「 $\blacksquare$ 30/30 横断的な視点」に関する質問では、小学校で 85.2%，中学校で 63.4%の学校が肯定的に回答しているが、小・中学校ともに全国平均を下回っている。
2. アクティブ・ラーニングの視点からの授業で期待される「学ぶことと社会とのつながりへの実感」に関する質問では、「 $\square$ 35 地域や社会の問題や出来事に関心がある」と肯定的に回答した児童生徒の割合が、小学校で 73.0%，中学校で 66.5%となり、増加傾向にある。

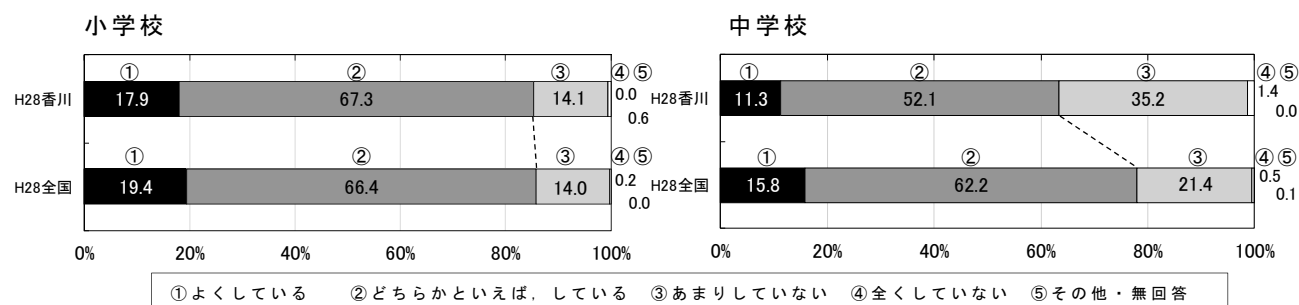
- 学習指導要領等改訂の方向性として、各学校が設定する教育目標を実現するために、児童生徒の姿や地域の実状等を踏まえ、学習指導要領等に基づき、教育課程を編成・実施・評価・改善していく「カリキュラム・マネジメント」の確立が求められています。（参考：「アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ」Leaf.5 より）

1 カリキュラム・マネジメントの 3 つの側面

 p 123, 124

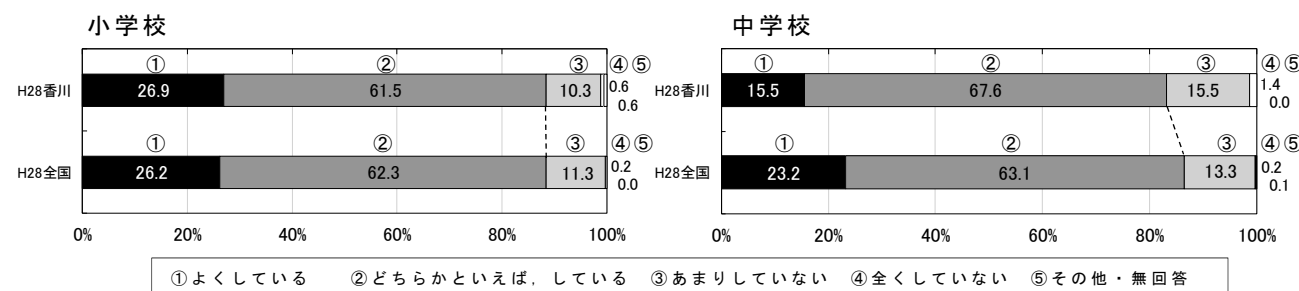
【教科等横断的な視点で内容を組織的に配列した指導計画】

■30/30 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか 【学校質問紙】



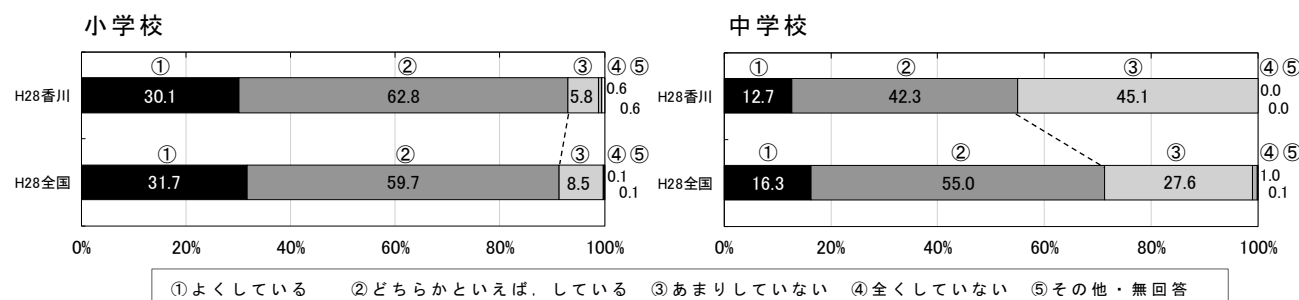
【PDCAサイクルの確立】

■33/33 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか 【学校質問紙】



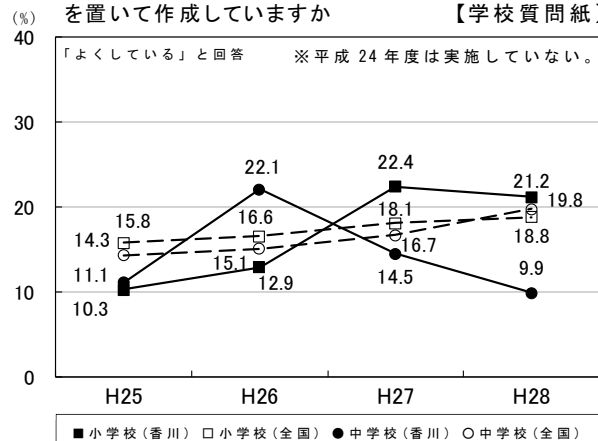
【人的・物的資源等の活用】

■34/34 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか 【学校質問紙】

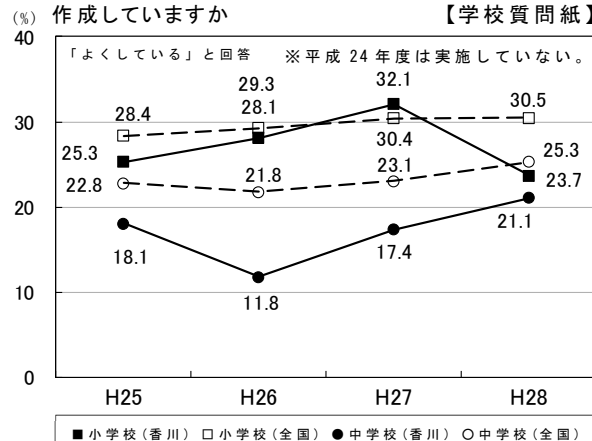


2 指導計画の作成

■28/28 指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか 【学校質問紙】

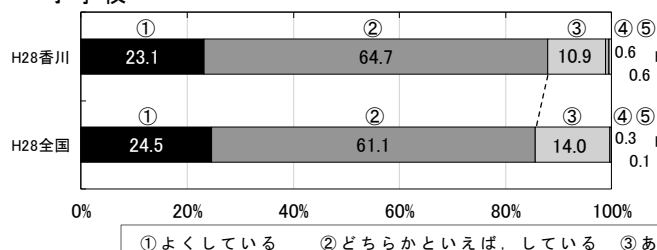


■29/29 指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか 【学校質問紙】



■31/31 教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか 【学校質問紙】

小学校

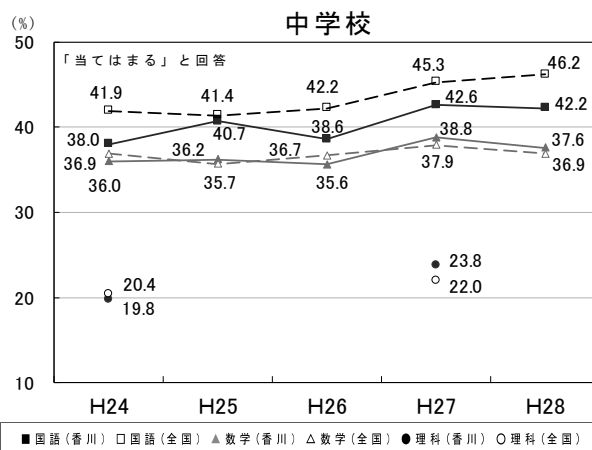
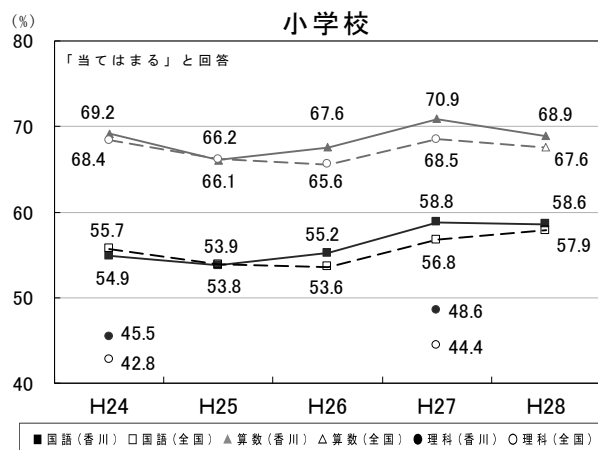


中学校

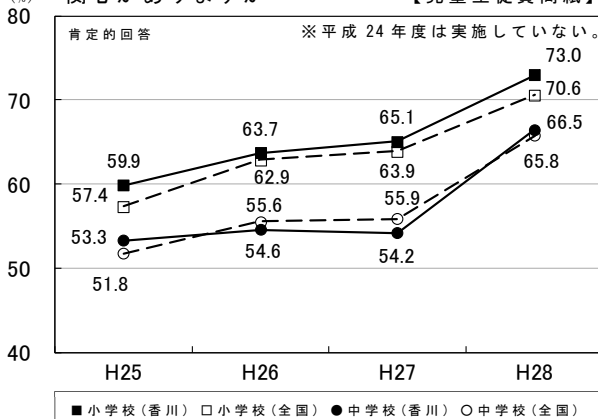


3 児童生徒の「学ぶことと社会とのつながりへの実感」に対する意識

□65・77 ○○の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか 【児童生徒質問紙】



□35 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか 【児童生徒質問紙】



Column

◆授業改善からの カリキュラム・マネジメント◆

アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた不断の授業改善は、一単位時間だけのものではなく、単元や題材のまとめ、さらに年間の指導計画を見据えた見直しへと広がります。これは、学校全体がチームとなり取り組むことであり、全教職員が自校のカリキュラムをマネジメントする意識の形成につながります。

また、授業を通して児童生徒に育まれた主体的な態度は、日常的な学級や学校づくりに参画する意識へと広がります。児童生徒が学級や学校文化の創造に関与することは、カリキュラム・マネジメントといえるでしょう。

～特集2～

アクティブ・ラーニング

1. アクティブ・ラーニングによる授業に関する質問項目を見ると、小・中学校ともに「□58 考えを説明したり書いたりすることは難しい」と回答している児童生徒の割合が、全国平均よりも上回っており、課題が見られる。

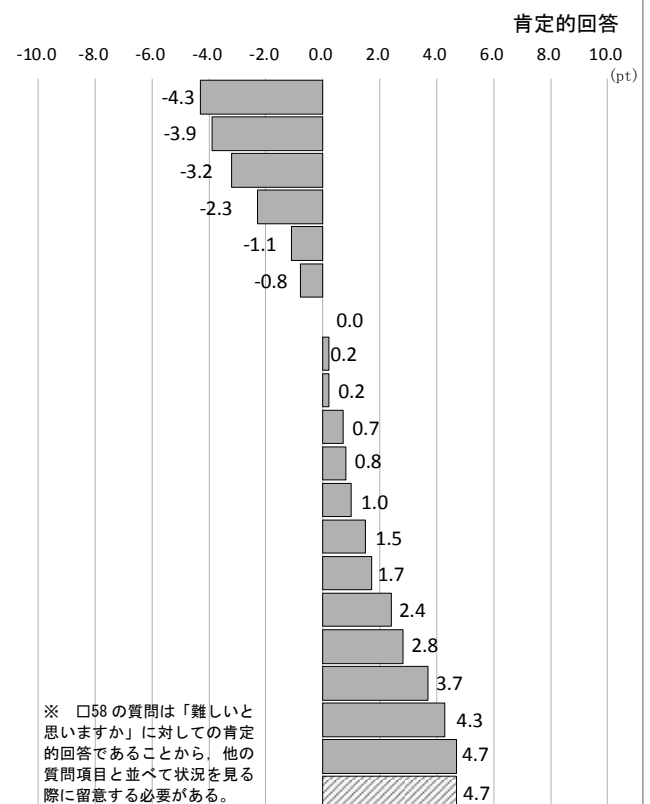
2. 国語、算数・数学の授業に関する質問項目をみると、中学校数学において、肯定的な回答をした生徒の割合の全国との差が年々縮まり、上昇傾向が見られる。

- 次期学習指導要領では、児童生徒の学びへの積極的な関与と深い理解を促すような指導や学習環境を設定することにより、学びの質を高めていくことを重要視しています。そのためにアクティブ・ラーニングの視点として、「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められています。

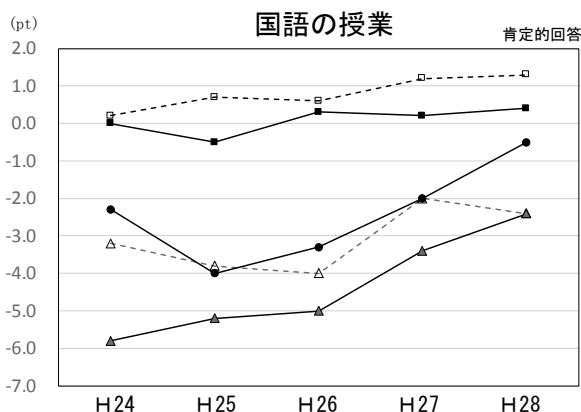
《小学校》アクティブ・ラーニングによる授業に関する主な質問項目

① 香川県平均と全国平均の差

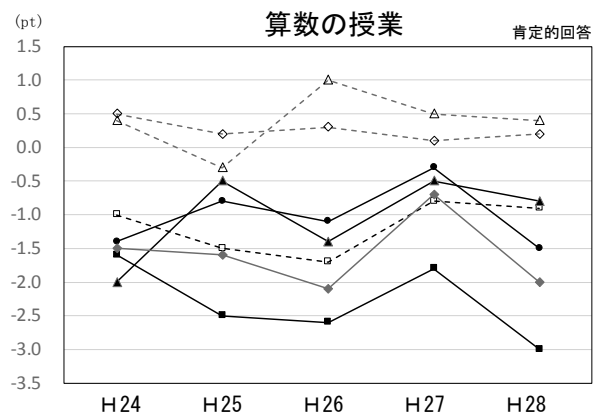
番号	質問項目【児童質問紙】
7	友達の前での発表は得意
47	課題に対して自ら考え取り組む
52	伝わるように工夫して発表する
51	相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝える
8	友達の話や意見を最後まで聞く
49	話し合う活動をよく行った
48	発表する機会が与えられた
31	学級みんなでやり遂げ、うれしかったことがある
46	探究的な学習への取組(総合的な学習の時間)
59	話し合いで考えを深めたり、広げたりしている
53	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示される
50	課題を立てて解決に向けて話し合う
54	授業の最後に学習内容を振り返る
45	将来、社会に出たときに役に立つ(総合的な学習の時間)
35	地域の出来事への関心
56	道徳で考えを深め、話し合う
29	話し合って学級のきまりを決める
30	学級会で話し合い、意見をまとめる
55	ノートに目標とまとめを書く
58	考えを説明したり書いたりすることは難しい ※



② 香川県平均と全国平均の差の推移〔国語・算数の授業に関する質問項目〕【児童質問紙】



■65 将来、社会に出たときに役に立つ
▲67 うまく伝わるように話の組み立てを工夫する
●69 まとまりごとに内容を理解しながら読む
□66 目的に応じて読み、考えを話したり書いたり
△68 考えの理由が分かるように書く

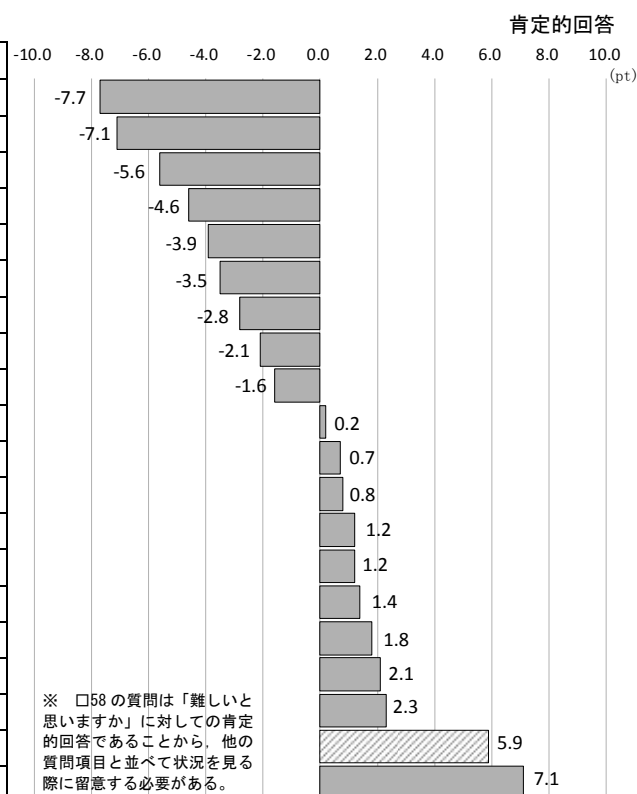


■74 新しい問題を解いてみたい
▲76 普段の生活の中で活用できないか考える
●78 もっと簡単に解く方法がないか考える
□75 諦めずにいろいろな方法で考える
△77 将来、社会に出たときに役に立つ
◇79 公式やきまりのわけを理解するようにする
◇80 解き方や考え方が分かるようにノートを書く

《中学校》アクティブ・ラーニングによる授業に関する主な質問項目

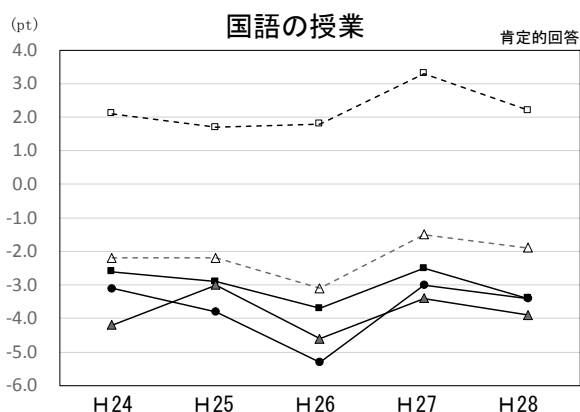
① 香川県平均と全国平均の差

番号	質問項目【生徒質問紙】
46	探究的な学習への取組(総合的な学習の時間)
7	友達の前での発表は得意
47	課題に対して自ら考え取り組む
52	伝わるように工夫して発表する
31	学級みんなでやり遂げ、うれしかったことがある
50	課題を立てて解決に向けて話し合う
51	相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝える
8	友達の話や意見を最後まで聞く
49	話し合う活動をよく行った
29	話し合って学級のきまりを決める
35	地域の出来事への関心
48	発表する機会が与えられた
45	将来、社会に出たときに役に立つ(総合的な学習の時間)
59	話し合いで考えを深めたり、広げたりしている
56	道徳で考えを深め、話し合う
54	授業の最後に学習内容を振り返る
53	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示される
30	学級会で話し合い、意見をまとめる
58	考えを説明したり書いたりすることは難しい ※
55	ノートに目標とまとめを書く

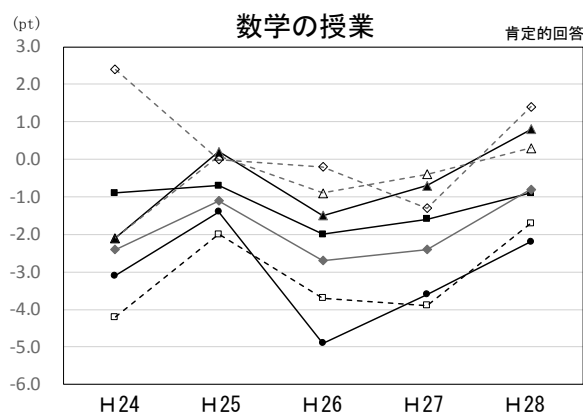


Ⅱ 概 論

② 香川県平均と全国平均の差の推移〔国語・数学の授業に関する質問項目〕 【生徒質問紙】



■ 65 将来、社会に出たときに役に立つ □ 66 目的に応じて読み、考えを話したり書いたり
 ▲ 67 うまく伝わるように話の組み立てを工夫する △ 68 考えの理由が分かるように書く
 ● 69 まとまりごとに内容を理解しながら読む



■ 74 数学ができるようになりたい □ 75 諦めずにいろいろな方法で考える
 ▲ 76 普段の生活の中で活用できないか考える △ 77 将来、社会に出たときに役に立つ
 ● 78 もっと簡単に解く方法がないか考える ◆ 79 公式やきまりの根拠を理解するようにする
 ◇ 80 解き方や考え方が分かるようにノートを書く

○授業の中で分からないときの状況

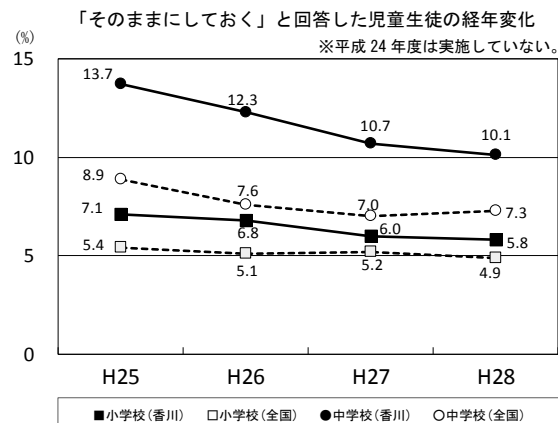
p 108

□60 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか 【児童生徒質問紙】

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
小学校								
H28香川	13.3	7.8	35.6	20.9	4.9	11.2	5.8	0.6
H28全国	15.2	9.8	31.7	21.5	4.2	11.8	4.9	0.9
中学校								
H28香川	8.1	11.5	29.8	6.1	18.6	12.7	10.1	3.0
H28全国	9.2	10.4	34.9	5.7	15.7	13.2	7.3	3.4

0% 20% 40% 60% 80% 100%

①その場で先生 ②授業後、先生 ③友達 ④家の人
 ⑤塾などの先生 ⑥自分で調べる ⑦そのまま ⑧その他・無回答



平成27年度アクティブ・ラーニング研究推進モデル校の取組

平成27年度は、県内4校がアクティブ・ラーニングによる授業について研究を進めました。アクティブ・ラーニングに関する質問紙調査で課題となる項目について、各学校の取組を紹介します。

(義務教育課 Web サイト：平成27年度アクティブ・ラーニング研究推進モデル校事業報告書より)

※ **AL Leaf 3-3** について：AL Leaf は県教育センターリーフレット「アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ」を示す。また、(3-3) は、Leaf. 3 の3ページ目を示す。

○「□49 学級の友達と（生徒）の間に **話し合う活動** をよく行っていたと思いますか」に関する取組例

＜観音寺市立観音寺中学校＞

○各教科等の学習場面で、統一したカードの利用により、**学習の見通しがもてる**

AL Leaf 3-3

○生徒自身が疑問をもてるように**課題との出合わせ方を工夫し、課題意識の明確化を図る**

AL Leaf 4-2

〈全教師で最初に統一して実践したこと〉

始めに全体で統一したことは、色分けした「学習課題」「交流」「まとめ」の3つのカードを授業で必ず使用することだった。多くの学校ですでに実践していることだと思うが、本校では、まず1つのことを教科に関係なく揃えてやっていくことを大切にしていた。

そして、学習課題は、「○○○しよう。」ではなく、「○○○は、△△△だろうか。」という疑問を投げかける書き方にするので、生徒が疑問を持ち、課題解決に向かおうとする意欲を高めようとした。



数学の授業における3つのカードの活用



道徳の授業における3つのカードの活用

○ 学び方の振り返りで交流を価値付ける。

〈実践の様子〉

自分の考えを伝える自由なペア活動（1年生生活科）



児童がアドバイスし合いながら高め合うグループ活動（3年国語科）

わたしは、こんなひみつを見つけたよ。○○さんの見つけたひみつは初めて知ったよ。

リーダーがアドバイスをするグループ活動（5年家庭科）



「少し怒った」と書く。

どこから片付ければいいのかの。

このプリントは、もう使わないから家に持って帰った方がいいよ。



そのときのおじいさんの気持ちが分かる言葉を書くと、よく分かるよ。

＜坂出市立坂出小学校＞

AL Leaf 2-2

○児童の必要感にもとづき、話し合う**目的や内容に応じた小集団の設定をする**（ペア→グループ→全体）

○新たな気づきを生み、**友達と交流するよさを実感する場を設定する**

AL Leaf 2-2

○「□60 **分からないところは友達に聞く**」ができていますか」に関する取組例

＜高松市立協和中学校＞

AL Leaf 2-2

○「**学びのルール**」の共有、**ボードなどのコミュニケーションツールの活用**で、教師は生徒同士の「**学び合う関係性**」を促す

○コの字型の座席配置を日常化し、小グループ活動を全ての教科で取り組む等、**教職員間での共通実践を行う**

AL Leaf 3-3

生徒と生徒をつなぐ言葉（公開研究協議より）

○ ペア学習における「つなぐ言葉」

「何を考えるか隣を確認してみよう」
「わからないときは隣に聞くのだよ」
「自分の考えを隣に伝えて」等
(すぐに教えない、なかまに尋ねるよう促す)

○ グループ学習における「つなぐ言葉」

「もっとくわしく」「ていねいに」
「ゆっくり、もう一度・・・」
(うなずく、繰り返す、受け止める)
「なぜそう考えたの?」「どこからそう考えたの?」
「それについてどう思うの?」等(考えを聞く)



○「□59 学級の友達と（生徒）の間に話し合う活動を通じて、**自分の考えを深めたり、広げたり**」ができていますか」に関する取組例

ボードを活用して、ともに考え合う



2年算数科「かけ算1」
全体交流で、2の段の九九の作り方を数名の児童が操作しながら説明した。試行を重ね考えを深めた。



1年生生活科「いきものとなかよし」
縦型移動式ボードに、自分の課題を貼り、そのことについて、同じ課題をもつ児童が集まり話し合い解決をめざした。



4年算数科「何倍でしょう」
ペアで考えたことを小ボードに書き説明する。

＜高松市立牟礼小学校＞

○考えを伝え合うためのボードやワークシートを利用して、**思考の過程を可視化する場を設定する**

AL Leaf 4-3

○話し合う活動では、他者の考えを引き出し、**双方向型の学び合いを生む「問い返し」を重ねる**

AL Leaf 3-2

Ⅲ 教科に関する調査結果及び分析

1 小学校 国語 <調査区分の分析・検証>

概 要

- 国語Aについて、県と全国平均正答率の比較（+2.1ポイント）等から、全国平均より上回っている。
- 国語Bについて、県と全国平均正答率の比較（+1.7ポイント）等から、全国平均より上回っている。

■平成 28 年度調査結果の集計値

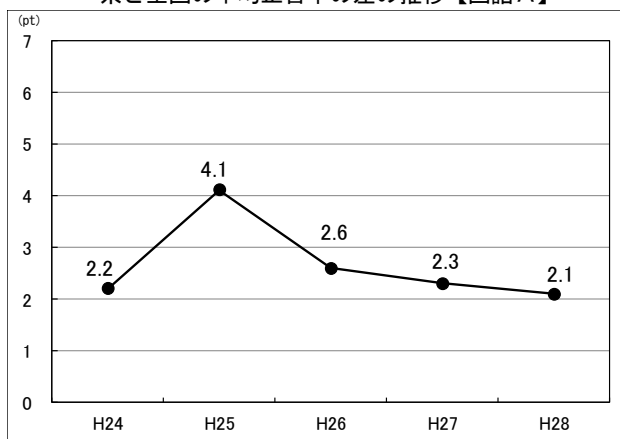
小学校国語 A	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,540	156	11.2 / 15	75.0	2.1
全国(公立)	1,021,905	19,335	10.9 / 15	72.9	
小学校国語 B	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,540	156	5.9 / 10	59.5	1.7
全国(公立)	1,021,635	19,333	5.8 / 10	57.8	

■平成 24 年度～平成 28 年度の県と全国の調査結果

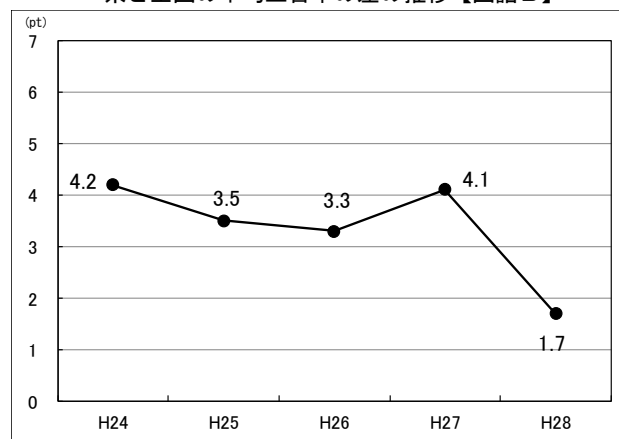
※H24 年度は抽出調査

小学校国語 A	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)平均正答率 (%)	83.8	66.8	75.5	72.3	75.0
全国(公立)平均正答率 (%)	81.6	62.7	72.9	70.0	72.9
県と全国との差 (pt)	2.2	4.1	2.6	2.3	2.1
小学校国語 B	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)平均正答率 (%)	59.8	52.9	58.8	69.5	59.5
全国(公立)平均正答率 (%)	55.6	49.4	55.5	65.4	57.8
県と全国との差 (pt)	4.2	3.5	3.3	4.1	1.7

県と全国平均正答率の差の推移【国語 A】



県と全国平均正答率の差の推移【国語 B】



■平成 28 年度領域等別調査結果

学習指導要領の領域等	国語 A				国語 B			
	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項
県（公立）平均正答率（％）	79.2	73.6	78.7	74.1	55.0	55.0	69.5	
全国（公立）平均正答率（％）	79.2	72.8	78.5	71.1	51.1	53.4	69.3	
県と全国との差（pt）	0.0	0.8	0.2	3.0	3.9	1.6	0.2	

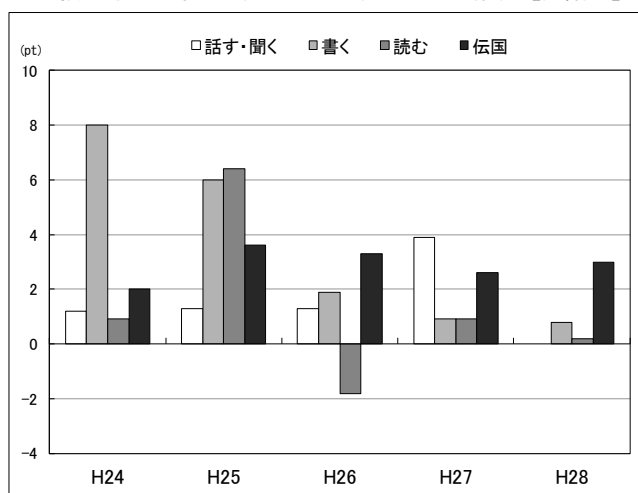
■平成 24 年度～平成 28 年度の領域等別調査結果

※H24 年度は抽出調査

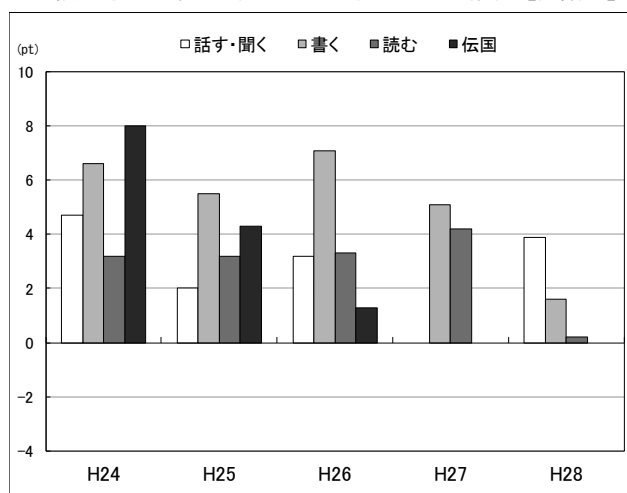
国語 A	年度		H24	H25	H26	H27	H28
	話すこと・ 聞くこと	県（公立）（％）	80.6	48.7	73.7	56.9	79.2
		全国（公立）（％）	79.4	43.2	72.4	53.0	79.2
		差（pt）	1.2	5.5	1.3	3.9	0.0
	書くこと	県（公立）（％）	65.5	59.0	74.1	86.9	73.6
		全国（公立）（％）	57.5	53.0	72.2	86.0	72.8
		差（pt）	8.0	6.0	1.9	0.9	0.8
	読むこと	県（公立）（％）	83.0	66.5	66.7	56.1	78.7
		全国（公立）（％）	82.1	60.1	68.5	55.2	78.5
		差（pt）	0.9	6.4	▲1.8	0.9	0.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県（公立）（％）	88.3	66.2	77.0	79.8	74.1
		全国（公立）（％）	86.3	62.6	73.7	77.2	71.1
		差（pt）	2.0	3.6	3.3	2.6	3.0

国語 B	年度		H24	H25	H26	H27	H28
	話すこと・ 聞くこと	県（公立）（％）	67.7	66.8	54.4		55.0
		全国（公立）（％）	63.0	64.8	51.2		51.1
		差（pt）	4.7	2.0	3.2		3.9
	書くこと	県（公立）（％）	53.4	49.3	41.5	66.2	55.0
		全国（公立）（％）	46.8	43.8	34.4	61.1	53.4
		差（pt）	6.6	5.5	7.1	5.1	1.6
	読むこと	県（公立）（％）	58.9	51.1	60.6	72.3	69.5
		全国（公立）（％）	55.7	47.9	57.3	68.1	69.3
		差（pt）	3.2	3.2	3.3	4.2	0.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県（公立）（％）	63.2	68.1	71.1		
		全国（公立）（％）	55.2	63.8	69.8		
		差（pt）	8.0	4.3	1.3		

領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 A】



領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 B】



設問別調査結果【国語A】

平成28年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

設問別調査結果【国語A：主として知識】

香川県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象児童数	香川県（公立）	全国（公立）
	156	19,335		8,540	1,021,905

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		香川県-全国
			香川県（公立）	全国（公立）	
学習指導要領の領域等	全体	15	75.0	72.9	2.1
	話すこと・聞くこと	1	79.2	79.2	0.0
	書くこと	2	73.6	72.8	0.8
	読むこと	2	78.7	78.5	0.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	74.1	71.1	3.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	1	79.2	79.2	0.0
	書く能力	2	73.6	72.8	0.8
	読む能力	2	78.7	78.5	0.2
	言語についての知識・理解・技能	10	74.1	71.1	3.0
問題形式	選択式	6	77.8	77.2	0.6
	短答式	9	73.1	70.0	3.1
	記述式	0			

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川県-全国	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	香川県 公立	全国 公立	香川県 公立	全国 公立	正答率(%)
1-1	漢字を読む (今日は全国的に快晴だ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む			5-6 (1)ウ (ア)					○	○			78.0	79.3	3.8	5.2	-1.3	-1.4
1-2	漢字を読む (お年玉を貯金する)				5-6 (1)ウ (ア)					○	○			98.2	98.5	0.3	0.3	-0.3	0.0
1-3	漢字を読む (むたを蚤くようにする)				5-6 (1)ウ (ア)					○	○			85.1	81.0	2.7	5.0	4.1	-2.3
1-1	漢字を書く (アサガオのたねをまく)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く			5-6 (1)ウ (ア)					○	○			89.1	87.5	3.0	4.5	1.6	-1.5
1-2	漢字を書く (上したい友人と出かける)				5-6 (1)ウ (ア)					○	○			78.1	73.8	5.8	10.4	4.3	-4.6
1-3	漢字を書く (先生にそうだんする)				5-6 (1)ウ (ア)					○	○			70.7	64.2	3.0	5.0	6.5	-2.0
2	全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う	5-6 ア					○			○			79.2	79.2	0.1	0.2	0.0	-0.1
3	ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する	書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する		5-6 カ				○			○			69.3	67.4	0.1	0.2	1.9	-0.1
4	委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、書く事柄を整理する		5-6 ア				○			○			77.9	78.2	0.2	0.3	-0.3	-0.1
5	公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する	目的に応じて、図と表とを関係付けて読む			5-6 ウ					○	○			93.3	93.1	0.2	0.3	0.2	-0.1
6	『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する	登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える			3-4 ウ					○	○			64.2	63.9	0.9	1.4	0.3	-0.5
7アイ	毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する(永久)	用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める			5-6 (2)ア					○	○			82.9	81.2	0.7	0.9	1.7	-0.2
8-1	ローマ字を書く (りんご)	ローマ字で表記されたものを正しく読む			3-4 (1)ウ (ア)					○	○			56.1	53.2	8.6	11.9	2.9	-3.3
8-2	ローマ字を書く (あさって)				3-4 (1)ウ (ア)					○	○			46.4	41.8	8.5	13.7	4.6	-5.2
8-3	ローマ字を読む (h y a k u)				3-4 (1)ウ (ア)					○	○			56.1	50.7	12.6	20.0	5.4	-7.4

設問別調査結果【国語B】

平成28年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

設問別調査結果【国語B：主として活用】

香川県一児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象児童数	香川県（公立）	全国（公立）	
	156	19,333		8,540	1,021,635	
分類	区分		対象設問数 (問)	平均正答率(%)		香川県-全国
				香川県（公立）	全国（公立）	
学習指導要領の領域等	全体		10	59.5	57.8	1.7
	話すこと・聞くこと		3	55.0	51.1	3.9
	書くこと		6	55.0	53.4	1.6
	読むこと		3	69.5	69.3	0.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度		4	57.0	54.7	2.3
	話す・聞く能力		3	55.0	51.1	3.9
	書く能力		6	55.0	53.4	1.6
	読む能力		3	69.5	69.3	0.2
	言語についての知識・理解・技能		0			
問題形式	選択式		6	61.1	59.9	1.2
	短答式		0			
	記述式		4	57.0	54.7	2.3

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（％）		無解答率（％）		香川県-全国		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）	正答率（％）	無解答率（％）
1一	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する	目的に応じて、質問したいことを整理する	5・6 エ					○				○			55.4	51.8	0.2	0.3	3.6	-0.1
1二	スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	5・6 エ					○				○			54.3	51.1	0.4	0.5	3.2	-0.1
1三	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する	5・6 エ	5・6 ツ			○	○	○			○			55.2	50.4	4.5	7.8	4.8	-3.3
2一	「早ね早起き」活動の成果について、〈図1〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する	グラフを基に、分かったことを的確に書く	5・6 エ						○			○			44.6	43.4	1.0	1.2	1.2	-0.2
2二（1）	「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く	5・6 エ				○	○					○		54.6	51.4	4.0	6.7	3.2	-2.7
2二（2）	「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く	5・6 エ				○	○					○		65.1	64.2	4.6	7.7	0.9	-3.1
2三	「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する	活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える	5・6 イ						○				○		57.0	58.3	3.7	4.2	-1.3	-0.5
3一	「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む		5・6 カ						○		○			77.9	77.2	2.3	2.9	0.7	-0.6
3二	「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する		5・6 イ						○		○			77.6	77.9	2.7	3.4	-0.3	-0.7
3三	「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく	5・6 ウ	5・6 ウ			○	○	○				○		53.1	52.9	7.8	11.5	0.2	-3.7

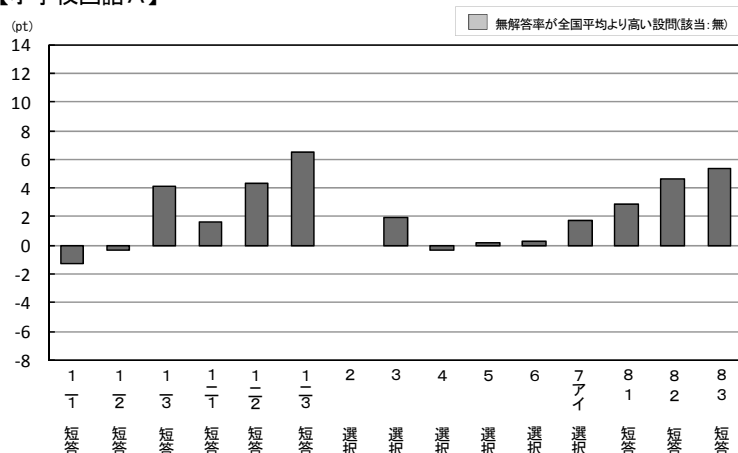
調査結果に特徴のうかがえる設問

- 小学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、25問中9問（36.0%）であった。
- 小学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、ない。
- 小学校国語の調査において、正答率が50%以下であった設問は、25問中2問（8.0%）であった。

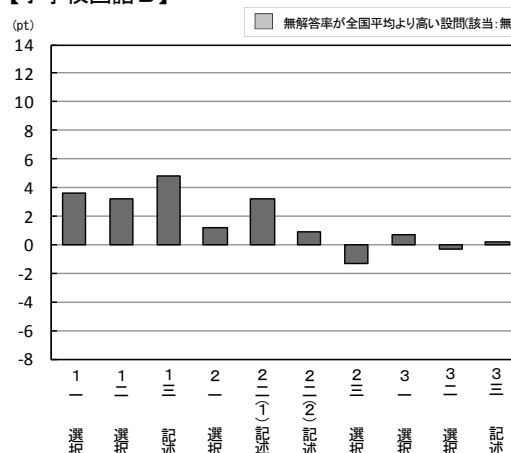
設問別の県と全国の正答率の差

【領域等】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 伝説的な言語文化と国語の特質に関する事項	：話す ：書く ：読む ：伝説	国語への関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能
		：関心 ：話す ：書く ：読む ：言語
		選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

【小学校国語A】



【小学校国語B】



正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【小学校国語A】（全15問中5問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1-1-3	漢字を読む (むだを <u>省</u> くようにする)	伝説	言語	短答	85.1	2.7	4.1
1-2-2	漢字を書く (したい友人と出かける)	伝説	言語	短答	78.1	5.8	4.3
1-2-3	漢字を書く (先生に <u>そう</u> だ <u>ん</u> する)	伝説	言語	短答	70.7	3.0	6.5
8-2	ローマ字を書く (あさ <u>つ</u> て)	伝説	言語	短答	46.4	8.5	4.6
8-3	ローマ字を読む (h y a k u)	伝説	言語	短答	56.1	12.6	5.4

【小学校国語B】（全10問中4問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1-1	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する	話す	話す	選択	55.4	0.2	3.6
1-2	スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する	話す	話す	選択	54.3	0.4	3.2
1-3	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く	話す 書く	関心 話す 書く	記述	55.2	4.5	4.8
2-2 (1)	「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く	書く	関心 書く	記述	54.6	4.0	3.2

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問

【小学校国語A】（全15問） なし

【小学校国語B】（全10問） なし

■正答率が低い設問（50%以下）

【小学校国語A】（全15問中1問）

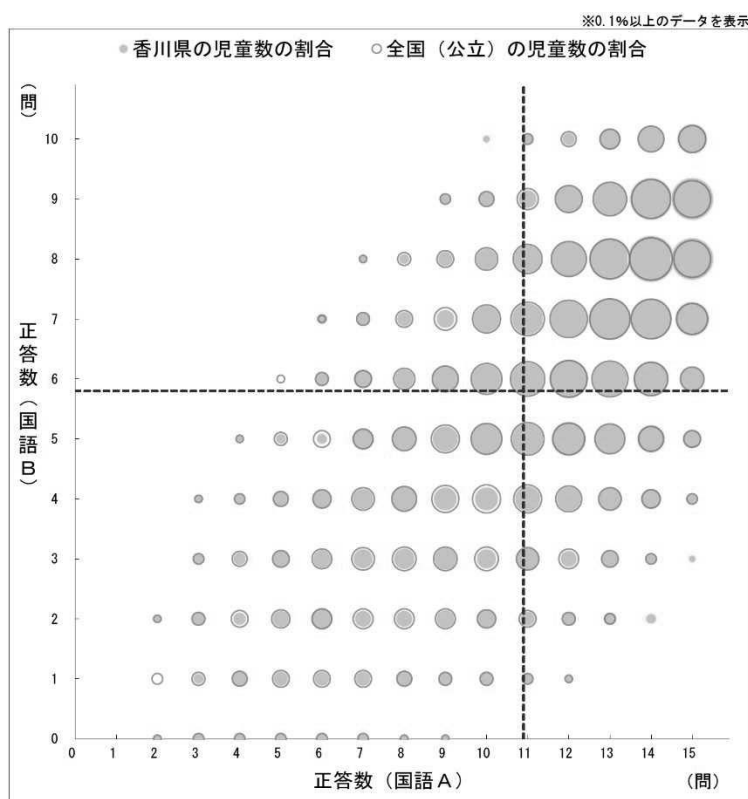
設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
8—2	ローマ字を書く (あさって)	伝国	言語	短答	46.4	8.5	4.6

【小学校国語B】（全10問中1問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2—1	「早ね早起き」活動の成果について、〈図1〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する	書く	書く	選択	44.6	1.0	1.2

■小学校 国語A—国語Bの相関

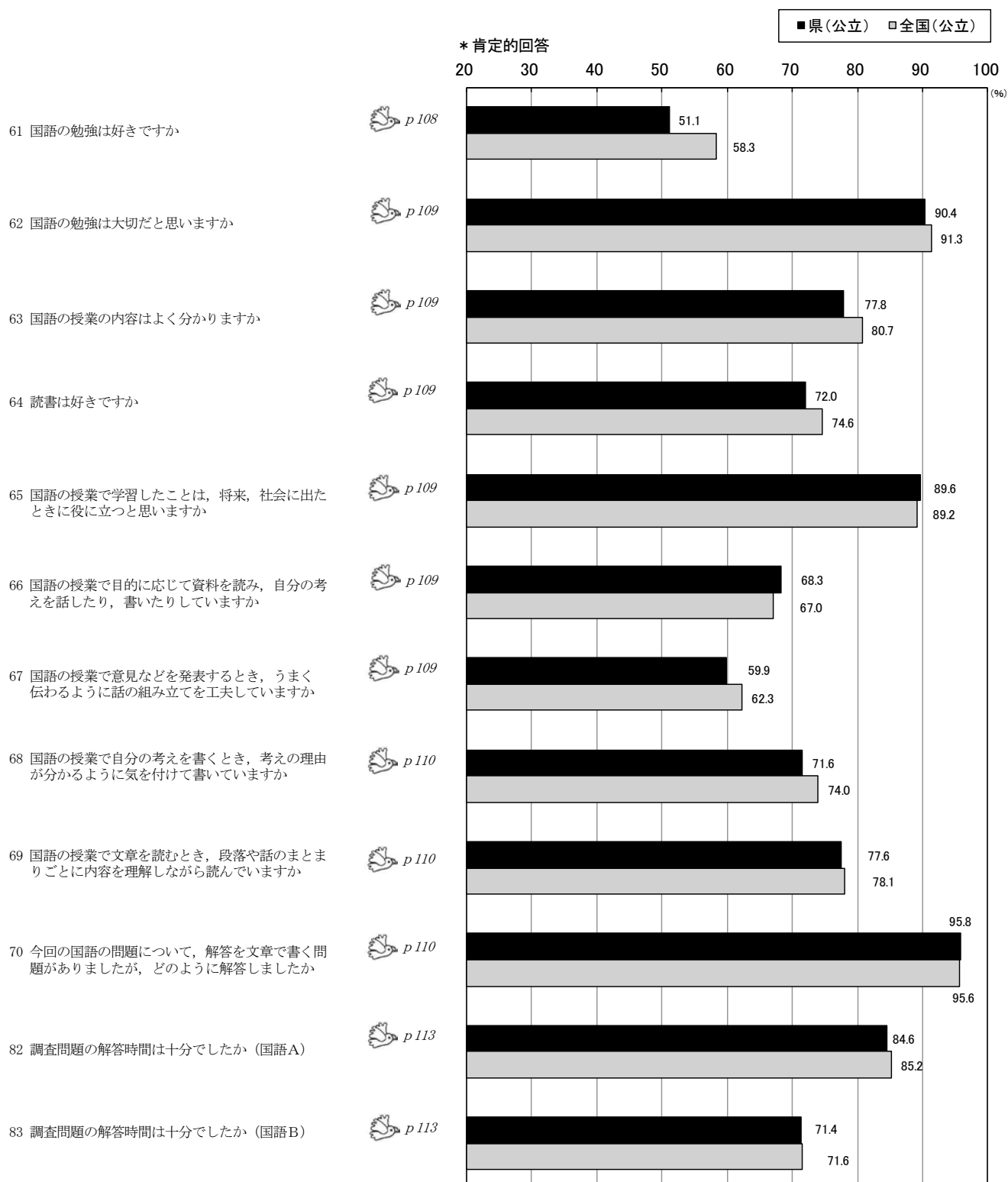
児童数	8,508		
全国（公立）国語A平均正答数	10.9		
全国（公立）国語B平均正答数	5.8		
児童の正答数分布状況 (左：児童数 右：児童数の割合 (%))	国語A・国語Bともに平均以上	4,311	50.7
	国語Aは平均以上 国語Bは平均未満	1,316	15.5
	国語Aは平均未満 国語Bは平均以上	834	9.8
	国語A・国語Bともに平均未満	2,047	24.1
相関係数	0.633		



学習意欲

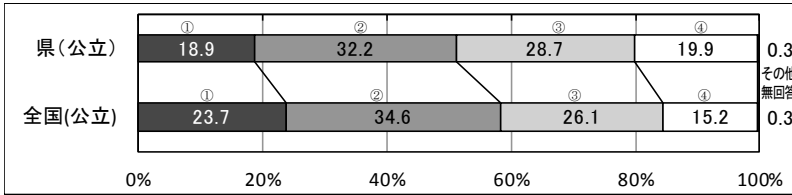
- 「61 国語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国と比べて7.2ポイント下回っており、昨年度より2.9ポイント減少した。
- 「63 国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国と比べて2.9ポイント下回っており、昨年度より1.1ポイント減少した。

■学習意欲（小学校国語）に関わる質問の全国との比較



□61 国語の勉強は好きですか

p 108

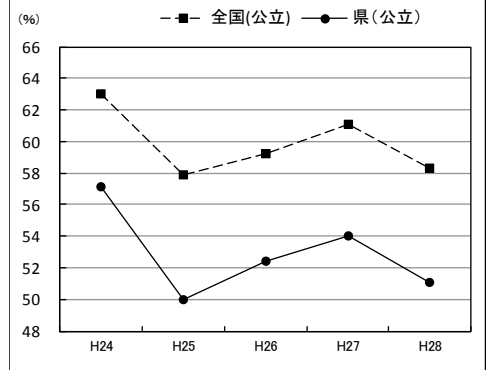


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)(%)	57.1	50.0	52.4	54.0	51.1
全国(公立)(%)	63.0	57.9	59.2	61.1	58.3
県と全国の差(pt)	▲5.9	▲7.9	▲6.8	▲7.1	▲7.2

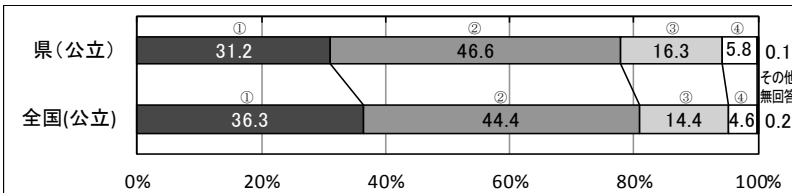
質問 61 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



Ⅲ
小
国
語

□63 国語の授業の内容はよく分かりますか

p 109

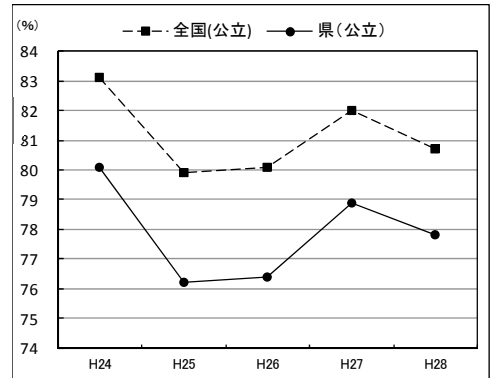


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

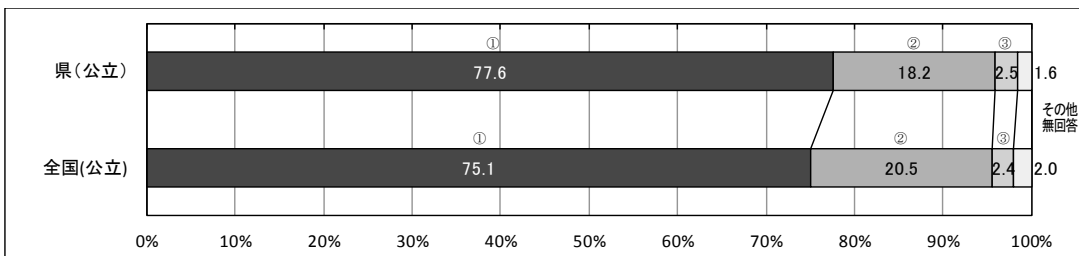
	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)(%)	80.1	76.2	76.4	78.9	77.8
全国(公立)(%)	83.1	79.9	80.1	82.0	80.7
県と全国の差(pt)	▲3.0	▲3.7	▲3.7	▲3.1	▲2.9

質問 63 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



p 110

□70 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました、どのように解答しましたか



①全ての書く問題で最後まで解答
を書こうと努力した

②書く問題で解答しなかったり、
解答を書くことを途中で諦め
たりしたものがあつた

③書く問題は全く解答しなかった

小学校国語A

調査結果から授業改善へ

書き手の表現の仕方をよりよくするために助言ができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 国語A③

問題番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
③	1 1, 5と解答しているもの	69.3	67.4	◎
	2 1と解答しているが, 5と解答していないもの	14.7	14.9	
	3 5と解答しているが, 1と解答していないもの	7.8	8.7	
	9 上記以外の解答	8.1	8.8	
	0 無解答	0.1	0.2	
	正答率	69.3	67.4	

- 1 ゲームの手順が分かりやすいように、内容のまとまりごとに番号をつけた方がよい。
- 2 多くの人に伝えるので、文末を呼びかけるような表現にした方がよい。
- 3 だれにでも分かるように、難しい言葉をやさしい言葉にした方がよい。
- 4 ゲームの手順が正しく伝わるように、接続の言葉を使った方がよい。
- 5 一文が長くて内容が伝わりにくいので、いくつかの文に分けた方がよい。

【学年集会のお知らせの下書き】

学年集会のお知らせ
「めざせチャンピオン
じゃんけん列車ゲーム」
5月12日(木)、8時25分から、
体育館で行います。

◆ルール説明

二人でじゃんけんをして、負けた人は勝った人の後ろにならんで列を作り、勝った人は他の列の先頭の人を見つけてじゃんけんをし、それを全員が一列になるまでくり返して、最後まで先頭にいた人がチャンピオンです。

〈書き直したルール説明〉

- ① 二人でじゃんけんをします。
- ② 負けた人は勝った人の後ろにならび列を作ります。
- ③ 勝った人は他の列の先頭の人を見つけてじゃんけんをします。
- ④ ②、③を全員が一列になるまでくり返します。
- ⑤ 最後まで先頭にいた人がチャンピオンです。

③ 次は、大西さんが作った「学年集会のお知らせの下書き」です。大西さんは、友達に助言をもらって、下書きの中の「◆ルール説明」を書き直しました。その助言の内容として適切であると考えられるものを、あとの1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

分析・考察

- 〈書き直したルール説明〉のように文章を改善するために、書き手にどのような助言をしたかを問う問題である。正答率は69.3%であり、表現をよりよくするために助言することに課題がある。解答類型2の反応率は14.7%であり、選択肢5にある「一文が長くて内容が伝わりにくい」「いくつかの文に分けて短くした方が分かりやすい」ということを捉えられていない。
- 児童は選択肢1を選ぶことができているという結果(解答類型1及び2参照)から、〈書き直したルール説明〉のように箇条書きで表すとよいことは知っている。しかし、箇条書きにすることがなぜよいのか、あるいは、箇条書きにしない場合、どのような課題が生じるのかということまでは十分理解できていないと考えられる。【下書き】を読んで課題に気付く、その課題が解決されたよい表現のイメージを持ち、そしてよい表現に導くための助言を考えるような学習過程の充実を図ることが必要である。

授業改善のポイント

【目的や意図に応じて、表現の仕方をよりよくするために助言し合う場の設定】

発達の段階に応じて身に付けさせたい表現の視点(右記参照)を明確にし、よりよい表現を求めて友達同士で話し合う場面を設定する。その際、修正前と修正後の文章を比べて、表現が変わったことでどのようなよさが生まれたのかを考えさせるような指導が大切である。

また、国語科だけでなく、各教科等の授業や生活の中でも、一文を短くして伝えるよさを伝えていく必要がある。

視点例

- ・文字を間違えていないか(低学年)
- ・書き手の考えが明確に表れているか(中学年)
- ・曖昧な表現はないか(高学年) など

これは、平行四辺形で、向かい合う二組の辺が平行なので角Bと角Dが同じになって、だから…



「これは、平行四辺形です。だから～」と文を短く切ると分かりやすいよ。



p 74 【中学校 国語A ④一も参照のこと】

小学校国語A

調査結果から授業改善へ

登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 国語A 6

問題 番号		解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
6	1	1と解答しているもの	21.0	22.1	
	2	2と解答しているもの	4.7	5.2	
	3	3と解答しているもの	64.2	63.9	◎
	4	4と解答しているもの	9.1	7.3	
	9	上記以外の解答	0.1	0.1	
	0	無解答	0.9	1.4	
		正答率	64.2	63.9	

(佐藤さんによる『おばあさんの飛行機』による。)

(佐藤さんによる『おばあさんの飛行機』による。)

【物語の一部】

(問い) 大森さんは、自分の考えを友達に説明するために、根拠となる表現に……線を引きました。もう一度読むと、根拠となる表現が他にありませんか？ 気がついた表現として最も適切なと思われるものを、次の【物語の一部】の……部1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。



【大森さんの考え】

編み物が大好きで、納得がいくまで編み物の模様をくふうするおばあさんという感じがするな。

6 大森さんは「おばあさんの飛行機」という物語を読み、登場するおばあさんがどのような人物なのかについて考えました。次の【大森さんの考え】をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

分析・考察

- 物語を読み、人物像を捉えるためには、場面の移り変わりに注意しながら複数の叙述を関係付けることが重要であるが、本問題の正答率は64.2%であるということから、関連付ける際の前提となる、人物像を表す叙述の選択・判断に課題があると言える。
- 解答類型1の反応率は21.0%である。これは、選択肢1「毛糸がよれよれになっていた」という表現を選んだものである。「毛糸がよれよれになっていた」の後に「ので」という語句が続くことから、そこを根拠となる表現と捉えた児童もいると考えられる。また、毛糸がよれよれになるほど、おばあさんは編み物のくふうをしたと捉えたり、よれよれになった毛糸に湯気を当てるなどしてふっくらさせることを、おばあさんのくふうと考えたりした（これは、「編み物の模様のくふう」ではないため誤答）ことが想定される。

授業改善のポイント

【一つの言葉から考えたことが、他の叙述と整合しているかどうか、吟味する】

自分の考えが妥当かどうかを振り返り、より確かな考えへと高めていく学習が重要である。例えば、「ので」や「から」といった助詞は、理由や根拠を見つける際のヒントになるが、機械的に判断せず、さらに内容を吟味していくことが大切である。例えば、「毛糸がよれよれになっていたので」が【大森さんの考え】の根拠として本当にふさわしいかどうかを、友達同士で確認し合うような学習が効果的である。

子供によっては、一つの言葉に固執してしまうことがある。そのような子供には、まず、その文の他の叙述に着目させることから始めるとよい。

「毛糸がよれよれになっているので」とあるから、きっとこれが【大森さんの考え】の根拠になる表現よ。

たしかに「ので」があるね。でも、これは、おばあさんが毛糸をかざぼしにしてふっくらさせた理由じゃないかな。

(例) 「おばあさんは、編み物が『ちっともおもしろくない』んだ。」という子供に、「『いつも同じような模様で編むことが』ちっともおもしろくないんだよね。」と確認したり、「『ちょうちょをはらいのけ』だから、おばあさんは、ちょうちょがじゃまだったんだね。」という子供に、「でも、そのまえに『そっと』とあるよ。」と助言したりする。



問題番号	解答類型
3	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 谷口さんの【特に心に残ったこと】が伝わるように書いている。 ② 【資料2】から取り上げて書いている。 ③ 40字以上、60字以内で書いている。

解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正 答
1 条件①, ②, ③を満たしているもの	53.1	52.9	◎
2 条件①, ②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.9	1.0	
3 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする。	11.5	10.2	
4 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする。	14.6	13.9	
9 上記以外の解答	12.0	10.3	
0 無解答	7.8	11.5	
正答率	53.1	52.9	

分析・考察

- 3三の設問は、パン職人の仕事について【特に心に残ったこと】を中心に紹介するため、「パン職人の声」について書かれた【資料2】を読み直して、仕事の「喜び」についてまとめる問題である。本県の正答率は、53.1%である。誤答の類型を見ると、「【特に心に残ったこと】が伝わるように書く」「【資料2】から取り上げて書く」という二つの正答の条件のうち、片方しか満たしていないもの（解答類型3及び4）の反応率は26.1%であり、複数の情報を整理し、関係付けながらまとめることに課題があると考えられる。
- 【特に心に残ったこと】が伝わるように書けていない例としては、「自分の思いどおりのパンが焼き上がった時はうれしい」というものが挙げられる。これは、「お客さんが喜んでくれた時にやりがいを感じる」という【特に心に残ったこと】に書かれている内容を押さえられていない。
- 【資料2】を取り上げていない例としては、「自分が作ったパンを食べたお客さんが喜んでくれるとうれしい」というものが挙げられる。これらは【資料2】には書かれていない内容である。

授業改善のポイント

【目的に応じて、文章の内容を的確に押さえる】

授業改善に当たっては、以下のようなスモールステップで学習過程を構成する。

① 表現に即して、重要な点を捉える

複数の情報を整理し、関係付けながらまとめる際に、まず、読むべきところが分かることが大切である。本設問であれば、【資料2】の小見出し（右参照）に着目し、「喜び」を見つけるには、どこを詳しく読んでいけばよいか見当付けるようにする。

- ◆ パン職人になったきっかけを教えてください。
 - ◆ どのようにして、パン職人になったのですか。
 - ◆ この仕事の大変なところ、苦労は何ですか。
 - ◆ どのような時に喜びを感じますか。
- （【資料2】の小見出しより）

② ①で選んだところを詳しく読む

①で見当付けた「どのような時に喜びを感じますか」のところを詳しく読むと、「喜び」に当たる叙述として、次のような部分が挙げられる。

・パンのかおりに包まれていること ・自分の思いどおりのパンが焼き上がった時 ・ふつくと焼き上がったパンがかまどから出てくる ・焼き立てのパンがお店に並び、お客様からかん声上がる（お客様のうれしそうな声が聞こえる） （【資料2】より）

③ 複数の情報を照らし合わせながら、目的に合う部分を絞る

②で見つけた叙述から、【特に心に残ったこと】の「お客さんが喜んでくれた時」に対応するものを選ぶ。「お客様のうれしそうな声が聞こえる」が当てはまることが捉えられる。

特に、関係付けることに難しさを感じる児童に対しては、このように学習過程を一つずつクリアしていくような支援が大切になる。

（参照）

「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ【小学校編】 p10, 11
「平成26年度【小学校】授業アイディア例」 p11, 12

2 小学校 算数 <調査区分の分析・検証>

概 要

- 算数Aについて、県と全国平均正答率の比較（+0.6ポイント）等から、全国平均よりやや上回っている。
- 算数Bについて、県と全国平均正答率の比較（-0.5ポイント）等から、全国平均よりやや上回っている。

■平成 28 年度調査結果の集計値

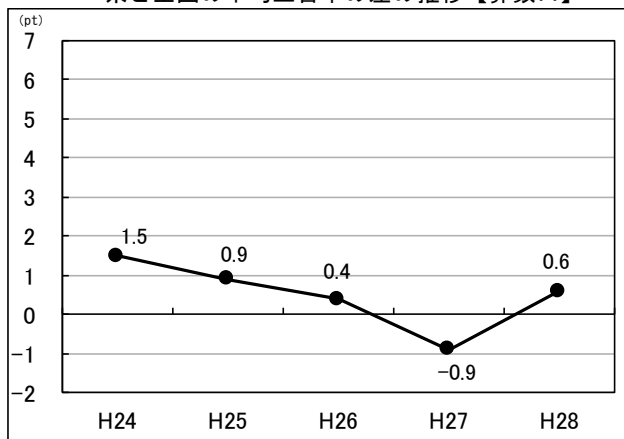
小学校算数 A	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,538	156	12.5 / 16	78.2	0.6
全国(公立)	1,021,910	19,335	12.4 / 16	77.6	
小学校算数 B	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,534	156	6.1 / 13	46.7	▲0.5
全国(公立)	1,021,637	19,334	6.1 / 13	47.2	

■平成 24 年度～平成 28 年度の県と全国調査結果

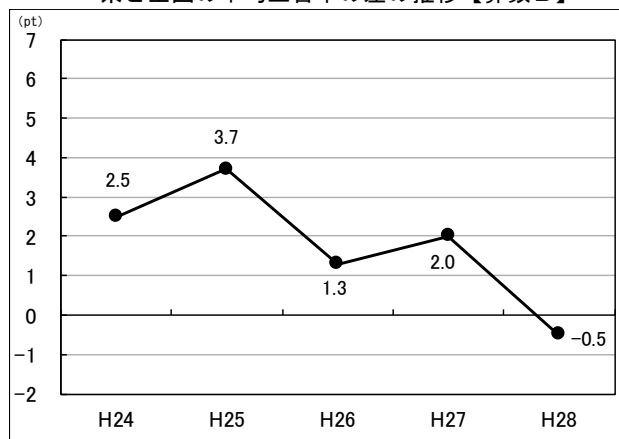
※H24 年度は抽出調査

小学校算数 A	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)平均正答率 (%)	74.8	78.1	78.5	74.3	78.2
全国(公立)平均正答率 (%)	73.3	77.2	78.1	75.2	77.6
県と全国の差 (pt)	1.5	0.9	0.4	▲0.9	0.6
小学校算数 B	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)平均正答率 (%)	61.4	62.1	59.5	47.0	46.7
全国(公立)平均正答率 (%)	58.9	58.4	58.2	45.0	47.2
県と全国の差 (pt)	2.5	3.7	1.3	2.0	▲0.5

県と全国平均正答率の差の推移【算数 A】



県と全国平均正答率の差の推移【算数 B】



■平成 28 年度領域別調査結果

学習指導要領の領域	算数 A				算数 B			
	数と計算	量と測定	図 形	数量関係	数と計算	量と測定	図 形	数量関係
県（公立）平均正答率（％）	81.6	76.1	82.5	67.0	44.0	43.4	35.6	41.4
全国（公立）平均正答率（％）	80.5	77.0	78.8	68.5	44.4	43.7	36.3	42.9
県と全国との差（pt）	1.1	▲0.9	3.7	▲1.5	▲0.4	▲0.3	▲0.7	▲1.5

■平成 24 年度～平成 28 年度の領域別調査結果

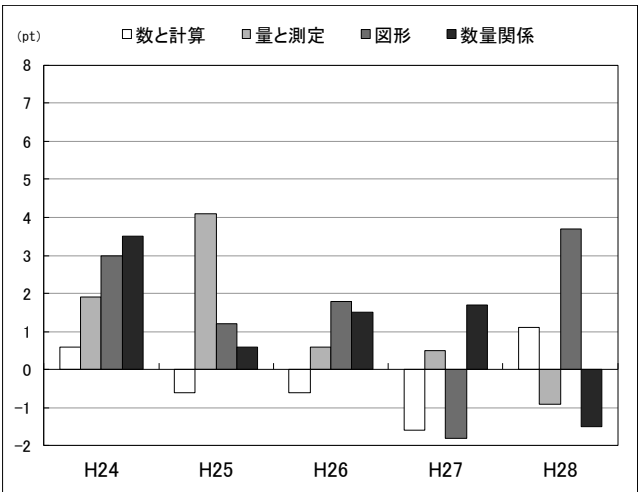
※H24 年度は抽出調査

算数 A	年度		H24	H25	H26	H27	H28
	数と計算	県（公立）（％）	75.6	79.6	81.2	78.5	81.6
		全国（公立）（％）	75.0	80.2	81.8	80.1	80.5
		差（pt）	0.6	▲0.6	▲0.6	▲1.6	1.1
	量と測定	県（公立）（％）	73.6	72.4	75.4	71.8	76.1
		全国（公立）（％）	71.7	68.3	74.8	71.3	77.0
		差（pt）	1.9	4.1	0.6	0.5	▲0.9
	図 形	県（公立）（％）	75.6	73.7	73.6	62.7	82.5
		全国（公立）（％）	72.6	72.5	71.8	64.5	78.8
		差（pt）	3.0	1.2	1.8	▲1.8	3.7
	数量関係	県（公立）（％）	77.9	84.0	82.8	86.6	67.0
		全国（公立）（％）	74.4	83.4	81.3	84.9	68.5
		差（pt）	3.5	0.6	1.5	1.7	▲1.5

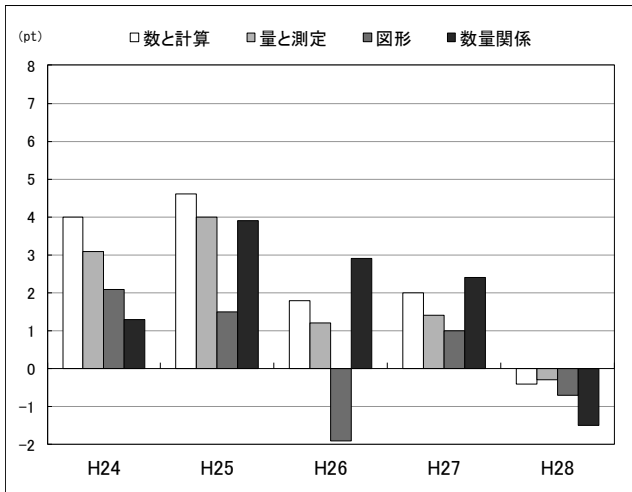
算数 B	年度		H24	H25	H26	H27	H28
	数と計算	県（公立）（％）	58.0	52.9	63.1	44.4	44.0
		全国（公立）（％）	54.0	48.3	61.3	42.4	44.4
		差（pt）	4.0	4.6	1.8	2.0	▲0.4
	量と測定	県（公立）（％）	63.9	60.0	57.7	43.1	43.4
		全国（公立）（％）	60.8	56.0	56.5	41.7	43.7
		差（pt）	3.1	4.0	1.2	1.4	▲0.3
	図 形	県（公立）（％）	65.4	80.8	63.8	46.6	35.6
		全国（公立）（％）	63.3	79.3	65.7	45.6	36.3
		差（pt）	2.1	1.5	▲1.9	1.0	▲0.7
	数量関係	県（公立）（％）	50.8	58.8	59.1	45.4	41.4
		全国（公立）（％）	49.5	54.9	56.2	43.0	42.9
		差（pt）	1.3	3.9	2.9	2.4	▲1.5

Ⅲ
小
算
数

領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【算数 A】



領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【算数 B】



■設問別調査結果【算数Ａ】

平成28年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

設問別調査結果【算数Ａ：主として知識】 香川県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、４月１９日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象児童数	香川県（公立）	全国（公立）
	156	19,335		8,538	1,021,910

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		香川県-全国
			香川県（公立）	全国（公立）	
	全体	16	78.2	77.6	0.6
学習指導要領の領域	数と計算	10	81.6	80.5	1.1
	量と測定	2	76.1	77.0	-0.9
	図形	2	82.5	78.8	3.7
	数量関係	3	67.0	68.5	-1.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	5	83.8	82.5	1.3
	数量や図形についての知識・理解	11	75.7	75.4	0.3
問題形式	選択式	5	76.8	75.8	1.0
	短答式	11	78.9	78.5	0.4
	記述式	0			

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川県-全国	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県 (公立)	全国 (公立)	香川県 (公立)	全国 (公立)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	□÷○、8の商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している	5A (3) アイ							○	○		68.8	64.8	1.2	1.3	4.0	-0.1	
1(2)	2、1÷○、7を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している	4A (3)エ 5A (3) イウ							○		○	74.2	68.5	0.3	0.4	5.7	-0.1	
1(3)	小数の除法の結果を、乗法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	除法における計算の確かめの方法を理解している	3A (4)イ 4A (3)エ 5A (3) イウ							○		○	86.2	87.9	0.7	1.1	-1.7	-0.4	
2(1)	905－8を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	3A (2)ア						○		○		90.6	90.9	0.3	0.4	-0.3	-0.1	
2(2)	4、65÷○、3を計算する	末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができる	4A (5)イ						○		○		76.8	77.1	0.5	0.5	-0.3	0.0	
2(3)	18÷○、9を計算する	小数の除法の計算をすることができる	5A (3)イ						○		○		82.4	77.7	0.8	1.1	4.7	-0.3	
2(4)	(2÷9)×3を計算する	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することができる	5A (4) ウカ						○		○		87.4	87.0	1.4	1.9	0.4	-0.5	
3(1)	二つの数の大小関係を表す不等号を書く	不等号を理解している	2A (1)イ 3A (1)							○	○		96.1	96.7	0.5	0.6	-0.6	-0.1	
3(2)	7、1、7、7、0.1の中で一番小さい数と、一番大きい数を書く	数の大小関係を理解している	4A (5)ア							○	○		71.3	74.1	0.2	0.4	-2.8	-0.2	
4	8㎡に14人座っているシートについて、1㎡当たりの人数を求める式を書く	単位量当たりの大きさの求め方を理解している	5B (4)ア							○	○		73.5	72.0	3.1	4.3	1.5	-1.2	
5	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ	三角形の底辺と高さの関係について理解している	5B (1)ア							○	○		78.8	82.0	0.9	1.1	-3.2	-0.2	
6	4枚の三角定規でつくることができる形を選ぶ	図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる	1C (1)2C (1)イ 3C (1) アイ 4C (1)イ						○		○		81.8	79.6	0.7	1.0	2.2	-0.3	
7	直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ	直方体における面と面の位置関係を理解している	4C (2) アイ							○	○		83.1	78.0	1.6	2.5	5.1	-0.9	
8	テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が、一番大きいものを選ぶ	全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解している	5D (3)							○	○		71.5	74.4	1.5	2.1	-2.9	-0.6	
9(1)	前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く	示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる	1A (1)イ 1A (2)ア				1D (1)			○	○		82.6	80.2	3.0	4.2	2.4	-1.2	
9(2)	定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している	5D (3)				5D (3)			○	○		46.7	50.9	3.8	5.7	-4.2	-1.9	

■設問別調査結果【算数Ｂ】

平成28年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

設問別調査結果 【算数Ｂ：主として活用】 香川県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、４月１９日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象児童数	香川県（公立）	全国（公立）
	156	19,334		8,534	1,021,637

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		香川県-全国
			香川県（公立）	全国（公立）	
全体		13	46.7	47.2	-0.5
学習指導要領の領域	数と計算	6	44.0	44.4	-0.4
	量と測定	5	43.4	43.7	-0.3
	図形	3	35.6	36.3	-0.7
	数量関係	6	41.4	42.9	-1.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	9	40.4	40.9	-0.5
	数量や図形についての技能	2	52.5	53.3	-0.8
	数量や図形についての知識・理解	2	69.7	69.5	0.2
問題形式	選択式	5	55.9	56.7	-0.8
	短答式	3	65.8	66.4	-0.6
	記述式	5	26.1	26.2	-0.1

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川県-全国	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県 公立	全国 公立	香川県 公立	全国 公立	正答率 (%)	無解答率 (%)
1 (1)	1辺が9cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じまわりが成り立つかを調べることができる	3A (3)アイ	4B (1)イ				○			○			92.4	92.6	0.4	0.4	-0.2	0.0
1 (2)	正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm ² 小さくなることの説明を書く	示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる		4B (1)アイ				○				○		49.6	45.2	2.4	4.0	4.4	-1.6
2 (1)	ハードルとハードルの間が5mのコースの、スタート地点から4台目のハードルを、巻き尺の何mのところに置けばよいか書く	ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求めることができる				3D (2)ア (2)ア		○			○			56.7	56.2	2.1	3.1	0.5	-1.0
2 (2)	40mハードル走の目標のタイムを求める式に8、1と4を当てはめて、まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く	示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる	3A (5)イ 5A (3)ア			4D (2)ア		○			○			48.2	50.5	3.0	4.2	-2.3	-1.2
2 (3)	目標のタイムを求める式の中の0、4や0、3が表す意味を書く	示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる	3A (5)イ 3A (3)ア					○				○		15.8	15.6	11.8	18.6	0.2	-6.8
3 (1)	三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ	乗法や除法の式の意味を解釈することができる	2A (3)ア 3A (4)ア 4A (5)ウ						○		○			63.1	62.6	0.8	1.0	0.5	-0.2
3 (2)	縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く	縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述できる	2A (3)ア 3A (4)ア					○			○			38.0	38.4	11.4	17.4	-0.4	-6.0
3 (3)	1辺が9cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ	正方形に内接する円の半径について理解している			3C (1)ウ 5C (1)ア				○	○				76.4	76.5	1.5	1.9	-0.1	-0.4
4 (1)	学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ	単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる	5B (4)ア			3D (3)		○			○			44.7	48.3	1.4	1.9	-3.6	-0.5
4 (2)	示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ	示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができる				3D (3)		○			○			71.6	70.7	1.7	2.5	0.9	-0.8
4 (3)	A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く	グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できる				4D (4)イ		○				○		20.8	24.9	8.1	13.2	-4.1	-5.1
5 (1)	示された形をつくることのできることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く	示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる	3A (4)ア	4B (2)アイ	3C (1)ア 5C (1)ア	3D (1)		○				○		6.4	6.9	12.8	18.7	-0.5	-5.9
5 (2)	示された四角形を並べてできる図形を選ぶ	図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができる		4B (2)アイ	3C (1)イ 5C (1)ア			○			○			24.0	25.4	6.5	8.9	-1.4	-2.4

Ⅲ 小算数

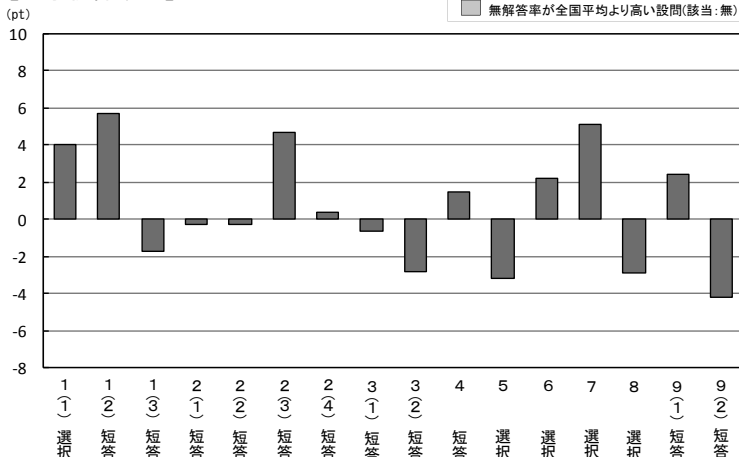
調査結果に特徴のうかがえる設問

- 小学校算数の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、29問中5問（17.2％）であった。
- 小学校算数の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、29問中4問（13.8％）であった。
- 小学校算数の調査において、正答率が50％以下であった設問は、29問中9問（31.0％）であった。

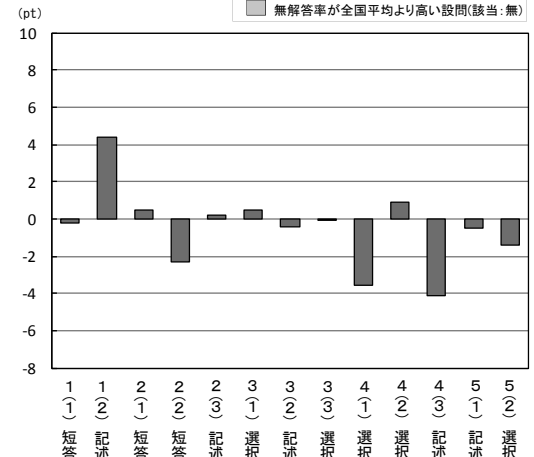
■設問別の県と全国の正答率の差

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と計算 量と測定 図形 数量関係	計算 量測 図形 数量 算数への関心・意欲・態度 数学的な考え方 数量や図形についての技能 数量や図形についての知識・理解	関心 考え 技能 知識 選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

【小学校算数A】



【小学校算数B】



■正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【小学校算数A】（全16問中4問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率 (%)	県無解答率 (%)	全国の正答率との差 (pt)
1 (1)	$\square \div 0.8$ の商の大きさについて、正しいものを選ぶ	計算	知識	選択	68.8	1.2	4.0
1 (2)	$2.1 \div 0.7$ を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	計算	知識	短答	74.2	0.3	5.7
2 (3)	$18 \div 0.9$ を計算する	計算	技能	短答	82.4	0.8	4.7
7	直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ	図形	知識	選択	83.1	1.6	5.1

【小学校算数B】（全13問中1問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率 (%)	県無解答率 (%)	全国の正答率との差 (pt)
1 (2)	正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm ² 小さくなることの説明を書く	量測	考え	記述	49.6	2.4	4.4

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問

【小学校算数A】（全16問中2問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率 (%)	県無解答率 (%)	全国の正答率との差 (pt)
5	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ	量測	知識	選択	78.8	0.9	▲3.2
9 (2)	定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	数量	知識	短答	46.7	3.8	▲4.2

【小学校算数B】（全 13 問中 2 問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
4 (1)	学校ごとの 1 人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ	量測数量	考え	選択	44.7	1.4	▲3.6
4 (3)	A 小学校と B 小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く	数量	考え	記述	20.8	8.1	▲4.1

■正答率が低い設問（50%以下）

【小学校算数A】（全 16 問中 1 問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
9 (2)	定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	数量	知識	短答	46.7	3.8	▲4.2

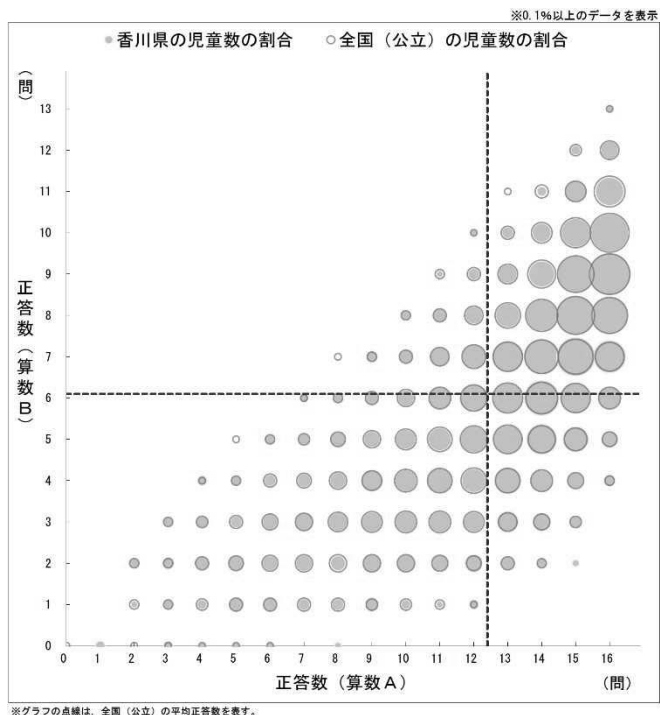
【小学校算数B】（全 13 問中 8 問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1 (2)	正方形の縦の長さを 2 cm 短くし、横の長さを 2 cm 長くすると面積が 4 cm ² 小さくなることの説明を書く	量測	考え	記述	49.6	2.4	4.4
2 (2)	40m ハードル走の目標のタイムを求める式に 8.1 と 4 を当てはめて、まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く	計算数量	技能	短答	48.2	3.0	▲2.3
2 (3)	目標のタイムを求める式の中の 0.4 や 0.3 が表す意味を書く	計算	考え	記述	15.8	11.8	0.2
3 (2)	縦 39 cm、横 54 cm の長方形の厚紙から、1 辺 9 cm の正方形を 24 個切り取ることができるわけを書く	計算	考え	記述	38.0	11.4	▲0.4
4 (1)	学校ごとの 1 人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ	量測数量	考え	選択	44.7	1.4	▲3.6
4 (3)	A 小学校と B 小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く	数量	考え	記述	20.8	8.1	▲4.1
5 (1)	示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く	計算量測図形数量	考え	記述	6.4	12.8	▲0.5
5 (2)	示された四角形を並べてできる図形を選ぶ	量測図形	考え	選択	24.0	6.5	▲1.4

Ⅲ 小算数

■小学校 算数 A－算数 B の相関

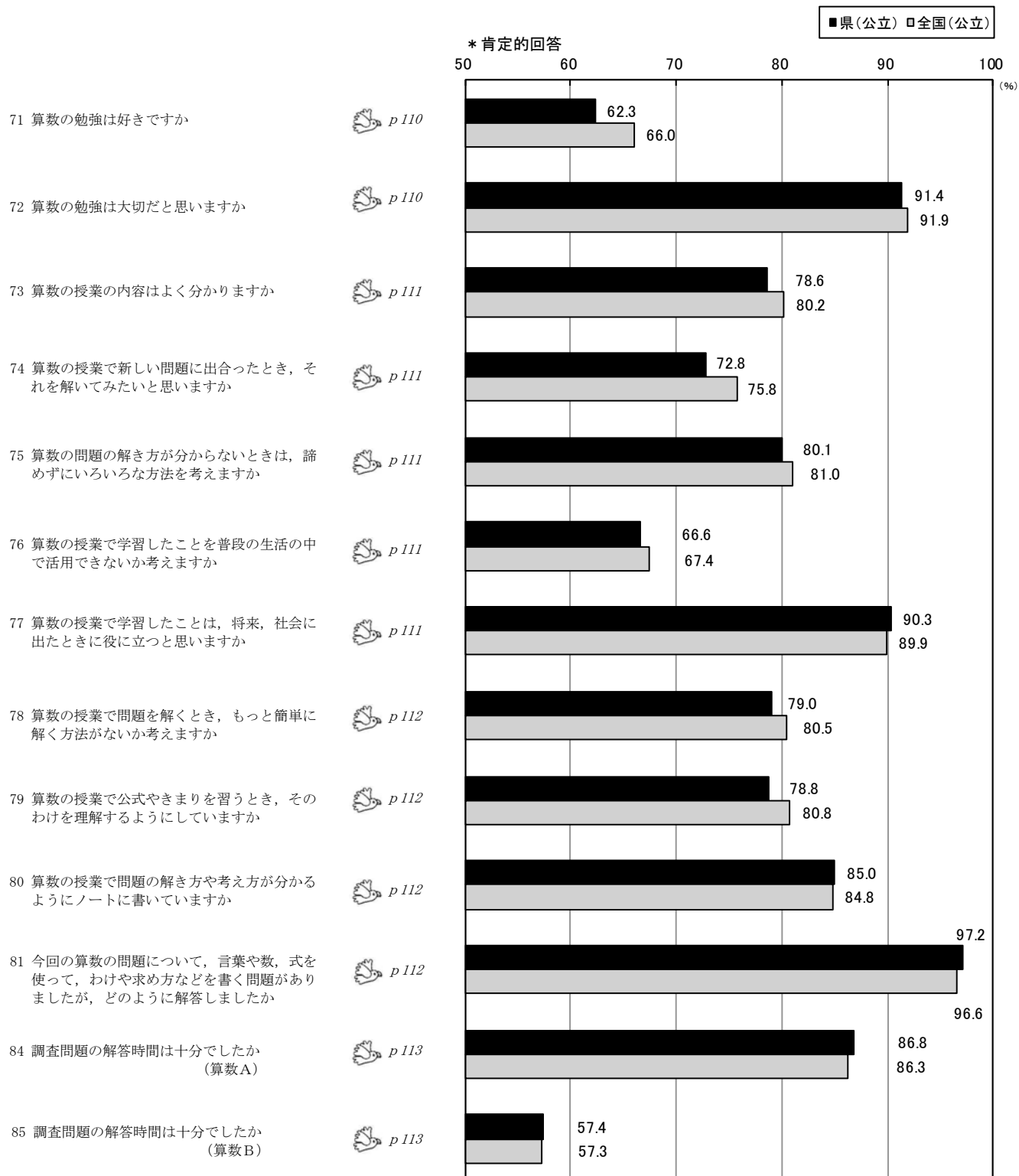
児童数		8,498	
全国（公立）算数 A 平均正答数		12.4	
全国（公立）算数 B 平均正答数		6.1	
児童の正答数分布状況 (左：児童数 右：児童数の割合 (%))	算数 A・算数 B ともに平均以上	3,493	41.1
	算数 A は平均以上 算数 B は平均未満	1,756	20.7
	算数 A は平均未満 算数 B は平均以上	421	5.0
	算数 A・算数 B ともに平均未満	2,828	33.3
相関係数		0.696	



学 習 意 欲

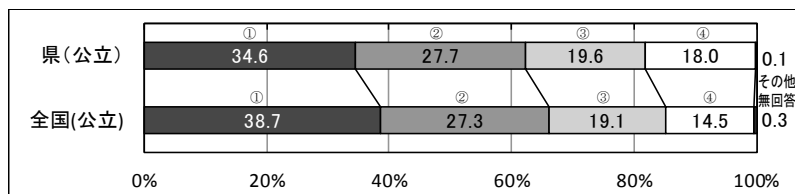
- 「71 算数の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国と比べて3.7ポイント下回っており、昨年度より1.3ポイント減少している。
- 「73 算数の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、全国と比べて1.6ポイント下回っており、昨年度より0.7ポイント減少している。

■学習意欲（小学校算数）に関わる質問の全国との比較



□71 算数の勉強は好きですか

p 110

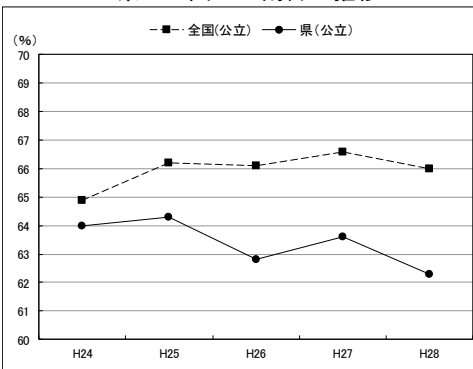


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

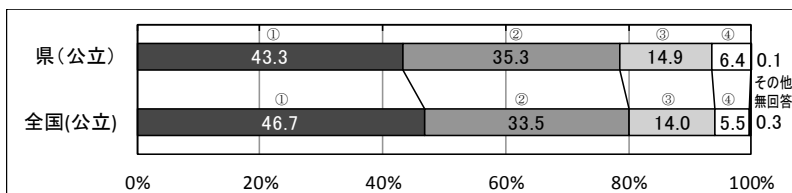
	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)(%)	64.0	64.3	62.8	63.6	62.3
全国(公立)(%)	64.9	66.2	66.1	66.6	66.0
県と全国の差(pt)	▲0.9	▲1.9	▲3.3	▲3.0	▲3.7

質問 71 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



□73 算数の授業の内容はよく分かりますか

p 111

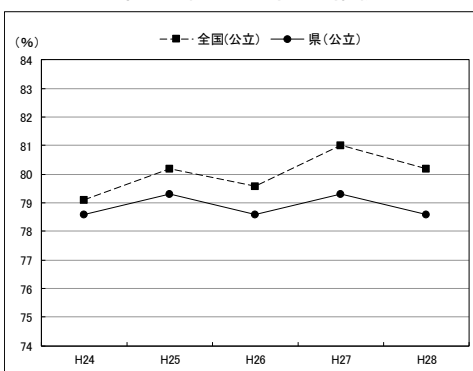


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した児童の割合

	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)(%)	78.6	79.3	78.6	79.3	78.6
全国(公立)(%)	79.1	80.2	79.6	81.0	80.2
県と全国の差(pt)	▲0.5	▲0.9	▲1.0	▲1.7	▲1.6

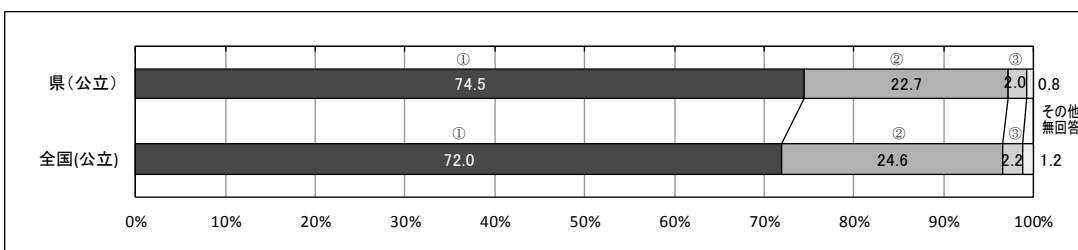
質問 73 に肯定的に回答した児童の
県と全国との割合の推移



Ⅲ
小
算
数

p 112

□81 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか



①全ての書く問題で最後まで解答
を書こうと努力した

②書く問題で解答しなかったり、
解答を書くことを途中で諦め
たりしたものがあつた

③書く問題は全く解答しなかった

小学校算数A

調査結果から授業改善へ

全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解できるようにする。

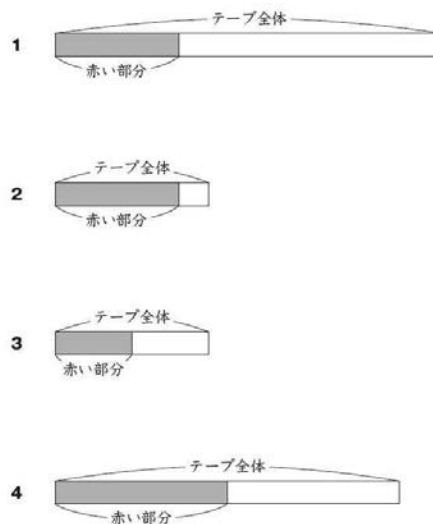
授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数A 8

8

次のように、赤い部分があるテープが4本あります。
テープ全体の長さをもとにしたときの、赤い部分の長さの割合がいちばん大きいテープはどれですか。

下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
8	1 と解答しているもの	6.9	5.4	
	2 と解答しているもの	71.5	74.4	◎
	3 と解答しているもの	1.6	1.9	
	4 と解答しているもの	18.5	16.2	
	9 上記以外の解答	0.1	0.1	
	0 無解答	1.5	2.1	
正答率		71.5	74.4	

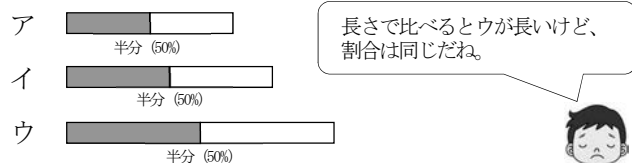
分析・考察

- 8の設問は、「割合の意味を理解すること」の課題に関連した問題であり、半分（50%）を目安として割合の大きさを判断できる場面を設定している。本県の正答率は71.5%で、全国を2.9ポイント下回っている。
- 本県の解答類型4の反応率は18.5%で、全国平均を2.3ポイント上回っている。赤い部分の大きさが一番大きい図が、割合が一番大きいと捉えていると考えられる。

授業改善のポイント

【割合は量ではないことが理解できるようにする】

本問で解答類型4を選択している児童が18.5%いることから、クラスの中で2割程度の児童は、割合と量を混同していると考えられる。そこで、割合は量とは違うことを理解させるために、例えば、右の図のような数種類の長さのテープを児童に配付し、半分（50%）のところまで色塗りをさせ、その後、長さで比べるとウが一番長い、割合は全部同じということに気付かせる場を設けることも考えられる。



【量の大きさに着目して比べるだけでなく、割合に注目して比べることができるようにする】

割合の学習においては、量の大きさを比べる場面だけでなく、割合で比べることが必要な場合があることを理解できるようにすることが大切である。

指導に当たっては、例えば、右のような場面を取り上げ、量で比べた場合と割合で比べた場合について話し合う場を設けることが考えられる。割合は、量とは違って、二つの量の関係であり、比較量が基準量に対してどの程度の大きさなのかを示すものであることを理解できるようにすることも大切である。

Aさんは12回中5回、Bさんは7回中4回シュートを入れました。

Aさん

○○○○○×××××××

半分

Bさん

○○○○×××

半分

Aさんは5回、Bさんは4回シュートを入れたので、Aさんの方がたくさんシュートを入れたと思います。

でも、Aさんは、投じた回数も多いです。

Aさんが入れたシュートは投じた回数の半分より少ないです。Bさんが入れたシュートは半分より多いです。だから、...

小学校算数A

調査結果から授業改善へ

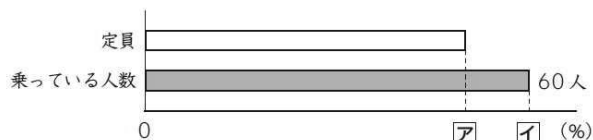
基準量と比較量の関係を正しく捉えることができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数A 9(2)

(2) バスに乗っている人数は60人です。乗っている人数は、定員よりも定員の20%分多いそうです。

定員をもとにしたときの乗っている人数の割合を、百分率を使った次の図に表します。



図の中の「ア」と「イ」には、下の4つの数のいずれかが入ります。

「ア」と「イ」に入る数をそれぞれ書きましょう。

20	80	100	120
----	----	-----	-----

問題番号	解答類型		県反応率(%)	全国反応率(%)	正答
	ア	イ			
9(2)	1	120 と解答	46.7	50.9	◎
	2	20 と解答	3.8	2.6	
	3	類型1, 2 以外を解答, 無解答	1.1	0.9	
	4	80 と解答	15.3	13.2	
	5	20 と解答	3.0	2.9	
	6	類型1 から5 以外を解答, 無解答	0.5	0.5	
	7	20 と解答	3.3	3.9	
	8	80 と解答	6.1	3.7	
	9	上記以外の解答	16.3	15.6	
	0	無解答	3.8	5.7	
正答率			46.7	50.9	

分析・考察

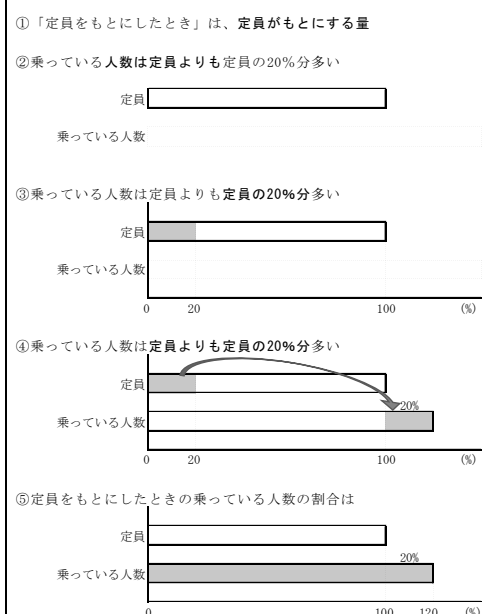
- 9(2)の本県の正答率は、46.7%であり、全国の正答率を4.2ポイント下回っている。基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題がある。
- イに100と解答した解答類型4、5、6の本県の反応率は18.8%である。基準量を誤って捉えていると考えられる。イに20と解答した解答類型2、8の本県の反応率は9.9%である。「定員の20%分多い」ことから割合を120%と捉えることができていると考えられる。

授業改善のポイント

【基準量と比較量を、段階を追って捉える場面を設ける】

日常生活においては、増量や値引きなど様々な場面で割合が用いられている。その意味を理解するためには、基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えることが大切である。特に、何が基準量に当たるのかを意識することが大切である。平成27年度小学校算数B2(2) (県正答率15.2%)において、20%増量の場面から、割合を、1.2や120%と捉えることができず、20または0.2を使って乗法や除法の式に表そうとした誤答(県反応率34.5%)が多く見られた。

指導に当たっては、基準量と比較量の関係を数直線などを用いて捉える場面を設けることが考えられる。その際、問題場面を数直線などに表現する手続きを覚えるのではなく、問題場面がどのようなことを表しているのかを理解し、そのイメージを数直線などを用いて表現することを大切にする。まず、定員が基準量であることを捉える場面を設け、その上で、乗っている人は定員よりも20%多いことから、乗っている人の割合は120%であると捉えることができるように、右のように、問題場面を図に表す過程を丁寧に確認する場を設けることが考えられる。



小学校算数B

調査結果から授業改善へ

- ・問題の解決のために、必要な情報を判断し、収集できるようにする。〔4（1）〕
- ・判断した根拠を明らかにした上で、説明することができるようにする。〔4（3）〕

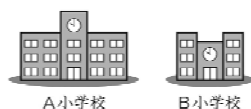
授業改善のヒントとなる設問の概要

小学校 算数B 4（1）（3）

4

A小学校とB小学校の図書委員会は、協力して読書活動をすすめています。

次の資料は、4月から7月までの4か月間の、各学校の本の貸出冊数の様子をまとめたものです。



4月から7月までの4か月間の 各学校の 本の貸出冊数の様子

表1「各学校の月ごとの貸出冊数（冊）」

学校	月	4月	5月	6月	7月	合計
A小学校		986	2918	3414	2420	9738
B小学校		849	2523	2938	2095	8405

表2「A小学校の本の種類ごとの貸出冊数（冊）」

物語	科学	歴史	伝記	その他	合計
3800	1977	1496	989	1476	9738

A小学校の図書委員たちは、上の表1の ☐ の部分を見て、次のように話しています。



どちらの学校の子どものほうが本をよく借りているかな。



各学校の貸出冊数の合計で比べると、A小学校のほうが多いです。だから、A小学校だと思います。



私は、どちらの学校の子どものほうが本をよく借りているかを、各学校の1人あたりの貸出冊数で比べたいです。
1人あたりの貸出冊数を求めるためには、各学校の貸出冊数の合計のほかに、何を調べたらよいか。

- (1) あさ子さんのように各学校の1人あたりの貸出冊数を求めるためには、表1の ☐ の各学校の貸出冊数の合計のほかに、どのような数が必要ですか。

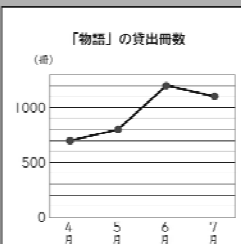
下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 各学校の、図書館を利用した人数
- 2 各学校の、学校全体の児童の人数
- 3 各学校の、図書館にある本の冊数
- 4 各学校の、本の種類ごとの貸出冊数

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
1	各学校の、図書館を利用した人数と解答しているもの	30.7	28.8	
2	各学校の、学校全体の児童の人数と解答しているもの	44.7	48.3	◎
3	各学校の、図書館にある本の冊数と解答しているもの	9.6	10.0	
4	各学校の、本の種類ごとの貸出冊数と解答しているもの	13.5	10.9	
9	上記以外の解答	0.1	0.1	
0	無解答	1.4	1.9	
	正答率	44.7	48.3	

- (3) 各学校の図書委員たちは、読書活動をすすめた成果を表すために、4月から7月までの4か月間の「物語」の貸出冊数の変化の様子を、それぞれ折れ線グラフにまとめた。

A小学校 図書委員会だより



B小学校 図書委員会だより



けんたさんは、上の2つのグラフの、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の変化の様子を見比べて、次のように言いました。



A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの線のかたむきが急です。

だから、A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きいです。

けんたさんが言っている、—— 部のことは正しくありません。

そのわけを、グラフから読み取れる貸出冊数に着目して、言葉や数を使って書きましょう。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
(正答の条件) 次の①、②、③の全てを書いている。 ① A小学校の5月から6月までの「物語」の貸出冊数が、約400冊増えていること ② B小学校の5月から6月までの「物語」の貸出冊数が、約300冊増えていること ③ A小学校に比べてB小学校の方が、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きくないこと				
(正答例) ・5月から6月までの「物語」の貸出冊数は、A小学校が約400冊増えていて、B小学校が約300冊増えています。だから、A小学校に比べてB小学校の方が、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きいです。				
1	①、②、③の全てを書いているもの	17.0	20.3	◎
2	①、②を書いているもの	3.9	4.5	○
3	①、③または②を書いているもの	1.5	2.5	
4	②、③または①を書いているもの	3.3	4.4	
5	③を書いているもの	15.5	13.7	
6	6月の貸出冊数のみに基づき判断しているもの	6.2	5.1	
7	グラフの目盛りの幅に関することを理由として書いているもの	12.8	7.3	
8	表1の5月と6月の数値を比べて判断しているもの	0.1	0.1	
9	上記以外の解答	31.6	28.9	
0	無解答	8.1	13.2	
	正答率	20.9	24.8	

- 4**(1)の本県の正答率は、44.7%であり、全国平均を3.6ポイント下回っている。単位量当たりの大きさを求めるために必要な情報を、示された資料とそれまでの学習や生活経験などから判断し、特定することに課題がある。
- 4**(3)の本県の正答率は、20.9%であり、全国平均を3.9ポイント下回っている。グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に示された事柄が正しくない理由を、言葉や数を用いて記述することに課題がある。
- 4**(3)の解答類型5の県反応率が15.5%である。A小学校の方が貸出冊数の増え方が大きいことには着目できているが、具体的な数値を用いて記述できていないと考えられる。

授業改善のポイント

【問題の解決のために、必要な情報を判断し、収集できるようにする】

多くの情報があふれる現代社会の中にあって、問題を解決するために必要な情報は何かを適切に判断し、資料などからその情報を取り出すことは大切である。また、収集した情報を整理し、他者に伝えるために、新たに問題を見だし、問題の解決の方法を考えたり、さらに必要な情報は何かを適切に判断し情報を収集したりすることも大切である。

指導に当たっては、解決したい問題を明確にして資料を集め、集めた資料を分類整理し表に表したり、表から読み取ったりする活動や、表から新たな課題を見だし、必要な情報を収集する活動などが考えられる。

【判断した根拠を明らかにした上で、説明することができるようにする】

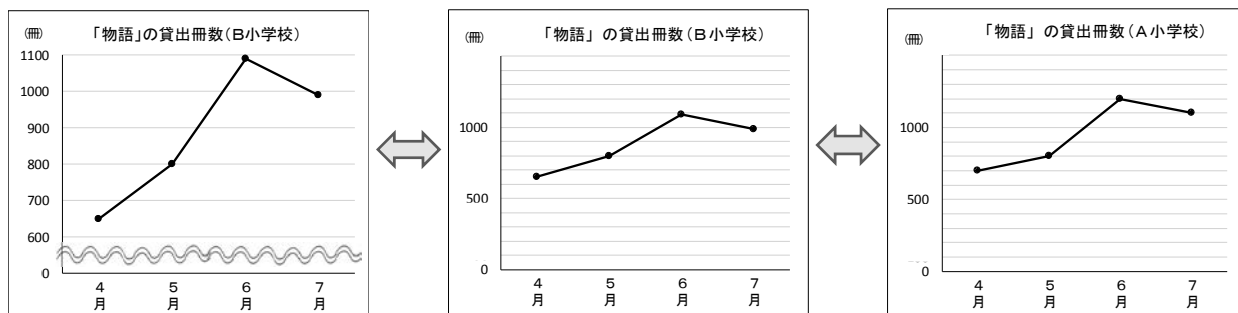
論理的に考えを進めてそれを説明したり、判断や考えの正しさを説明したりすることが大切である。理由を記述する際は、「aだからbとなる」のように、aという理由とbという結論を明確にして記述すること、理由として取り上げるべき事柄が複数ある場合には、それらを全て取り上げて記述することが求められる。**4**(3)では、なぜ正しくないのかについて、グラフから読み取れる貸出冊数を基に、その理由を記述することが求められているが、結論のみを書いている児童(解答類型5県反応率15.5%)や、グラフの目盛りの幅に着目している児童(解答類型7県反応率12.8%)は、理由の記述に求められている事柄が不足している。

指導に当たっては、根拠となる事柄が不足している説明を取り上げ、説明として何が求められていて、何が不足しているのかについて話し合う活動が考えられる。その際、話し合ったことを児童一人一人が振り返って自分の説明と比較し、確認できるようにすることも大切である。

【グラフを批判的に考察し、情報を正しく読み取ることができるようにする】

グラフに表すときは、目的に応じて適切に目盛りの大きさを決め、表したい事柄を的確に表現することが大切である。また、グラフを比較するときは、それぞれの目盛りの大きさなどに留意して的確に読み取ることが大切である。その際、事象に対して誤った判断をしないよう、根拠を明らかにして説明できるようにする。

指導に当たっては、複数の折れ線グラフを提示し、比較する場面を取り上げて変化の大きさや増え方の違いについて「比べる条件は揃っているか」と批判的に考察する活動が考えられる。1目盛りの大きさの異なる2つのグラフを扱う場面では、グラフを同じ目盛りの付け方でかき直し、重ねて比較することも考えられる。



目盛りの付け方が違うから、グラフのかたむき具合では比べられないな。それぞれのグラフの数値を読み取って比べてみよう。

目盛りの付け方をそろえてみよう。これだとグラフのかたむき具合でも比べることができるよ。

3 中学校 国語 <調査区分の分析・検証>

概 要

- 国語Aについて、県と全国の平均正答率の比較（+1.6 ポイント）等から、全国平均より上回っている。
- 国語Bについて、県と全国の平均正答率の比較（+1.0 ポイント）等から、全国平均より上回っている。

■平成 28 年度調査結果の集計値

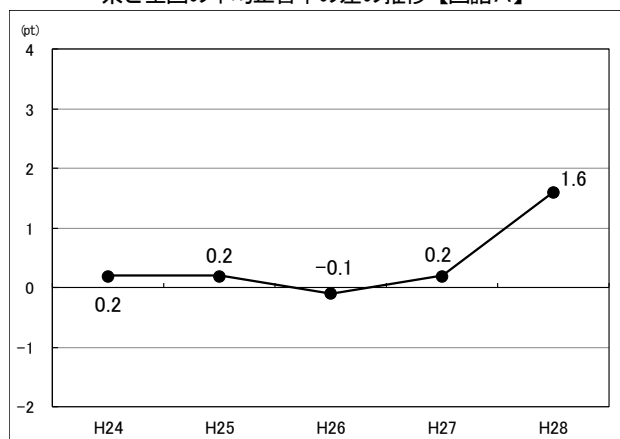
中学校国語A	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,349	71	25.5 / 33	77.2	1.6
全国(公立)	996,188	9,464	25.0 / 33	75.6	
中学校国語B	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,361	71	6.1 / 9	67.5	1.0
全国(公立)	996,365	9,464	6.0 / 9	66.5	

■平成 24 年度～平成 28 年度の県と全国の調査結果

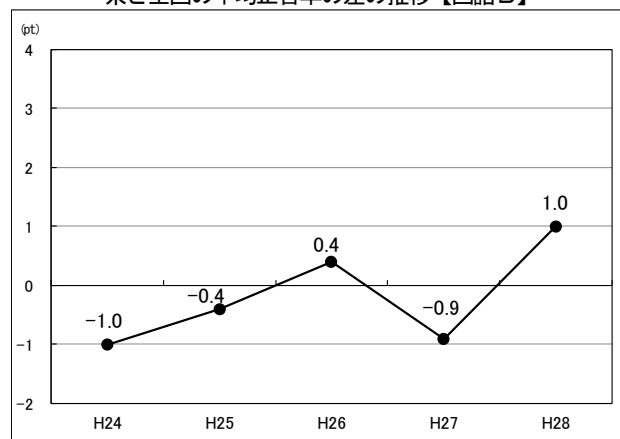
※H24 年度は抽出調査

中学校国語A	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立) 平均正答率 (%)	75.3	76.6	79.3	76.0	77.2
全国(公立) 平均正答率 (%)	75.1	76.4	79.4	75.8	75.6
県と全国の差 (pt)	0.2	0.2	▲0.1	0.2	1.6
中学校国語B	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立) 平均正答率 (%)	62.3	67.0	51.4	64.9	67.5
全国(公立) 平均正答率 (%)	63.3	67.4	51.0	65.8	66.5
県と全国の差 (pt)	▲1.0	▲0.4	0.4	▲0.9	1.0

県と全国の平均正答率の差の推移【国語A】



県と全国の平均正答率の差の推移【国語B】



■平成 28 年度領域等別調査結果

学習指導要領の領域等	国語 A				国語 B			
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
県(公立) 平均正答率 (%)	79.8	75.1	79.4	76.0		62.3	67.5	
全国(公立) 平均正答率 (%)	78.9	73.7	78.6	73.9		58.3	66.5	
県と全国との差 (pt)	0.9	1.4	0.8	2.1		4.0	1.0	

■平成 24 年度～平成 28 年度の領域等別調査結果

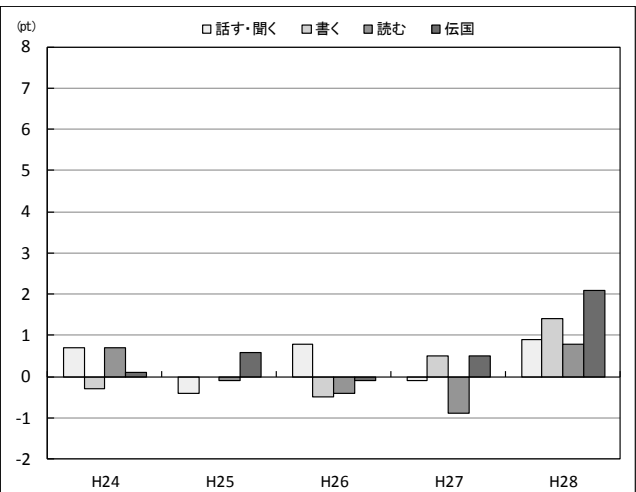
※H24 年度は抽出調査

国語 A	年度		H24	H25	H26	H27	H28
	話すこと・聞くこと	県(公立) (%)	88.4	77.2	73.1	79.6	79.8
		全国(公立) (%)	87.7	77.6	72.3	79.7	78.9
		差(pt)	0.7	▲0.4	0.8	▲0.1	0.9
	書くこと	県(公立) (%)	87.8	64.5	82.9	74.1	75.1
		全国(公立) (%)	88.1	64.5	83.4	73.6	73.7
		差(pt)	▲0.3	0.0	▲0.5	0.5	1.4
	読むこと	県(公立) (%)	66.1	79.9	82.5	85.2	79.4
		全国(公立) (%)	65.4	80.0	82.9	86.1	78.6
		差(pt)	0.7	▲0.1	▲0.4	▲0.9	0.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県(公立) (%)	73.8	78.1	78.6	73.4	76.0
		全国(公立) (%)	73.7	77.5	78.7	72.9	73.9
		差(pt)	0.1	0.6	▲0.1	0.5	2.1

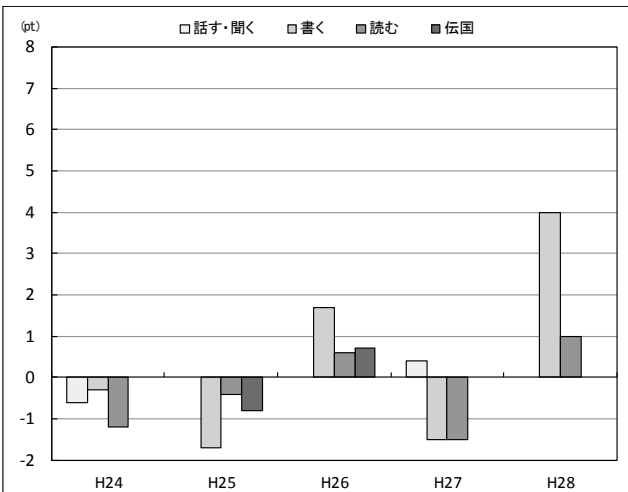
国語 B	年度		H24	H25	H26	H27	H28
	話すこと・聞くこと	県(公立) (%)	59.3			72.6	
		全国(公立) (%)	59.9			72.2	
		差(pt)	▲0.6			0.4	
	書くこと	県(公立) (%)	57.1	61.0	42.7	35.2	62.3
		全国(公立) (%)	57.4	62.7	41.0	36.7	58.3
		差(pt)	▲0.3	▲1.7	1.7	▲1.5	4.0
	読むこと	県(公立) (%)	60.3	67.4	49.8	61.1	67.5
		全国(公立) (%)	61.5	67.8	49.2	62.6	66.5
		差(pt)	▲1.2	▲0.4	0.6	▲1.5	1.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県(公立) (%)		63.8	57.5		
		全国(公立) (%)		64.6	56.8		
		差(pt)		▲0.8	0.7		

Ⅲ
中
国
語

領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 A】



領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 B】



設問別調査結果【国語A】

平成28年度全国学力・学習状況調査

中学校調査

設問別調査結果【国語A：主として知識】

香川県一生涯（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	71	9,464		8,349	996,188

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		香川県-全国
			香川県（公立）	全国（公立）	
全体					
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	33	77.2	75.6	1.6
	書くこと	6	79.8	78.9	0.9
	読むこと	4	75.1	73.7	1.4
	読むこと	6	79.4	78.6	0.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	76.0	73.9	2.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	6	79.8	78.9	0.9
	書く能力	4	75.1	73.7	1.4
	読む能力	6	79.4	78.6	0.8
	言語についての知識・理解・技能	17	76.0	73.9	2.1
問題形式	選択式	23	74.6	73.5	1.1
	短答式	10	83.2	80.5	2.7
	記述式	0			

設問別集計結果

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川県-全国	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	香川県 公立	全国 公立	香川県 公立	全国 公立	正答率 (%)
1一	聞き手をどのように想定して話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する	聞き手の立場を想定し、話の中心的部分と付加的な部分との関係に注意して話す	2イ					○			○			81.8	80.7	0.3	0.1	1.1	0.2
1二	絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	2ウ					○			○			79.0	78.1	0.4	0.2	0.9	0.2
2一	パンフレットの見出しを他の見出しの書き方を参考にして書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く	2ウ					○			○			80.5	78.1	2.8	3.5	2.4	-0.7
2二	文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する	1イ					○			○			74.3	73.2	0.5	0.3	1.1	0.2
3一	「ライスカレーの名に値する」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1ア				○		○			84.9	84.7	0.5	0.2	0.2	0.3
3二	「私」についてのライスカレーを説明したものとして適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ				○		○			89.2	90.0	0.5	0.2	-0.8	0.3
4一	答えの文章を直した意図として適切なものを選択する	文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く	2エ					○			○			63.7	64.7	0.8	0.6	-1.0	0.2
4二	質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く	1ウ					○			○			81.9	78.7	6.8	8.7	3.2	-1.9
5一	電話を受けた相手のことを考えた言葉を書く	相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す	1ウ					○			○			92.6	93.1	3.7	3.7	-0.5	0.0
5二	伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して語を構成する	1イ					○			○			89.0	88.7	0.7	0.3	0.3	0.4
6一	「不思議な機能」の説明として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1イ				○		○			83.2	81.3	0.8	0.4	1.9	0.4
6二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ			1エ				○		○			67.9	67.3	0.9	0.6	0.6	0.3
7一	相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する	話の展開などに注意して聞き、自分の考えと比較する	2エ					○			○			71.9	70.6	0.9	0.5	1.3	0.4
7二	話合いを踏まえた発言として適切なものを選択する	互いの発言を検討して自分の考えを広げる	2オ					○			○			64.8	62.0	1.0	0.6	2.8	0.4
8一	奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	奥付の特徴や役割を理解する			1カ				○		○			86.8	86.1	1.5	1.3	0.7	0.2
8二	資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する	奥付を使って本についての情報を得る			1カ				○		○			64.4	62.4	1.6	1.6	2.0	0.0
9一1	漢字を書く（大学で歴史のケンキウをする）	文脈に即して漢字を正しく書く			2(1)ウ(イ)					○	○			82.4	83.5	5.1	5.8	-1.1	-0.7
9一2	漢字を書く（今までにないドクソウ的な考えだ）				2(1)ウ(イ)					○	○			32.4	26.1	8.6	11.4	6.3	-2.8
9一3	漢字を書く（家の庭に花をさえる）				2(1)ウ(イ)					○	○			92.9	89.9	2.9	5.2	3.0	-2.3
9二1	漢字を読む（封書を開ける）	文脈に即して漢字を正しく読む			2(1)ウ(ア)					○	○			97.5	97.6	1.3	1.3	-0.1	0.0
9二2	漢字を読む（長年の努力が報われた）				2(1)ウ(ア)					○	○			95.1	94.8	1.9	2.0	0.3	-0.1
9二3	漢字を読む（目上の人を敬う）				2(1)ウ(ア)					○	○			89.4	82.6	2.7	4.8	6.8	-2.1
9三ア	適切な語句を選択する（彼は、忙しい仕事の合間を縫って、私に会いに来てくれた）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			1(1)イ(ウ)					○	○			90.2	91.0	0.8	0.6	-0.8	0.2
9三イ	適切な語句を選択する（厳しい挑戦だということは、もちろん分かっています）				1(1)イ(ウ)					○	○			97.4	97.9	0.8	0.5	-0.5	0.3
9三ウ	適切な語句を選択する（弟子を手塩にかけて育てる）				1(1)イ(ウ)					○	○			63.3	59.3	1.4	1.1	4.0	0.3
9三エ	適切な敬語を選択する（私がプリントを集めて、先生にお届けします）				2(1)イ(ア)					○	○			92.6	94.3	0.8	0.6	-1.7	0.2
9三オ	適切な語句を選択する（食長候補として、白羽の矢が立つ）				1(1)イ(ウ)					○	○			60.7	54.0	0.9	0.8	6.7	0.1

9 四ア	漢和辞典の「意味」の中から、「貧美」の「美」の意味として適切なものを選択する	詩書を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える				1 (1)イ(イ)												58.5	60.3	1.4	1.0	-1.8	0.4
9 四イ	漢和辞典の「意味」の中から、「優美」の「美」の意味として適切なものを選択する					1 (1)イ(イ)												65.7	62.8	1.5	1.0	2.9	0.5
9 五	文章を書き直した意図として適切なものを選択する	文の成分の照応について理解する				2 (1)イ(イ)												50.8	50.8	1.7	1.3	0.0	0.4
9 六	題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する	文字の形や大きさ、配列に注意して書く				1 (2)ア												40.2	36.4	1.4	1.2	3.8	0.2
9 七 1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（追ひし）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む				1 (1)ア(ア)												87.5	80.2	3.9	4.4	7.3	-0.5
9 七 2	「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する	歌に表れた作者の思いを想像する				2 (1)イ(イ)												94.9	94.9	1.6	1.7	0.0	-0.1

■設問別調査結果【国語B】

平成28年度全国学力・学習状況調査

設問別調査結果【国語B：主として活用】

香川県一生涯（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	71	9,464		8,361	996,365

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（％）		香川県-全国
			香川県（公立）	全国（公立）	
学習指導要領の領域等	全体	9	67.5	66.5	1.0
	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	3	62.3	58.3	4.0
	読むこと	9	67.5	66.5	1.0
評価の観点	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
	国語への関心・意欲・態度	3	62.3	58.3	4.0
	話す・聞く能力	0			
	書く能力	3	62.3	58.3	4.0
問題形式	読む能力	9	67.5	66.5	1.0
	言語についての知識・理解・技能	0			
	選択式	5	70.1	70.6	-0.5
	短答式	1	70.1	71.1	-1.0
	記述式	3	62.3	58.3	4.0

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

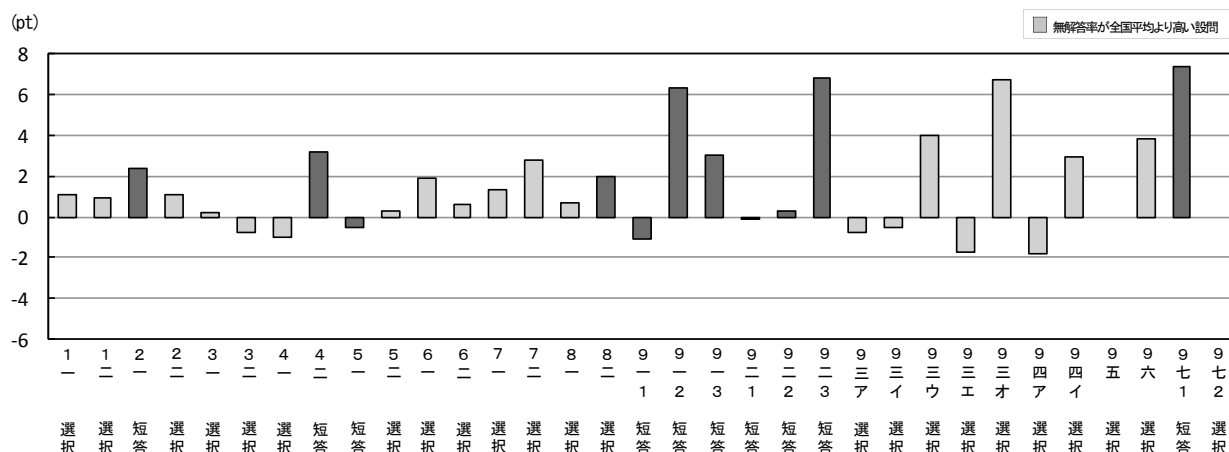
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等		評価の観点					問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川県-全国	
			話すこと・聞くこと	書くこと 読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	正答率(%)	無解答率(%)
1 一	ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える		1イ					○		○		76.9	76.2	0.4	0.2	0.7	0.2
1 二	関連イベントの「～職人の技を見てみよう～」に参加することができる日付として適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る		1カ					○		○		83.1	83.3	0.4	0.2	-0.2	0.2
1 三	ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く	文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く		2ウ	2ウ		○		○	○		○	68.7	68.0	7.4	7.8	0.7	-0.4
2 一	雑誌の記事の説明として適切なものを選択する	文章の構成を捉える		1エ					○		○		64.0	64.9	0.5	0.2	-0.9	0.3
2 二	情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する		1イ					○		○		61.7	64.0	0.6	0.3	-2.3	0.3
2 三	宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を書く	課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える		1ア	1カ		○		○	○		○	58.7	49.2	5.4	6.0	9.5	-0.6
3 一	物語の展開に沿って日之助の様子を並べ替える	文章の展開に即して内容を理解する		1ウ					○			○	70.1	71.1	1.5	1.2	-1.0	0.3
3 二	物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る		1カ					○		○		64.9	64.7	1.1	0.8	0.2	0.3
3 三	図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く	本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く		1ウ	1カ		○		○	○		○	59.6	57.7	18.8	22.8	1.9	-4.0

調査結果に特徴のうかがえる設問

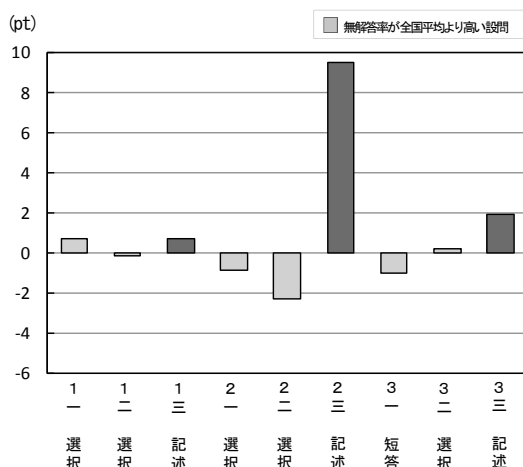
- 中学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、42問中9問（21.4%）であった。
- 中学校国語の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、ない。
- 中学校国語の調査において、正答率が50%以下であった設問は、42問中2問（4.8%）であった。

■設問別の県と全国の正答率の差

【中学校国語A】



【中学校国語B】



■正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【中学校国語A】（全33問中8問）

設問番号	設問の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率 (%)	県無解答率 (%)	全国の正答率との差 (pt)
4-2	質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く	書く	書く	短答	81.9	6.8	3.2
9-2	漢字を書く（今までにない <u>ドクソウ</u> 的な考えた）	伝国	言語	短答	32.4	8.6	6.3
9-3	漢字を書く（家の庭に花を <u>ウ</u> える）	伝国	言語	短答	92.9	2.9	3.0
9-23	漢字を読む（目上の人を <u>敬</u> う）	伝国	言語	短答	89.4	2.7	6.8

設問 番号	設問の概要	領域等	評価 観点	問題 形式	県 正答率 (%)	県 無解答率 (%)	全国の 正答率 との 差(pt)
9三ウ	適切な語句を選択する（弟子を手塩に <u>かけて</u> 育てる）	伝国	言語	選択	63.3	1.4	4.0
9三オ	適切な語句を選択する（会長候補として、白羽の矢が <u>立つ</u> ）	伝国	言語	選択	60.7	0.9	6.7
9六	題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する	伝国	言語	選択	40.2	1.4	3.8
9七1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（追ひし）	伝国	言語	短答	87.5	3.9	7.3

【中学校国語B】（全9問中1問）

設問 番号	設問の概要	領域等	評価 観点	問題 形式	県 正答率 (%)	県 無解答率 (%)	全国の 正答率 との 差(pt)
2三	宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと、それを調べるために必要な本の探し方を 書く	書く 読む	関心 書く 読む	記述	58.7	5.4	9.5

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問

【中学校国語A】（全33問） なし

【中学校国語B】（全9問） なし

■正答率が低い設問（50%以下）

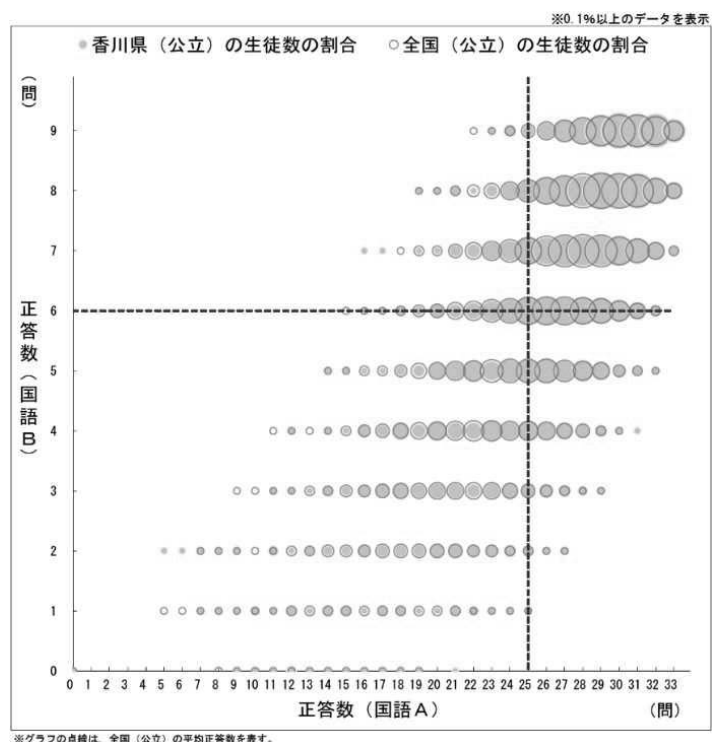
【中学校国語A】（全33問中2問）

設問 番号	設問の概要	領域等	評価 観点	問題 形式	県 正答率 (%)	県 無解答率 (%)	全国の 正答率 との 差(pt)
9一2	漢字を書く（今までにない <u>ドクソウ</u> 的な考えた）	伝国	言語	短答	32.4	8.6	6.3
9六	題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する	伝国	言語	選択	40.2	1.4	3.8

【中学校国語B】（全9問） なし

■中学校 国語A－国語Bの相関

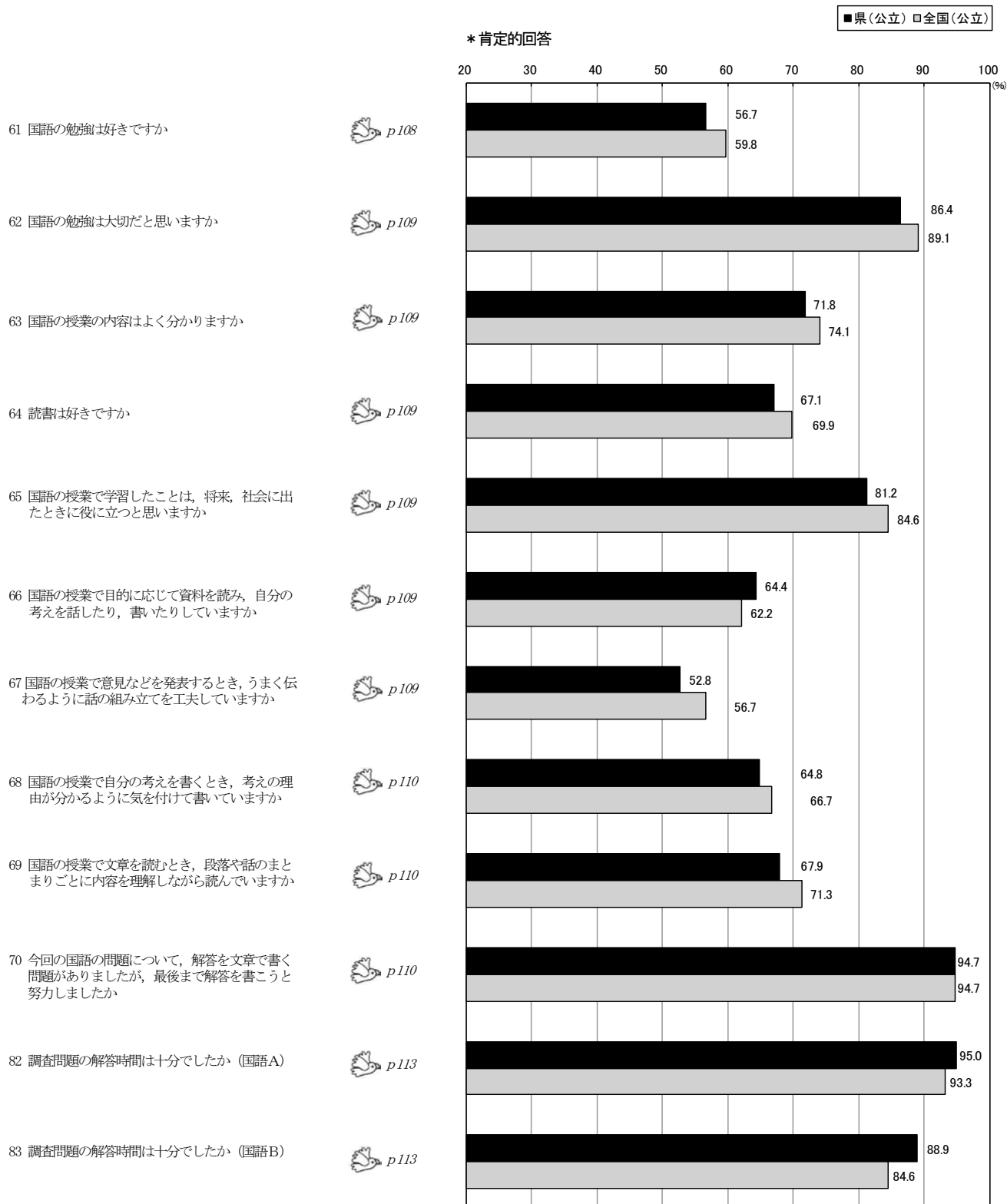
生徒数		8,346	
全国（公立）国語A平均正答数		25.0	
全国（公立）国語B平均正答数		6.0	
生徒の正答数分布状況 (左：生徒数 右：生徒数の割合 (%))	国語A・国語Bともに 平均以上	4,651	55.7
	国語Aは平均以上 国語Bは平均未満	922	11.0
	国語Aは平均未満 国語Bは平均以上	725	8.7
	国語A・国語Bともに 平均未満	2,048	24.5
相関係数		0.720	



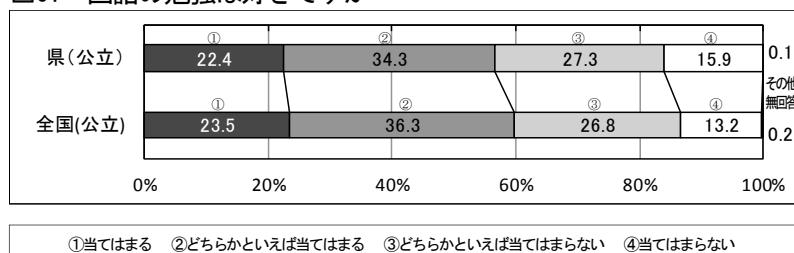
学 習 意 欲

- 「61 国語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて3.1ポイント下回っており、昨年度より2.1ポイント減少した。
- 「63 国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて2.3ポイント下回っており、昨年度より2.1ポイント減少した。

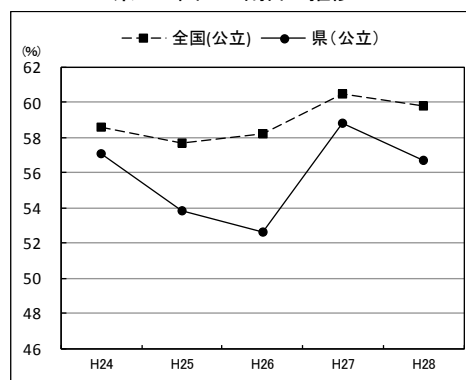
■学習意欲（中学校国語）に関わる質問の全国との比較



□61 国語の勉強は好きですか



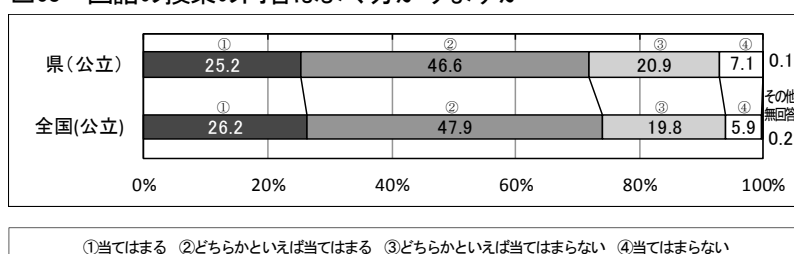
質問 61 に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



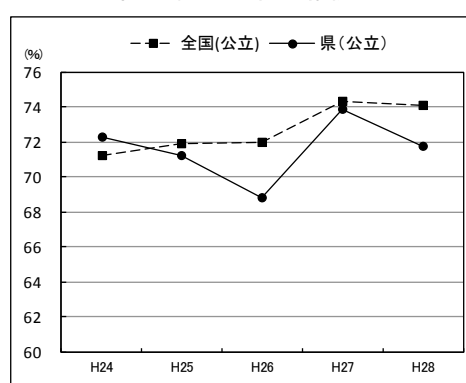
肯定的に回答した生徒の割合

	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立) (%)	57.1	53.8	52.6	58.8	56.7
全国(公立) (%)	58.6	57.7	58.2	60.5	59.8
県と全国の差 (pt)	▲1.5	▲3.9	▲5.6	▲1.7	▲3.1

□63 国語の授業の内容はよく分かりますか



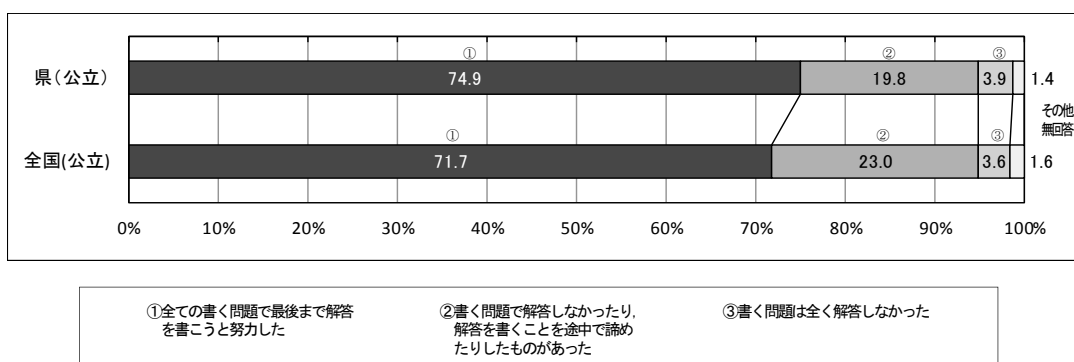
質問 63 に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



肯定的に回答した生徒の割合

	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立) (%)	72.3	71.2	68.8	73.9	71.8
全国(公立) (%)	71.2	71.9	72.0	74.3	74.1
県と全国の差 (pt)	1.1	▲0.7	▲3.2	▲0.4	▲2.3

□70 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか



文と文の意味のつながりを考えながら、伝えたい内容を整理することができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 国語A 4ー

- 1 時間の流れに沿って内容を並べ替えて分かりやすくするため。
2 引用と自分の意見とを区別して分かりやすくするため。
3 異なる二つの内容を整理して分かりやすくするため。
4 専門的な語句を一般的な語句に言い換えて分かりやすくするため。
- ー 山田さんは、自分の答えを読み返して、⑦のように直しました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

【山田さんの答え】

南極点です。

1年間の平均気温は、南極点では約-50℃ですが、北極点では約-18℃です。一般的に、海と陸とを比べると、陸の方が冷たくなりやすいという性質があります。また、標高が高い方が気温が低く~~なり~~^{なります。}実際に、南極点は大陸にありますが、北極点には海や氷が広がっています。そして、南極点の高さは約2800mですが、北極点はほぼ海面と同じです。

【鈴木さんの答え】

北極点は「海」にあり、南極点は「大陸」にあります。一般的に、海より陸の方が冷たくなりやすいという性質があります。また、南極点は北極点より標高が高く、標高が高い方が気温が低くなります。1年間の北極点の平均気温は約-18℃ですが、南極点は約-50℃です。

④ 山田さんのグループでは、北極と南極について調べたことを、「Q & A」(Question and Answer: 質問と、それに対する答え)の形式でまとめています。次は、「北極点と南極点では、どちらの平均気温が低いのか?」というQ(質問)に対して作成している【山田さんの答え】と【鈴木さんの答え】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

問題番号	解答類型	県反応率(%)	全国反応率(%)	正答
4ー	1 1と解答しているもの	7.0	6.7	
	2 2と解答しているもの	21.9	21.6	
	3 3と解答しているもの	63.7	64.7	◎
	4 4と解答しているもの	6.6	6.4	
	9 上記以外の解答	0.0	0.0	
	0 無解答	0.8	0.6	
	正答率	63.7	64.7	

分析・考察

○平成25年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語A 3二で課題が見られたことを踏まえて、文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く問題が出題されている。正答率は、63.7%であった。

○解答類型2の反応率は、21.9%である。これは、一つの文の中に二つの内容があることは捉えられているが、それぞれの内容を適切に捉えることができていないものと考えられる。

授業改善のポイント

【文章を推敲し、書き直す意図や適否について考えるようにする】

書いた文章を推敲する際には、自分が伝えたい事柄が明確になっているかについて、読み手の立場からも見直すように指導する必要がある。

文章を推敲する具体的な観点例

- ・読み手に分かる語句や文の使い方になっているか
- ・取り上げた事例は読み手にとって分かりやすいか
- ・簡潔で分かりやすい文になっているか など

また、書き直す意図や適否について互いに検討し合う学習活動を設定し、推敲の良さを実感することが必要である。



中学校国語B

調査結果から授業改善へ

文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 国語B 1 三

三 博物館のちらし表」と博物館のちらし裏」には、それぞれのよ
うな表現の工夫があります。また、それらにはどのような効果があると思
いますか。あなたの考えを、次の条件1から条件3にたがって書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、一重線で消したり行間に書き加え
たりしてもかまいません。

条件1 表は、……。裏は、……。という形で書くこと。
条件2 表現の工夫と、その効果を具体的に書くこと。
条件3 四十文字以上、八十文字以内で書くこと。

「伝統文化」というと遠い存在のように感じられますが、実は今の暮らしの様々なところに息づいています。

「暮らしの中の伝統文化展」の第1期は、「うるしの世界」を取り上げます。私たちの暮らしの中にある漆のよさを実感してみませんか。

うるしの世界

おわんや重箱などに代表される漆製品は、優美なだけでなく、丈夫で長持ちする実用性の高さも兼ね備えており、私たちの暮らしの中で育まれてきたものです。

展示内容（1期展示室）

展示コーナー① 漆製品の歴史
展示コーナー② 原料としての漆の性質
展示コーナー③ 漆製品の製造工程
展示コーナー④ 暮らしの中の漆製品

関連イベント

～漆製品を使ってみよう～
漆の器とスプーンでアイスクリームを味わいます。また、使用後の手入れの仕方も体験できます。漆の器の美しさや手触りのよさなどを感じてみましょう。

～職人の技を見てみよう～
この道30年の職人による漆器の実際を見ることが出来ます。交流する時間もありますので、伝統を受け継ぐ職人としての思いなどを直接聞いてみましょう。

日時：開館期間中の土曜日 午後3時～午後4時
場所：1期展示室
定員：20名（無料・当日受付）

日時：開館期間中の日曜日 午前10時～午前11時
場所：1期ホール
定員：50名（無料・当日受付）

暮らしの中の伝統文化展

第1期

うるしの世界

2016年 5月21日(土)～6月19日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時
休 館 日：月曜日
入 館 料：一般300円 大学生・高校生200円
中学生以下無料

第2期：『和紙の世界』6月25日(土)～7月24日(日)
第3期：『磁器の世界』7月30日(土)～8月28日(日)

草木市立博物館
〒900-9859 草木市南町7
電話 090-123-xxxx
http://www.hakubutsukan.co.jp

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
1	三			
	1 条件①, ②, ③を満たして解答しているもの	68.7	68.0	◎
	2 条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの	0.6	0.1	
	3 条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの	22.0	22.5	
	4 条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの	0.1	0.1	
	9 上記以外の解答	1.2	1.6	
	0 無解答	7.4	7.8	
	正答率	68.7	68.0	

分析・考察

- 経年の課題として、文章の構成や展開などを踏まえ、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことがある。本設問も文章の構成や表現上の工夫を捉え、その効果について根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことが求められている。正答率は、68.7%であり、引き続き課題があると考えられる。
- 解答類型3の反応率は、22.0%である。表現の工夫について理解し、文章で表現はしているが、その良さを説明したり、他の人が書いた文章上の効果を評価したりすることに課題があると考えられる。

授業改善のポイント

【文章の構成や展開、表現の仕方とその効果について自分の考えをまとめる】

具体的な学習活動として、ちらしやポスター、パンフレットなどを集め、構成や展開、表現の仕方について分析するとともに、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりすることが考えられる。さらに、実際に学校生活などに関わるちらしを作成し、書き手の立場で表現の工夫について説明したり、読み手の立場でその工夫が効果的かどうかについて検討したりすることも、効果の有効性の理解を深める学習活動である。考えたことを文章にまとめる際には、どの部分に着目してどのような効果があるかと考えたのかなどについて具体的に書くように指導することが必要である。

(参照) 「平成26年度【中学校】授業アイディア例」p.9, 10

文章の構成を捉え、目的に応じて文章を要約することができるようにする。

宇宙エレベーターの建設方法

◎宇宙エレベーターはどのようにして建設するのか。

- ・ 高度約3万6000kmの宇宙ステーションから、地上へ向けてケーブルを伸ばす。地上とは反対側へもケーブルを伸ばす。
- ・ ケーブルに昇降機を取り付ける。

〈出典〉『科学と未来』平成28年5月号（日本科学未来社）

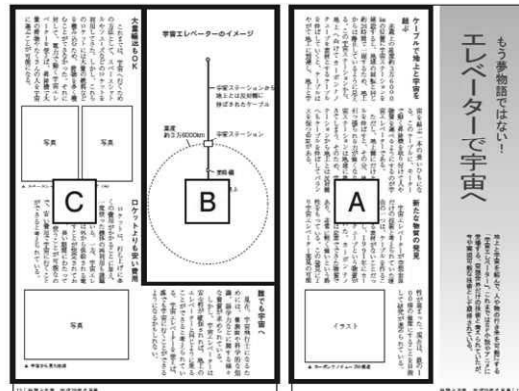
宇宙エレベーターの昇降機

◎宇宙エレベーターの昇降機にはどのような特徴があるのか。

〈出典〉『科学と未来』平成28年5月号（日本科学未来社）

- 1 地上と宇宙ステーションの間を約24時間で移動する。
- 2 大量の荷物やたくさんの人を運ぶことができる。
- 3 昇降機の壁はロケットの100倍の強度をもっている。
- 4 外から供給される電力でモーターを動かして昇降する。
- 5 地球と同じ速さで動き、どこからでも乗ることができる。

二 高橋さんは、『雑誌の記事』の内容を次のような情報カードにまとめています。
次の1から5までの中から二つ選びなさい。



- 1 Aで宇宙エレベーターの仕組みや実現の可能性が高まった理由を述べた上で、B、Cで実現した際の具体的な利点を書いている。
- 2 Aで宇宙エレベーターの仕組みや実現の可能性が高まった理由を述べた上で、B、Cで実現するための具体的な課題を書いている。
- 3 A、Bで宇宙エレベーターの仕組みや実現の可能性が高まった理由を述べた上で、Cで実現した際の具体的な利点を書いている。
- 4 A、Bで宇宙エレベーターの仕組みや実現の可能性が高まった理由を述べた上で、Cで実現するための具体的な課題を書いている。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
2	1	15.3	15.6	
	2	9.2	8.2	
	3	64.0	64.9	◎
	4	10.9	10.9	
	9	0.1	0.1	
	0	0.5	0.2	
	正答率	64.0	64.9	

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
2	1	61.7	64.0	◎
	9	37.8	35.8	
	0	0.6	0.3	
	正答率	61.7	64.0	

- 経年の課題として文章の構成を捉えて読むことがあげられる。[2]一の設定問も正答率は64.0%であり、引き続き課題があると考えられる。解答類型1の反応率は15.3%である。これは、BがAの内容を補っていることについて適切に捉えられなかったものと考えられる。
- [2]二の正答率は61.7%で、目的に応じて情報を選択し整理することに課題がある。解答類型9の反応率は37.8%である。全国の調査結果では、このうち「2」を選択したが「4」を選択していない生徒が全体の21.6%であることから、文章中に分散して記述されている正答に結びつく事柄を関係付けながら読むことができなかったものと考えられる。

授業改善のポイント

【文章と図表などを関連付けながら読む】

説明的な文章には、図表やグラフ写真やイラストなどの資料が使われていることがある。そのような文章を読む際には、図表などが文章のどの部分と関連しているかを確認し文章全体の構成を捉えることができるよう指導する必要がある。実際に説明や記録の文章を書く際には、図表などを効果的に用いて書く指導も必要である。

【目的に応じて情報を整理する】

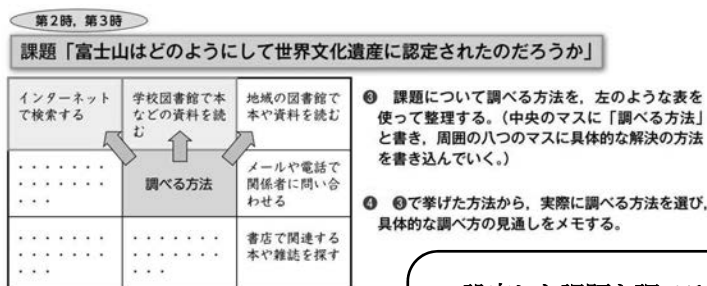
資料を読む際には、目的に応じて情報を選択し整理することが大切である。その際、読みながら線を引いたりメモを取ったりしてまとめていくことが必要である。また、文章の一部分にとどまることなく、文章全体の中から、過不足なく情報を取り出して理解することができるように指導する必要がある。具体的には、目的に応じて取り出しながら資料を読み、見出しを付けながら取り出した情報を整理するなどの学習活動が考えられる。

授業アイデア例：文章を読んで課題を決め、情報を集めて解決する

- 題材に関する資料を読み、調べたい課題について新たに知ったことを「プラス1情報」として書く。
よりよい課題の設定の方法を身に付ける。

① 題材に関する資料を読んで、さらに知りたいことや調べたいこと（課題）を決める。（第1時）

② 情報を収集する具体的な方法について意見を交換し、考えた方法で情報を集める。（第2,3時）



設定した課題を調べる際には、「何で、どのように調べるか」について見通しをもち、具体的な手順や方法、調べた情報の妥当性について検討し合う場を設定する。

- ③ 集めた情報を「プラス1情報」として短い文章にまとめる。
「プラス1情報」を互いに読み合い、課題の設定と情報の収集の仕方について考える。（第4時）

(参照) 「平成25年度【中学校】授業アイデア例」p9,10

4 中学校 数学 <調査区分の分析・検証>

概 要

- 数学Aについて、県と全国の平均正答率の比較（+1.6ポイント）等から、全国平均より上回っている。
- 数学Bについて、県と全国の平均正答率の比較（+0.5ポイント）等から、全国平均よりやや上回っている。

■平成 28 年度調査結果の集計値

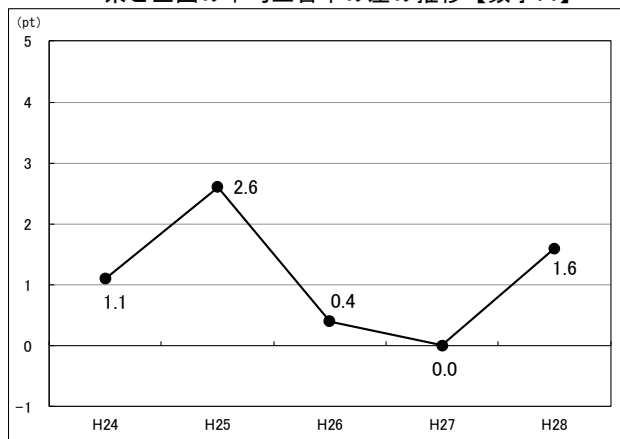
中学校数学A	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,366	71	23.0 / 36	63.8	1.6
全国(公立)	996,502	9,461	22.4 / 36	62.2	
中学校数学B	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)	県と全国との差(pt)
県(公立)	8,364	71	6.7 / 15	44.6	0.5
全国(公立)	996,578	9,460	6.6 / 15	44.1	

■平成 24 年度～平成 28 年度の県と全国の調査結果

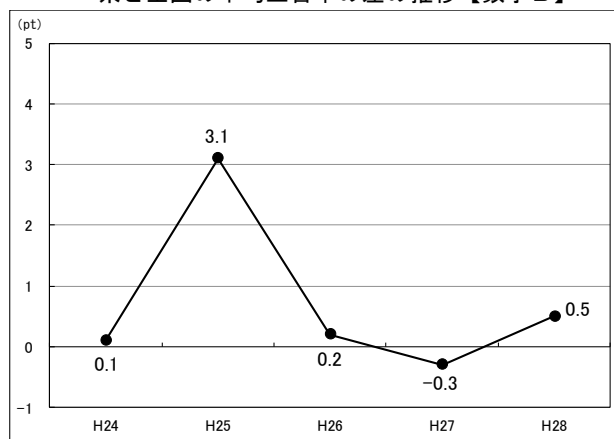
※H24 年度は抽出調査

中学校数学A	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)平均正答率 (%)	63.2	66.3	67.8	64.4	63.8
全国(公立)平均正答率 (%)	62.1	63.7	67.4	64.4	62.2
県と全国との差 (pt)	1.1	2.6	0.4	0.0	1.6
中学校数学B	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)平均正答率 (%)	49.4	44.6	60.0	41.3	44.6
全国(公立)平均正答率 (%)	49.3	41.5	59.8	41.6	44.1
県と全国との差 (pt)	0.1	3.1	0.2	▲0.3	0.5

県と全国の平均正答率の差の推移【数学A】



県と全国の平均正答率の差の推移【数学B】



■平成 28 年度領域別調査結果

学習指導要領の領域	数学 A				数学 B			
	数と式	図形	関数	資料の活用	数と式	図形	関数	資料の活用
県（公立）平均正答率（％）	67.9	67.5	54.8	58.7	51.3	35.6	42.1	40.0
全国（公立）平均正答率（％）	65.9	67.1	52.0	56.5	51.5	33.3	41.4	39.3
県と全国との差（pt）	2.0	0.4	2.8	2.2	▲0.2	2.3	0.7	0.7

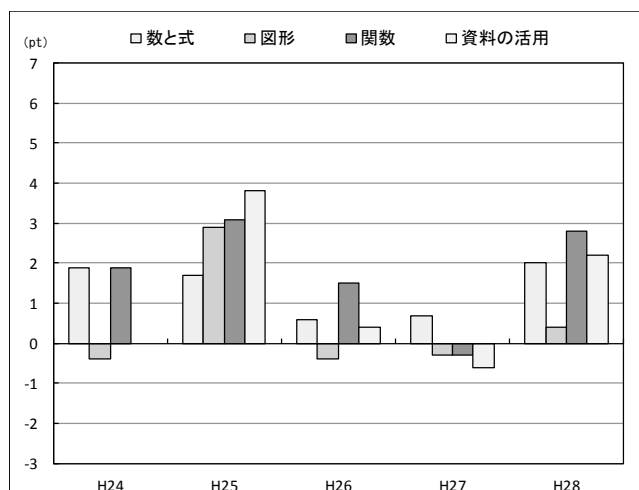
■平成 24 年度～平成 28 年度の領域別調査結果

※H24 年度は抽出調査

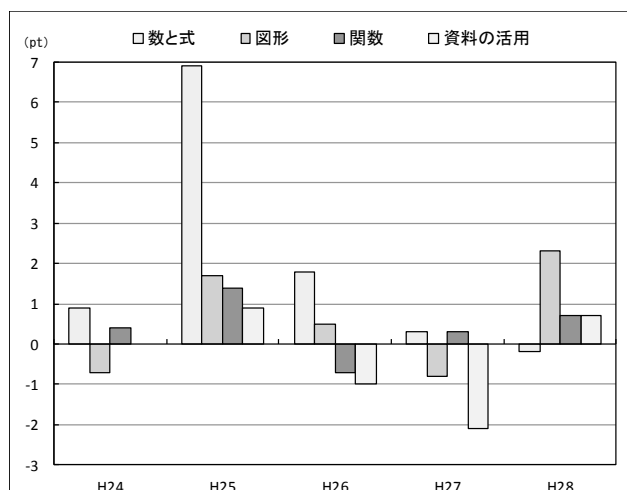
数学 A	年度		H24	H25	H26	H27	H28
	数と式	県（公立）（％）	69.4	74.4	78.0	68.4	67.9
		全国（公立）（％）	67.5	72.7	77.4	67.7	65.9
		差（pt）	1.9	1.7	0.6	0.7	2.0
	図形	県（公立）（％）	66.3	67.5	66.0	63.1	67.5
		全国（公立）（％）	66.7	64.6	66.4	63.4	67.1
		差（pt）	▲0.4	2.9	▲0.4	▲0.3	0.4
	関数	県（公立）（％）	54.0	61.8	59.5	61.4	54.8
		全国（公立）（％）	52.1	58.7	58.0	61.7	52.0
		差（pt）	1.9	3.1	1.5	▲0.3	2.8
	資料の活用	県（公立）（％）		50.6	59.5	62.4	58.7
		全国（公立）（％）		46.8	59.1	63.0	56.5
		差（pt）		3.8	0.4	▲0.6	2.2

数学 B	年度		H24	H25	H26	H27	H28
	数と式	県（公立）（％）	41.8	48.6	58.7	63.5	51.3
		全国（公立）（％）	40.9	41.7	56.9	63.2	51.5
		差（pt）	0.9	6.9	1.8	0.3	▲0.2
	図形	県（公立）（％）	59.0	46.5	59.1	38.2	35.6
		全国（公立）（％）	59.7	44.8	58.6	39.0	33.3
		差（pt）	▲0.7	1.7	0.5	▲0.8	2.3
	関数	県（公立）（％）	40.2	41.4	63.7	31.0	42.1
		全国（公立）（％）	39.8	40.0	64.4	30.7	41.4
		差（pt）	0.4	1.4	▲0.7	0.3	0.7
	資料の活用	県（公立）（％）		43.1	54.9	29.1	40.0
		全国（公立）（％）		42.2	55.9	31.2	39.3
		差（pt）		0.9	▲1.0	▲2.1	0.7

領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【数学 A】



領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【数学 B】



設問別調査結果【数学A】

平成28年度全国学力・学習状況調査

設問別調査結果【数学A：主として知識】

香川県一生涯（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	71	9,461		8,366	996,502

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		香川県-全国
			香川県（公立）	全国（公立）	
学習指導要領の領域	全体	36	63.8	62.2	1.6
	数と式	12	67.9	65.9	2.0
	図形	12	67.5	67.1	0.4
	関数	8	54.8	52.0	2.8
	資料の活用	4	58.7	56.5	2.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	19	68.3	66.9	1.4
	数量や図形などについての知識・理解	17	58.8	56.8	2.0
問題形式	選択式	13	59.3	57.8	1.5
	短答式	23	66.3	64.6	1.7
	記述式	0			

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川県-全国	
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）	正答率（%）	無解答率（%）
1（1）	$\frac{2}{5} \times 0.6$ を計算する	分数と小数の乗法の計算ができる	小6 (1) イ						○*			○		65.8	66.9	5.2	5.0	-1.1	0.2
1（2）	-5、0、1、2、5、4の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解している	1(1) ア								○	○		46.2	40.6	0.5	0.2	5.6	0.3
1（3）	$-3 + (-7)$ を計算する	正の数と負の数の加法の計算ができる	1(1) ウ						○			○		91.6	91.6	1.3	0.7	0.0	0.6
1（4）	今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1(1) エ								○	○		71.7	69.0	0.6	0.3	2.7	0.3
2（1）	ある数を3で割ると、商が a で余りが2になるとき、ある数を a を用いた式で表す	数量の関係を文字式に表すことができる	1(2) エ						○			○		47.0	32.2	9.8	12.5	14.8	-2.7
2（2）	$(2x+5y)+3(x-2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2(1) ア						○			○		85.2	84.0	3.1	2.5	1.2	0.6
2（3）	ある数 a について、不等式 $a > 5$ と表せる事柄を選ぶ	不等式の意味を読み取ることができる	1(2) エ						○		○			79.6	78.2	0.7	0.3	1.4	0.4
2（4）	等式 $S=ah$ を h について解く	具体的な場面で数量の関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形できる	2(1) ウ						○			○		70.9	67.9	6.7	8.2	3.0	-1.5
3（1）	一元一次方程式 $x+12=-2x$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	1(3) ウ						○			○		70.4	71.3	6.0	5.1	-0.9	0.9
3（2）	一元一次方程式 $2x=x+3$ の解について、正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	1(3) ア								○	○		48.1	47.2	1.0	0.5	0.9	0.5
3（3）	縦と横の長さの比が6:8の長方形の看板について、縦の長さが45cmのときの横の長さ x cmを決めるための比例式をつくる	具体的な場面における数量の関係を捉え、比例式をつくることができる	1(3) ウ						○			○		48.8	52.3	14.5	15.4	-3.5	-0.9
3（4）	方程式 $2x+y-x-y=3$ から、 x と y の値を求めるための連立方程式を完成させる	2つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り、2つの二元一次方程式で表すことができる	2(2) イ、ウ						○			○		89.2	89.7	5.9	5.4	-0.5	0.5
4（1）	与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ	垂線の作図の方法について理解している	1(1) ア								○	○		31.2	30.9	1.2	0.8	0.3	0.4
4（2）	$\triangle ABC$ を、直線 l を軸として対称移動した図形をかく	対称移動した図形をかくことができる	1(1) イ						○			○		71.7	71.8	2.4	2.0	-0.1	0.4
5（1）	三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	空間における直線と直線との位置関係（辺と辺とがねじれの位置にあること）を理解している	1(2) ア								○	○		81.5	75.5	3.2	2.6	6.0	0.6
5（2）	四角形をその面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を書く	四角形をその面に垂直な方向に平行に動かすと、四角柱が構成されることを理解している	1(2) イ								○	○		73.1	74.0	6.0	5.6	-0.9	0.4
5（3）	立方体の見取図を読み取り、2つの角の大きさの関係について、正しい記述を選ぶ	見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることができる	1(2) イ						○			○		79.3	78.8	1.1	0.6	0.5	0.5
5（4）	円柱の体積が 600cm^3 のとき、その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める	円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $\frac{1}{3}$ であることを理解している	1(2) ウ								○	○		51.4	49.9	12.0	14.2	1.5	-2.2
6（1）	平行線や角の性質を用いて $\angle APB$ の大きさを求める	平行線や角の性質を用いて、角の大きさを求めることができる	2(1) ア						○			○		76.8	74.8	4.5	4.5	2.0	0.0
6（2）	多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ	多角形の外角の和の性質を理解している	2(1) イ								○	○		72.6	69.3	1.3	0.8	3.3	0.5
7（1）	$\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	三角形の合同条件を理解している	2(2) ア								○	○		69.8	70.8	1.3	0.8	-1.0	0.5
7（2）	ひし形の対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表す	ひし形について対角線が垂直に交わることを、記号を用いて表すことができる	2(2) イ、ウ						○			○		75.6	74.7	10.4	11.4	0.9	-1.0
7（3）	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	命題の逆を理解している	2(2) イ								○	○		69.1	72.3	7.3	7.7	-3.2	-0.4
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ	証明の必要性和意味を理解している	2(2) イ、ウ								○	○		57.4	61.9	1.7	1.2	-4.5	0.5
9（1）	比例の表を完成させる	比例の表を表す表から変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることができる	1(1) エ						○			○		88.2	87.9	3.9	3.2	0.3	0.7
9（2）	比例 $y=2x$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める	比例の式について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる	1(1) エ						○			○		38.3	39.4	11.0	12.1	-1.1	-1.1
9（3）	反比例を表した事象を選ぶ	具体的な事象における2つの数量の関係が、反比例の関係になることを理解している	1(1) イ								○	○		46.7	42.0	1.9	1.3	4.7	0.6
9（4）	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表すことができる	1(1) エ						○			○		38.2	34.5	12.3	14.8	3.7	-2.5

10 (1)	一次関数の表からグラフを選ぶ	一次関数のグラフの特徴について、表と関連付けて理解している			2 (1)イ						○	○			64.4	61.9	1.9	1.6	2.5	0.3
10 (2)	一次関数の式から変化の割合を求める	一次関数 $y=mx+b$ について、変化の割合が一定で m の値に等しいことを理解している			2 (1)イ						○		○		60.2	54.6	17.1	22.3	5.6	-5.2
10 (3)	一次関数のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	一次関数のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる			2 (1)イ					○			○		46.6	43.0	15.1	18.9	3.6	-3.8
11	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことができる			2 (1)ア					○			○		55.4	53.0	12.3	14.1	2.4	-1.8
12 (1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる			1 (1)ア						○		○		51.5	45.5	14.3	17.4	6.0	-3.1
12 (2)	ある郵便物の重さについて、デジタルはかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ	測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解している			1 (1)イ						○	○			39.7	34.7	2.5	2.5	5.0	0.0
13 (1)	1枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ことの意味や、前の試行が次の試行に影響しないことを理解している			2 (1)ア						○	○			64.7	66.0	2.2	1.9	-1.3	0.3
13 (2)	1から13までの数字が書かれた13枚のカードから5枚または11枚のカードをひく確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる			2 (1)ア					○			○		79.0	79.6	8.5	8.5	-0.6	0.0

* 評価の観点とは、数量や図形についての技能(小学校)に対応させている

■設問別調査結果【数学B】

平成28年度全国学力・学習状況調査

設問別調査結果 【数学B：主として活用】
香川県一生涯（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	71	9,460		8,364	996,578

分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（％）		香川県-全国
			香川県（公立）	全国（公立）	
	全体	15	44.6	44.1	0.5
学習指導要領の領域	数と式	6	51.3	51.5	-0.2
	図形	2	35.6	33.3	2.3
	関数	5	42.1	41.4	0.7
	資料の活用	2	40.0	39.3	0.7
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	11	39.4	38.9	0.5
	数学的な技能	4	58.9	58.5	0.4
	数量や図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	2	40.5	41.3	-0.8
	短答式	6	57.9	57.8	0.1
	記述式	7	34.4	33.1	1.3

※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（％）		無解答率（％）		香川県-全国	
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）	正答率（％）	無解答率（％）
1 (1)	1試合の時間を16分とするとき、1回の休憩の時間を求める	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる	1 (3)ウ					○				○		77.7	79.3	1.9	1.2	-1.6	0.7
1 (2)	漢字さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することができる	1 (3)ウ					○				○		34.3	33.4	18.1	19.3	0.9	-1.2
1 (3)	1試合の時間を10分とすることができるについて正しい記述を選び、その理由を式を基に説明する	適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる	1 (3)ウ					○					○	53.4	51.4	2.5	2.3	2.0	0.2
2 (1)	一次関数の表から $x=4$ のときの y の値を求める	条件を基に、表から数量の変化や対応の特徴を捉え、 x の値に対応する y の値を求めることができる	2 (1)イ					○				○		61.3	59.1	8.7	8.7	2.2	0.0
2 (2)	$x=4$ のとき $y=9$ になるように、 x と y の間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する	加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる	1 (1)エ					○				○		21.9	20.6	7.7	8.2	1.3	-0.5
3 (1)	A車を購入して10年間使用するときの総費用を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる	2 (1)イ、エ					○				○		67.5	67.4	4.4	3.4	0.1	1.0
3 (2)	B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ	グラフの傾きを事象に即して解釈することができる	2 (1)イ、エ					○				○		28.6	29.8	1.4	0.7	-1.2	0.7
3 (3)	A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	2 (1)イ、エ					○					○	31.2	30.3	9.7	12.1	0.9	-2.4
4 (1)	2つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる	2 (2)イ、ウ					○					○	28.9	29.4	21.6	22.3	-0.5	-0.7
4 (2)	$DA:DC=1:2$ のときの $\triangle DEC$ がどのような三角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見いだし、説明することができる	2 (2)ウ					○					○	42.4	37.3	24.9	30.5	5.1	-5.6
5 (1)	24.5cmの紐を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	1 (1)イ					○					○	47.4	47.6	18.6	19.3	-0.2	-0.7
5 (2)	25.5cmの紐が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる	1 (1)イ					○				○		32.5	31.1	29.4	33.5	1.4	-4.1
6 (1)	最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	小4 (4)					○*					○	74.2	76.4	13.4	12.8	-2.2	0.6
6 (2)	文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する	与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することができる	2 (1)イ、ウ					○					○	15.7	15.4	36.1	41.5	0.3	-5.4
6 (3)	当てる方法を変えるとき、新しい数当てゲームの手順について当てはまる言葉を選ぶ	計算の過程を振り返って考え、数当てゲームの新しい手順を完成することができる	2 (1)ウ					○				○		52.5	52.9	4.8	4.5	-0.4	0.3

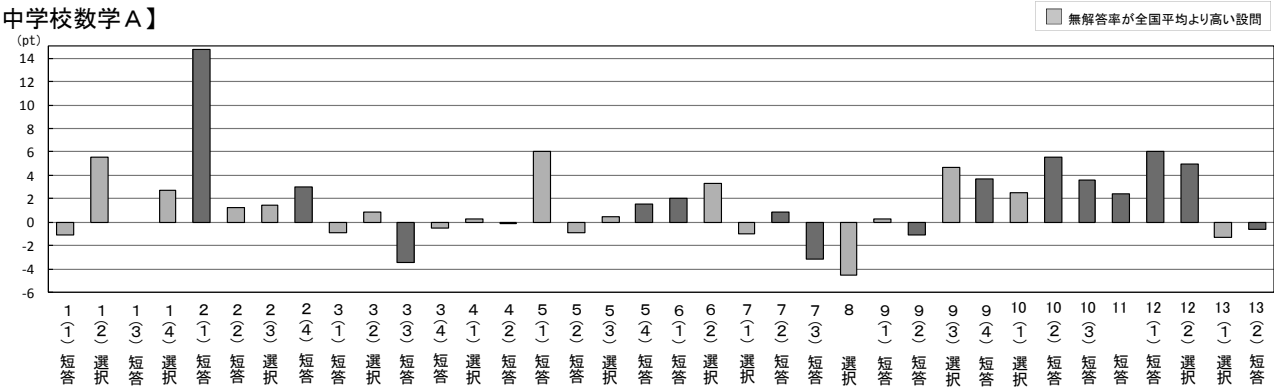
* 評価の観点とは、数量や図形に関する技能(小学校)に対応させている。

調査結果に特徴のうかがえる設問

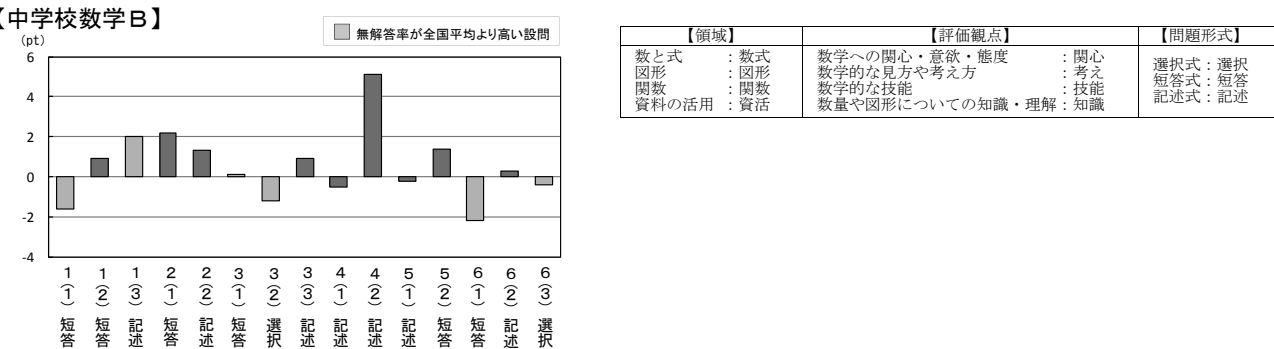
- 中学校数学の調査において、正答率が3ポイント以上全国を上回った設問は、51問中12問(23.5%)であった。
- 中学校数学の調査において、正答率が3ポイント以上全国を下回った設問は、51問中3問(5.9%)であった。
- 中学校数学の調査において、正答率が50%以下であった設問は、51問中19問(37.3%)であった。

■設問別の県と全国の正答率の差

【中学校数学A】



【中学校数学B】



【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と式 : 数式 図形 : 図形 関数 : 関数 資料の活用 : 資活	数学への関心・意欲・態度 : 関心 数学的な見方や考え方 : 考え 数学的な技能 : 技能 数量や図形についての知識・理解 : 知識	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■正答率が全国より3ポイント以上高い設問

【中学校数学A】 (全36問中11問)

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国正答率との差(pt)
1(2)	-5, 0, 1, 2.5, 4の中から自然数を全て選ぶ	数式	知識	選択	46.2	0.5	5.6
2(1)	ある数を3でわると、商がaで余りが2になるとき、ある数をaを用いた式で表す	数式	技能	短答	47.0	9.8	14.8
2(4)	等式 $S=ah$ を h について解く	数式	技能	短答	70.9	6.7	3.0
5(1)	三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	図形	知識	短答	81.5	3.2	6.0
6(2)	多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ	図形	知識	選択	72.6	1.3	3.3
9(3)	反比例を表した事象を選ぶ	関数	知識	選択	46.7	1.9	4.7
9(4)	反比例のグラフから式を求める	関数	技能	短答	38.2	12.3	3.7
10(2)	一次関数の式から変化の割合を求める	関数	知識	短答	60.2	17.1	5.6
10(3)	一次関数のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求める	関数	技能	短答	46.6	15.1	3.6
12(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資活	知識	短答	51.5	14.3	6.0
12(2)	ある郵便物の重さについて、デジタルはかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ	資活	知識	選択	39.7	2.5	5.0

【中学校数学B】 (全15問中1問)

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国正答率との差(pt)
4(2)	DA : DC = 1 : 2のときの△DECがどのような三角形になるかを説明する	図形	考え	記述	42.4	24.9	5.1

■正答率が全国より3ポイント以上低い設問

【中学校数学A】 (全36問中3問)

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国正答率との差(pt)
3(3)	縦と横の長さの比が5 : 8の長方形の看板について、縦の長さが45cmのときの横の長さxcmを決めるための比例式をつくる	数式	技能	短答	48.8	14.5	▲3.5
7(3)	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	図形	知識	短答	69.1	7.3	▲3.2
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ	図形	知識	選択	57.4	1.7	▲4.5

【中学校数学B】（全 15 問） なし

■正答率が低い設問（50%以下）

【中学校数学A】（全 36 問中 10 問）

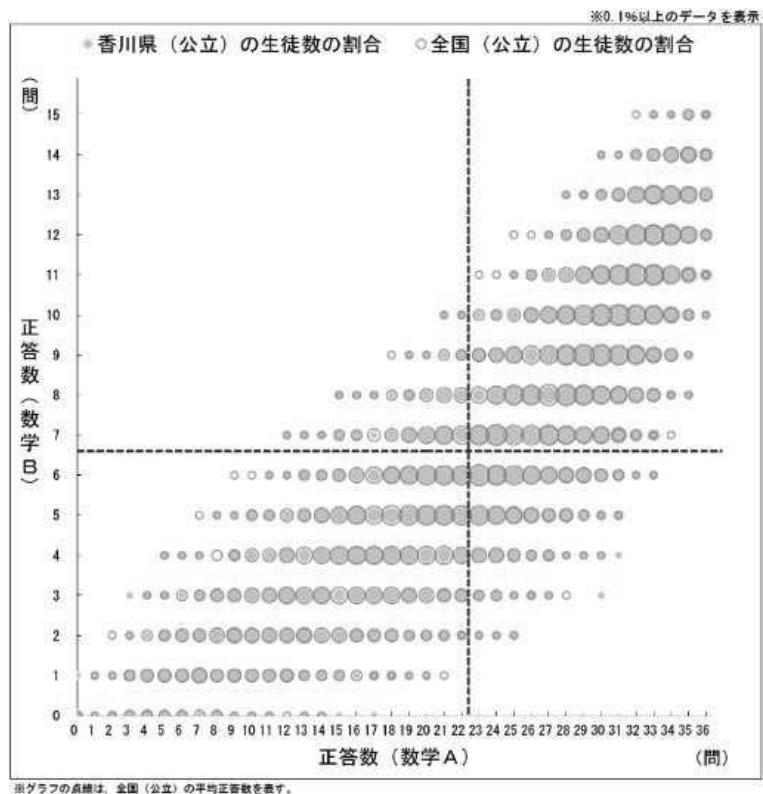
設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1 (2)	-5, 0, 1, 2.5, 4の中から自然数を全て選ぶ	数式	知識	選択	46.2	0.5	5.6
2 (1)	ある数を3でわると、商が a で余りが2になるとき、ある数を a を用いた式で表す	数式	技能	短答	47.0	9.8	14.8
3 (2)	一元一次方程式 $2x=x+3$ の解について、正しい記述を選ぶ	数式	知識	選択	48.1	1.0	0.9
3 (3)	縦と横の長さの比が 5:8 の長方形の看板について、縦の長さが 4.5 cm のときの横の長さ x cmを決めるための比例式をつくる	数式	技能	短答	48.8	14.5	▲3.5
4 (1)	与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ	図形	知識	選択	31.2	1.2	0.3
9 (2)	比例 $y=2x$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める	関数	技能	短答	38.3	11.0	▲1.1
9 (3)	反比例を表した事象を選ぶ	関数	知識	選択	46.7	1.9	4.7
9 (4)	反比例のグラフから式を求める	関数	技能	短答	38.2	12.3	3.7
10 (3)	一次関数のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	関数	技能	短答	46.6	15.1	3.6
12 (2)	ある郵便物の重さについて、デジタルはかりで表示された値を基に、真の値の範囲を選ぶ	資活	知識	選択	39.7	2.5	5.0

【中学校数学B】（全 15 問中 9 問）

設問番号	設問の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1 (2)	葉月さんの提案を取り入れたとき、1試合の時間を求めるための方程式をつくる	数式	考え	短答	34.3	18.1	0.9
2 (2)	$x=4$ のとき $y=9$ になるように、 x と y の間の関係を書き加えることについて、正しい記述を選び、その理由を説明する	関数	考え	記述	21.9	7.7	1.3
3 (2)	B車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、グラフの傾きが表すものを選ぶ	関数	考え	選択	28.6	1.4	▲1.2
3 (3)	A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	関数	考え	記述	31.2	9.7	0.9
4 (1)	2つの辺の長さが等しい事を、三角形の合同を利用して証明する	図形	考え	記述	28.9	21.6	▲0.5
4 (2)	$DA:DC=1:2$ のときの△DECがどのような三角形になるかを説明する	図形	考え	記述	42.4	24.9	5.1
5 (1)	24.5 cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフの特徴を基に説明する	資活	考え	記述	47.4	18.6	▲0.2
5 (2)	25.5 cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く	資活	技能	短答	32.5	29.4	1.4
6 (2)	文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する	数式	考え	記述	15.7	36.1	0.3

■中学校 数学A－数学Bの相関

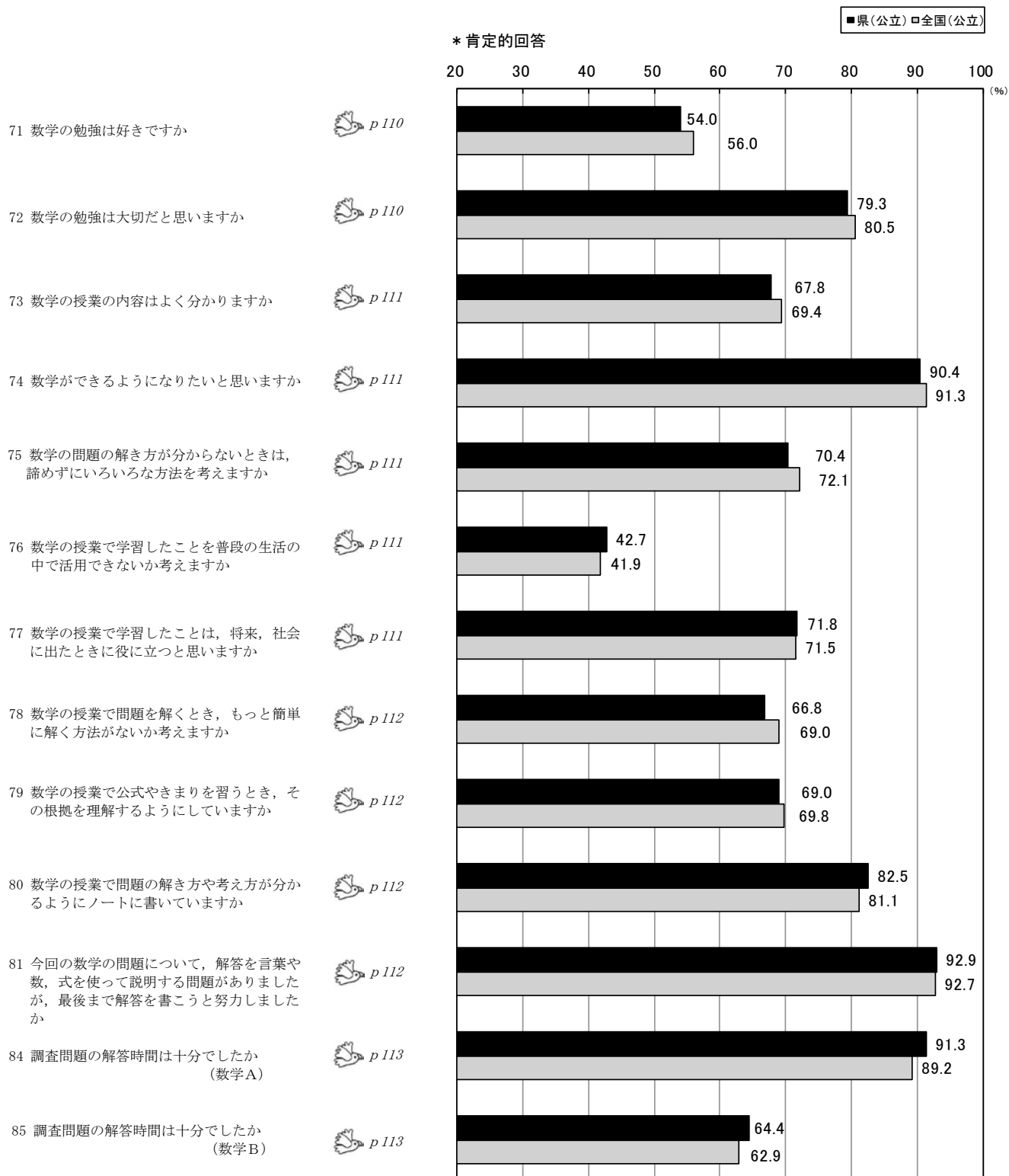
生徒数		8,355	
全国（公立）数学A平均正答数		22.4	
全国（公立）数学B平均正答数		6.6	
生徒の正答数分布状況 (左：生徒数 右：生徒数の割合 (%))	数学A・数学Bともに平均以上	3,773	45.2
	数学Aは平均以上 数学Bは平均未満	1,022	12.2
	数学Aは平均未満 数学Bは平均以上	424	5.1
	数学A・数学Bともに平均未満	3,136	37.5
相関係数		0.820	



学 習 意 欲

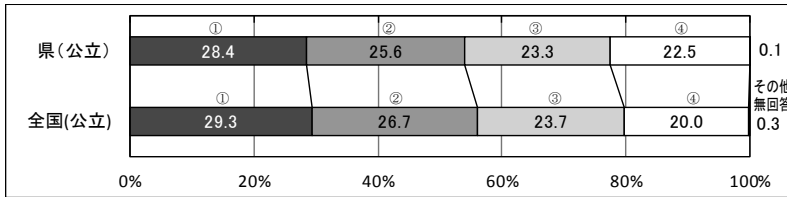
- 「71 数学の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて2.0ポイント下回ったが、昨年度より3.1ポイント増加した。
- 「73 数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、全国と比べて1.6ポイント下回ったが、昨年度より1.3ポイント増加した。

■学習意欲（中学校数学）に関わる質問の全国との比較



□71 数学の勉強は好きですか

p 110

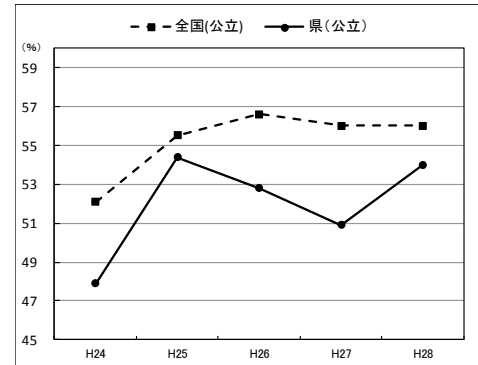


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

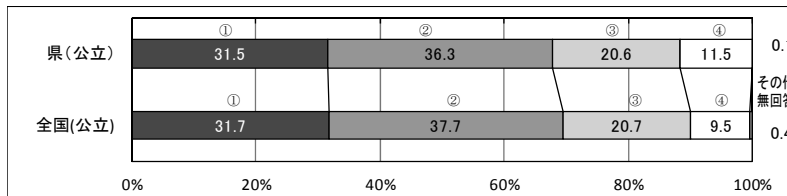
	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)(%)	47.9	54.4	52.8	50.9	54.0
全国(公立)(%)	52.1	55.5	56.6	56.0	56.0
県と全国の差(pt)	▲4.2	▲1.1	▲3.8	▲5.1	▲2.0

質問 71 に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



□73 数学の授業の内容はよく分かりますか

p 111

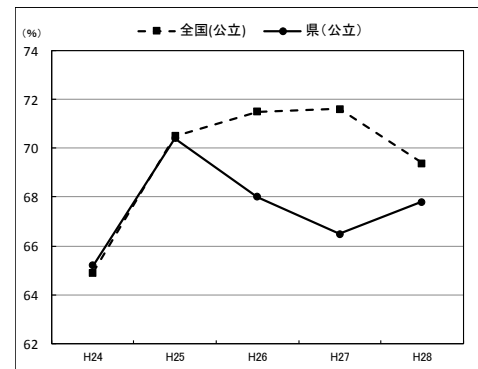


①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

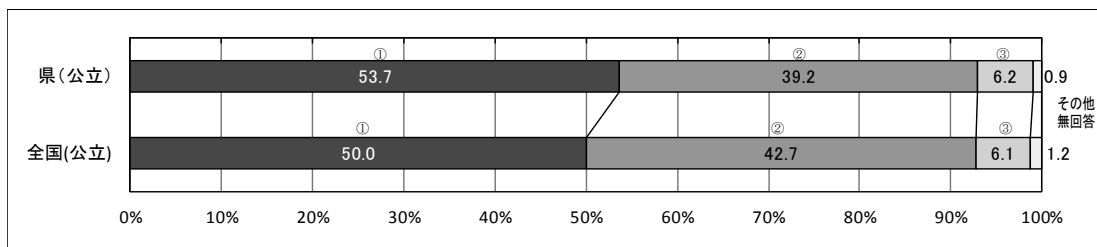
	H24	H25	H26	H27	H28
県(公立)(%)	65.2	70.4	68.0	66.5	67.8
全国(公立)(%)	64.9	70.5	71.5	71.6	69.4
県と全国の差(pt)	0.3	▲0.1	▲3.5	▲5.1	▲1.6

質問 73 に肯定的に回答した生徒の
県と全国との割合の推移



□81 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか

p 112



①全ての書く問題で最後まで解答
を書こうと努力した

②書く問題で解答しなかったり、
解答を書くことを途中で諦め
たりしたものがあつた

③書く問題は全く解答しなかった

中学校数学A

調査結果から授業改善へ

様々な数を方程式に代入したり，方程式を解いた後で解となっていることを確認したりしながら，実感を伴って方程式の解の意味を理解することができるようにする。

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学A 3 (2)

(2) 一次方程式 $2x = x + 3$ の左辺と右辺それぞれの x に 3 を代入すると，次のような計算をすることができます。

$$\begin{array}{lcl} 2x = x + 3 \text{ について,} & & \\ x = 3 \text{ のとき,} & & \\ \text{(左辺)} = 2 \times 3 & \text{(右辺)} = 3 + 3 & \\ = 6 & = 6 & \end{array}$$

このとき，この方程式の解についていえることを，下のアからエまでの中から 1 つ選びなさい。

ア この方程式の解は 6 である。

イ この方程式の解は 3 である。

ウ この方程式の解は 3 と 6 である。

エ この方程式の解は 3 でも 6 でもない。

問題 番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
3 (2)	1 ア と解答しているもの	30.1	31.4	
	2 イ と解答しているもの	48.1	47.2	◎
	3 ウ と解答しているもの	6.0	5.8	
	4 エ と解答しているもの	14.8	15.0	
	9 上記以外の解答	0.0	0.0	
	0 無解答	1.0	0.5	
	正答率	48.1	47.2	

【参考 平成 28 年度調査 A 3 (1)】県正答率 70.4%

(1) 一次方程式 $x + 12 = -2x$ を解きなさい。

分析・考察

- 3 (2) の設問は，一元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる問題であり，過去の同趣旨の設問（平成 22 年度 A 3 (1)）に課題があることから出題された。本県の正答率は 48.1% であり，全国の正答率を 0.9 ポイント上回っている。誤答の中では，解答類型 1 の反応率が 30.1% と最も高く，この中には，一元一次方程式の両辺の x に同じ数を代入したとき，左辺と右辺の式の値が等しいことから，その式の値を一元一次方程式の解と捉えた生徒がいたと考えられる。
- 本年度調査 A 3 (1) に出題された「簡単な一元一次方程式を解くことができるかどうかをみる」問題の正答率 70.4% と比べると，本設問の正答率が 22.3 ポイント下回っている。本設問にある一元一次方程式は，右辺の x を左辺に移項するだけで容易に解くことができる方程式である。これらのことから，「方程式を解く」と「方程式の解」を別のものと捉えている生徒が多数いることが想定されるなど，一元一次方程式の解の意味を理解することに課題がうかがえる。

授業改善のポイント

【代入したり，解の吟味をしたりしながら，実感を伴って方程式の解の意味を理解する】

様々な数を方程式の文字に代入して，それらが解であるかを検討する場面を設定し，方程式の解の意味を理解できるように指導することが大切である。また，方程式を解く場面においては，解いた後で解を方程式の右辺と左辺のそれぞれに代入し，解であることを確認しつつ，等式の性質を使って方程式を解くよさを実感させる場面を設定することが大切である。

本設問を使って授業を行う際には，左辺と右辺にある x が同じ値であることを確認することが大切である。その上で， $2x = x + 3$ を満たす x の値を求めるために，左辺と右辺の x に具体的な数を代入し，左辺と右辺それぞれの式の値が等しくなるときの x の値を見つける活動を取り入れることが考えられる。その際，方程式の解とは方程式を成り立たせる文字の値であることを踏まえ，6 は x の値が 3 のときの両辺の式の値であり，3 が等式を成り立たせる x の値であることから，3 がこの方程式の解であることを理解できるようにすることも大切である。また，これらの事柄を日常の問題場面と結び付け，解の意味や式の値の意味について実感を伴って理解できるようにすることも大切である。

生徒がかいた図を使って、問題の条件を確認したり証明の過程等を説明し合ったりすることで、証明の必要性和意味について理解を深められるようにする。

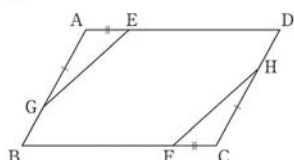
授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学A 8

- 8 平行四辺形ABCDで、辺AD、BC上に、 $AE = CF$ となるように点E、Fをそれぞれとります。また、辺AB、CD上に、 $AG = CH$ となるように点G、Hをそれぞれとります。このとき、 $EG = FH$ となることを、ある学級では、次の図1をかいて証明しました。

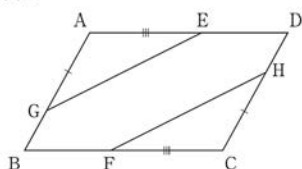
(証明は省略)

図1



この証明をしたあと、点E、Fの位置を図2のように変えました。このときも図1と同じように $EG = FH$ となるかどうかを考えてみたところ、下のアからエまでのような意見が出ました。正しいものを1つ選びなさい。

図2



ア 図2の場合も、 $EG = FH$ であることは、すでに前ページの証明で示されている。

イ 図2の場合は、 $EG = FH$ であることを、改めて証明する必要がある。

ウ 図2の場合は、 $EG = FH$ であることを、それぞれの辺の長さを測って確認しなければならない。

エ 図2の場合は、 $EG = FH$ ではない。

問題番号	解答類型	県反応率(%)	全国反応率(%)	正答
8	1 ア と解答しているもの	57.4	61.9	◎
	2 イ と解答しているもの	28.3	25.8	
	3 ウ と解答しているもの	8.7	7.8	
	4 エ と解答しているもの	3.8	3.4	
	9 上記以外の解答	0.0	0.0	
	0 無解答	1.7	1.2	
	正答率	57.4	61.9	

分析・考察

- 8の設問は、証明の必要性和意味を理解しているかどうかをみる問題であり、本県の正答率57.4%は、全国の正答率を4.5ポイント下回っている。過去の同趣旨の設問における本県の正答率は、平成24年度A8が61.4%、平成25年度A8が63.5%であり、引き続き課題があることがうかがえる。
- 誤答については、イを選択した解答類型2の反応率が28.3%であり、この中には、証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて理解していない生徒がいると考えられる。その原因として、図1や図2のように複数の図を用いるのではなく、既に表示されている完成図1つを用いて証明の学習を行っていることが考えられる。

授業改善のポイント

【生徒がかいた図を使って、問題の条件を確認したり証明の過程等を説明し合ったりする】

ある図形について証明された命題は、その仮定を満たすすべての図形について例外なく成り立つことを捉える場面を設定し、証明の必要性和意味についての理解を深められるように指導することが大切である。

設問8を使って授業を行う際には、完成図を教師が示すのではなく、未完成の図(例えば、平行四辺形のみ)を示し、条件を満たす図を生徒にかかせて比較させたり、ICTを活用して条件を満たす図を数多く示したりし、どの図においても証明が成り立つことを確認する活動を取り入れることが考えられる。普段の授業においても、与えられた条件(長さの等しい辺や大きさの等しい角、平行な辺等)を、記号を用いて図に表したり、証明したい事柄を図にかき入れたりする活動も大切にしたい。さらに、生徒がかいたいくつかの図を使って、証明した事柄以外に言えることを確認したり、条件を変えたときに命題が成り立つかどうかを考えさせたりすることも有効である。

中学校数学B

調査結果から授業改善へ

問題解決の方法を数学的に説明することができるようにする。(方法の説明)

授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学B 3 (3)

航平さんの家では、自動車の購入を検討しています。購入を検討しているA車(電気自動車)とB車(ガソリン車)にかかる費用について、航平さんの家での自動車の使用状況を踏まえると、次のようになります。

	A車(電気自動車)	B車(ガソリン車)
車両価格	280万円	180万円
1年間あたりの充電代・ガソリン代	4万円(充電代)	16万円(ガソリン代)

航平さんは、A車とB車について、それぞれの車の使用年数に応じた総費用を比べてみようと思いました。そこで、1年間あたりの充電代やガソリン代は常に一定であるとし、次の式で総費用を求めることにしました。

$$(\text{総費用}) = (\text{車両価格}) + \left(\text{1年間あたりの充電代・ガソリン代} \right) \times (\text{使用年数})$$

(3) A車とB車の総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いてA車とB車の総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの車の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの車の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

問題番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
	(正答の条件) アを選択し、次の(a)について記述しているもの、または、イを選択し、次の(b)について記述しているもの。 (a) 方程式を解いて、使用年数の値を求めること。 (b) グラフの交点の座標から、使用年数の値を読み取ること。			
	(正答例) 例1 A車とB車について、使用年数と総費用の関係から連立方程式をつくり、それを解いて使用年数の値を求める。(アを選択した場合) 例2 A車とB車について、使用年数と総費用の関係を一次関数のグラフに表して、その交点の座標を読み取り、使用年数の値を求める。(イを選択した場合)			
3 (3)	1 アを選択し、(a)について記述しているもの。	12.2	10.3	◎
	2 (a)についての記述が十分でないもの	1.8	1.8	○
	4 無解答	9.6	11.4	
	5 イを選択し、(b)について記述しているもの。	10.3	11.3	◎
	6 (b)についての記述が十分でないもの	6.9	6.9	○
	8 無解答	9.3	10.5	
	9 上記以外の解答	0.8	1.1	
	0 無解答	9.7	12.1	
	正答率	31.2	30.3	

分析・考察

- 3(3)の設問は事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は31.2%であり、全国の正答率を0.9ポイント上回っているが、低い状況にある。
- また、解答類型0の無解答率は9.7%であり、過去の同趣旨の設問における本県の無解答率は、平成21年度B3(3)が44.7%、平成25年度B3(2)が30.6%、平成26年度B6(3)が18.6%と改善傾向にあることがうかがえる。ただ、解答類型4・8にあるように、アやイを選択してはいるものの記述が無解答であるものを含めると28.6%であり、問題解決の方法自体が分からない、あるいは、どのように説明すればよいかわからない生徒が多数存在していることがうかがえる。

授業改善のポイント

【解決の方法について、「用いるもの」と「用い方」を表現できるようにする】

指導に当たっては、どのように問題を解決していくか、解決に必要な「用いるもの」とその「用い方」の両方を考えさせ、それらを交流することによって、生徒全員に解決の見通しをもたせることが大切である。その際、自分の考えをノート等に記述させたり、不完全な説明を取り上げたりする活動も有効である。グラフを用いて解決する方法を取り上げるのであれば、どのようなグラフか、そのグラフの何を読みとればよいかなどを確認する中で方法の説明を洗練していくことが考えられる。

設問3(3)を使って授業を行う際には、上述したように方法の説明を求めるとともに、グラフを用いれば総費用が等しくなるおよその使用年数が一目でわかることや、式を用いれば正確な値が求められることなど、数学を活用することのよさを考えさせることも重要である。

調査結果から授業改善へ

様々な情報の中から、課題の解決や自分の主張を説明する上で必要な情報を適切に選択し、的確に処理したり、判断の理由を数学的な表現を用いて説明したりできるようにする。

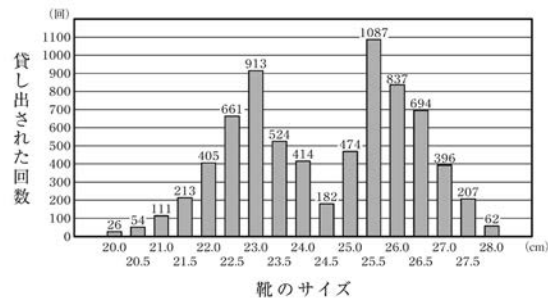
授業改善のヒントとなる設問の概要

中学校 数学B 5 (2)

あるボウリング場では、貸し出し用の靴をすべて新しいものに買い替えてほしいと希望しています。そのために、貸し出し用の靴の総数や、過去1か月間に靴が貸し出された回数について調べました。

調べたこと

- 貸し出し用の靴の総数 200 足
- 貸し出された回数の合計 7260 回
- 貸し出された靴のサイズの平均値 24.5 cm
- 靴のサイズごとの貸し出された回数のグラフ



上のグラフから、例えば、23.5 cm の靴は524回貸し出されたことがわかります。

調べたことをもとに、どのサイズの靴を何足買うかを考えます。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
5 (2)	1 1087÷7260 と解答しているもの。	32.5	31.1	◎
	2 0.15 など、上記1を計算して相対度数を解答しているもの。	0.0	0.0	○
	3 上記1以外の1087÷7260を用いた式を解答しているもの。	1.1	1.0	
	4 7260÷1087 と解答しているもの。	8.4	9.5	
	5 6.68 など、上記4を計算して数値を解答しているもの。	0.0	0.0	
	6 上記4以外の7260÷1087を用いた式を解答しているもの。	0.3	0.2	
	7 上記2, 5以外で数値を解答しているもの。	1.8	1.5	
	9 上記以外の解答	26.4	23.2	
	0 無解答	29.4	33.5	
	正答率	32.5	31.1	

分析・考察

- 5 (2) の設問は、与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は32.5%と全国の正答率を1.4ポイント上回っているが、低い状況にある。また、表中の数のうち、解決に必要な情報（1087と7260）を選択できていないと思われる生徒が無解答を含めて50%を超えており、課題がうかがえる。
- 平成 27 年度調査B 5 (1) に出題された同趣旨の問題における本県の正答率は 35.4%であり、解決に必要な情報を選択できていないと思われる生徒は無解答を含めると 47.9%であった。平成 27 年度は「落とし物の合計のうち、文房具の占める割合を求める式」を表から求める問題、本年度は「25.5cm の靴が貸し出された回数の相対度数を求める式」をグラフから求める問題と、いくつかの差はあるが、いずれにしても必要な情報を選択することに課題がうかがえる。

授業改善のポイント

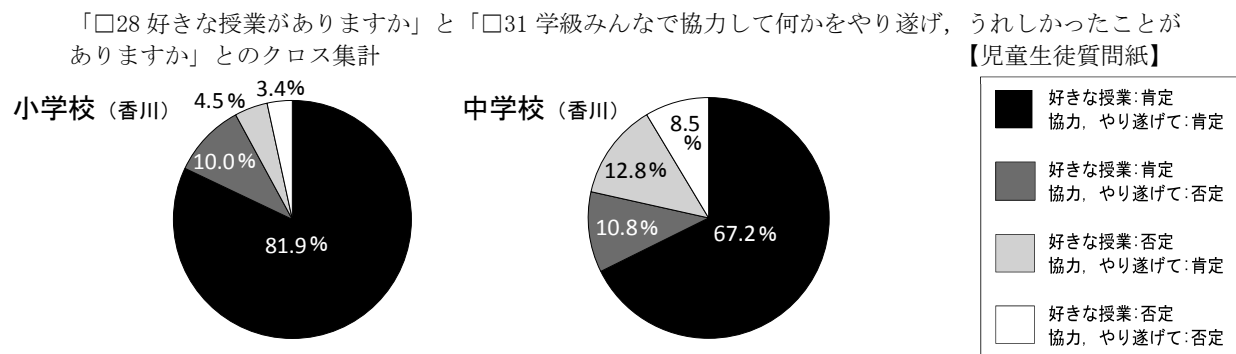
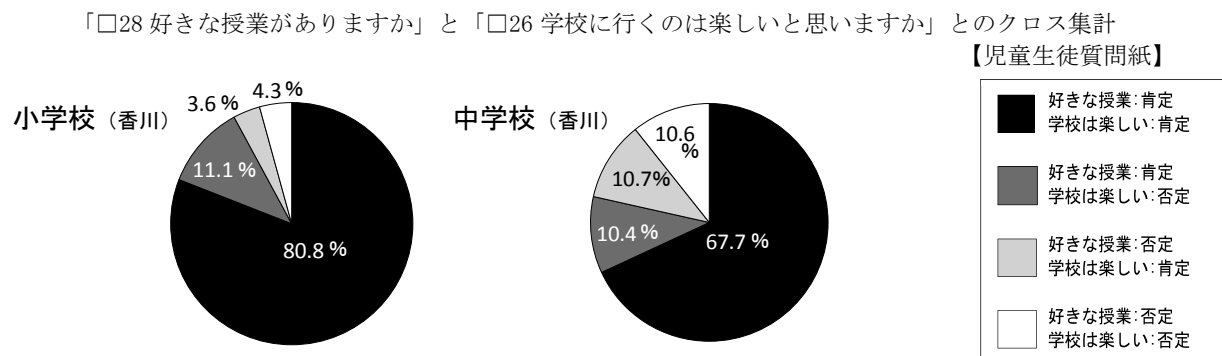
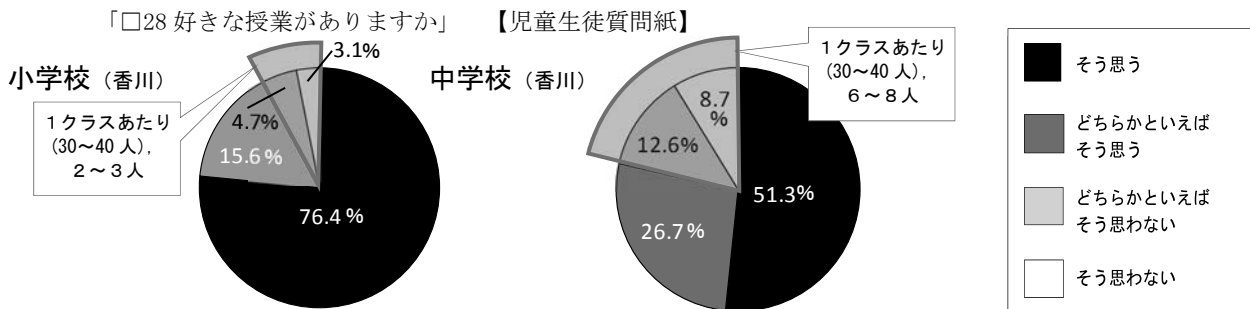
【代表値や相対度数などを求める必要性や意味を理解しやすい問題場面を設定する】

指導にあたっては、資料の傾向を読み取るために、目的意識をもって代表値や相対度数などを求める活動を通して、その必要性や意味を実感できるように問題場面を工夫することが大切である。例えば、総度数の異なる2つ以上の資料を比較する場面を取り上げ、階級の度数をそのまま比較することが適切でないことを理解させ、相対度数の必要性と意味について理解を深められるようにすることが考えられる。

設問 5 (2) を使って授業を行う際には、「サイズごとにそれぞれ何足購入すればよいか」と問い、それを求めるために、与えられた情報をどのように活用すればよいかを話し合う活動を取り入れることが考えられる。また購入する靴の総数を変えて考えさせることも有効である。

授業改善に向けて

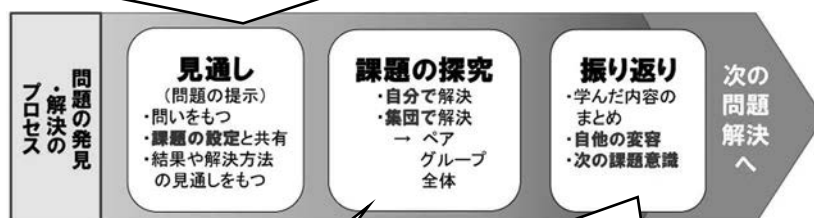
学校教育の要は授業です。一日の大半を占める授業を、子供が学びにときめく時間に！



児童生徒が新しい問題や多少の困難を伴う課題に出合ったとき、「分からないけれど、取り組んでみたい」「友達となら解決できるかもしれない」と考え、挑戦していく態度を育むためには、やり遂げることの面白さやよさ、学ぶことの意義を実感することが大切です。そのような学習経験を積み重ねられるよう、以下の点について考えましょう。

○学習内容に迫る動機付けをしていますか？

→児童生徒の視点に立った課題（多少困難な課題、知的好奇心を刺激する課題）等の設定



○対話を通して、多様な考えを吟味する場を設定していますか？

→思考の可視化
学習形態の工夫 等

○学んだ内容のまとめとともに、学んだことの面白さやよさ、自分が変わることへの充実感を実感できるように、振り返る活動の工夫をしていますか？

→自己評価の場面、他者からの評価場面、次の課題への意識の高まりを促す場の設定 等

IV 質 問 紙 調 査 結 果

(児童生徒質問紙・学校質問紙)

1 児童生徒質問紙 調査結果一覧

1段目：香川県（公立）の割合（％） 2段目：全国（公立）の割合（％）

質問 番号	掲載P 番号	H27 番号	質問事項		選択肢（質問の選択項目は、P97を参照）								その他 ※	無回答	1の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8			1+2の差	
【基本的生活習慣】																
1	98	1	朝食を毎日食べていますか	小	85.2	9.6	4.1	1.0					0.0	0.0	-2.1	
					87.3	8.2	3.5	0.9					0.0	0.0	-0.7	
				中	83.5	10.0	4.4	2.0					0.0	0.1	0.2	
					83.3	10.0	4.8	1.8					0.0	0.0	0.2	
2	98	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小	36.4	43.3	16.6	3.7					0.0	0.0	-1.8	
					38.2	41.9	16.3	3.5					0.0	0.0	-0.4	
				中	31.3	44.4	19.5	4.7					0.0	0.1	0.5	
					30.8	44.4	19.7	5.0					0.0	0.1	0.5	
3	98	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	55.9	35.0	7.4	1.7					0.1	0.0	-1.5	
					57.4	33.4	7.4	1.7					0.0	0.0	0.1	
				中	56.0	35.8	6.6	1.6					0.0	0.1	0.1	
					55.9	36.4	6.2	1.4					0.0	0.1	-0.5	
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】																
4	98	4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	小	72.0	21.8	4.7	1.4					0.0	0.0	0.1	
					71.9	22.5	4.4	1.3					0.0	0.0	-0.6	
				中	67.1	25.4	5.9	1.6					0.0	0.1	-5.6	
					72.7	21.6	4.3	1.4					0.0	0.0	-1.8	
5	98	5	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	小	22.9	52.8	21.0	3.3					0.0	0.0	-2.4	
					25.3	50.8	20.6	3.2					0.0	0.0	-0.4	
				中	17.2	50.3	27.8	4.6					0.0	0.0	-1.8	
					19.0	50.6	26.2	4.1					0.0	0.0	-2.1	
6	99	6	自分には、よいところがあると思いますか	小	33.9	39.7	17.8	8.6					0.0	0.0	-2.3	
					36.2	40.1	16.2	7.4					0.0	0.0	-2.7	
				中	22.5	40.3	26.1	10.9					0.0	0.1	-4.9	
					27.4	41.9	21.3	9.3					0.0	0.1	-6.5	
【学習状況《言語活動》】																
7	99	7	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	小	17.9	29.5	36.2	16.4					0.0	0.0	-3.3	
					21.2	30.5	33.5	14.7					0.0	0.0	-4.3	
				中	13.7	29.4	37.8	18.9					0.0	0.1	-3.9	
					17.6	32.6	34.7	15.0					0.1	0.1	-7.1	
8	99	8	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	小	51.5	40.1	7.2	1.1					0.1	0.0	-4.8	
					56.3	36.4	6.3	1.0					0.0	0.0	-1.1	
				中	48.0	42.9	7.8	1.2					0.0	0.1	-7.1	
					55.1	37.9	5.9	1.0					0.0	0.1	-2.1	
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】																
9	99	9	将来の夢や目標を持っていますか	小	63.8	19.4	9.3	7.4					0.1	0.0	-4.8	
					68.6	16.7	8.2	6.4					0.1	0.1	-2.1	
				中	41.2	28.0	19.6	11.0					0.0	0.2	-3.9	
					45.1	26.0	17.8	10.8					0.0	0.2	-1.9	
【基本的生活習慣】																
10	99	H25 19	普段（月～金曜日）、何時間ごろに寝ますか	小	6.1	43.5	38.2	9.6	2.5					0.1	0.0	-0.5
					6.6	43.0	36.6	10.8	2.9					0.1	0.0	0.0
				中	0.9	5.5	30.0	42.7	20.9					0.0	0.0	0.0
					0.9	6.2	29.8	41.6	21.5					0.0	0.0	-0.7
11	100	10	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）	小	13.9	16.3	25.5	29.3	13.5	1.3			0.2	0.0	-2.1	
					16.0	16.8	24.3	26.9	13.9	2.0			0.1	0.0	-2.6	
				中	10.2	13.2	25.0	30.8	18.4	2.4			0.0	0.1	-0.5	
					10.7	13.4	24.6	30.6	18.2	2.3			0.0	0.1	-0.7	
12	100	11	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）	小	7.3	7.3	14.4	26.4	31.1	13.5			0.1	0.0	-0.9	
					8.2	7.8	13.7	25.3	31.1	14.0			0.1	0.0	-1.4	
				中	9.2	8.8	15.5	22.5	27.6	16.3			0.0	0.1	-0.5	
					9.7	9.2	16.0	22.2	26.3	16.6			0.0	0.1	-0.9	
13	100	12	普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）	小	2.5	2.8	4.6	7.8	12.2	29.2	40.8		0.1	0.0	-0.5	
					3.0	2.8	4.6	8.1	11.9	30.7	38.9		0.1	0.0	-0.5	
				中	7.9	7.8	12.9	17.2	14.5	18.5	21.0		0.2	0.1	-0.7	
					8.6	8.0	13.5	17.7	15.6	17.5	18.8		0.2	0.1	-0.9	
【学習時間等】																
14	101	13	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師を含む）	小	7.0	17.0	40.1	25.4	8.3	2.2				0.1	0.0	-3.8
					10.8	14.7	37.0	25.4	8.9	3.0			0.1	0.0	-1.5	
				中	6.6	23.6	36.0	18.9	9.1	5.7			0.0	0.1	-2.8	
					9.4	24.8	33.7	17.7	8.9	5.5			0.0	0.1	-4.0	
15	101	14	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師を含む）	小	3.7	5.8	15.1	35.6	31.6	8.2			0.1	0.0	-3.0	
					6.7	5.0	12.5	32.8	32.8	10.2			0.1	0.0	-2.2	
				中	4.7	11.0	23.9	29.9	20.1	10.3			0.0	0.1	-0.4	
					5.1	11.5	23.5	27.7	21.0	11.0			0.0	0.1	-0.9	
16	101	15	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	小	55.6	19.0	8.3	10.1	6.8				0.2	0.0	1.7	
					53.9	23.1	6.6	8.9	7.3				0.2	0.1	-2.4	
				中	33.7	19.6	11.1	30.4	5.0				0.0	0.1	-5.2	
					38.9	20.5	8.6	27.5	4.4				0.0	0.1	-6.1	
17	101	16	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	小	6.5	10.1	21.1	27.8	16.3	18.2			0.1	0.0	-0.3	
					6.8	9.9	19.8	27.0	15.9	20.6			0.1	0.0	-0.1	
				中	6.0	8.4	15.2	18.0	12.9	39.5			0.0	0.1	0.5	
					5.5	8.1	14.6	21.5	13.1	37.2			0.0	0.1	0.8	

質問 番号	掲載P	H27 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P97を参照)								その他 ※	無回答	1の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8			1+2の差	
18	101	17	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）	小	3.3	16.2	30.1	27.3	22.9				0.1	0.0	0.2	
					3.1	13.3	23.9	28.4	31.1				0.2	0.0	3.1	
					中	2.2	6.5	13.3	26.5	51.4				0.0	0.2	0.2
						2.0	5.6	11.0	23.1	58.0				0.0	0.2	1.1
【家庭でのコミュニケーション等】																
19	101	18	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	小	53.3	26.4	16.0	4.2					0.0	0.0	0.9	
					52.4	26.8	16.1	4.5					0.1	0.0	0.5	
					中	43.9	31.1	18.8	6.1					0.0	0.0	-0.3
						44.2	29.9	19.7	6.1					0.0	0.0	0.9
【全国学力・学習状況調査10年目の経年変化の把握】																
20	102	H25 35	家の手伝いをしていますか	小	33.6	47.6	15.2	3.5					0.0	0.0	-1.5	
					35.1	47.7	14.1	3.0					0.0	0.0	-1.6	
					中	20.5	42.1	28.6	8.7					0.0	0.1	-1.4
						21.9	45.3	25.4	7.3					0.0	0.2	-4.6
【学習時間等】																
21	102	20	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	小	26.8	36.8	27.6	8.7					0.0	0.0	0.1	
					26.7	35.5	28.8	9.0					0.0	0.0	1.4	
					中	15.0	31.7	36.7	16.6					0.0	0.0	-1.0
						16.0	32.4	36.7	14.8					0.0	0.1	-1.7
22	102	21	家で、学校の宿題をしていますか	小	86.1	10.2	2.9	0.7					0.0	0.0	-1.9	
					88.0	9.0	2.4	0.6					0.0	0.0	-0.7	
					中	66.7	23.8	7.1	2.4					0.0	0.0	-1.4
						68.1	22.0	7.4	2.4					0.0	0.1	0.4
23	102	22	家で、学校の授業の予習をしていますか	小	15.5	26.1	39.5	18.8					0.1	0.0	-1.2	
					16.7	26.6	37.6	19.0					0.1	0.0	-1.7	
					中	10.5	21.8	37.3	30.4					0.0	0.1	-1.4
						11.9	22.3	37.1	28.5					0.0	0.1	-1.9
24	102	23	家で、学校の授業の復習をしていますか	小	30.4	33.2	26.1	10.2					0.1	0.0	6.9	
					23.5	31.7	30.5	14.2					0.1	0.0	8.4	
					中	17.0	32.8	30.8	19.1					0.0	0.3	-1.4
						18.4	32.6	31.6	17.0					0.0	0.4	-1.2
25	102	新	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	小	54.5	27.3	13.1	5.0					0.1	0.1	20.0	
					34.5	30.1	23.1	12.1					0.1	0.1	17.2	
					中	37.1	31.6	20.0	10.7					0.0	0.5	0.6
						36.5	31.7	20.3	11.0					0.0	0.5	0.5
【学校生活等】																
26	103	24	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	51.6	33.0	9.9	5.5					0.1	0.0	-3.6	
					55.2	31.1	9.3	4.3					0.0	0.0	-1.7	
					中	43.1	35.7	13.3	7.9					0.0	0.1	-5.3
						48.4	33.0	12.0	6.6					0.0	0.1	-2.6
【全国学力・学習状況調査10年目の経年変化の把握】																
27	103	H25 46	学校で、友達に会うのは楽しいですか	小	82.6	13.3	2.9	1.2					0.0	0.0	-0.3	
					82.9	13.3	2.7	1.0					0.0	0.0	-0.3	
					中	73.1	21.2	3.8	1.7					0.0	0.1	-2.7
						75.8	18.9	3.7	1.6					0.0	0.1	-0.4
28	103	H22 32	好きな授業がありますか	小	76.4	15.6	4.7	3.1					0.1	0.0	-3.5	
					79.9	13.6	3.9	2.5					0.0	0.0	-1.5	
					中	51.3	26.7	12.6	8.7					0.0	0.6	-3.4
						54.7	25.2	11.9	7.6					0.0	0.6	-1.9
【学校生活等】																
29	103	25	学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	小	45.3	40.2	11.3	3.1					0.1	0.0	5.7	
					39.6	42.2	14.2	3.9					0.0	0.0	3.7	
					中	39.1	39.5	15.3	5.7					0.0	0.4	0.2
						38.9	39.5	15.3	6.0					0.0	0.4	0.2
30	103	新	学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	小	20.3	42.6	27.9	9.0					0.1	0.0	2.3	
					18.0	40.6	31.3	10.0					0.1	0.1	4.3	
					中	18.0	42.7	28.6	10.7					0.0	0.1	0.2
						17.8	40.6	29.6	12.0					0.0	0.1	2.3
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】																
31	103	26	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	小	58.3	28.2	9.7	3.7					0.1	0.0	-0.2	
					58.5	27.8	10.0	3.6					0.0	0.0	0.2	
					中	51.7	28.6	13.3	6.2					0.0	0.1	-6.2
						57.9	26.3	10.4	5.3					0.0	0.1	-3.9
【学習評価の在り方】																
32	104	H26 28	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小	37.8	41.7	14.3	6.1					0.0	0.0	-4.4	
					42.2	40.4	12.7	4.5					0.1	0.1	-3.1	
					中	32.5	46.7	15.2	5.4					0.0	0.2	0.3
						32.2	45.8	16.1	5.7					0.0	0.2	1.2
33	104	新	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください	小	46.9	38.0	11.0	4.0					0.1	0.1	-1.0	
					47.9	36.9	11.0	4.0					0.1	0.1	0.1	
					中	27.1	47.3	19.3	6.0					0.0	0.3	-1.1
						28.2	45.9	19.1	6.5					0.0	0.3	0.3
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】																
34	104	27	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小	38.7	29.9	18.5	12.8					0.1	0.0	-0.4	
					39.1	28.8	18.0	14.0					0.1	0.0	0.7	
					中	21.2	26.1	26.5	26.0					0.0	0.1	2.1
						19.1	26.1	26.8	28.0					0.0	0.1	2.1
35	104	28	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	小	34.8	38.2	19.0	7.9					0.0	0.0	1.5	
					33.3	37.3	20.3	8.9					0.1	0.0	2.4	
					中	28.1	38.4	21.7	11.7					0.0	0.1	1.4
						26.7	39.1	22.7	11.4					0.0	0.1	0.7

質問 番号	掲載P	H27 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P97を参照)								その他 ※	無回答	1の差 1+2の差
					1	2	3	4	5	6	7	8			
【社会に対する興味・関心】															
36	104	H25 53	地域社会などでボランティアに参加したことがありますか	小	46.0	18.4	34.4						1.1	0.0	9.8
				中	36.2	24.5	38.1					1.2	0.0	3.7	
37	104	30	新聞を読んでいますか	小	52.8	18.5	28.5						0.0	0.1	4.1
				中	48.7	21.5	29.6					0.0	0.1	1.1	
38	105	31	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む)	小	9.6	17.4	25.3	47.7					0.1	0.0	0.7
				中	8.9	15.1	21.2	54.7					0.1	0.0	3.0
39	105	32	学校のきまり(規則)を守っていますか	小	8.1	14.4	20.1	57.2					0.0	0.1	1.6
				中	6.5	11.8	17.7	63.9					0.1	0.1	4.2
40	105	H26 35	友達との約束を守っていますか	小	55.9	29.7	9.2	5.0					0.1	0.0	-1.3
				中	57.2	29.2	8.4	5.1					0.1	0.1	-0.8
41	105	H22 38	人が困っているときは、進んで助けていますか	小	53.0	32.8	9.1	4.6					0.0	0.4	-2.0
				中	55.0	32.4	8.0	4.0					0.0	0.6	-1.6
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】															
39	105	32	学校のきまり(規則)を守っていますか	小	37.7	51.7	9.2	1.4					0.0	0.0	-5.2
				中	42.9	48.6	7.3	1.1					0.0	0.0	-2.1
40	105	H26 35	友達との約束を守っていますか	小	57.7	36.9	4.3	1.1					0.0	0.1	-3.9
				中	61.6	33.1	4.2	1.0					0.0	0.1	-0.1
【学校生活等】															
40	105	H26 35	友達との約束を守っていますか	小	69.2	27.8	2.4	0.6					0.1	0.0	0.3
				中	68.9	28.3	2.2	0.5					0.0	0.0	-0.2
41	105	H22 38	人が困っているときは、進んで助けていますか	小	66.3	31.2	1.8	0.6					0.0	0.1	-2.2
				中	68.5	28.7	2.2	0.6					0.0	0.1	0.3
【全国学力・学習状況調査10年目の経年変化の把握】															
41	105	H22 38	人が困っているときは、進んで助けていますか	小	33.1	49.9	13.9	3.0					0.0	0.0	-3.9
				中	37.0	47.6	13.0	2.3					0.0	0.0	-1.6
42	105	34	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	小	29.1	50.8	17.1	3.0					0.0	0.1	-5.0
				中	34.1	49.7	13.6	2.4					0.0	0.1	-3.9
43	105	35	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小	85.7	11.3	2.2	0.7					0.1	0.0	2.6
				中	83.1	13.5	2.4	1.0					0.1	0.0	0.4
44	106	H22 44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	小	76.0	18.1	4.0	1.8					0.0	0.1	1.2
				中	74.8	18.8	4.5	1.9					0.0	0.1	0.5
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】															
43	105	35	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小	72.7	21.2	4.0	2.1					0.0	0.0	1.5
				中	71.2	22.6	4.2	1.9					0.1	0.1	0.1
44	106	H22 44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	小	71.0	21.6	4.7	2.5					0.0	0.2	1.7
				中	69.3	23.5	4.8	2.3					0.0	0.2	-0.2
【全国学力・学習状況調査10年目の経年変化の把握】															
44	106	H22 44	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	小	33.0	39.7	19.2	7.9					0.1	0.2	-4.4
				中	37.4	39.8	16.3	5.9					0.1	0.5	-4.5
45	106	36	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	小	27.5	41.6	20.6	10.2					0.0	0.1	1.5
				中	26.0	42.3	21.8	9.7					0.0	0.2	0.8
【学習に対する関心・意欲・態度《総合的な学習の時間》】															
45	106	36	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	小	45.3	39.6	11.3	3.6					0.0	0.2	3.7
				中	41.6	41.6	12.7	3.5					0.1	0.5	1.7
46	106	37	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小	27.8	46.2	19.2	6.6					0.0	0.1	2.0
				中	25.8	47.0	20.0	6.9					0.0	0.3	1.2
【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】															
46	106	37	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小	45.3	39.6	11.3	3.6					0.0	0.2	3.7
				中	41.6	41.6	12.7	3.5					0.1	0.5	1.7
47	106	新	前学年までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	小	27.8	46.2	19.2	6.6					0.0	0.1	2.0
				中	25.8	47.0	20.0	6.9					0.0	0.3	1.2
48	106	38	前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	小	25.4	40.2	25.9	8.1					0.2	0.2	-0.4
				中	25.8	39.6	26.0	7.9					0.1	0.5	0.2
49	106	39	前学年までに受けた授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	小	12.4	37.6	35.8	14.1					0.0	0.1	-5.7
				中	18.1	39.6	30.3	11.8					0.0	0.3	-7.7
50	107	40	前学年までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	小	26.5	47.4	20.5	5.4					0.2	0.0	-4.2
				中	30.7	47.1	18.2	3.9					0.1	0.1	-3.9
51	107	新	前学年までに受けた授業で、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	小	22.9	45.3	24.5	7.1					0.0	0.1	-4.5
				中	27.4	46.4	20.7	5.3					0.0	0.1	-5.6
52	107	新	前学年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	小	53.3	31.8	11.2	3.5					0.1	0.0	0.1
				中	53.2	31.9	11.3	3.4					0.1	0.1	0.0
53	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	43.6	41.3	11.2	3.8					0.0	0.1	0.1
				中	43.5	40.6	12.3	3.5					0.0	0.1	0.8
54	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	43.8	38.8	13.8	3.4					0.1	0.0	-1.4
				中	45.2	38.2	13.5	3.0					0.1	0.1	-0.8
55	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	32.2	44.0	19.3	4.4					0.0	0.1	-2.7
				中	34.9	42.9	18.0	4.0					0.0	0.1	-1.6
56	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	29.5	47.2	18.7	4.5					0.1	0.0	0.1
				中	29.4	46.3	19.8	4.4					0.1	0.1	1.0
57	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	19.7	46.1	26.4	7.6					0.0	0.1	-2.6
				中	22.3	47.0	24.3	6.3					0.0	0.1	-3.5
58	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	30.3	44.5	20.0	5.0					0.1	0.0	-3.1
				中	33.4	43.7	18.7	4.0					0.1	0.1	-2.3
59	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	22.3	47.3	24.0	6.3					0.0	0.1	-3.1
				中	25.4	47.0	22.3	5.2					0.0	0.1	-2.8
60	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	21.7	39.3	29.2	9.6					0.1	0.0	-2.3
				中	24.0	40.2	27.4	8.3					0.1	0.1	-3.2
61	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	14.2	38.9	35.0	11.8					0.0	0.1	-2.8
				中	17.0	40.7	32.2	10.0					0.0	0.1	-4.6
【学習状況《指導状況》】															
53	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	60.0	28.4	8.7	2.8					0.1	0.0	3.1
				中	56.9	30.7	9.7	2.6					0.1	0.1	0.8
62	107	類 41	前学年までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか	小	50.5	36.5	10.1	2.8					0.0	0.1	2.9
				中	47.6	37.3	11.9	3.0					0.0	0.1	2.1

質問 番号	掲載P	H27 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P97を参照)								その他 ※	無回答	1の差
					1	2	3	4	5	6	7	8			1+2の差
54	107	42	前学年までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	小	41.9	35.7	17.5	4.8					0.1	0.0	2.0
					39.9	36.2	18.4	5.3					0.1	0.1	1.5
				中	24.0	40.9	27.1	7.9					0.0	0.1	0.7
					23.3	39.8	28.6	8.2					0.0	0.1	1.8
55	107	43	前学年までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて、ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	小	75.5	17.1	5.1	2.1					0.2	0.0	8.1
					67.4	20.5	8.4	3.6					0.1	0.1	4.7
				中	49.9	34.0	12.0	3.9					0.0	0.2	6.1
					43.8	33.0	16.2	6.5					0.0	0.3	7.1
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】															
56	108	新	前学年までに道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	小	41.2	39.2	14.8	4.5					0.1	0.2	4.2
					37.0	40.6	17.0	4.9					0.1	0.4	2.8
				中	33.4	42.1	17.6	6.7					0.0	0.2	1.5
					31.9	42.2	18.9	6.6					0.0	0.4	1.4
【学習状況《言語活動》】															
57	108	44	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	小	43.4	25.7	18.0	12.7					0.2	0.0	9.3
					34.1	26.3	22.3	17.0					0.1	0.1	8.7
				中	43.6	24.8	18.5	13.1					0.0	0.1	7.4
					36.2	26.6	21.2	15.8					0.0	0.1	5.6
【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】															
58	108	45	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	小	27.1	32.4	23.6	16.8					0.1	0.0	3.2
					23.9	30.9	26.2	18.8					0.1	0.1	4.7
				中	38.0	30.7	20.6	10.7					0.0	0.1	7.7
					30.3	32.5	23.9	13.1					0.0	0.1	5.9
59	108	46	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	小	26.9	42.1	23.7	7.2					0.1	0.0	0.5
					26.4	41.9	24.4	7.0					0.1	0.1	0.7
				中	20.7	45.3	25.2	8.7					0.0	0.2	0.5
					20.2	44.6	26.7	8.2					0.0	0.3	1.2
【学習状況《指導状況》】															
60	108	47	授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか	小	13.3	7.8	35.6	20.9	4.9	11.2	5.8		0.2	0.4	-1.9
					15.2	9.8	31.7	21.5	4.2	11.8	4.9		0.3	0.6	-3.9
				中	8.1	11.5	29.8	6.1	18.6	12.7	10.1		2.6	0.4	-1.1
					9.2	10.4	34.9	5.7	15.7	13.2	7.3		2.8	0.6	0.0
【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】															
61	108	48	国語の勉強は好きですか	小	18.9	32.2	28.7	19.9					0.3	0.0	-4.8
					23.7	34.6	26.1	15.2					0.2	0.1	-7.2
				中	22.4	34.3	27.3	15.9					0.0	0.1	-1.1
					23.5	36.3	26.8	13.2					0.0	0.2	-3.1
62	109	49	国語の勉強は大切だと思いますか	小	63.8	26.6	6.1	3.3					0.1	0.0	-2.1
					65.9	25.4	5.8	2.7					0.1	0.1	-0.9
				中	51.9	34.5	9.2	4.2					0.0	0.1	-4.4
					56.3	32.8	7.5	3.2					0.0	0.2	-2.7
63	109	50	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	31.2	46.6	16.3	5.8					0.1	0.0	-5.1
					36.3	44.4	14.4	4.6					0.1	0.1	-2.9
				中	25.2	46.6	20.9	7.1					0.0	0.1	-1.0
					26.2	47.9	19.8	5.9					0.0	0.2	-2.3
【学習時間等】															
64	109	51	読書は好きですか	小	46.1	25.9	16.1	11.8					0.1	0.0	-3.2
					49.3	25.3	15.3	9.9					0.1	0.1	-2.6
				中	44.2	22.9	16.0	16.8					0.0	0.1	-2.3
					46.5	23.4	16.2	13.6					0.1	0.2	-2.8
【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】															
65	109	52	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	58.6	31.0	7.4	2.9					0.0	0.0	0.7
					57.9	31.3	7.9	2.6					0.1	0.1	0.4
				中	42.2	39.0	13.9	4.8					0.0	0.1	-4.0
					46.2	38.4	11.5	3.7					0.0	0.2	-3.4
【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】															
66	109	53	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	小	25.3	43.0	25.2	6.3					0.1	0.0	0.2
					25.1	41.9	26.0	6.8					0.1	0.1	1.3
				中	20.6	43.8	27.5	8.0					0.0	0.1	1.1
					19.5	42.7	29.3	8.3					0.0	0.2	2.2
67	109	54	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	小	18.5	41.4	30.4	9.5					0.1	0.0	-2.3
					20.8	41.5	28.9	8.5					0.1	0.2	-2.4
				中	13.3	39.5	36.0	11.1					0.0	0.1	-2.6
					15.9	40.8	33.4	9.6					0.0	0.3	-3.9
68	110	55	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	小	29.1	42.5	22.1	6.2					0.0	0.0	-2.8
					31.9	42.1	20.4	5.3					0.1	0.2	-2.4
				中	21.8	43.0	27.0	8.1					0.0	0.2	-1.3
					23.1	43.6	26.0	7.1					0.0	0.3	-1.9
【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】															
69	110	56	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	小	36.9	40.7	16.8	5.4					0.2	0.1	-1.4
					38.3	39.8	16.8	4.8					0.1	0.2	-0.5
				中	24.1	43.8	24.7	7.3					0.0	0.2	-2.7
					26.8	44.5	22.3	6.1					0.0	0.3	-3.4
70	110	57	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	小	77.6	18.2	2.5						0.4	1.2	2.5
					75.1	20.5	2.4						0.5	1.5	0.2
				中	74.9	19.8	3.9						0.0	1.4	3.2
					71.7	23.0	3.6						0.0	1.6	0.0

質問 番号	掲載P	H27 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P97を参照)								その他 ※	無回答	1の差 1+2の差
					1	2	3	4	5	6	7	8			
【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】															
71	110	58	算数・数学の勉強は好きですか	小	34.6	27.7	19.6	18.0					0.1	0.0	-4.1
					38.7	27.3	19.1	14.5					0.1	0.2	-3.7
				中	28.4	25.6	23.3	22.5					0.0	0.1	-0.9
					29.3	26.7	23.7	20.0					0.0	0.3	-2.0
72	110	59	算数・数学の勉強は大切だと思いますか	小	72.5	18.9	5.2	3.4					0.1	0.0	-0.1
					72.6	19.3	5.1	2.7					0.1	0.2	-0.5
				中	46.6	32.7	12.8	7.7					0.0	0.1	-0.4
					47.0	33.5	13.1	6.1					0.0	0.3	-1.1
73	111	60	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	小	43.3	35.3	14.9	6.4					0.1	0.0	-3.4
					46.7	33.5	14.0	5.5					0.1	0.2	-1.6
				中	31.5	36.3	20.6	11.5					0.0	0.1	-0.2
					31.7	37.7	20.7	9.5					0.0	0.4	-1.6
74	111	61	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	小	47.7	25.1	16.8	10.2					0.1	0.0	-3.0
			50.7	25.1	15.4	8.5					0.1	0.2	-3.0		
			中	73.1	17.3	5.1	4.4					0.0	0.2	-1.3	
				74.4	16.9	4.8	3.5					0.0	0.3	-0.9	
75	111	62	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	小	44.2	35.9	14.9	4.9					0.0	0.0	-0.6
			44.8	36.2	14.4	4.3					0.1	0.2	-0.9		
			中	34.4	36.0	20.6	8.8					0.0	0.2	-0.7	
				35.1	37.0	20.4	7.1					0.0	0.4	-1.7	
76	111	63	算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	小	32.1	34.5	23.4	9.8					0.2	0.0	-1.3
			33.4	34.0	23.0	9.2					0.1	0.3	-0.8		
			中	15.7	27.0	34.9	22.4					0.0	0.1	0.6	
				15.1	26.8	35.8	21.9					0.0	0.4	0.8	
77	111	64	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	68.9	21.4	6.7	2.8					0.1	0.0	1.3
			67.6	22.3	7.1	2.7					0.1	0.3	0.4		
			中	37.6	34.2	18.4	9.6					0.0	0.1	0.7	
				36.9	34.6	19.1	9.0					0.0	0.4	0.3	
78	112	65	算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	小	46.4	32.6	15.2	5.6					0.1	0.0	-1.4
			47.8	32.7	14.2	5.0					0.1	0.3	-1.5		
			中	34.3	32.5	22.3	10.7					0.0	0.1	-1.2	
				35.5	33.5	21.7	8.9					0.0	0.4	-2.2	
79	112	66	算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしていますか	小	42.4	36.4	15.9	5.0					0.1	0.0	-3.1
			45.5	35.3	14.5	4.3					0.1	0.3	-2.0		
			中	32.0	37.0	21.4	9.4					0.0	0.2	-0.2	
				32.2	37.6	21.9	7.8					0.0	0.4	-0.8	
80	112	67	算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	小	56.0	29.0	11.1	3.8					0.1	0.0	0.2
			55.8	29.0	11.2	3.6					0.1	0.3	0.2		
			中	50.1	32.4	11.6	5.7					0.0	0.2	2.8	
				47.3	33.8	13.0	5.4					0.0	0.5	1.4	
81	112	68	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	小	74.5	22.7	2.0						0.4	0.4	2.5
			72.0	24.6	2.2						0.4	0.8	0.6		
			中	53.7	39.2	6.2						0.0	0.9	3.7	
				50.0	42.7	6.1						0.0	1.2	0.2	
【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】															
82	113	83	国語A(20分〔45分〕)の解答時間は十分でしたか	小	50.6	34.0	13.0	2.2					0.1	0.1	-2.0
					52.6	32.6	12.2	2.1					0.1	0.4	-0.6
				中	70.8	24.2	3.6	1.3					0.0	0.2	8.2
					62.6	30.7	4.8	1.3					0.0	0.5	1.7
83	113	84	国語B(40分〔45分〕)の解答時間は十分でしたか	小	33.4	38.0	22.7	5.7					0.1	0.1	-2.8
					36.2	35.4	22.5	5.5					0.1	0.4	-0.2
				中	57.3	31.6	9.0	2.0					0.0	0.2	8.5
					48.8	35.8	12.4	2.4					0.0	0.5	4.3
【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】															
84	113	85	算数〔数学〕A(20分〔45分〕)の解答時間は十分でしたか	小	51.2	35.6	10.4	2.7					0.1	0.1	-2.7
					53.9	32.4	10.6	2.6					0.1	0.4	0.5
				中	64.7	26.6	6.5	2.0					0.0	0.2	7.5
					57.2	32.0	8.2	2.0					0.0	0.5	2.1
85	113	86	算数〔数学〕B(40分〔45分〕)の解答時間は十分でしたか	小	27.3	30.1	31.1	11.3					0.1	0.1	-1.9
					29.2	28.1	31.7	10.5					0.1	0.4	0.1
				中	36.6	27.8	25.6	9.8					0.0	0.2	2.6
					34.0	28.9	26.7	9.7					0.0	0.5	1.5

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

児童生徒質問紙 選択肢一覧

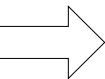
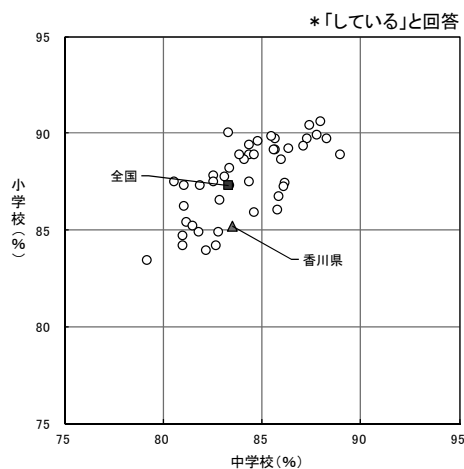
質問番号	選 択 肢	
1～3, 19, 21～25	1 している 3 あまりしていない	2 どちらかといえば, している 4 全くしていない
4～9, 31～35, 39～56 61～69, 71～80	1 当てはまる 3 どちらかといえば, 当てはまらない	2 どちらかといえば, 当てはまる 4 当てはまらない
10	1 午後9時より前 3 午後10時以降, 午後11時より前 5 午前0時以降	2 午後9時以降, 午後10時より前 4 午後11時以降, 午前0時より前
11	1 4時間以上 3 2時間以上, 3時間より少ない 5 1時間より少ない	2 3時間以上, 4時間より少ない 4 1時間以上, 2時間より少ない 6 全く見たり, 聞いたりしない
12, 15	1 4時間以上 3 2時間以上, 3時間より少ない 5 1時間より少ない	2 3時間以上, 4時間より少ない 4 1時間以上, 2時間より少ない 6 全くしない
13	1 4時間以上 3 2時間以上, 3時間より少ない 5 30分以上, 1時間より少ない 7 携帯電話やスマートフォンを持っていない	2 3時間以上, 4時間より少ない 4 1時間以上, 2時間より少ない 6 30分より少ない
14	1 3時間以上 3 1時間以上, 2時間より少ない 5 30分より少ない	2 2時間以上, 3時間より少ない 4 30分以上, 1時間より少ない 6 全くしない
16	1 学習塾に通っていない 2 学校の勉強より進んだ内容や, 難しい内容を勉強している 3 学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している 4 上記2, 3の両方の内容を勉強している 5 上記2, 3の内容のどちらともいえない	
17	1 2時間以上 3 30分以上, 1時間より少ない 5 10分より少ない	2 1時間以上, 2時間より少ない 4 10分以上, 30分より少ない 6 全くしない
18	1 だいたい週に4回以上行く 3 月に1～3回程度行く 5 ほとんど, または, 全く行かない	2 週に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く
20	1 よくしている 3 あまりしていない	2 時々している 4 全くしていない
26～30, 57～59	1 そう思う 3 どちらかといえば, そう思わない	2 どちらかといえば, そう思う 4 そう思わない
36	1 参加したことがある 3 分からない	2 参加したことがない
37	1 ほぼ毎日読んでいる 3 月に1～3回程度読んでいる	2 週に1～3回程度読んでいる 4 ほとんど, または, 全く読まない
38	1 よく見る 2 時々見る 3 あまり見ない 4 ほとんど, または, 全く見ない	
60	1 その場で先生に尋ねる 3 友達に尋ねる 5 学習塾の先生(家庭教師の先生も含みます。)に尋ねる 6 自分で調べる	2 授業が終わってから先生に尋ねに行く 4 家の人に尋ねる 7 そのままにしておく
70, 81	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり, 解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった	
82～85	1 時間が余った 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった	

2 児童生徒質問紙回答結果グラフ

【基本的生活習慣】

朝食

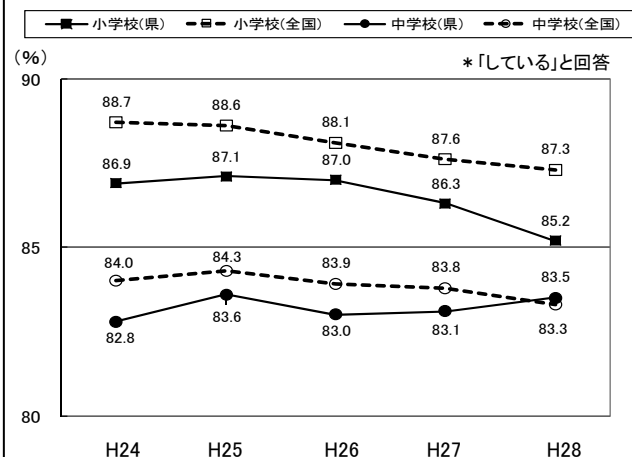
□1 朝食を毎日食べていますか



小 ▽2.1pt
中 ○0.2pt

【経年変化】

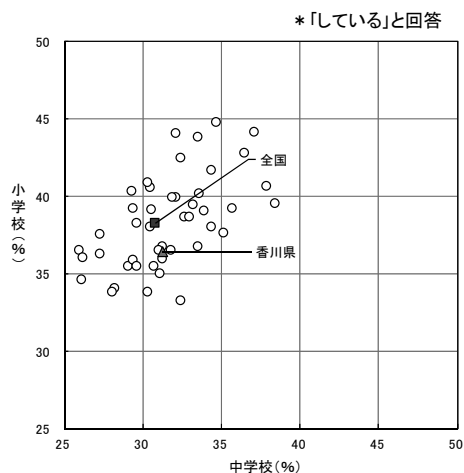
□1 朝食を毎日食べていますか



【基本的生活習慣】

寝る時刻

□2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

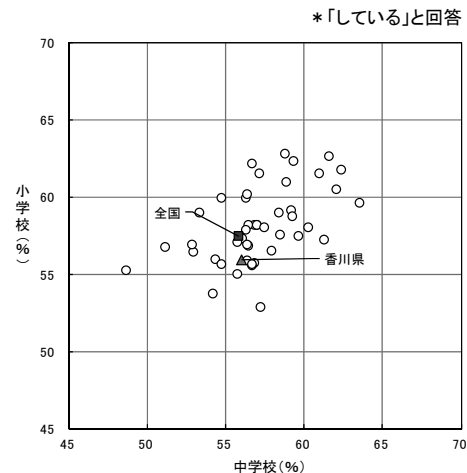


小 ▽1.8pt
中 ○0.5pt

【基本的生活習慣】

起きる時刻

□3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

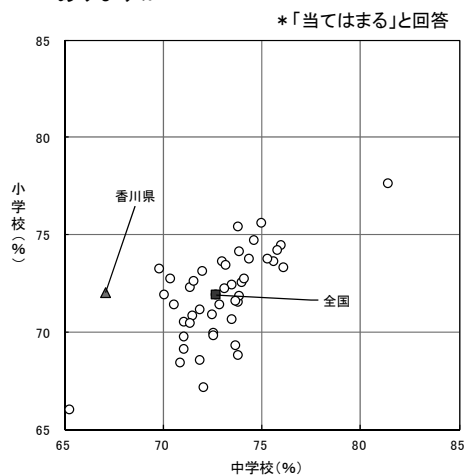


小 ▽1.5pt
中 ○0.1pt

【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

やり遂げてうれしかった

□4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

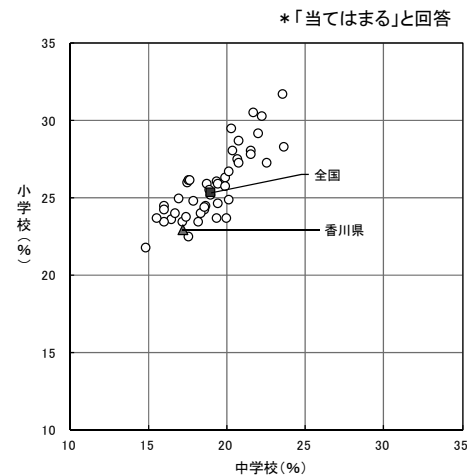


小 ○0.1pt
中 ▼5.6pt

【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

失敗を恐れずに挑戦する

□5 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

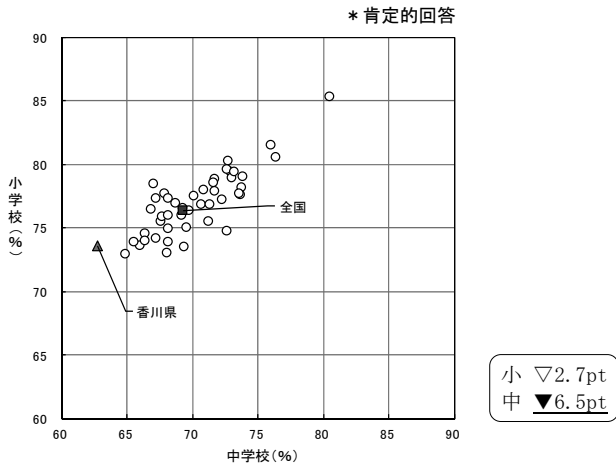


小 ▽2.4pt
中 ▽1.8pt

【ユニバーサルデザイン，規範意識，道德の時間】

自分にはよいところがある

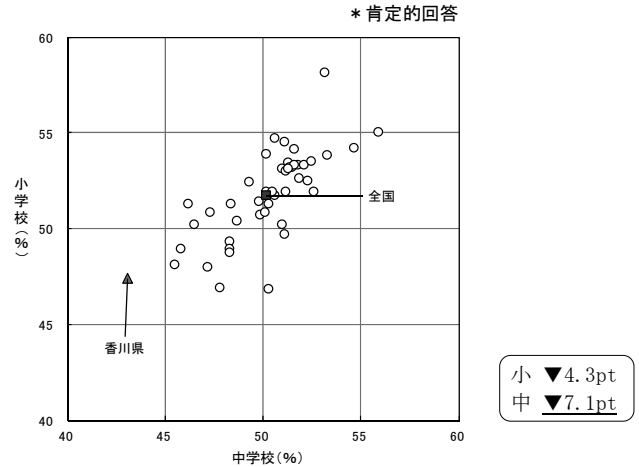
□6 自分には，よいところがあると思いますか



【学習状況《言語活動》】

友達の前での発表は得意

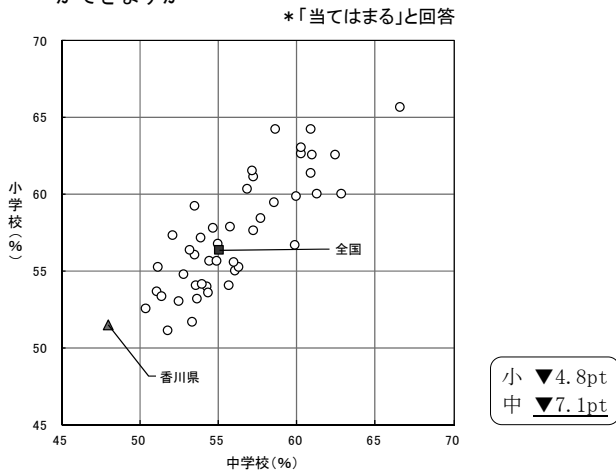
□7 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか



【学習状況《言語活動》】

友達の意見を最後まで聞く

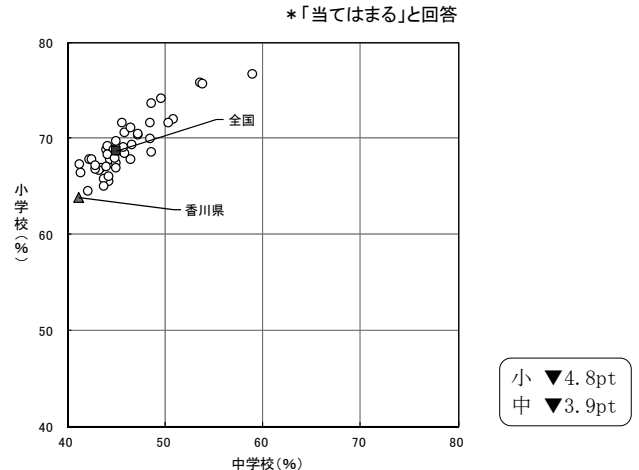
□8 友達と話し合うとき，友達の話や意見を最後まで聞くことができますか



【ユニバーサルデザイン，規範意識，道德の時間】

将来の夢や希望

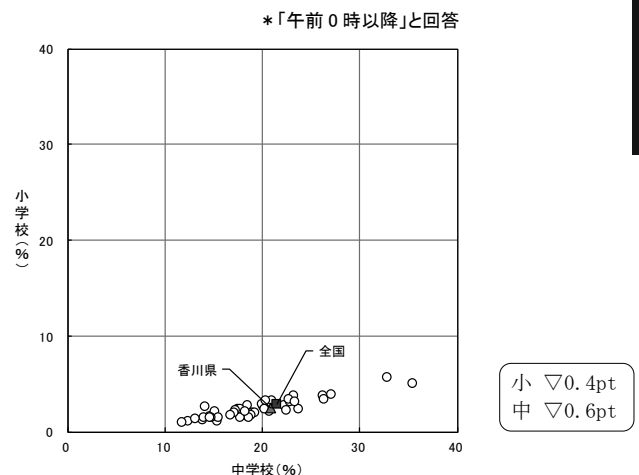
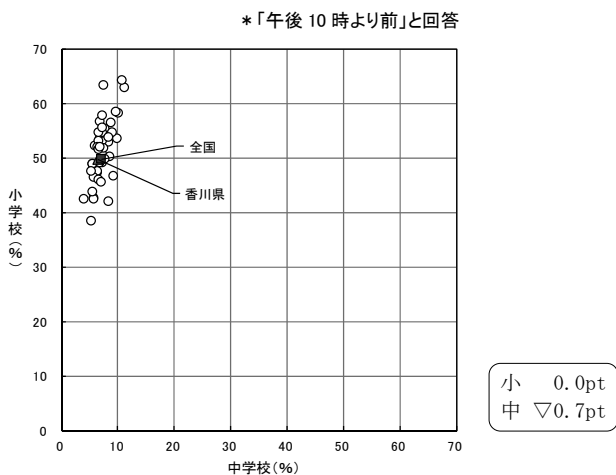
□9 将来の夢や目標を持っていますか



【基本的生活習慣】

就寝時刻

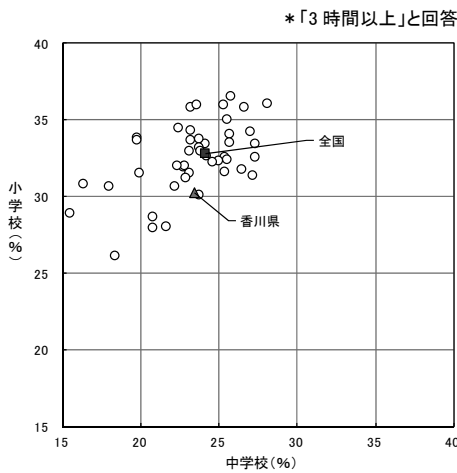
□10 普段(月～金曜日)，何時ごろに寝ますか



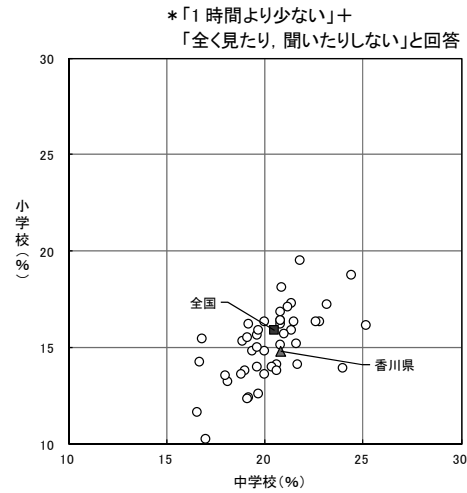
【基本的生活習慣】

テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間

□11 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか



小 ▽2.6pt
中 ▽0.7pt

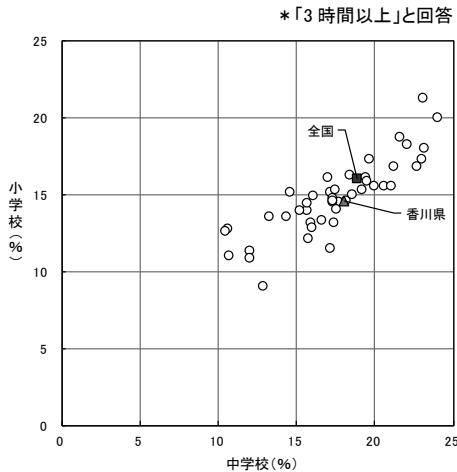


小 ▽1.1pt
中 ○0.3pt

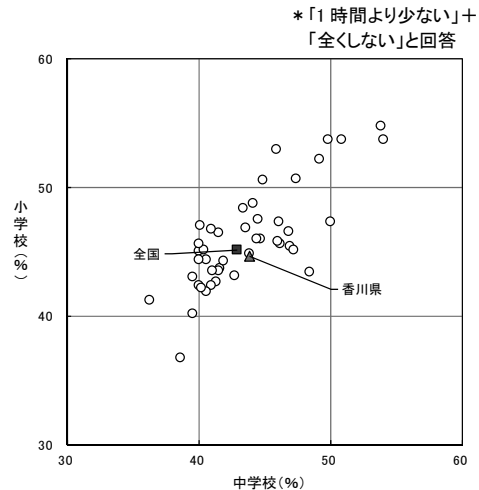
【基本的生活習慣】

テレビゲームをする時間

□12 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



小 ▽1.4pt
中 ▽0.9pt

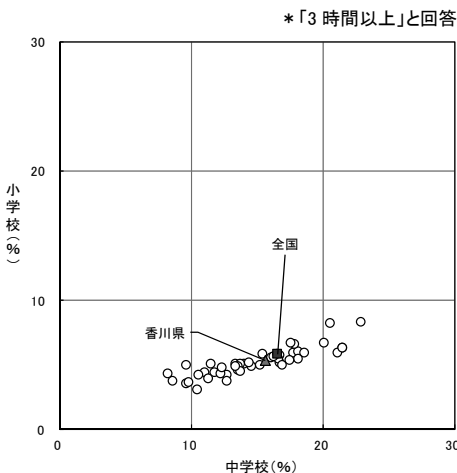


小 ▽0.5pt
中 ○1.0pt

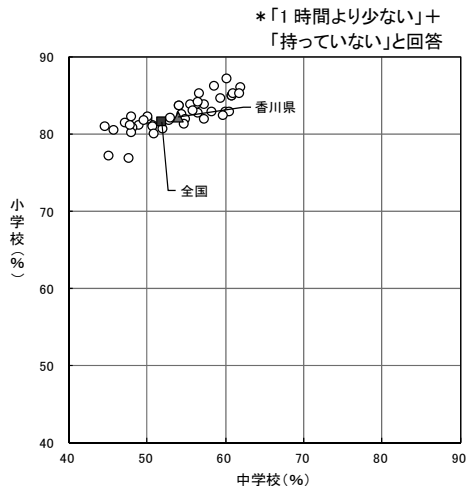
【基本的生活習慣】

携帯電話やスマートフォンで、通話やインターネットをする時間

□13 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



小 ▽0.5pt
中 ▽0.9pt



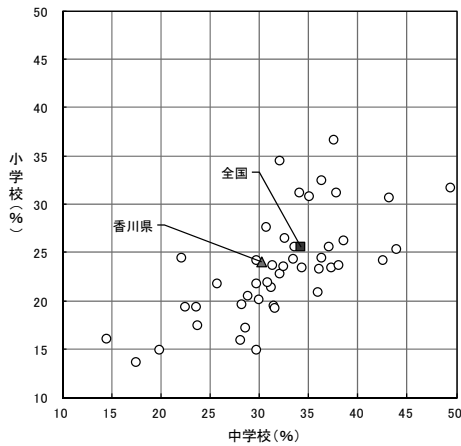
小 ○0.7pt
中 ○2.1pt

【学習時間等】

普段の学習時間

□14 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

*「2時間以上」と回答



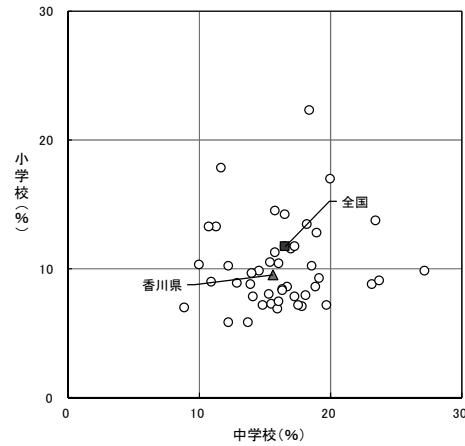
小 ▽1.5pt
中 ▼4.0pt

【学習時間等】

土日の学習時間

□15 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

*「3時間以上」と回答



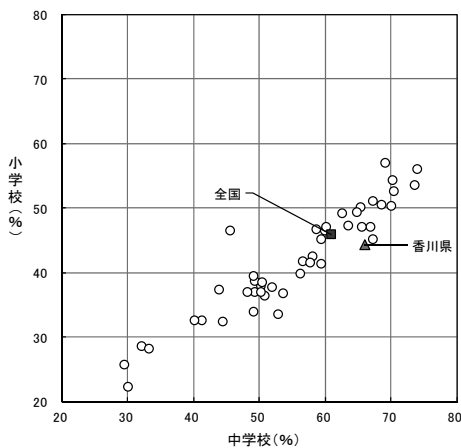
小 ▽2.2pt
中 ▽0.9pt

【学習時間等】

学習塾

□16 学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか

*「学習塾に通っている」と回答



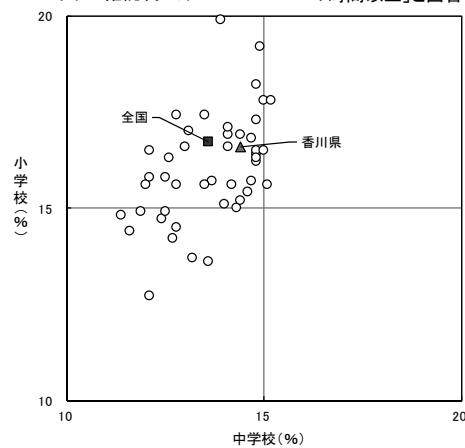
小 ▽1.7pt
中 ◎5.1pt

【学習時間等】

読書時間

□17 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）

*「1時間以上」と回答



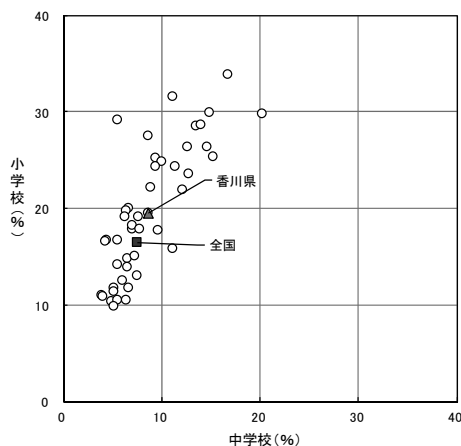
小 ▽0.1pt
中 ○0.8pt

【学習時間等】

図書館の利用

□18 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）

*「週に1回以上」と回答



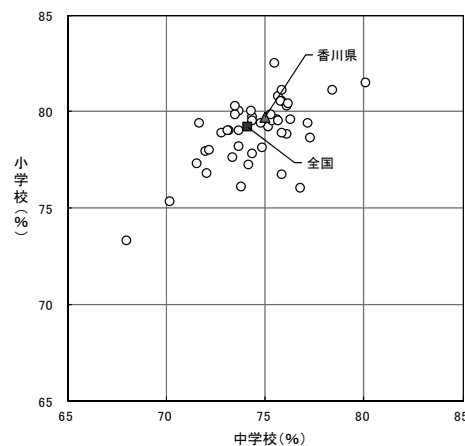
小 ◎3.1pt
中 ○1.1pt

【家庭でのコミュニケーション等】

家の人と学校での出来事を話している

□19 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

*肯定的回答

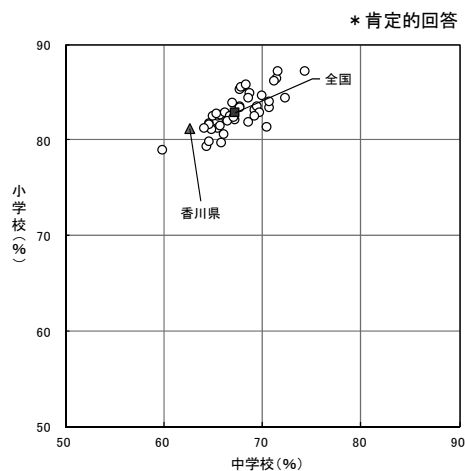


小 ○0.5pt
中 ○0.9pt

【全国学力・学習状況調査 10 年目の経年変化の把握】

家の手伝い

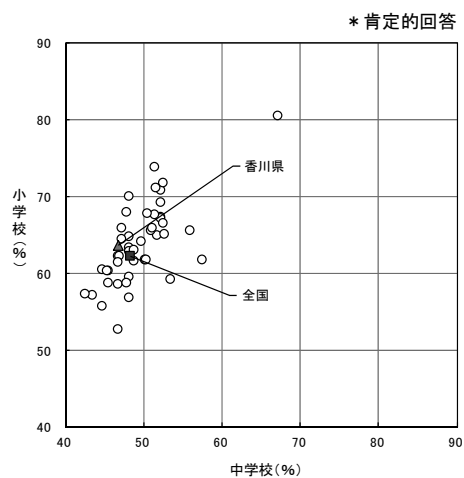
□20 家の手伝いをしていますか



【学習時間等】

計画的を立てて勉強

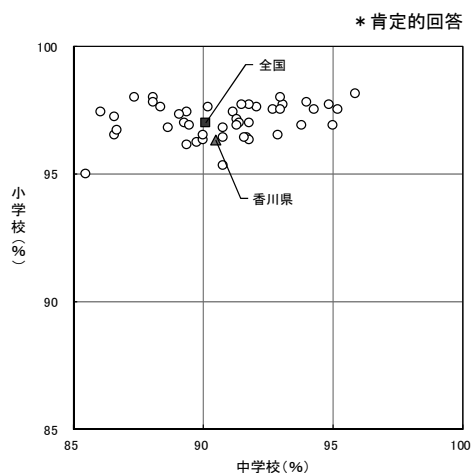
□21 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



【学習時間等】

宿題

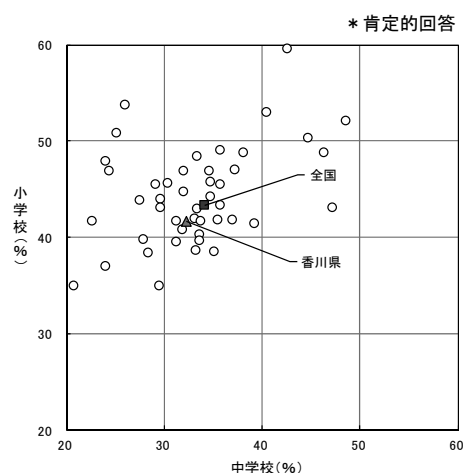
□22 家で、学校の宿題をしていますか



【学習時間等】

予習

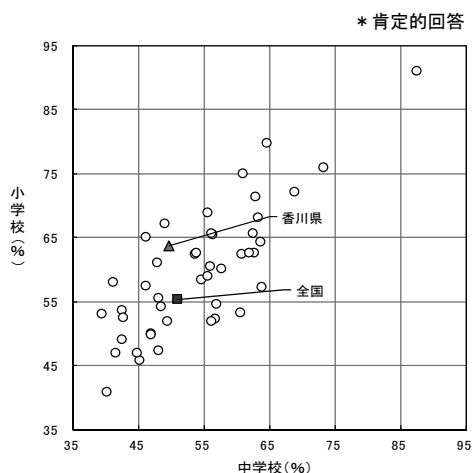
□23 家で、学校の授業の予習をしていますか



【学習時間等】

復習

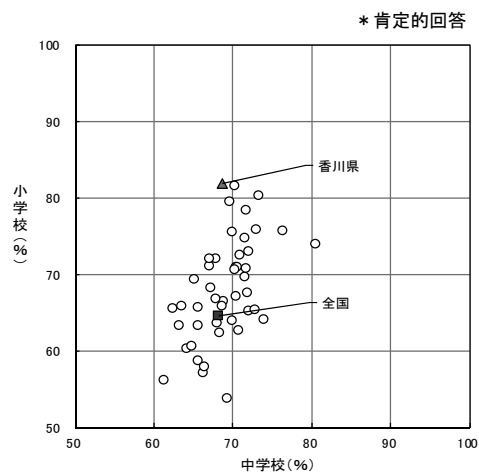
□24 家で、学校の授業の復習をしていますか



【学習時間等】

教科書を使いながら学習している

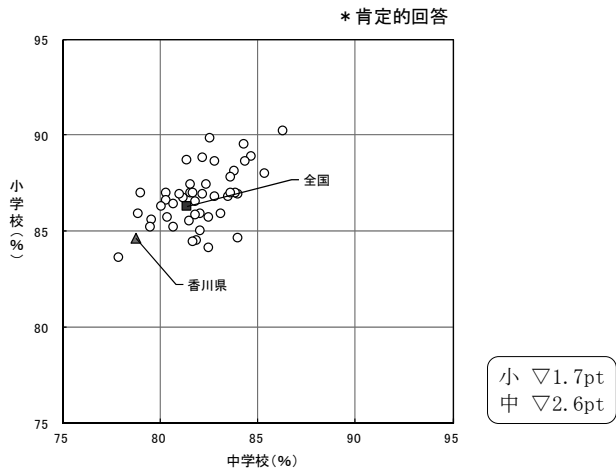
□25 家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか



【学校生活等】

学校に行くのは楽しい

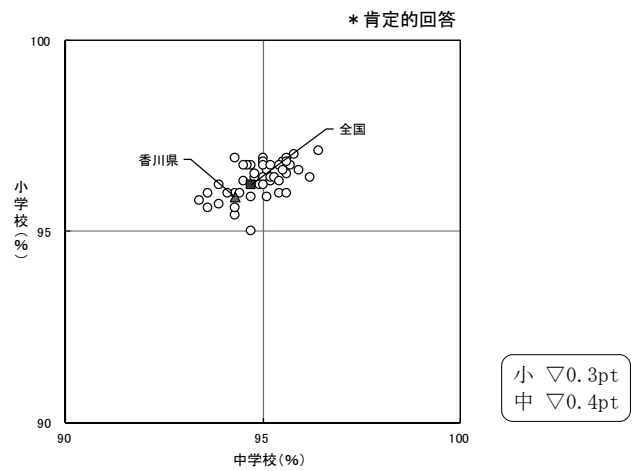
□26 学校に行くのは楽しいと思いますか



【全国学力・学習状況調査 10 年目の経年変化の把握】

友達に会うのは楽しい

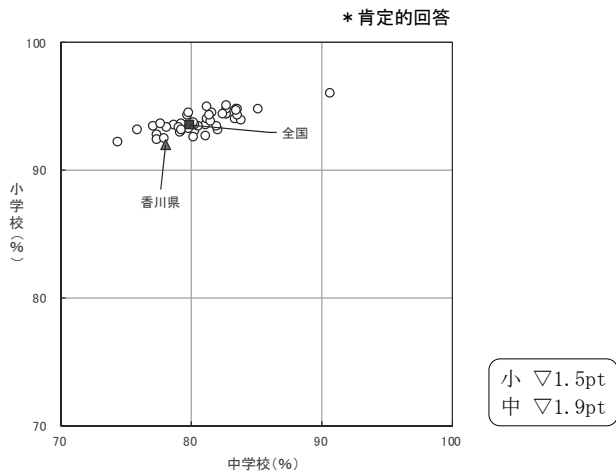
□27 学校で、友達に会うのは楽しいですか



【全国学力・学習状況調査 10 年目の経年変化の把握】

好きな授業がある

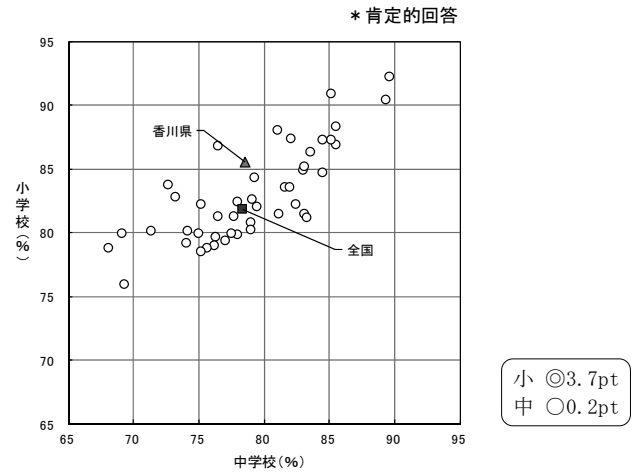
□28 学校で、好きな授業がありますか



【学校生活等】

話し合って学級のきまりを決める

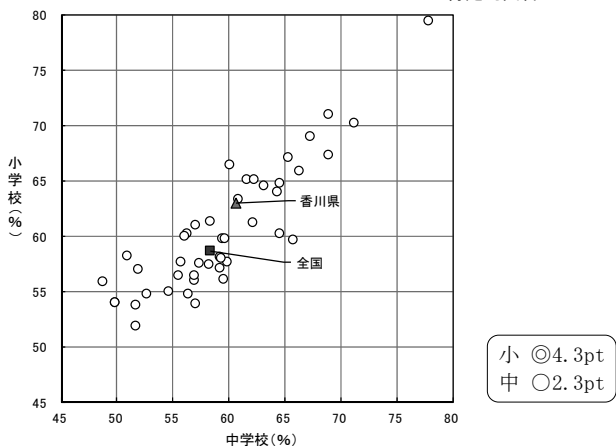
□29 学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか



【学校生活等】

よさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめる

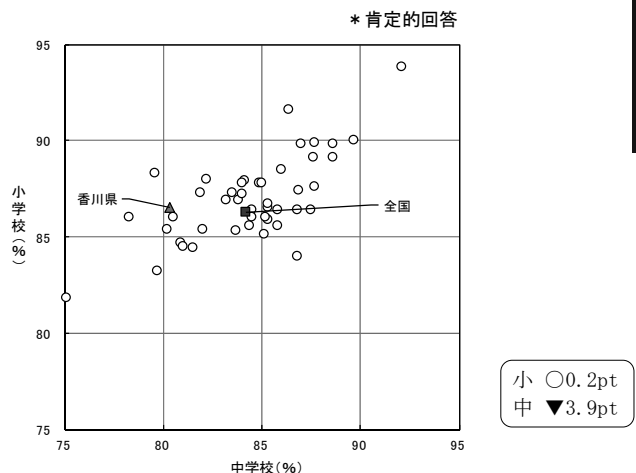
□30 学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか * 肯定的回答



【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

学級みんなでやり遂げる

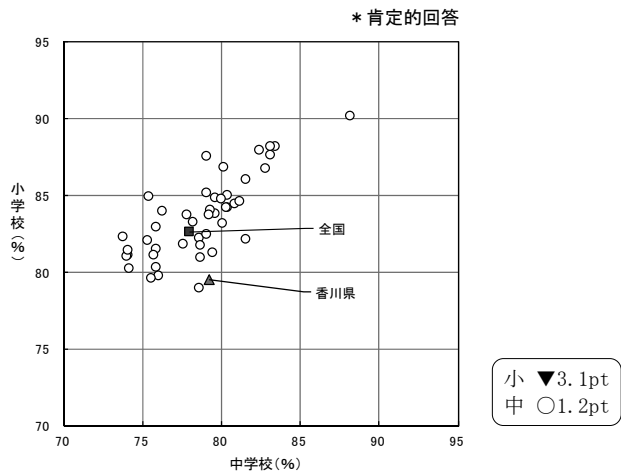
□31 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか



【学習評価の在り方】

先生はよいところを認めてくれる

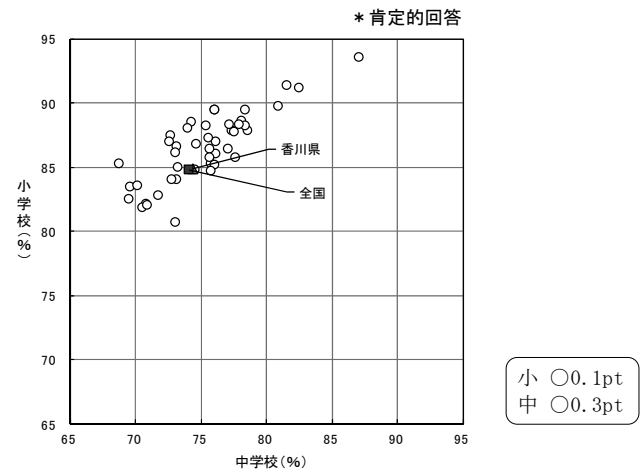
□32 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



【学習評価の在り方】

先生は、分かるまで教えてくれる

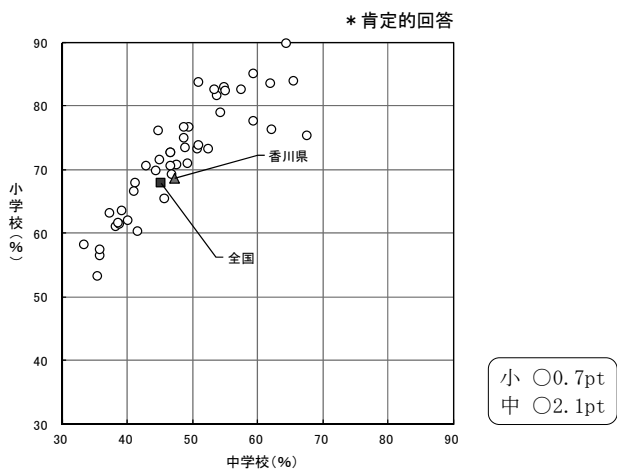
□33 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか



【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

地域の行事への参加

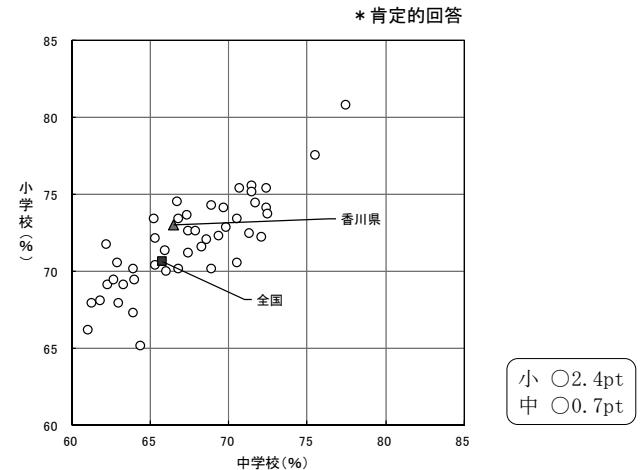
□34 今住んでいる地域の行事に参加していますか



【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

地域の出来事への関心

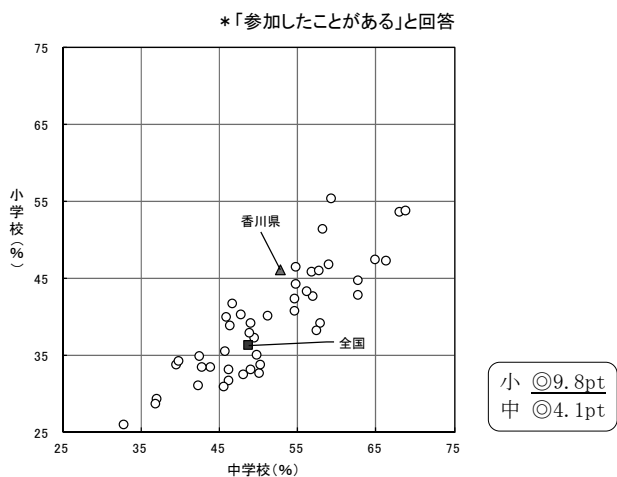
□35 地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか



【社会に対する興味・関心】

ボランティア活動に参加

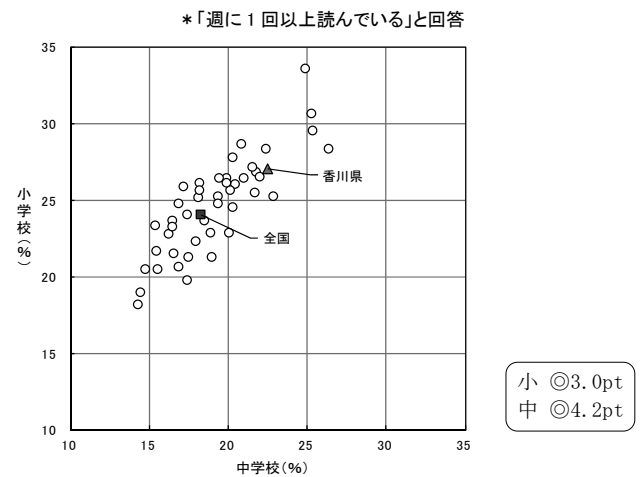
□36 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか



【社会に対する興味・関心】

新聞を読んでいる

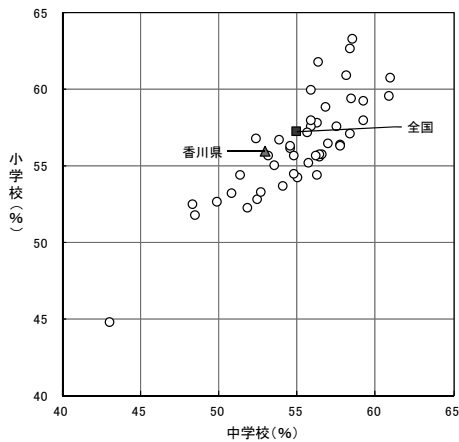
□37 新聞を読んでいますか



【社会に対する興味・関心】

ニュース番組を見る

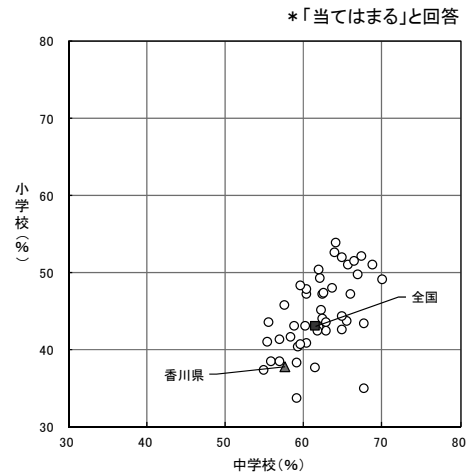
□38 テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使う場合も含む）＊「よく見る」と回答



【ユニバーサルデザイン，規範意識，道徳の時間】

学校のきまりを守っている

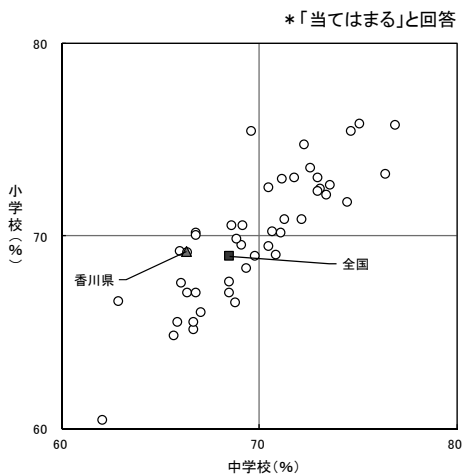
□39 学校のきまり（規則）を守っていますか



【学校生活等】

友達との約束を守っている

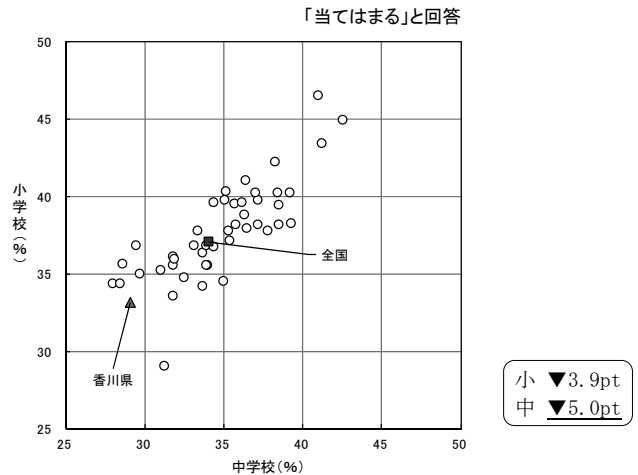
□40 友達との約束を守っていますか



【全国学力・学習状況調査 10 年目の経年変化の把握】

困った人を助けている

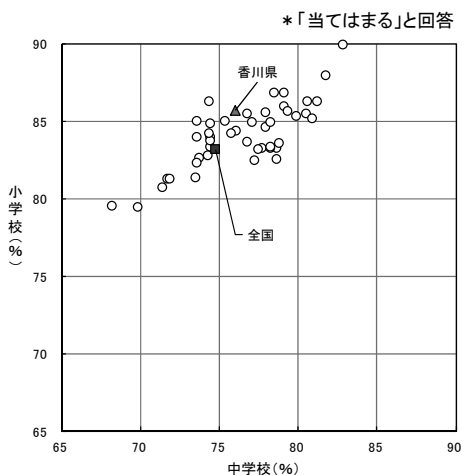
□41 人が困っているときは，進んで助けていますか



【全国学力・学習状況調査 10 年目の経年変化の把握】

いじめは，いけないことだ

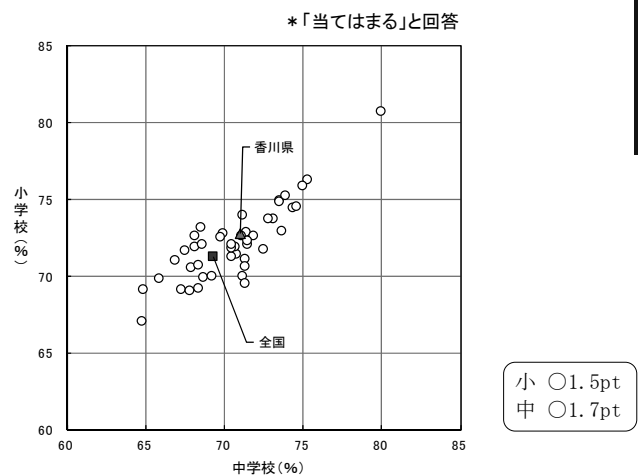
□42 いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いませんか



【ユニバーサルデザイン，規範意識，道徳の時間】

人の役に立つ人間になりたい

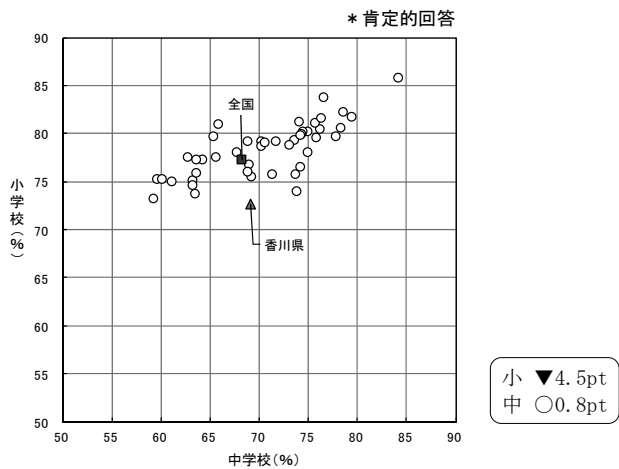
□43 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



【全国学力・学習状況調査 10 年目の経年変化の把握】

総合的な学習の時間の勉強は好き

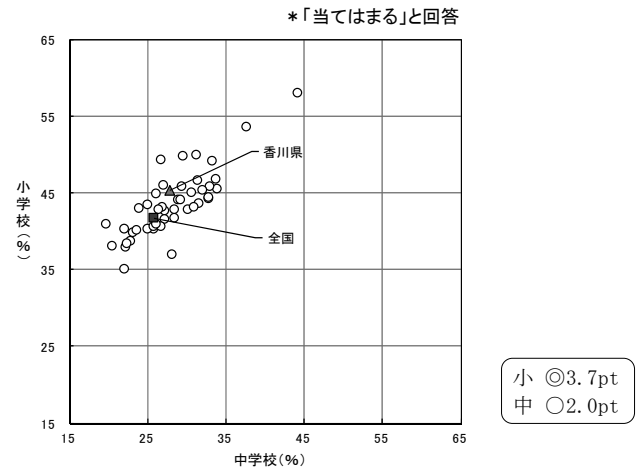
□44 「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか



【学習に対する関心・意欲・態度《総合的な学習の時間》】

将来、社会に出たときに役に立つ

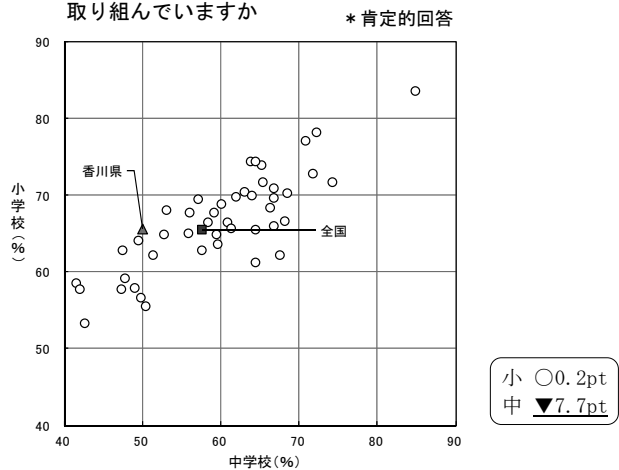
□45 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

探究的な学習への取り組み

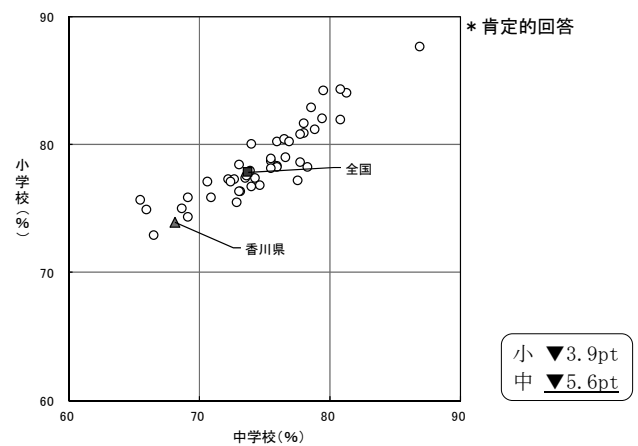
□46 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

課題に対して自ら考え、取り組む

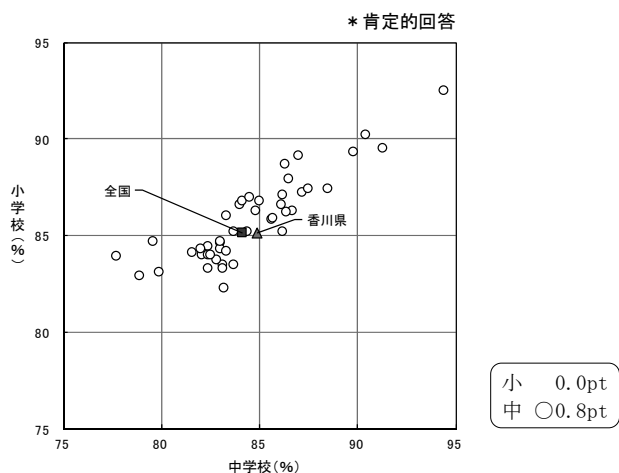
□47 前学年までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

発表する機会

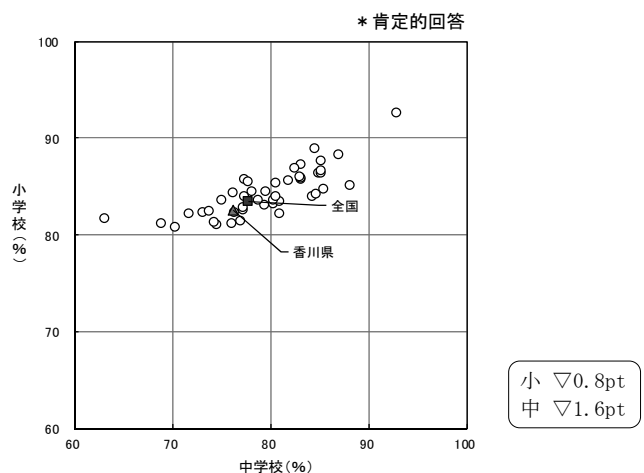
□48 前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

話し合う活動

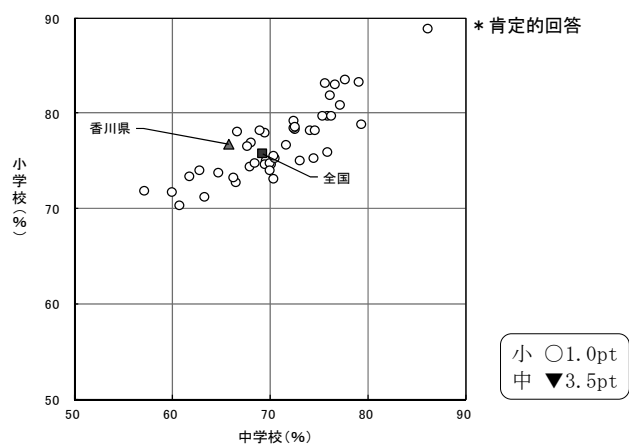
□49 前学年までに受けた授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

課題を立てて解決に向けて話し合う

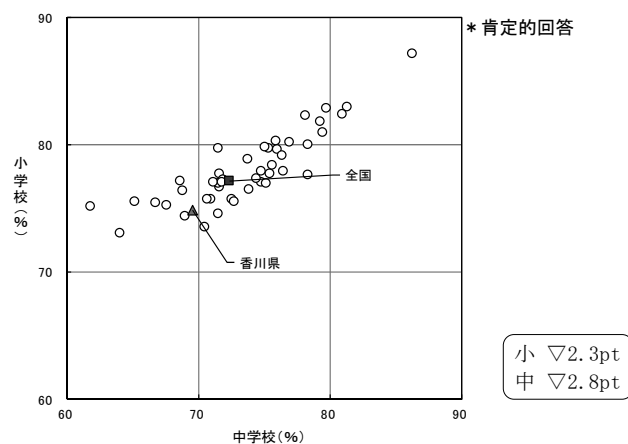
□50 前年度までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝える

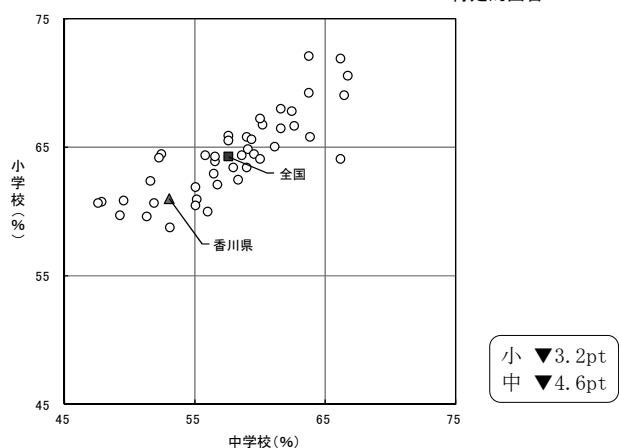
□51 前年度までに受けた授業で、学級の友達（生徒）との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

伝わるよう工夫して発表する

□52 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか * 肯定的回答

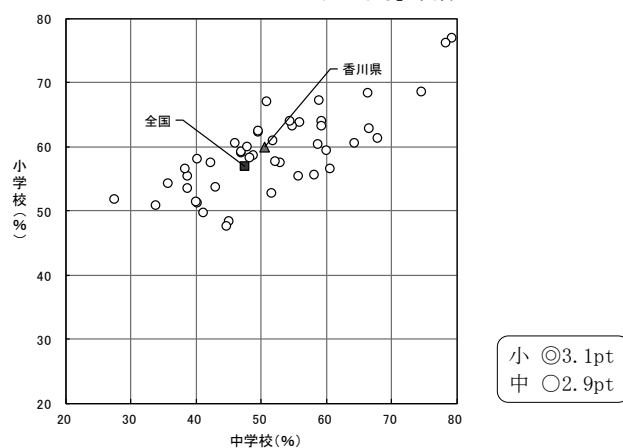


【学習状況《指導状況》】

授業の中で目標が示されている

□53 前年度までに受けた授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか

*「当てはまる」と回答

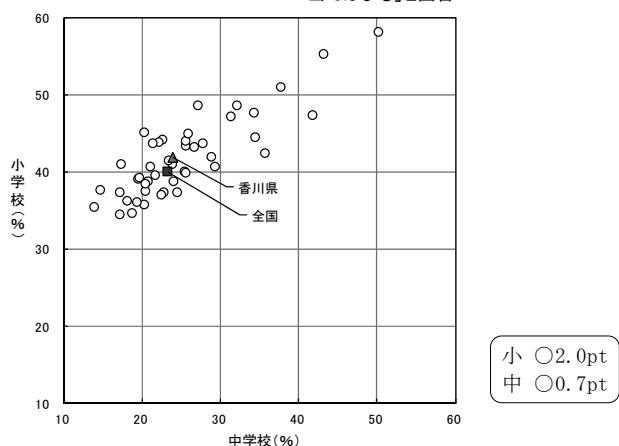


【学習状況《指導状況》】

振り返る活動を行っている

□54 前年度までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

*「当てはまる」と回答

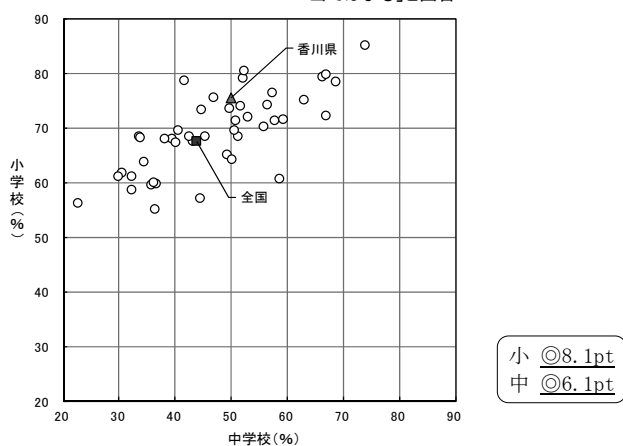


【学習状況《指導状況》】

ノートに目標とまとめを書いている

□55 前年度までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。

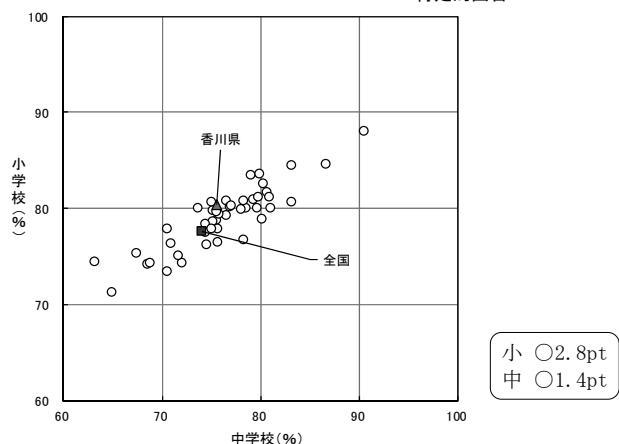
*「当てはまる」と回答



【ユニバーサルデザイン，規範意識，道徳の時間】

道徳で考えを深めたり，話し合ったりする

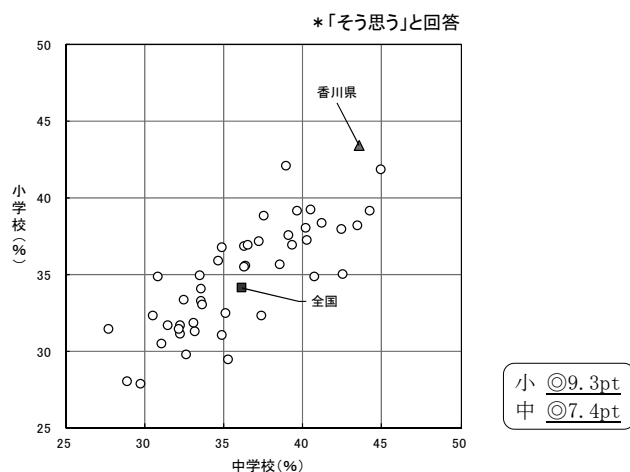
- 56 前年度までに受けた道徳の時間では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか * 肯定的回答



【学習状況《言語活動》】

感想文や説明文を書くことは難しい

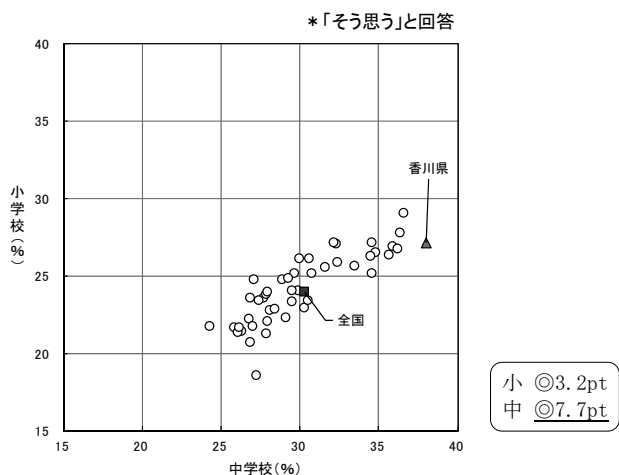
- 57 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

説明したり，文章を書いたりするのは難しい

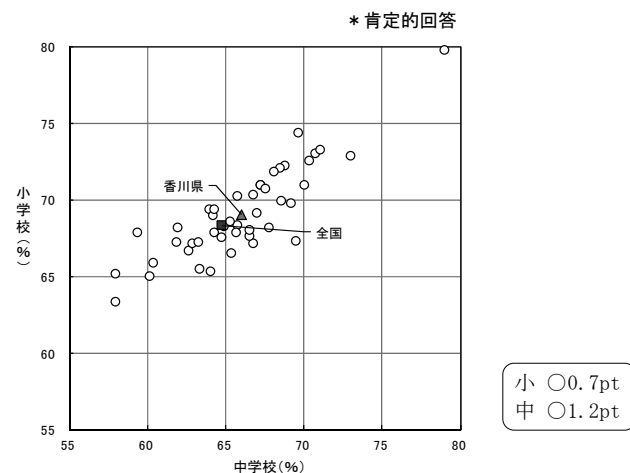
- 58 学校の授業などで，自分の考えを他の人に説明したり，文章に書いたりするのは難しいと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

話し合いで考えを深めたり，広げたりする

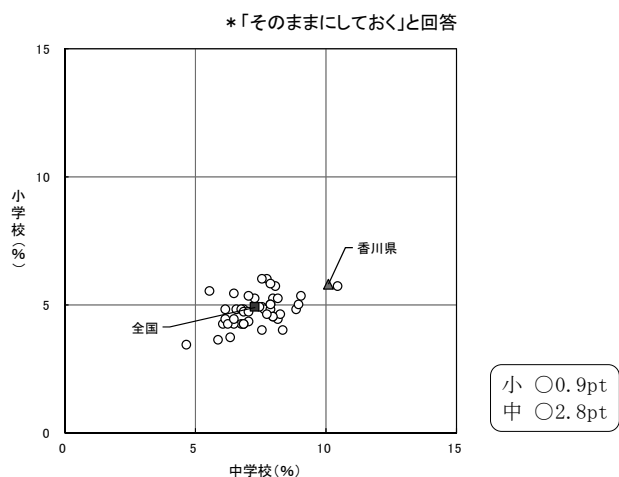
- 59 学校の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか



【学習状況《指導状況》】

授業の中で分からないことがあったとき

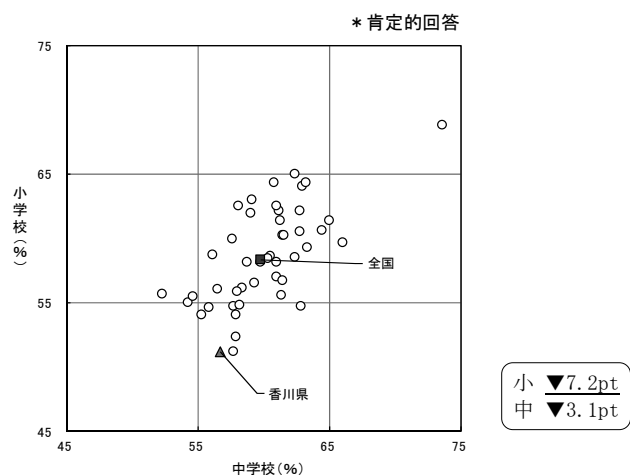
- 60 授業の中で分からないことがあったら，どうすることが多いですか



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

国語の勉強は好き

- 61 国語の勉強は好きだと思いますか

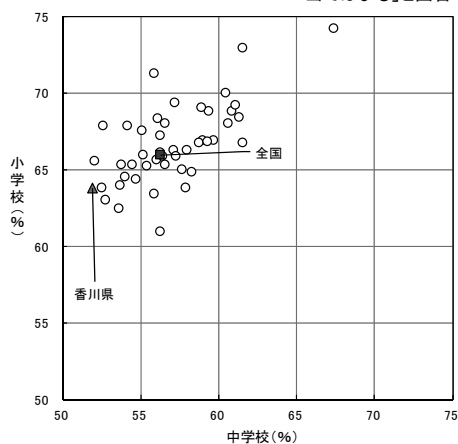


【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

国語の勉強は大切

□62 国語の勉強は大切だと思いますか

*「当てはまる」と回答



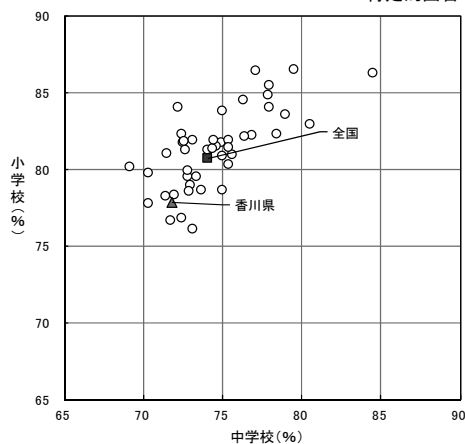
小 ▽2.1pt
中 ▼4.4pt

【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

国語の授業の内容はよく分かる

□63 国語の授業の内容はよく分かりますか

* 肯定的回答



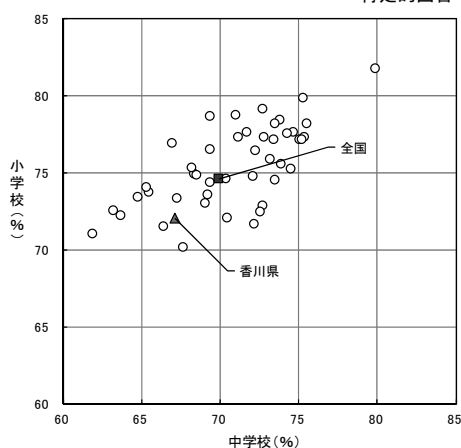
小 ▽2.9pt
中 ▽2.3pt

【学習時間等】

読書は好き

□64 読書は好きですか

* 肯定的回答



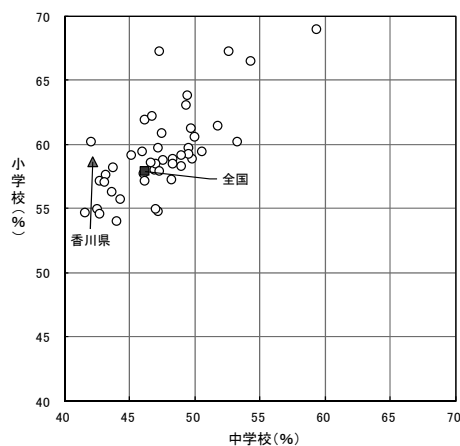
小 ▽2.6pt
中 ▽2.8pt

【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

将来、社会に出たときに役に立つ

□65 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか

*「当てはまる」と回答



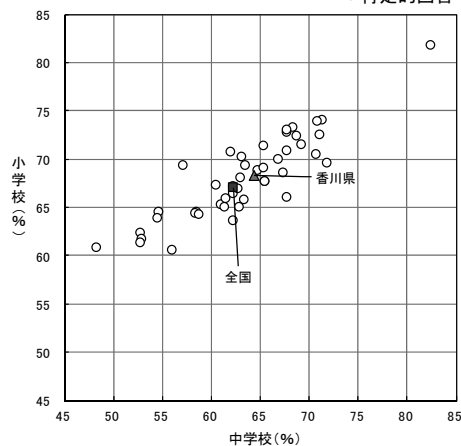
小 ○0.7pt
中 ▼4.0pt

【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

目的に応じて読み、考えを話したり書いたりしている

□66 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか

* 肯定的回答



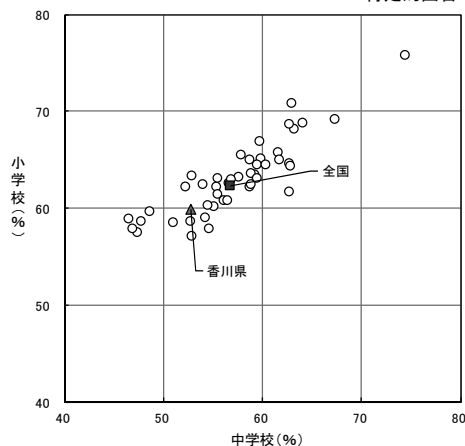
小 ○1.3pt
中 ○2.2pt

【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

話の組み立てを工夫している

□67 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか

* 肯定的回答

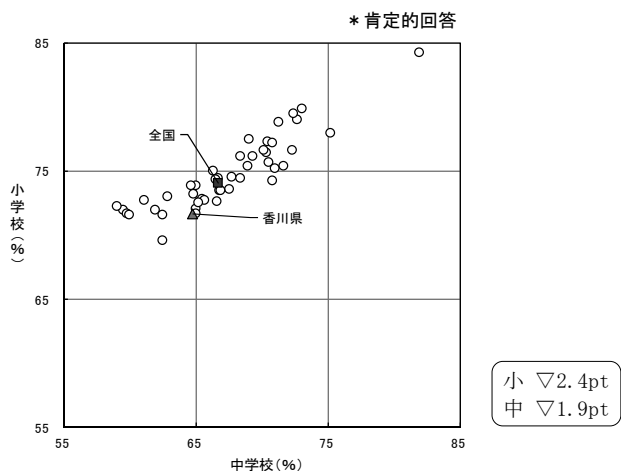


小 ▽2.4pt
中 ▼3.9pt

【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

理由が分かるように書いている

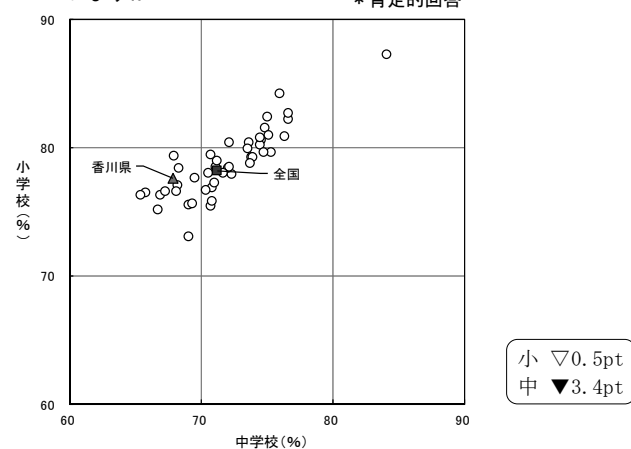
□68 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

まとまりごとに内容を理解しながら読む

□69 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか

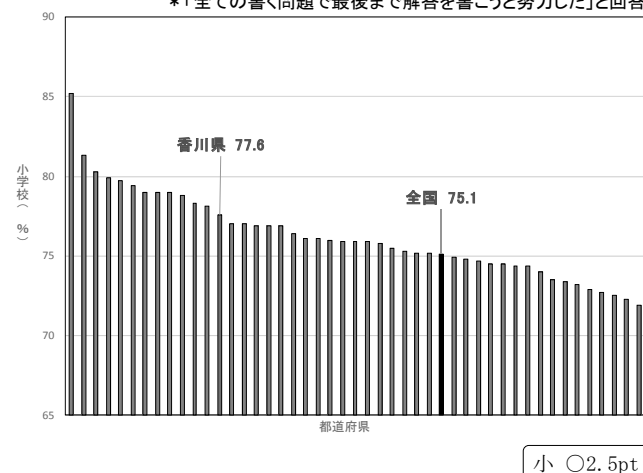


【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力

□70 小：今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。

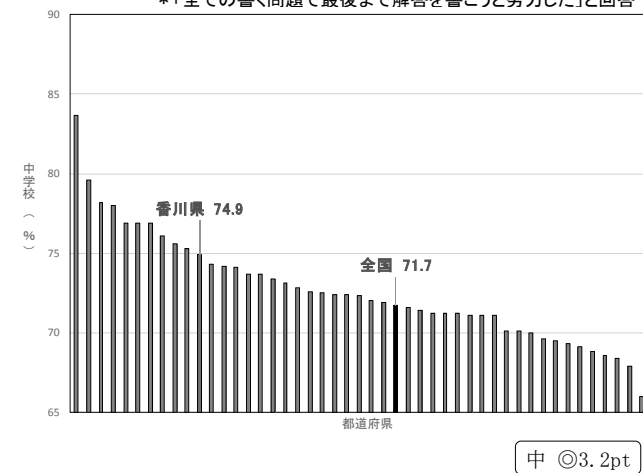
*「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答



（書く問題）最後まで解答を書こうと努力

□70 中：今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか

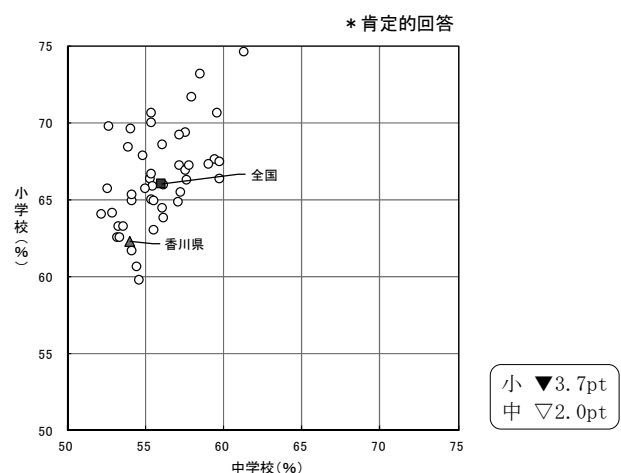
*「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

算数・数学の勉強は好き

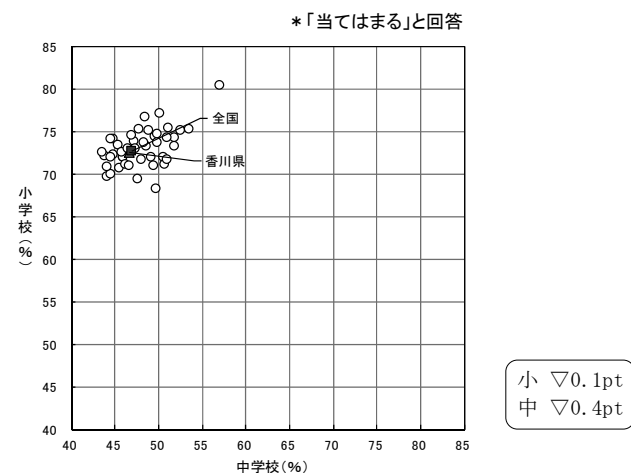
□71 算数（数学）の勉強は好きだと思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

算数・数学の勉強は大切

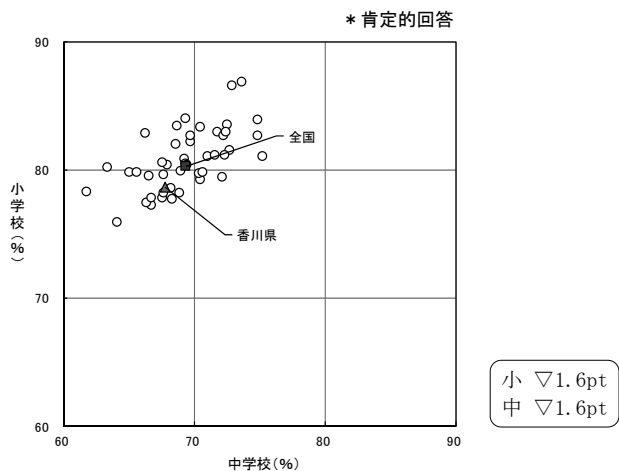
□72 算数（数学）の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

算数・数学の授業の内容はよく分かる

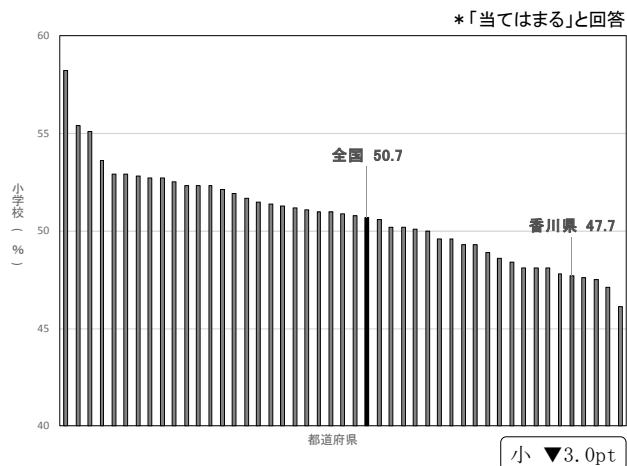
□73 算数（数学）の授業の内容はよく分かると思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

【小学校】新しい問題を解いてみたい

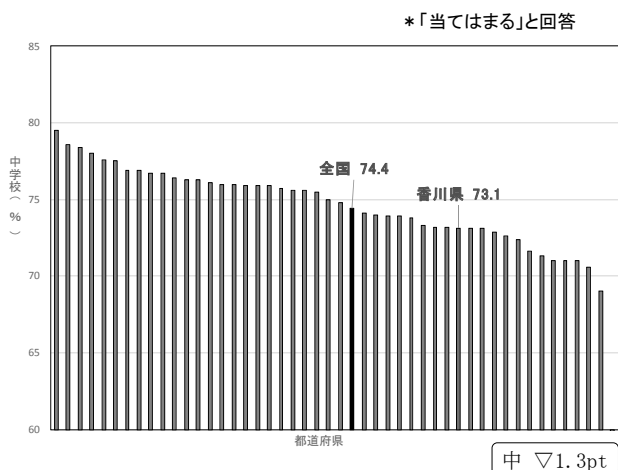
□74 小:算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

【中学校】数学ができるようになりたい

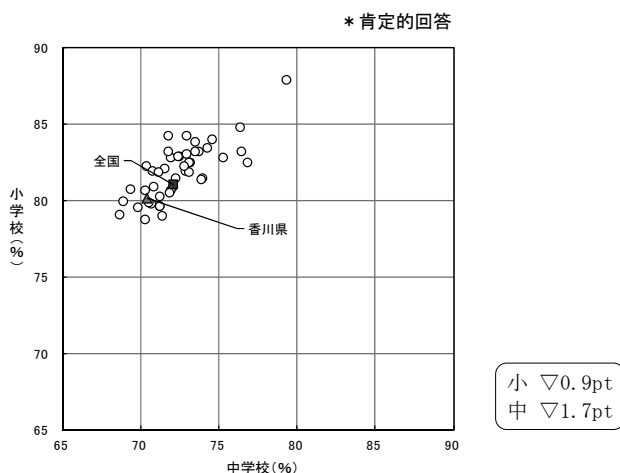
□74 中:数学ができるようになりたいと思いますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

諦めずにいろいろな方法を考える

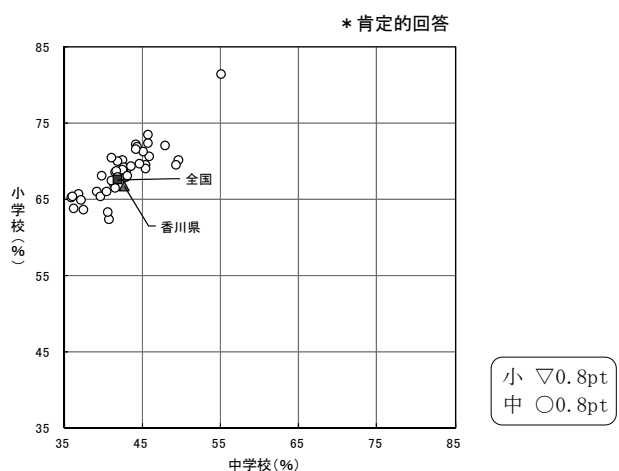
□75 算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

生活の中で活用できないかを考える

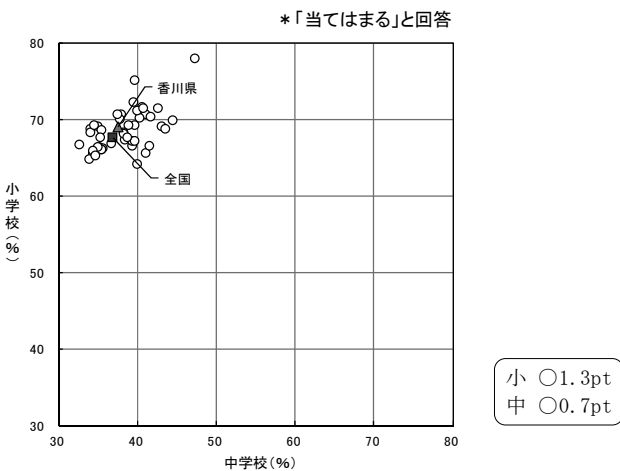
□76 算数（数学）の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

将来、社会に出たときに役に立つ

□77 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

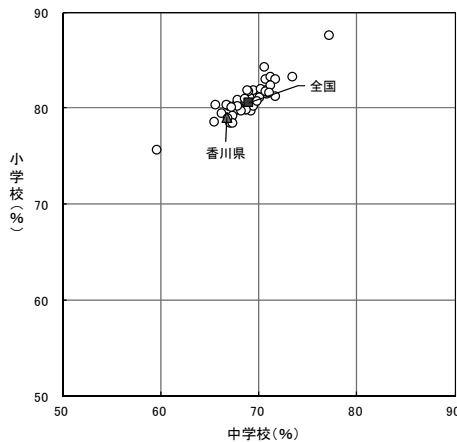


【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

もっと簡単に解く方法がないか考える

□78 算数（数学）の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

* 肯定的回答



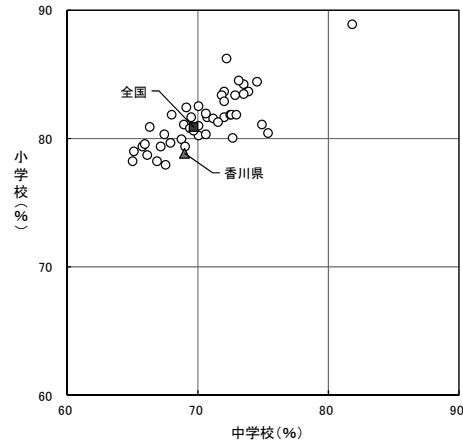
小 ▽1.5pt
中 ▽2.2pt

【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

公式やきまりのわけ（根拠）を理解する

□79 算数（数学）の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ（根拠）を理解するようにしていますか

* 肯定的回答



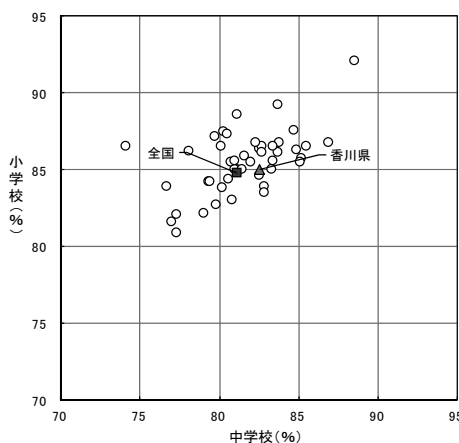
小 ▽2.0pt
中 ▽0.8pt

【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

解き方や考え方が分かるようにノートに書く

□80 算数（数学）の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

* 肯定的回答



小 ○0.2pt
中 ○1.4pt



参考：香川県教育委員会

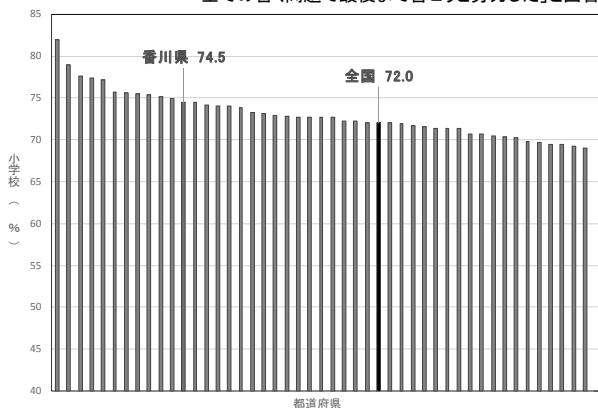
「香川県教育基本計画 平成28～32年度」より

【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力

□81 小：今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか

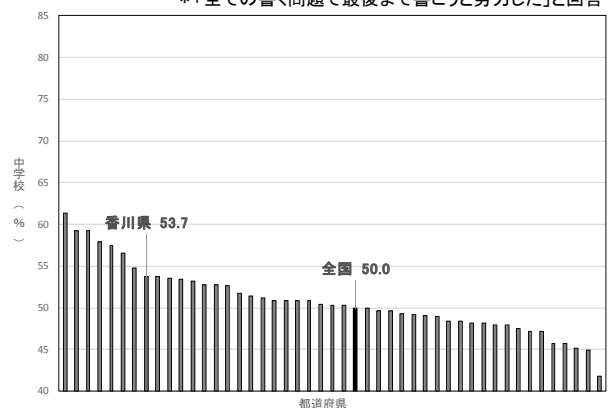
*「全ての書く問題で最後まで書こうと努力した」と回答



小 ○2.5pt

□81 中：今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか

*「全ての書く問題で最後まで書こうと努力した」と回答

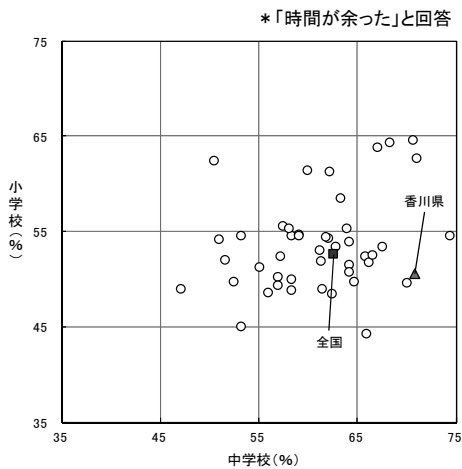


中 ○3.7pt

【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

解答時間は十分だった

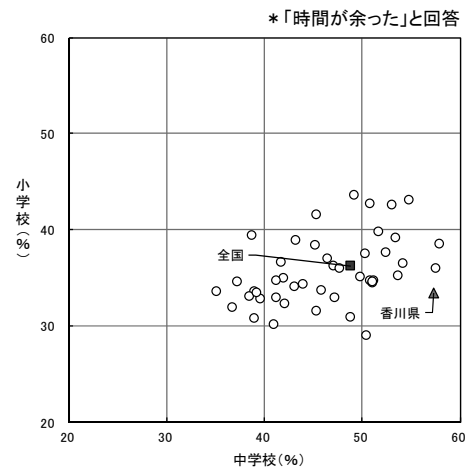
□82 解答時間は十分でしたか(国語A)



【学習に対する関心・意欲・態度《国語》】

解答時間は十分だった

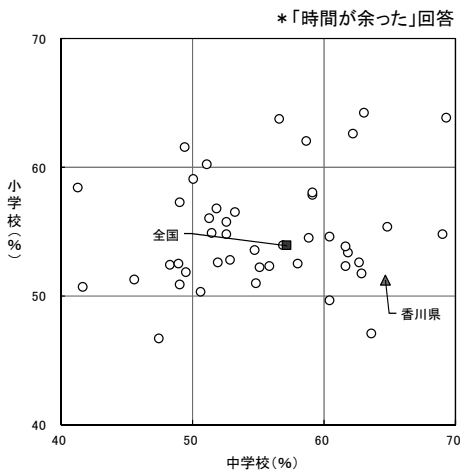
□83 解答時間は十分でしたか(国語B)



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

解答時間は十分だった

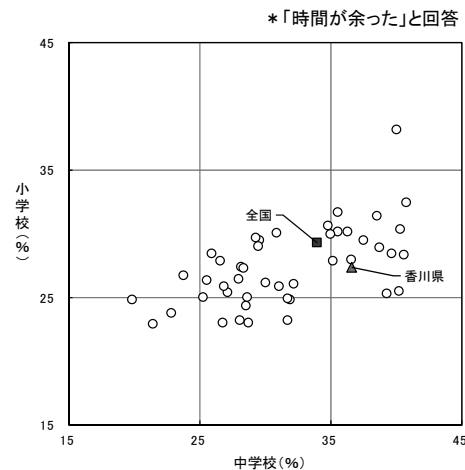
□84 解答時間は十分でしたか(算数A・数学A)



【学習に対する関心・意欲・態度《算数・数学》】

解答時間は十分だった

□85 解答時間は十分でしたか(算数B・数学B)



参考：香川県教育センター
「アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ」
Leaf. 1～5 より

Leaf. 1：アクティブ・ラーニングで授業を変えよう！

- ・アクティブ・ラーニングって…なに？
- ・なぜ、アクティブ・ラーニングなの？
- ・授業をどのように変えればいいのか？

Leaf. 2：アクティブ・ラーニングで学習意欲を高めよう！

- ・能動的な学習に向かう課題づくり
- ・学び合いで意欲が高まる！自信ができる！
- ・教師に求められる集団づくりと授業づくり！

Leaf. 3：アクティブ・ラーニングで教師・学校・社会をつなごう！

- ・学校と社会を“学び”でつなごう！
- ・各学校種間で学び方をつなげよう！
- ・教師もアクティブ・ラーニングでつながろう！

Leaf. 4：アクティブ・ラーニングで学びを深めよう！

- ・「深い学び」の過程を実現！
- ・学びを深める問題の発見・解決のプロセス！
- ・学びを深める思考の可視化！

Leaf. 5：アクティブ・ラーニングで全員参加の学校づくり！

- ・私もできる！カリキュラム・マネジメント
- ・授業改善からのカリキュラム・マネジメント
- ・児童生徒が関わるカリキュラム・マネジメント

3 学校質問紙 調査結果一覧

				1項目：香川県（公立）の割合（％） 2項目：全国（公立）の割合（％）																	
小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項	選択肢（質問の選択項目は、P120を参照）										その他※ ・無回答	1の差 1＋2の差					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9								
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】																					
14	14	121	16	調査対象学年の児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	小	26.3	66.7	5.8	0.6						0.6	0.0					
						26.3	67.1	6.4	0.1						0.0	-0.4					
					中	14.1	73.2	12.7	0.0						0.0	-9.5					
15	15	121	17	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小	35.9	51.9	10.3	1.3						0.6	-3.2					
						39.1	51.4	8.8	0.6						0.0	-2.7					
					中	35.2	56.3	7.0	1.4						0.0	-15.9					
16	16	121	18	調査対象学年の児童生徒は、礼儀正しいと思いますか		51.1	43.4	5.2	0.3						0.0	-3.0					
					小	27.6	60.9	10.3	0.6						0.6	-1.7					
						29.3	59.8	10.5	0.3						0.1	-0.6					
					小	26.8	62.0	9.9	1.4						0.0	-14.7					
					中	41.5	52.0	6.2	0.2						0.1	-4.7					
					【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】																
17	17	121	19	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	小	11.5	59.0	28.2	0.6						0.6	0.1					
						11.4	63.2	24.8	0.5						0.1	-4.1					
					中	4.2	57.7	35.2	2.8						0.0	-6.0					
18	18	121	20	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか		10.2	63.0	26.0	0.6						0.1	-11.3					
					小	13.5	67.9	17.3	0.6						0.6	-8.4					
						21.9	63.9	13.7	0.4						0.0	-4.4					
19	19	121	21	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか		12.7	69.0	15.5	2.8						0.0	-11.3					
					中	24.0	64.3	11.4	0.3						0.1	-6.6					
					小	5.1	64.1	28.8	1.3						0.6	-3.9					
20	20	122	新	調査対象学年の児童生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていると思いますか		9.0	60.2	30.0	0.8						0.1	0.0					
					中	5.6	53.5	38.0	2.8						0.0	-3.7					
						9.3	61.2	28.7	0.8						0.1	-11.4					
21	21	122	新	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	小	16.7	75.6	6.4	0.6						0.6	-4.4					
						21.1	69.8	8.8	0.1						0.1	1.4					
					中	7.0	74.6	16.9	1.4						0.0	-9.1					
22	22	*	22	調査対象学年の児童生徒のうち、就学援助を受けている児童生徒の割合		16.1	71.1	12.4	0.3						0.1	-5.6					
					小	4.5	57.1	35.9	1.9						0.6	-0.8					
						5.3	55.9	37.7	0.9						0.1	0.4					
					中	0.0	49.3	47.9	2.8						0.0	-5.5					
						5.5	54.2	39.2	1.1						0.1	-10.4					
					【就学援助】																
22	22	*	22	調査対象学年の児童生徒のうち、就学援助を受けている児童生徒の割合	小	7.1	12.8	28.2	37.8	9.0	3.2	1.9			0.0	-7.1					
						14.2	15.2	19.5	28.2	13.5	7.1	2.3			0.1	-9.5					
					中	8.5	5.6	14.1	50.7	11.3	2.8	7.0			0.0	1.6					
						6.9	10.4	19.9	34.1	17.2	8.8	2.6			0.1	-3.2					
					【日本語指導】																
					23	23	*	23	調査対象学年の児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童生徒の割合	小	91.0	5.1	2.6	0.0	0.6	0.0	0.6			0.0	1.6
	89.4	7.0	1.7	0.7						0.3	0.5	0.3			0.1	-0.3					
中	94.4	4.2	0.0	1.4						0.0	0.0	0.0			0.0	9.0					
						85.4	9.3	2.4	1.0	0.5	0.7	0.6			0.1	3.9					
					【学力向上に向けた取組】																
					24	24	122	類25	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか	小	7.7	32.1	42.9	14.7	1.3					1.3	-3.0
	10.7	32.4	39.9	14.7						2.1					0.2	-3.3					
中	0.0	7.0	26.8	50.7						15.5					0.0	-1.8					
25	25	122	26	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか		1.8	9.9	34.8	42.3	11.2					0.2	-4.7					
					小	3.8	32.1	32.7	14.7	5.8	9.6				1.3	0.6					
						3.2	14.7	14.1	16.7	11.5	39.5				0.2	18.0					
26	26	122	27	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	中	4.2	8.5	12.7	31.0	26.8	16.9				0.0	-0.4					
						4.6	11.0	9.6	25.9	30.4	18.3				0.2	-2.9					
					小	0.0	2.6	8.3	1.3	86.5					1.3	-0.4					
27	27	122	28	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）		0.4	2.3	3.3	3.3	90.6					0.2	-0.1					
					中	1.4	1.4	2.8	1.4	93.0					0.0	0.5					
						0.9	3.6	4.7	6.2	84.4					0.2	-1.7					
					小	0.6	4.5	14.7	45.5	33.3					1.3	-1.1					
						1.7	4.6	21.3	36.6	35.7					0.2	-1.2					
					中	8.5	5.6	36.6	26.8	22.5					0.0	-1.1					
						9.6	12.6	33.3	24.1	20.2					0.2	-8.1					
					【カリキュラム・マネジメント】																
					28	28	123	類106/104	指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか	小	21.2	69.9	8.3	0.0						0.6	2.4
	18.8	71.7	9.4	0.0											0.0	0.6					
中	9.9	83.1	7.0	0.0											0.0	-9.9					
29	29	123	類107/105	指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか		19.8	71.4	8.6	0.1						0.0	1.8					
					小	23.7	68.6	7.1	0.0						0.6	-6.8					
						30.5	63.3	6.2	0.0						0.0	-1.5					
30	30	123	新	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	中	21.1	62.0	16.9	0.0						0.0	-4.2					
						25.3	64.9	9.7	0.1						0.0	-7.1					
					小	17.9	67.3	14.1	0.0						0.6	-1.5					
31	31	123	新	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか		19.4	66.4	14.0	0.2						0.0	-0.6					
					小	11.3	52.1	35.2	1.4						0.0	-4.5					
						15.8	62.2	21.4	0.5						0.1	-14.6					
32	32	123	新	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、指導事項の系統性が分かるように作成していますか	小	23.1	64.7	10.9	0.6						0.6	-1.4					
						24.5	61.1	14.0	0.3						0.1	2.2					
					中	16.9	57.7	21.1	2.8						1.4	-3.9					
33	33	123	新	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか		20.8	57.0	21.2	0.9						0.1	-3.2					
					小	19.2	53.2	26.3	0.6						0.6	-2.5					
						21.7	62.9	15.2	0.3						0.0	-12.2					
					中	12.7	63.4	23.9	0.0						0.0	-7.9					
						20.6	64.7	14.3	0.3						0.1	-9.2					
					小	26.9	61.5	10.3	0.6						0.6	0.7					
						26.2	62.3	11.3	0.2						0.0	-0.1					
					中	15.5	67.6	15.5	1.4						0.0	-7.7					
						23.2	63.1	13.3	0.2						0.1	-3.9					

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P120を参照)									その他※ ・無回答	1の差 1+2の差	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9			
34	34	124	新	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小	30.1	62.8	5.8	0.6							0.6	-1.6
						31.7	59.7	8.5	0.1							0.1	1.5
					中	12.7	42.3	45.1	0.0							0.0	-3.6
						16.3	55.0	27.6	1.0							0.1	-16.3
【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】																	
35	35	124	新	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	小	14.1	71.8	12.8	0.0							1.3	-7.6
						21.7	68.4	9.7	0.0							0.2	-4.2
					中	16.9	70.4	12.7	0.0							0.0	-2.9
						19.8	68.8	11.3	0.0							0.1	-1.3
【指導方法】																	
36	36	124	類29	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れられましたか	小	73.7	25.0	0.0	0.0							1.3	2.8
						70.9	27.9	1.0	0.0							0.2	-0.1
					中	59.2	39.4	1.4	0.0							0.0	-1.7
						60.9	36.9	2.1	0.0							0.1	0.8
37	37	124	30	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れることができましたか	小	45.5	44.2	9.0	0.0							1.3	-4.6
						50.1	44.8	4.9	0.0							0.2	-5.2
					中	36.6	57.7	5.6	0.0							0.0	-3.4
						40.0	53.0	6.8	0.0							0.1	1.3
【カリキュラム・マネジメント】																	
38	38	124	31	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	小	22.4	66.0	10.3	0.0							1.3	-6.8
						29.2	63.6	7.0	0.0							0.2	-4.4
					中	8.5	76.1	15.5	0.0							0.0	-16.6
						25.1	63.8	10.8	0.1							0.1	-4.3
【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】																	
39	39	124	32	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	小	28.8	64.1	5.8	0.0							1.3	-4.7
						33.5	61.3	5.0	0.0							0.2	-1.9
					中	19.7	74.6	5.6	0.0							0.0	-6.5
						26.2	67.1	6.6	0.0							0.1	1.0
40	40	125	33	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	小	41.7	53.8	2.6	0.6							1.3	-6.7
						48.4	49.3	2.2	0.0							0.2	-2.2
					中	26.8	70.4	2.8	0.0							0.0	-9.5
						36.3	59.6	4.0	0.0							0.1	1.3
【指導方法】																	
41	41	125	34	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか	小	72.4	24.4	1.3	0.6							1.3	7.2
						65.2	31.2	3.4	0.1							0.1	0.4
					中	39.4	49.3	11.3	0.0							0.0	0.1
						39.3	49.6	10.9	0.1							0.1	-0.2
【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】																	
42	42	125	35	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	小	48.1	47.4	3.2	0.0							1.3	-5.5
						53.6	42.9	3.2	0.1							0.2	-1.0
					中	35.2	57.7	5.6	1.4							0.0	-4.1
						39.3	53.6	6.8	0.2							0.1	0.0
43	43	125	36	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	小	19.2	59.6	19.9	0.0							1.3	-6.2
						25.4	58.3	15.9	0.1							0.2	-4.9
					中	21.1	50.7	28.2	0.0							0.0	-8.2
						29.3	53.7	16.6	0.3							0.1	-11.2
44	44	125	37	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れられましたか	小	19.9	54.5	24.4	0.0							1.3	-0.3
						20.2	59.9	19.5	0.2							0.2	-5.7
					中	9.9	59.2	31.0	0.0							0.0	-5.9
						15.8	56.8	26.6	0.7							0.1	-3.5
45	45	125	38	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	小	17.3	69.9	11.5	0.0							1.3	-13.3
						30.6	61.3	7.9	0.1							0.2	-4.7
					中	8.5	57.7	32.4	1.4							0.0	-12.8
						21.3	60.9	17.6	0.2							0.1	-16.0
46	46	126	39	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	小	23.7	64.7	9.6	0.6							1.3	-4.2
						27.9	62.6	9.3	0.1							0.2	-2.1
					中	14.1	66.2	19.7	0.0							0.0	-7.1
						21.2	63.6	15.0	0.1							0.1	-4.5
47	47	126	40	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	小	21.2	71.2	5.8	0.6							1.3	-8.7
						29.9	64.0	5.9	0.0							0.2	-1.5
					中	14.1	70.4	15.5	0.0							0.0	-10.3
						24.4	66.9	8.5	0.0							0.1	-6.8
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】																	
48	48	126	41	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	小	14.7	56.4	26.3	1.3							1.3	-3.7
						18.4	56.2	24.5	0.7							0.2	-3.5
					中	46.5	50.7	2.8	0.0							0.0	3.0
						43.5	53.6	2.7	0.0							0.1	0.1
49	49	126	42	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小	29.5	54.5	14.1	0.6							1.3	-4.2
						33.7	56.8	9.1	0.2							0.2	-6.5
					中	33.8	53.5	12.7	0.0							0.0	3.9
						29.9	55.4	14.4	0.3							0.1	2.0
50	50	126	新	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、道徳の時間において、児童生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか	小	26.9	63.5	8.3	0.0							1.3	-2.3
						29.2	61.3	9.1	0.1							0.3	-0.1
					中	36.6	54.9	8.5	0.0							0.0	7.7
						28.9	59.9	11.0	0.1							0.1	2.7
51	51	126	44	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	小	51.3	41.7	5.8	0.0							1.3	-9.4
						60.7	35.9	3.2	0.1							0.2	-3.6
					中	62.0	33.8	4.2	0.0							0.0	-5.9
						67.9	30.0	2.0	0.0							0.1	-2.1
【指導方法】																	
52	52	127	45	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	小	18.6	59.0	21.2	0.0							1.3	-1.4
						20.0	58.1	21.3	0.4							0.2	-0.5
					中	18.3	53.5	28.2	0.0							0.0	3.1
						15.2	55.5	28.4	0.8							0.1	1.1
【学習評価の在り方】																	
53	53	127	43	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け、児童生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか	小	46.8	50.0	1.9	0.0							1.3	-2.9
						49.7	48.7	1.5	0.0							0.1	-1.6
					中	36.6	62.0	1.4	0.0							0.0	-6.0
						42.6	54.6	2.7	0.0							0.1	1.4

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P120を参照)									その他※ ・無回答	1の差 1＋2の差	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9			
54	54	127	新	調査対象学年の児童生徒に対して前年度までに、国語や算数・数学において論文やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組ませるにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行いましたか	小	21.8	65.4	11.5	0.0							1.3	-9.3
						31.1	60.3	8.5	0.0							0.1	-4.2
					中	25.4	56.3	18.3	0.0							0.0	-1.4
						26.8	60.1	12.8	0.1							0.1	-5.2
55	55	127	新	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、国語や算数・数学において一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、児童生徒の資質・能力がどのように伸びているかを、児童生徒自身が把握できるような評価を行いましたか	小	10.3	60.9	26.9	0.6							1.3	-3.8
						14.1	62.0	23.5	0.2							0.2	-4.9
					中	9.9	71.8	18.3	0.0							0.0	-3.5
						13.4	60.0	26.2	0.3							0.1	8.3
【コンピュータなどを活用した教育】																	
56	56	127	類 46	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	小	9.0	52.6	35.3	1.9							1.3	-7.7
						16.7	51.7	29.8	1.6							0.2	-6.8
					中	7.0	28.2	57.7	7.0							0.0	-4.4
						11.4	45.3	40.6	2.6							0.1	-21.5
57	57	127	47	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、国語の授業においてコンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小	5.8	21.2	59.6	12.2							1.3	-9.8
						15.6	27.1	41.9	15.3							0.2	-15.7
					中	2.8	16.9	29.6	50.7							0.0	-3.1
						5.9	14.3	39.3	40.3							0.1	-0.5
58	58	128	48	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度に、算数の授業においてコンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	小	9.6	17.9	46.2	25.0							1.3	-15.6
						25.2	25.8	31.4	17.5							0.2	-23.5
					中	1.4	12.7	31.0	54.9							0.0	-12.5
						13.9	17.7	34.8	33.4							0.2	-17.5
【全国学力・学習状況調査等の活用】																	
59	59	128	50	平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか	小	62.2	34.6	1.9								1.3	6.9
						55.3	43.4	1.2								0.2	-1.9
					中	36.6	59.2	4.2								0.0	-8.6
						45.2	52.2	2.4								0.2	-1.6
【カリキュラム・マネジメント】																	
60	60	128	51	平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小	51.9	44.2	2.6								1.3	5.7
						46.2	50.8	2.9								0.2	-0.9
					中	29.6	63.4	7.0								0.0	-7.5
						37.1	57.7	4.9								0.2	-1.8
【全国学力・学習状況調査等の活用】																	
61	61	128	52	平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等へ掲載、保護者会等での説明を含む）	小	18.6	71.2	9.0								1.3	-15.7
						34.3	56.6	8.9								0.2	-1.1
					中	12.7	74.6	12.7								0.0	-18.7
						31.4	55.5	12.9								0.2	0.4
62	62	128	53	平成27年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	小	16.0	74.4	8.3								1.3	-9.2
						25.2	65.0	9.5								0.2	0.2
					中	8.5	76.1	15.5								0.0	-11.7
						20.2	63.6	16.1								0.2	0.8
【カリキュラム・マネジメント】																	
63	63	128	54	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小	44.9	50.6	3.2	0.0							1.3	10.2
						34.7	58.5	3.7	3.0							0.2	2.3
					中	18.3	76.1	4.2	1.4							0.0	-9.3
						27.6	62.4	7.0	2.8							0.2	4.4
【個に応じた指導《習熟度別少人数指導》】																	
64	64	129	55	調査対象学年の児童生徒に対して、算数（数学）の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	小	20.5	21.2	18.6	12.8	25.6						1.3	-2.1
						22.6	11.0	11.7	15.4	39.1						0.2	8.1
					中	15.5	4.2	8.5	16.9	54.9						0.0	-4.3
						19.8	6.6	9.0	12.6	51.8						0.1	-6.7
65	65	129	56	調査対象学年の児童生徒に対して、算数（数学）の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	小	10.9	15.4	16.0	24.4	32.1						1.3	-4.2
						15.1	9.8	11.6	17.4	45.9						0.2	1.4
					中	11.3	2.8	7.0	18.3	60.6						0.0	-3.8
						15.1	5.8	8.3	12.7	57.9						0.1	-6.8
【個に応じた指導《チームティーチング》】																	
66	66	129	57	調査対象学年の児童生徒に対して、算数（数学）の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	小	18.6	19.2	17.3	22.4	21.2						1.3	-3.3
						21.9	11.7	13.3	20.0	32.9						0.2	4.2
					中	29.6	8.5	15.5	11.3	35.2						0.0	5.7
						23.9	10.5	12.5	12.6	40.3						0.2	3.7
【国語科の指導方法】																	
67	67	129	59	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小	16.7	62.2	17.9	1.9							1.3	-0.6
						17.3	59.8	21.0	1.7							0.2	1.8
					中	21.1	63.4	15.5	0.0							0.0	3.0
						18.1	62.9	17.1	1.7							0.1	3.5
68	68	129	60	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	3.8	31.4	60.9	2.6							1.3	-2.0
						5.8	44.0	47.2	2.8							0.2	-14.6
					中	12.7	46.5	40.8	0.0							0.0	2.2
						10.5	55.0	32.7	1.8							0.1	-6.3
69	69	129	61	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	小	16.7	72.4	9.0	0.6							1.3	-6.5
						23.2	67.7	8.7	0.1							0.2	-1.8
					中	21.1	62.0	16.9	0.0							0.0	-1.3
						22.4	63.7	13.6	0.1							0.1	-3.0
70	70	130	62	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	22.4	68.6	7.1	0.6							1.3	-10.2
						32.6	60.2	6.9	0.1							0.2	-1.8
					中	31.0	62.0	7.0	0.0							0.0	-9.1
						40.1	55.1	4.6	0.1							0.1	-2.2
71	71	130	63	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	小	13.5	64.7	19.2	1.3							1.3	-9.8
						23.3	64.1	12.3	0.1							0.2	-9.2
					中	25.4	60.6	14.1	0.0							0.0	-1.4
						26.8	61.9	11.0	0.1							0.1	-2.7
72	72	130	64	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	小	47.4	50.0	1.3	0.0							1.3	-4.9
						52.3	45.7	1.7	0.0							0.2	-0.6
					中	53.5	42.3	4.2	0.0							0.0	-6.8
						60.3	38.1	1.4	0.0							0.2	-2.6

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P120を参照)									その他※ ・無回答	1の差		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9		1 + 2 の 差		
【算数・数学科の指導方法】																	
73	73	130	65	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小	40.4	52.6	5.1	0.6						1.3	0.7	
						39.7	52.7	6.8	0.6						0.2	0.6	
						中	38.0	53.5	7.0	1.4						0.0	4.9
							33.1	57.5	8.5	0.8						0.1	0.9
74	74	130	66	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	9.0	44.9	42.9	1.9						1.3	-3.9	
						12.9	52.1	33.4	1.4						0.2	-11.1	
						中	11.3	50.7	36.6	1.4						0.0	-2.8
							14.1	55.0	29.4	1.4						0.1	-7.1
75	75	130	67	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	9.0	59.6	29.5	0.6						1.3	-2.4	
						11.4	62.7	25.3	0.4						0.2	-5.5	
						中	7.0	67.6	25.4	0.0						0.0	-3.2
							10.2	59.0	29.9	0.8						0.1	5.4
76	76	131	68	調査対象学年の児童生徒に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	小	53.8	44.2	0.6	0.0						1.3	-4.2	
						58.0	39.7	2.0	0.0						0.2	0.3	
						中	63.4	35.2	1.4	0.0						0.0	7.5
							55.9	40.8	3.1	0.1						0.2	1.9
77	※	131	69/※	調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	小	5.1	93.6								1.3	-3.8	
						8.9	90.9								0.2	-1.1	
						中											
【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】																	
78	77	131	79/78	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	小	29.5	63.5	4.5	1.3						1.3	-3.2	
						32.7	56.7	9.1	1.0						0.5	3.6	
						中	35.2	63.4	1.4	0.0						0.0	0.1
							35.1	54.0	9.5	1.0						0.3	9.5
【小中連携】																	
79	78	131	新	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と教育目標を共有する取組を行っていましたか	小	11.5	32.1	41.7	13.5						1.3	-8.3	
						19.8	34.7	31.9	13.6						0.1	-10.9	
						中	25.4	33.8	28.2	12.7						0.0	-1.7
							27.1	34.4	26.6	11.9						0.1	-2.3
80	79	131	類 H26 72/ 70	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と授業研究を行うなど、合同して研修を行っていましたか	小	14.1	41.0	25.6	17.9						1.3	-8.9	
						23.0	39.5	25.1	12.3						0.1	-7.4	
						中	29.6	40.8	19.7	9.9						0.0	-4.5
							34.1	38.4	18.1	9.3						0.1	-2.1
81	80	131	類 H26 72/ 70	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と意見を交換し合うなど教員同士の交流を行っていましたか	小	17.3	59.6	17.9	3.8						1.3	-12.3	
						29.6	50.4	16.5	3.4						0.2	-3.1	
						中	36.6	43.7	15.5	4.2						0.0	-3.4
							40.0	45.0	11.3	3.5						0.1	-4.7
82	81	132	類 H26 72/ 70	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行っていましたか	小	4.5	25.0	50.6	18.6						1.3	-8.9	
						13.4	33.7	39.3	13.5						0.1	-17.6	
						中	16.9	29.6	40.8	12.7						0.0	-2.3
							19.2	35.7	34.1	10.9						0.2	-8.4
83	82	132	新	前年度までに、平成27年度の全国学力・学習調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有していましたか	小	4.5	26.3	48.1	19.9						1.3	-9.5	
						14.0	35.5	35.4	14.9						0.2	-18.7	
						中	11.3	29.6	42.3	16.9						0.0	-6.9
							18.2	35.7	32.4	13.4						0.2	-13.0
【カリキュラム・マネジメント】																	
84	83	132	81/80	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	小	36.5	45.5	15.4	1.3						1.3	1.1	
						35.4	47.0	14.8	2.6						0.1	-0.4	
						中	16.9	32.4	39.4	11.3						0.0	-4.1
							21.0	44.1	25.1	9.7						0.1	-15.8
【地域の人材・施設の活用】																	
85	84	132	82/81	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	小	11.5	27.6	30.8	28.2						1.9	-6.4	
						17.9	30.2	28.1	23.6						0.2	-9.0	
						中	9.9	5.6	22.5	62.0						0.0	-0.7
							10.6	19.2	28.5	41.6						0.2	-14.3
【カリキュラム・マネジメント】																	
86	85	132	83/82	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	小	5.1	34.0	44.9	14.7						1.3	-2.9	
						8.0	38.2	41.0	12.6						0.2	-7.1	
						中	2.8	18.3	43.7	35.2						0.0	0.1
							2.7	17.7	44.6	34.9						0.1	0.7
【地域の人材・施設の活用】																	
87	※	132	84/※	調査対象学年の児童に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊学習を行いましたか（複数回実施の場合、最も長期のもの）	小	0.0	0.0	1.3	88.5	9.0					1.3	-4.6	
						4.6	4.2	29.7	55.1	6.2					0.2	-8.8	
						中											
88	86	133	85/83	職場見学や職場体験活動を行っていますか	小	34.6	64.1								1.3	-10.5	
						45.1	54.7								0.1	-1.1	
						中	100.0	0.0								0.0	1.2
							98.8	1.1								0.1	0.1
89	87	133	86/84	PTAや地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	小	60.3	36.5	1.3	0.6						1.3	-1.5	
						61.8	35.9	2.0	0.1						0.1	-0.9	
						中	49.3	38.0	9.9	2.8						0.0	-6.4
							55.7	39.9	3.8	0.4						0.1	-8.3
90	88	133	87/85	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人々が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	小	40.4	43.6	0.6	14.1						1.3	-4.9	
						45.3	41.6	2.9	10.1						0.1	-2.9	
						中	18.3	35.2	9.9	36.6						0.0	-13.9
							32.2	41.9	6.4	19.4						0.1	-20.6
91	89	133	88/86	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小	46.2	50.6	0.6	1.3						1.3	-7.0	
						53.2	43.6	2.1	0.7						0.4	0.0	
						中	28.2	56.3	8.5	4.2						2.8	-11.4
							39.6	51.4	5.3	2.5						1.2	-6.5
【家庭学習】																	
92	90	133	89/87	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	80.8	17.3	0.6	0.0						1.3	-5.7	
						86.5	12.9	0.4	0.0						0.1	-1.3	
						中	63.4	31.0	5.6	0.0						0.0	10.0
							53.4	39.2	7.2	0.2						0.1	1.8

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P120を参照)										その他※ ・無回答	1の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	1 + 2 の 差			
93	91	134	90/88	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	小	68.6	28.8	1.3	0.0							1.3	-0.1
						68.7	29.4	1.6	0.0							0.2	-0.7
					中	60.6	36.6	1.4	1.4							0.0	8.4
						52.2	42.3	5.1	0.2							0.1	2.7
94	92	133	91/89	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、算数（数学）の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	85.9	12.2	0.6	0.0						1.3	-1.8	
						87.7	11.9	0.2	0.0							0.2	-1.5
					中	69.0	26.8	2.8	0.0							1.4	12.6
						56.4	38.4	4.9	0.1							0.1	1.0
95	93	134	92/90	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、算数（数学）の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	小	69.9	27.6	1.3	0.0						1.3	0.3	
						69.6	28.7	1.5	0.0							0.2	-0.8
					中	59.2	38.0	1.4	1.4							0.0	6.3
						52.9	42.0	4.8	0.2							0.1	2.3
96	94	134	93/91	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国／算・数共通）	小	46.8	47.4	3.8	0.6						1.3	-9.0	
						55.8	41.5	2.5	0.1							0.2	-3.1
					中	32.4	52.1	15.5	0.0							0.0	-3.6
						36.0	51.5	11.5	0.8							0.1	-3.0
97	95	134	94/92	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国／算・数共通）	小	37.2	56.4	4.5	0.6						1.3	-6.5	
						43.7	45.1	10.6	0.4							0.2	4.8
					中	31.0	50.7	18.3	0.0							0.0	-2.2
						33.2	48.9	17.2	0.7							0.1	-0.4
【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】																	
98	96	134	95/93	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国／算・数共通）	小	19.9	52.6	25.6	0.6							1.3	-5.4
						25.3	56.8	17.5	0.2							0.2	-9.6
					中	12.7	62.0	25.4	0.0							0.0	-2.3
						15.0	53.8	30.2	1.0							0.1	5.9
【家庭学習】																	
99	97	134	96/94	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国／算・数共通）	小	37.8	55.1	5.1	0.6							1.3	-2.3
						40.1	51.8	7.8	0.1							0.2	1.0
					中	29.6	59.2	11.3	0.0							0.0	-0.3
						29.9	57.9	11.7	0.3							0.1	1.0
100	98	135	新	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、予習・復習や宿題をさせる際に、教科書の活用（自宅等で教科書を読むなども含む）を促しましたか（国／算・数共通）	小	39.7	52.6	6.4	0.0							1.3	-4.1
						43.8	49.4	6.4	0.1							0.2	-0.9
					中	29.6	60.6	9.9	0.0							0.0	0.7
						28.9	58.5	12.2	0.2							0.2	2.8
【教職員の資質能力の向上】																	
101	99	135	新	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	小	83.3	16.0	0.0	0.0							0.6	10.8
						72.5	26.7	0.8	0.0							0.1	0.1
					中	63.4	35.2	1.4	0.0							0.0	2.5
						60.9	36.8	2.2	0.1							0.1	0.9
102	100	135	100/98	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	小	56.4	34.0	9.0	0.0							0.6	-7.7
						64.1	28.9	6.1	0.8							0.1	-2.6
					中	38.0	39.4	21.1	1.4							0.0	-8.5
						46.5	39.5	12.0	1.9							0.1	-8.6
103	101	135	新	都道府県や市町村の指導主事や大学教員等の専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか	小	32.7	28.2	28.2	10.3							0.6	-4.4
						37.1	35.7	20.4	6.7							0.1	-11.9
					中	19.7	26.8	33.8	19.7							0.0	-7.4
						27.1	35.1	27.7	10.0							0.1	-15.7
104	102	135	101/99	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	小	64.7	32.1	2.6	0.0							0.6	9.0
						55.7	37.1	6.8	0.3							0.1	4.0
					中	45.1	43.7	11.3	0.0							0.0	8.0
						37.1	47.1	14.7	1.0							0.1	4.6
105	103	135	102/100	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	小	59.0	38.5	1.9	0.0							0.6	7.2
						51.8	44.4	3.7	0.0							0.1	1.3
					中	45.1	45.1	9.9	0.0							0.0	3.4
						41.7	51.2	7.0	0.1							0.0	-2.7
106	※	136	新	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	小	45.5	48.7	4.5	0.6							0.6	12.6
						32.9	50.1	16.4	0.6							0.1	11.2
					中												
※	104	136	新	教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか	小												
					中	25.4	52.1	21.1	1.4							0.0	-1.2
						26.6	51.2	21.3	0.8							0.1	-0.3
107	105	136	新	児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	26.9	55.8	16.7	0.0							0.6	3.6
						23.3	49.6	25.4	1.6							0.1	9.8
					中	12.7	52.1	33.8	1.4							0.0	-4.9
						17.6	46.0	33.2	3.0							0.1	1.2
108	106	136	新	コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか	小	6.4	39.7	50.0	3.2							0.6	-3.8
						10.2	39.8	44.8	5.0							0.2	-3.9
					中	4.2	21.1	63.4	11.3							0.0	-3.9
						8.1	32.7	50.5	8.6							0.1	-15.5
109	107	136	103/101	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	小	20.5	5.1	10.9	16.0	27.6	15.4	1.9	1.3	0.0	1.3	-5.6	
						26.1	6.2	8.5	11.8	18.3	16.8	10.9	1.2	0.0	0.2	-6.7	
					中	22.5	1.4	9.9	11.3	14.1	19.7	16.9	2.8	1.4	0.0	8.2	
						14.3	3.1	6.9	12.0	12.5	18.6	23.8	8.4	0.2	0.1	6.5	
110	108	137	104/102	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	小	41.0	57.1	1.3	0.0							0.6	3.7
						37.3	58.6	3.9	0.0							0.1	2.2
					中	31.0	62.0	7.0	0.0							0.0	3.3
						27.7	64.2	8.1	0.0							0.0	1.1
【カリキュラム・マネジメント】																	
111	109	137	105/103	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	小	43.6	53.2	2.6	0.0							0.6	3.0
						40.6	54.7	4.6	0.0							0.0	1.5
					中	35.2	62.0	2.8	0.0							0.0	1.0
						34.2	59.4	6.3	0.0							0.1	3.6
112	110	137	108/106	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり検討したりしていますか	小	36.5	53.8	9.0	0.0							0.6	-0.6
						37.1	53.7	9.1	0.1							0.1	-0.5
					中	19.7	63.4	16.9	0.0							0.0	-5.6
						25.3	56.2	18.1	0.3							0.1	1.6

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H27 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P120を参照)									その他※ ・無回答	1の差
						1	2	3	4	5	6	7	8	9		1 + 2 の 差
113	111	137	109/ 107	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	小	33.3	60.9	4.5	0.6						0.6	-3.0
						36.3	55.4	8.1	0.1						0.1	2.5
					中	23.9	60.6	15.5	0.0						0.0	-8.9
						32.8	55.5	11.4	0.2						0.1	-3.8
114	112	137	110/ 108	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	小	67.3	30.8	1.3	0.0						0.6	5.8
						61.5	37.1	1.3	0.0						0.1	-0.5
					中	46.5	50.7	2.8	0.0						0.0	-8.8
						55.3	42.6	1.8	0.0						0.2	-0.7
115	113	137	111/ 109	学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	小	64.1	34.0	1.3	0.0						0.6	7.1
						57.0	40.9	1.9	0.0						0.1	0.2
					中	39.4	60.6	0.0	0.0						0.0	-9.5
						48.9	47.5	3.5	0.0						0.1	3.6
【教職員の取組】																
116	114	138	112/ 109	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	75.6	21.2	3.2	0.0						0.0	8.9
						66.7	27.5	5.6	0.1						0.2	2.6
					中	56.3	35.2	8.5	0.0						0.0	12.1
						44.2	38.4	16.7	0.5						0.1	8.9

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

学校質問紙 選択肢一覧

※小学校／中学校

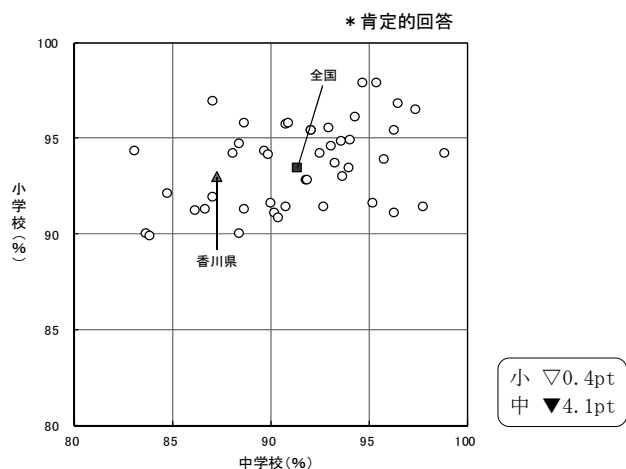
質問番号	選 択 肢
14/14 ～ 21/21	1 そのとおりだと思う 3 どちらかといえば、そう思わない 2 どちらかといえば、そう思う 4 そう思わない
22/22	1 在籍していない 4 10%以上、20%未満 7 50%以上 2 5%未満 5 20%以上、30%未満 6 30%以上、50%未満 3 5%以上、10%未満
23/23	1 在籍していない 5 4人 2 1人 6 5～7人 3 2人 7 8人以上 4 3人
24/24	1 週に1回程度、または、それ以上行った 3 学期に数回程度行った 5 行っていない 2 月に数回程度行った 4 年に数回程度行った
25/25	1 週に4回以上行った 3 週に1回行った 5 年に数回程度行った 2 週に2～3回行った 4 月に数回程度行った 6 行っていない
26/26	1 基本的に毎週行った 3 学期に数回程度行った 5 行っていない 2 月に数回程度行った 4 年に数回程度行った
27/27	1 延べ13日以上 3 延べ5日から8日 5 行っていない 2 延べ9日から12日 4 1日から述べ4日
28/28～34/34, 101/99～ 108/106, 110/108～115/113	1 よくしている 3 あまりしていない 2 どちらかといえば、している 4 全くしていない
35/35～56/56, 67/67～76/76 78/77～86/85, 92/90～100/98	1 よく行った 3 あまり行っていない 2 どちらかといえば、行った 4 全く行っていない
57/57～58/58	1 週1回以上 3 学期に1回以上 2 月1回以上 4 ほとんど、または、全く行っていない
59/59～62/62	1 よく行った 2 行った 3 ほとんど行っていない
63/63	1 よく行っている 3 ほとんど行っていない 2 どちらかといえば、行っている 4 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない
64/64～66/66	1 年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った 2 年間の授業のうち、おおよそ1/2以上、3/4未満で行った 3 年間の授業のうち、おおよそ1/4以上、1/2未満で行った 4 年間の授業のうち、おおよそ1/4未満で行った 5 行っていない
77/*	1 実施していた 2 実施していなかった
87/*	1 4泊5日以上自然の中での宿泊学習を行った 2 3泊4日以上自然の中での宿泊学習を行った 3 2泊3日以上自然の中での宿泊学習を行った 4 1泊2日以上自然の中での宿泊学習を行った 5 自然の中での集団宿泊学習は行っていない
88/86	1 行っている 2 行っていない
89/87	1 よく参加してくれる 3 あまり参加してくれない 2 参加してくれる 4 全く参加してくれない
90/88	1 よく参加してくれる 3 あまり参加してくれない 2 参加してくれる 4 学校支援ボランティアの仕組みがない
91/89	1 そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 2 どちらかといえば、そう思う 4 そう思わない
109/107	1 年間15回以上 4 年間9回から10回 7 年間3回から4回 2 年間13回から14回 5 年間7回から8回 8 年間1回から2回 3 年間11回から12回 6 年間5回から6回 9 全く実施していない
116/114	1 ほぼ毎日 3 月に数日程度 2 週に2～3日程度 4 ほとんど行っていない

4 学校質問紙回答結果グラフ

【ユニバーサルデザイン，規範意識，道徳の時間】

熱意をもって勉強している

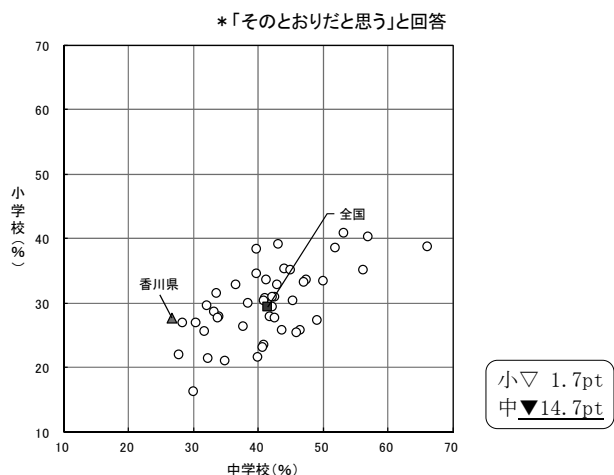
■14/14 対象児童生徒は，熱意をもって勉強していると思いますか



【ユニバーサルデザイン，規範意識，道徳の時間】

礼儀正しいと思う

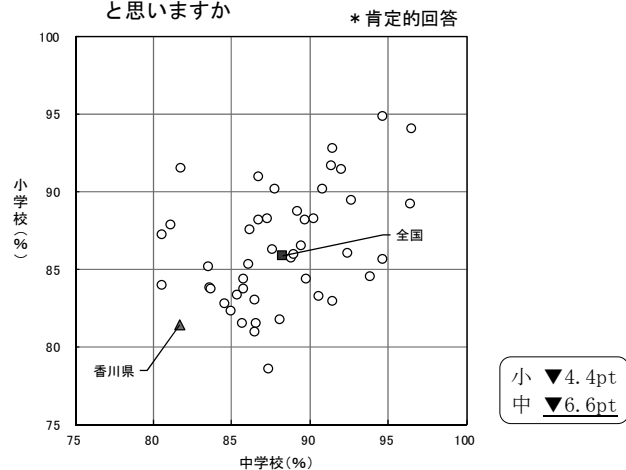
■16/16 対象児童生徒は，礼儀正しいと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

相手の話を最後まで聞く

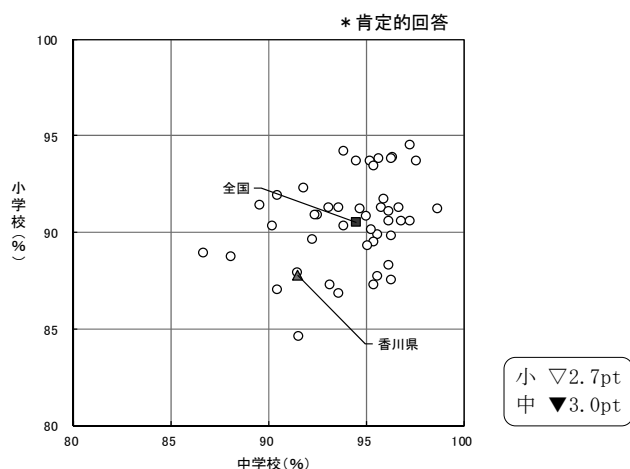
■18/18 対象児童生徒は，学級やグループでの話し合いなどの活動で，相手の考えを最後まで聞くことができていますか



【ユニバーサルデザイン，規範意識，道徳の時間】

授業中私語が少なく，落ち着いている

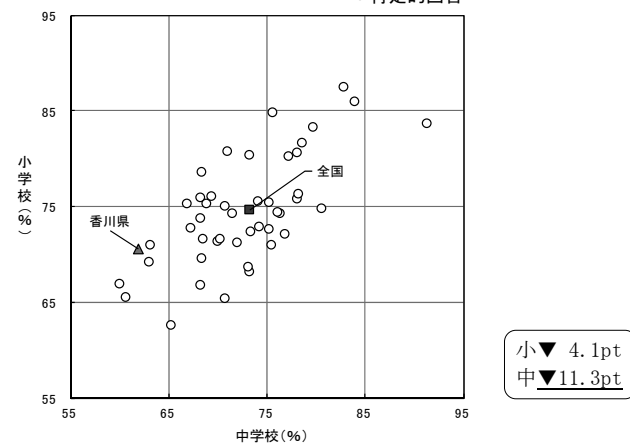
■15/15 対象児童生徒は，授業中の私語が少なく，落ち着いていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

自分の考えをしっかりと伝える

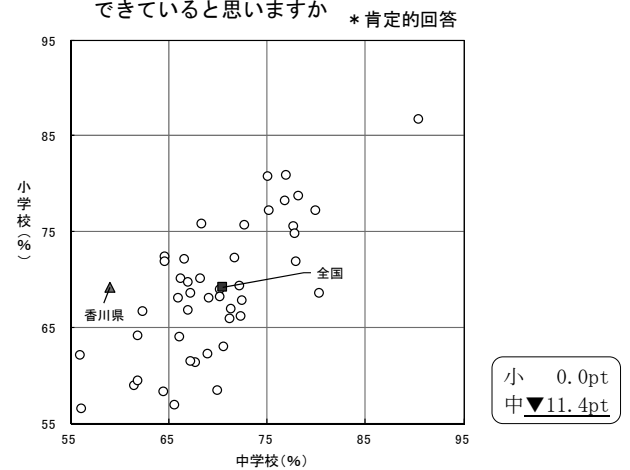
■17/17 対象児童生徒は，学級やグループでの話し合いなどの活動で，自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

自分の考えを広げたり深めたりする

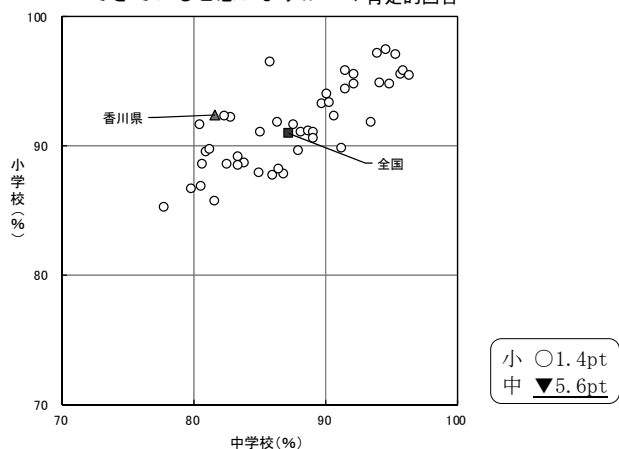
■19/19 対象児童生徒は，学級やグループでの話し合いなどの活動で，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

課題を理解して授業に取り組んでいる

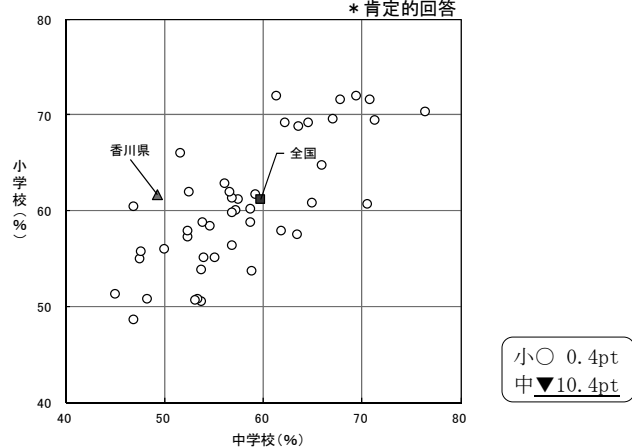
■20/20 対象児童生徒は、自らが設定する課題や教員から設定される課題を理解して授業に取り組むことができていますか *肯定的回答



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

伝わるよう工夫して、発言や発表をしている

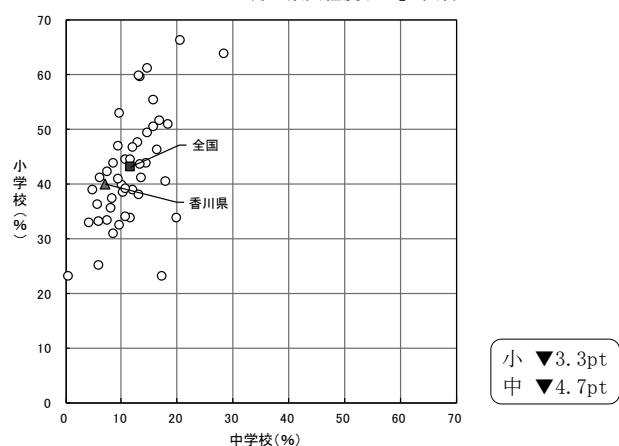
■21/21 対象児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか *肯定的回答



【学力向上に向けた取組】

学校図書館を活用した授業

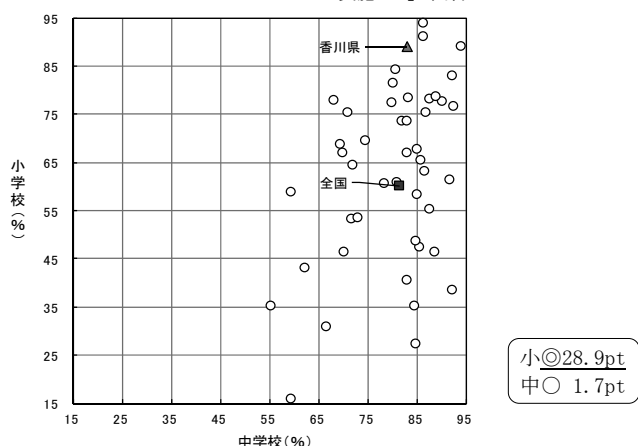
■24/24 対象児童生徒に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか *「月に数回程度以上」と回答



【学力向上に向けた取組】

放課後を利用した補充的な学習

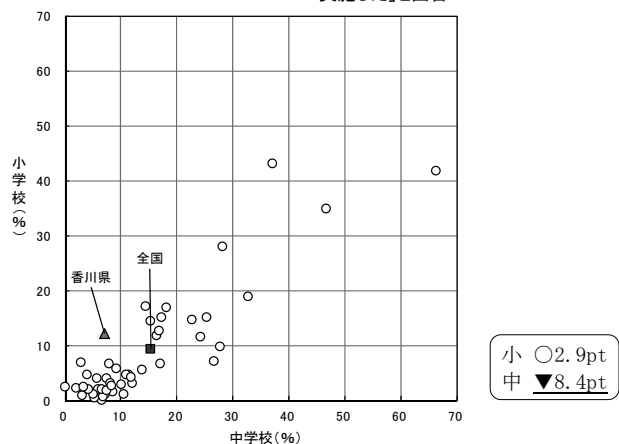
■25/25 対象児童生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか *「実施した」と回答



【学力向上に向けた取組】

土曜日を利用した補充的な学習

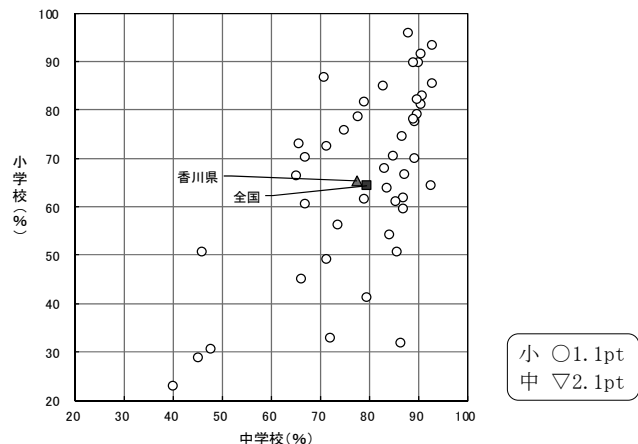
■26/26 対象児童生徒に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか *「実施した」と回答



【学力向上に向けた取組】

長期休業日を利用した補充的な学習

■27/27 対象児童生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか *「実施した」と回答

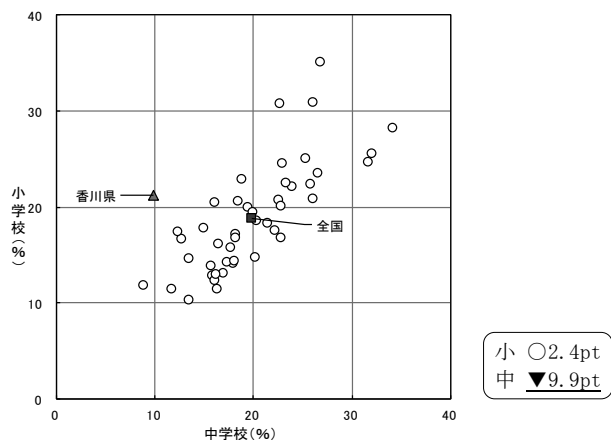


【カリキュラム・マネジメント】

知識・技能の活用に重点をおいた指導計画

■28/28 教職員は、指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成していますか

*「よくしている」と回答

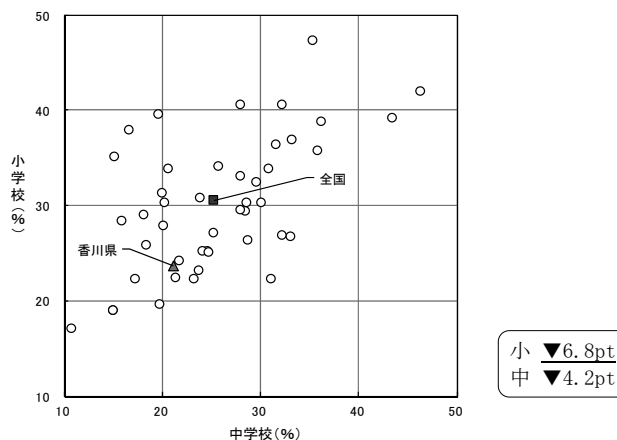


【カリキュラム・マネジメント】

言語活動に重点を置いた指導計画

■29/29 教職員は、指導計画について、言語活動に重点を置いて作成していますか

*「よくしている」と回答

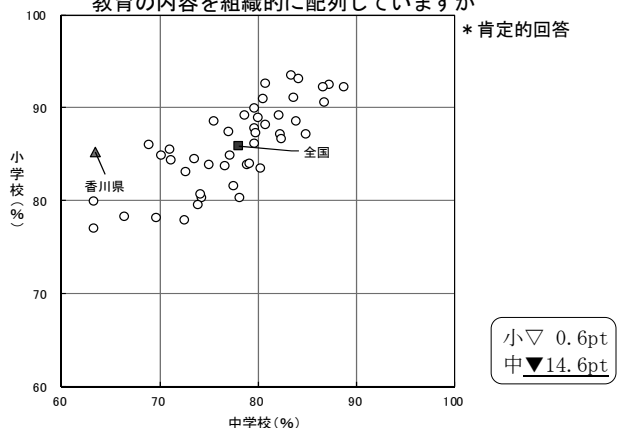


【カリキュラム・マネジメント】

横断的な視点で内容を組織的に配列した指導計画

■30/30 教職員は、指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか

* 肯定的回答

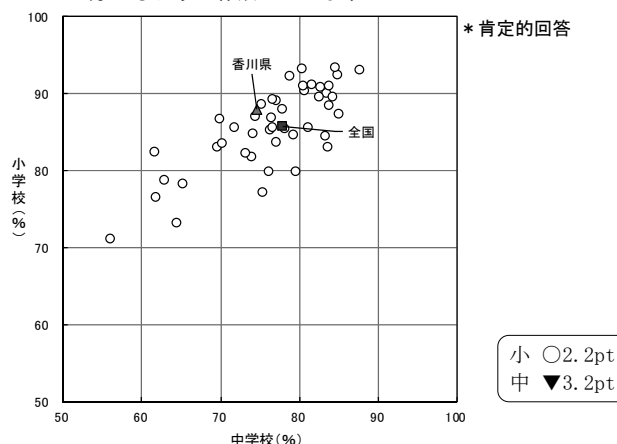


【カリキュラム・マネジメント】

各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かる教育課程表

■31/31 教職員は、教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか

* 肯定的回答

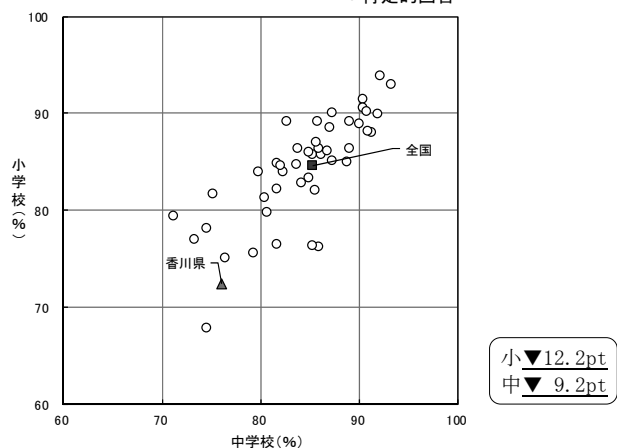


【カリキュラム・マネジメント】

指導事項の系統性が分かる教育課程表

■32/32 教職員は、教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、指導事項の系統性が分かるように作成していますか

* 肯定的回答

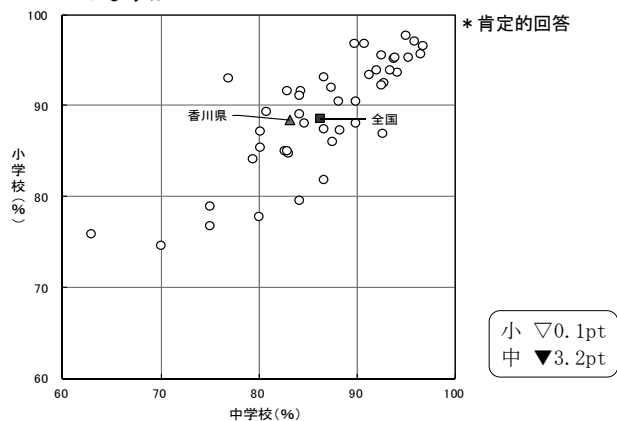


【カリキュラム・マネジメント】

PDCA サイクルの確立

■33/33 教職員は、児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連の PDCA サイクルを確立していますか

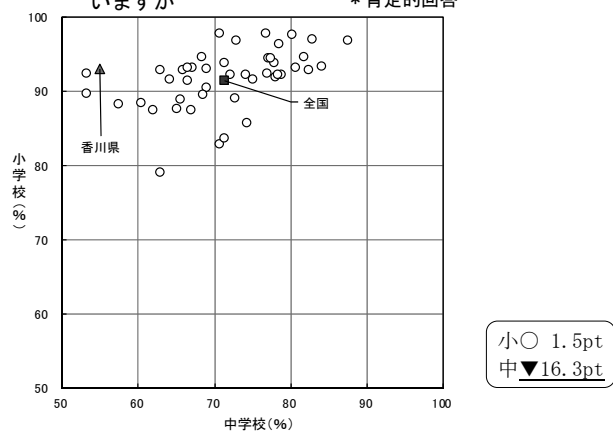
* 肯定的回答



【カリキュラム・マネジメント】

人的・物的資源等の活用

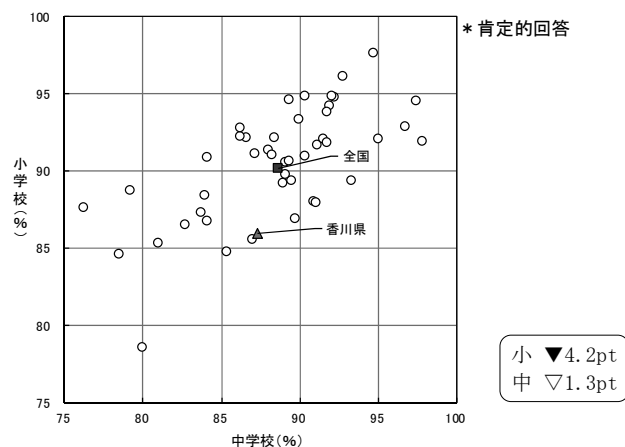
- 34/34 教職員は、指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか *肯定的回答



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

習得・活用・探究を見通した指導方法の改善及び工夫

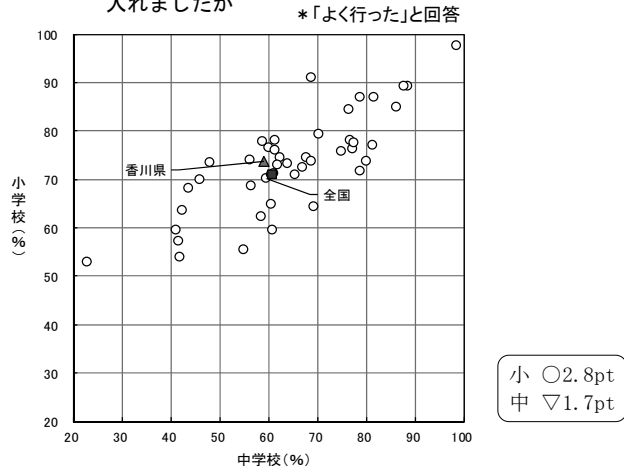
- 35/35 教職員は、対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか *肯定的回答



【指導方法】

授業の中で目標を示している

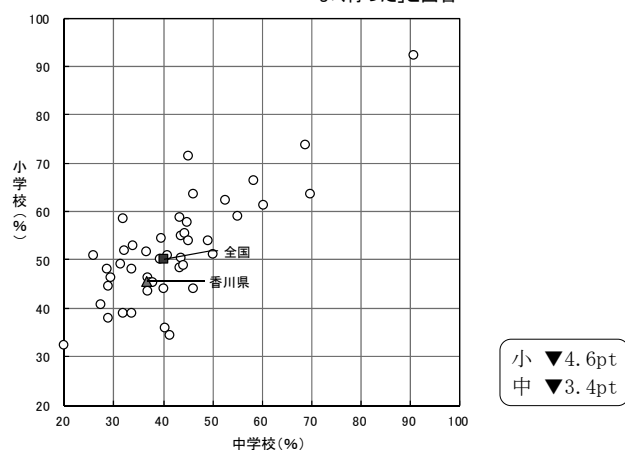
- 36/36 対象児童生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか *「よく行った」と回答



【指導方法】

振り返る活動を取り入れた

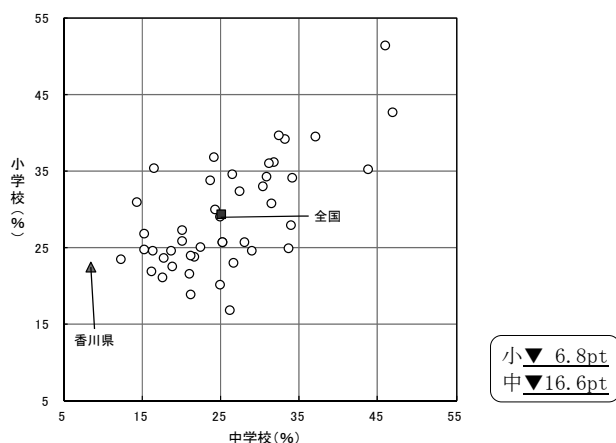
- 37/37 対象児童生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか *「よく行った」と回答



【カリキュラム・マネジメント】

言語活動を適切に位置づけた

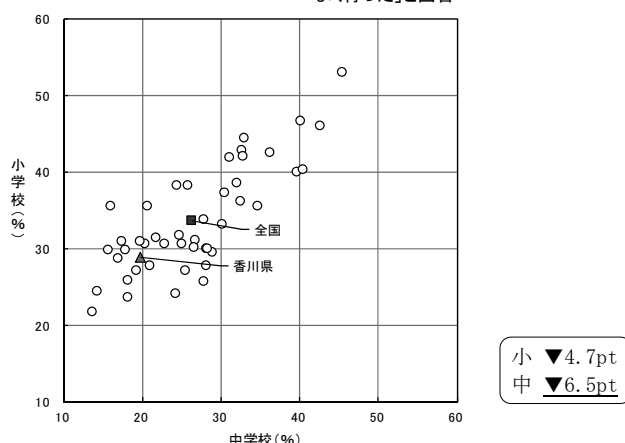
- 38/38 対象児童生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか *「よく行った」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

思考を深める発問・指導

- 39/39 対象児童生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか *「よく行った」と回答

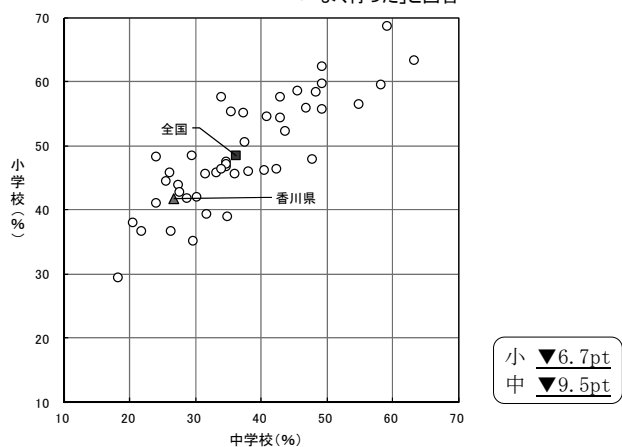


【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

発言や活動の時間を確保した授業

■40/40 対象児童生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか

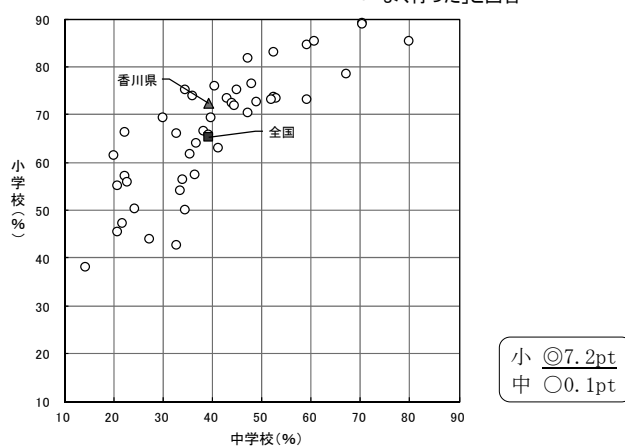
*「よく行った」と回答



【指導方法】

ノートに目標とまとめを書く指導

■41/41 対象児童生徒に対して、前年度までに授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか

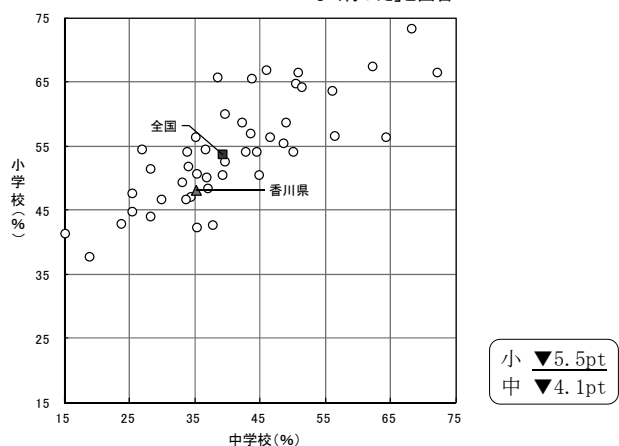


【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

話し合う活動

■42/42 対象児童生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか

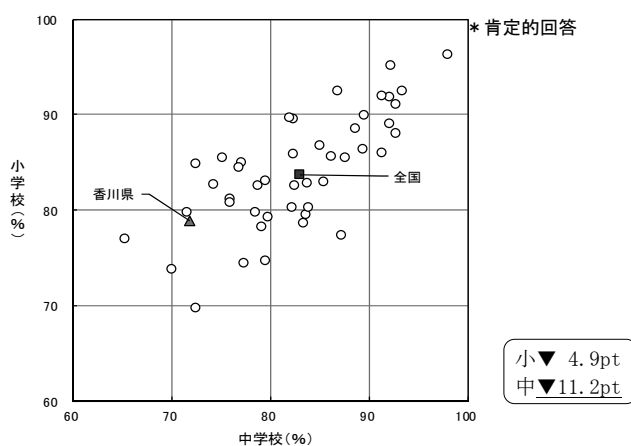
*「よく行った」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

探究の過程を意識した指導

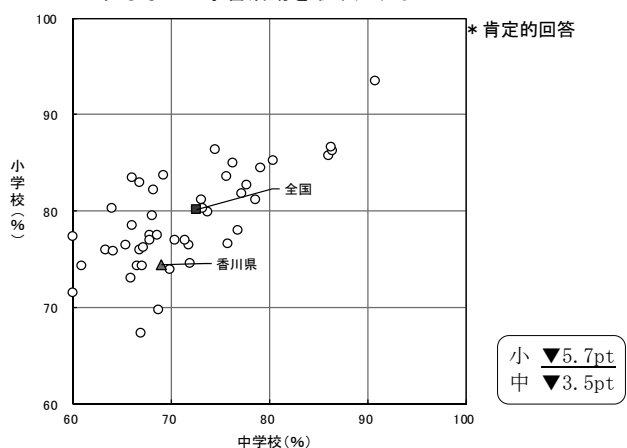
■43/43 対象児童生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

課題を設定し解決する学習活動

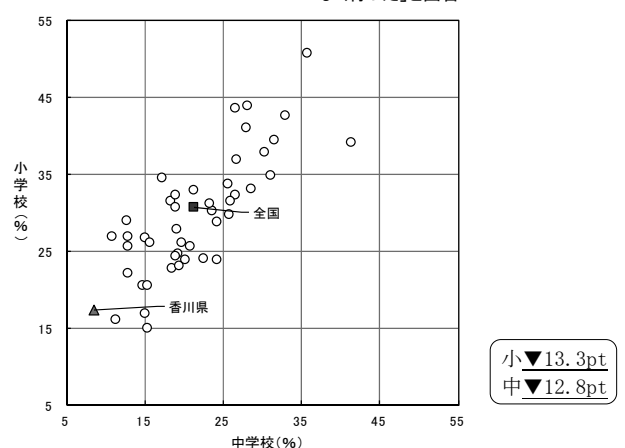
■44/44 授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

資料の調べ方を身に付ける指導

■45/45 対象児童生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか

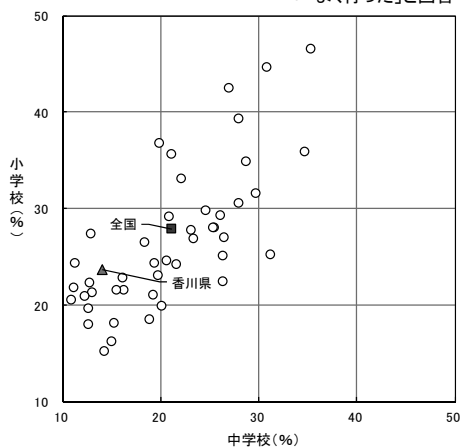


【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

資料を使って発表できるための指導

■46/46 対象児童生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか

*「よく行った」と回答



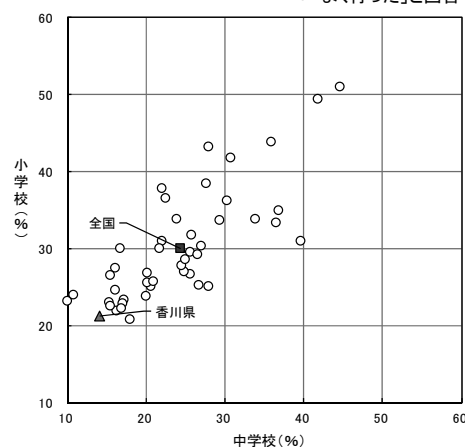
小 ▼4.2pt
中 ▼7.1pt

【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

分かりやすく文章に書かせる指導

■47/47 対象児童生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

*「よく行った」と回答



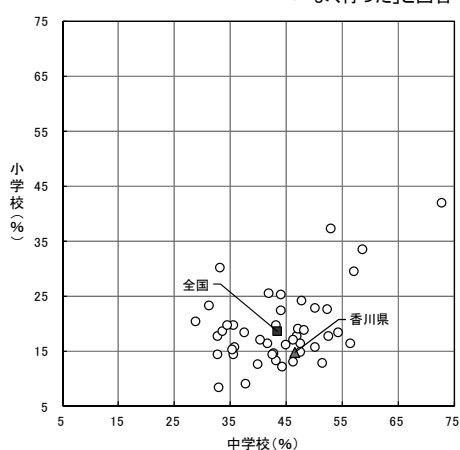
小 ▼8.7pt
中 ▼10.3pt

【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

将来の仕事や夢について考えさせる指導

■48/48 対象児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

*「よく行った」と回答



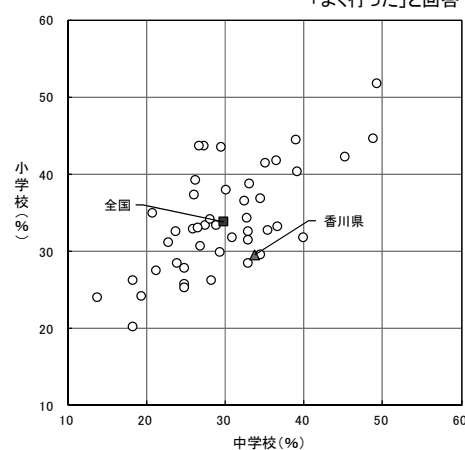
小 ▼3.7pt
中 ◎3.0pt

【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

学級全員で挑戦する課題

■49/49 対象児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

*「よく行った」と回答



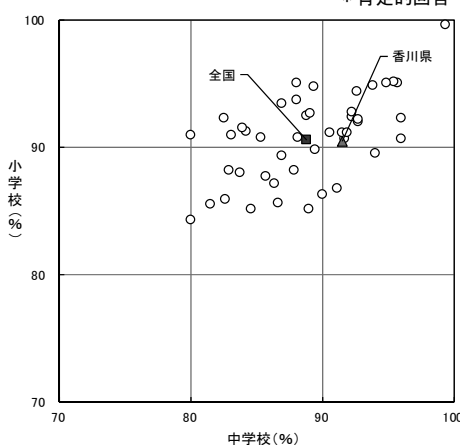
小 ▼4.2pt
中 ◎3.9pt

【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

道徳で自ら考え話し合う指導

■50/50 対象児童生徒に対して、前年度までに、道徳の時間において、児童生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか

*肯定的回答



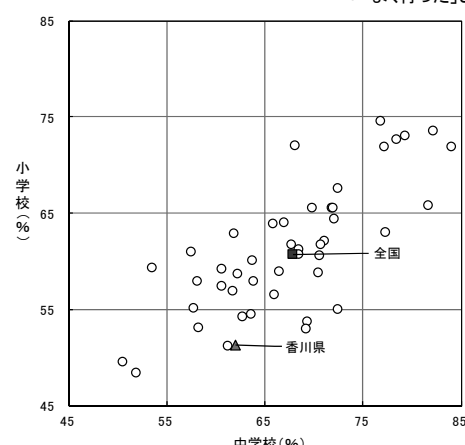
小 ▽0.1pt
中 ○2.7pt

【ユニバーサルデザイン、規範意識、道徳の時間】

学習規律の維持

■51/51 対象児童生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底しましたか

*「よく行った」と回答

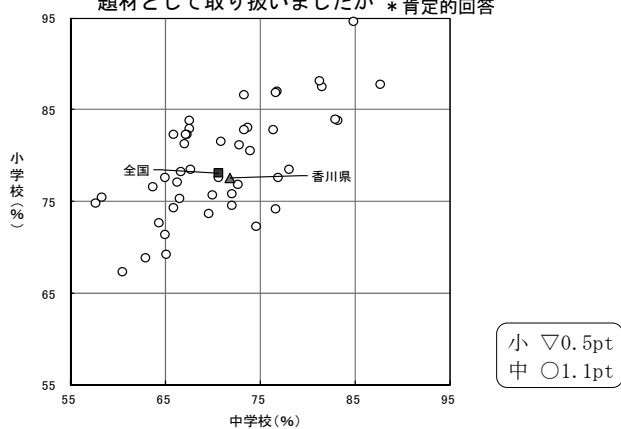


小 ▼9.4pt
中 ▼5.9pt

【指導方法】

地域や社会の出来事の学習題材として

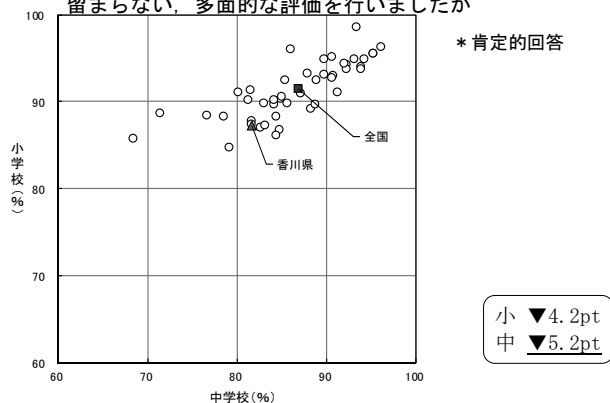
- 52/52 対象児童生徒に対して、前年度までに、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか * 肯定的回答



【学習評価の在り方】

多面的な評価

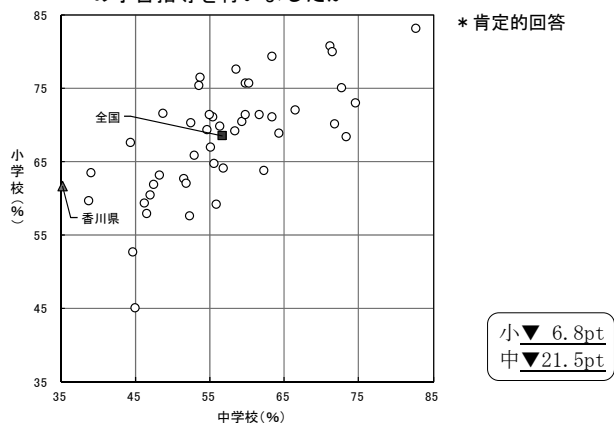
- 54/54 対象児童生徒に対して、前年度までに、国語や算数（数学）において、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等の多様な活動に取り組ませることにより、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行いましたか



【コンピュータなどを活用した教育】

協働学習、課題発見・解決型の学習指導

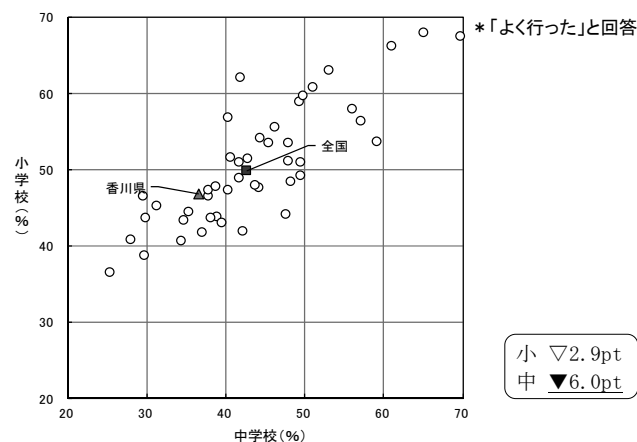
- 56/56 対象児童生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子ども同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか



【学習評価の在り方】

よい点や可能性への積極的な評価

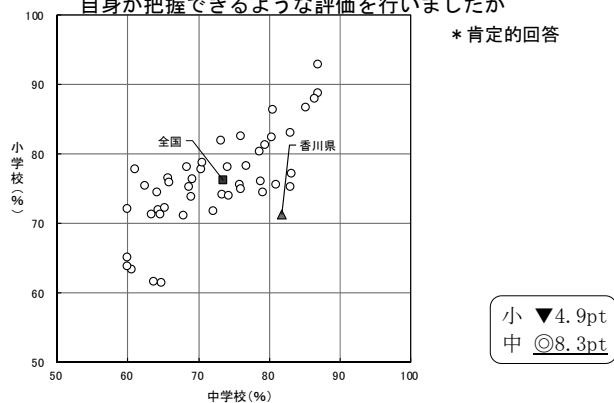
- 53/53 対象児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか



【学習評価の在り方】

児童生徒自身が把握できるような評価

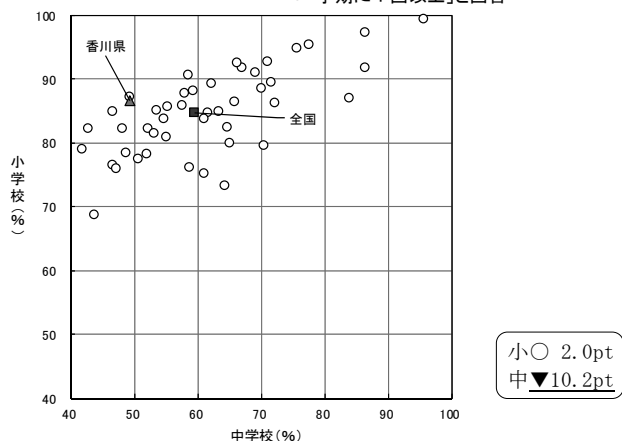
- 55/55 対象児童生徒に対して、前年度までに、国語や算数（数学）において、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、児童生徒の資質・能力がどのように伸びているかを、児童生徒自身が把握できるような評価を行いましたか



【コンピュータなどを活用した教育】

国語の授業での活用

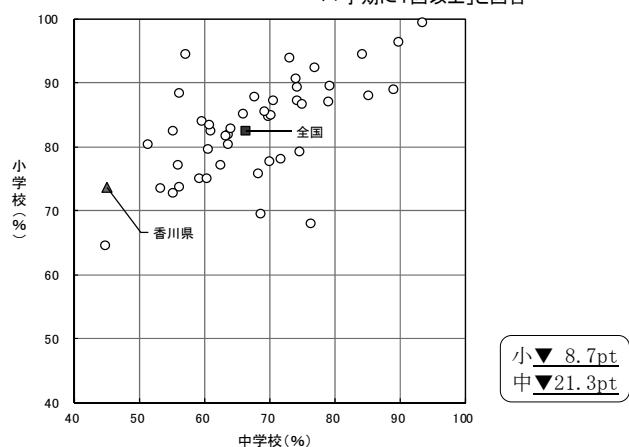
- 57/57 対象児童生徒に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか * 「学期に1回以上」と回答



【コンピュータなどを活用した教育】

算数・数学の授業での活用

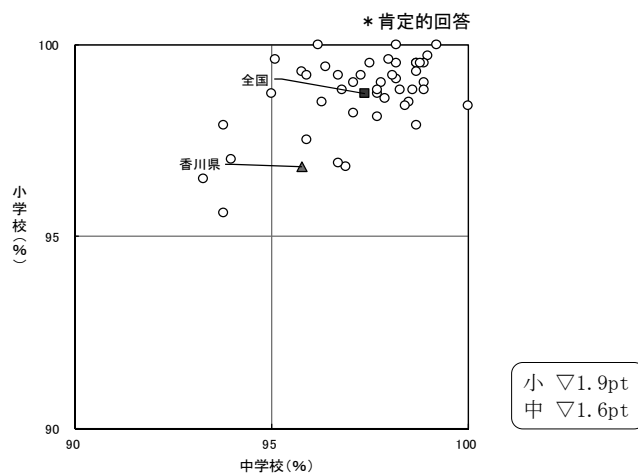
- 58/58 対象児童生徒に対して、前年度に、算数(数学)の授業において、コンピュータ等の情報通信技術を活用した授業を行いましたか *「学期に1回以上」と回答



【全国学力・学習状況調査等の活用】

全国学力・学習状況調査の結果分析

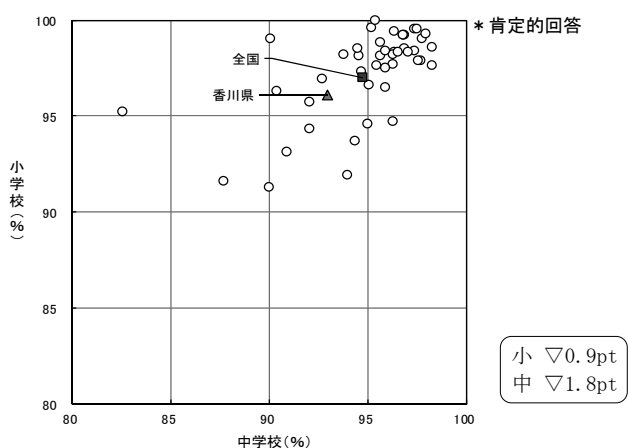
- 59/59 前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか



【カリキュラム・マネジメント】

学校全体で教育活動の改善

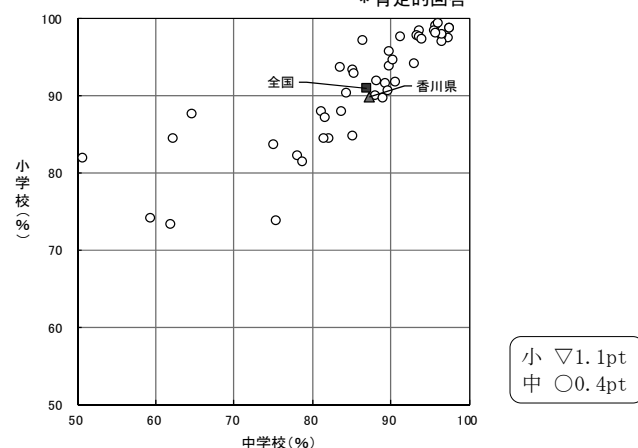
- 60/60 前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



【全国学力・学習状況調査等の活用】

保護者や地域の人たちへの公表や説明

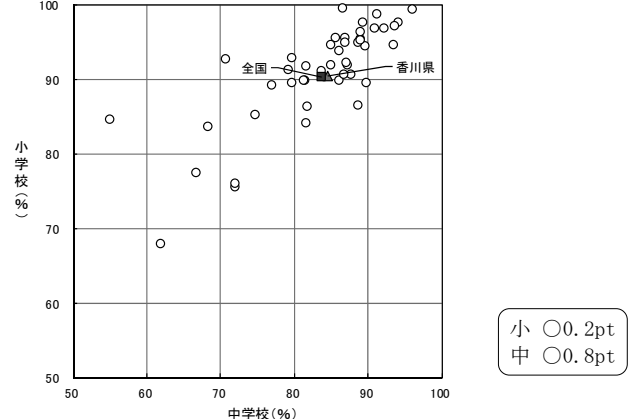
- 61/61 前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか



【全国学力・学習状況調査等の活用】

保護者等への働きかけ

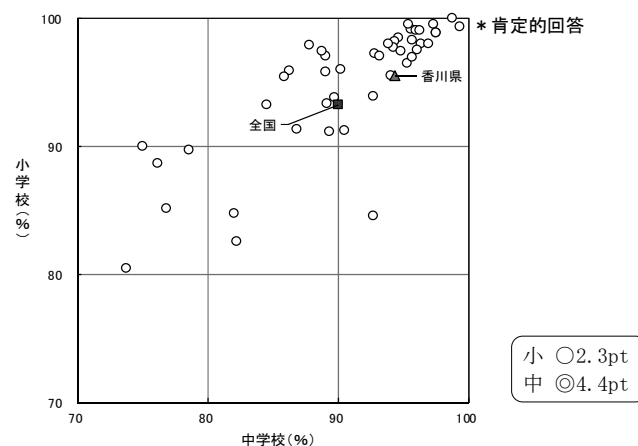
- 62/62 前年度の全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか



【カリキュラム・マネジメント】

具体的な教育指導の改善や指導計画への反映

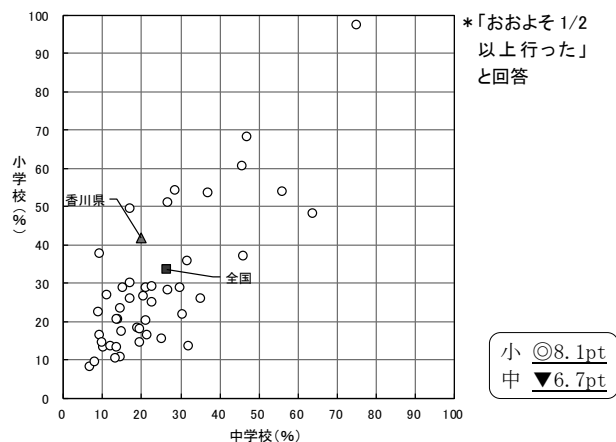
- 63/63 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



【個に応じた指導《習熟度別少人数指導》】

習熟の遅いグループへの少人数指導

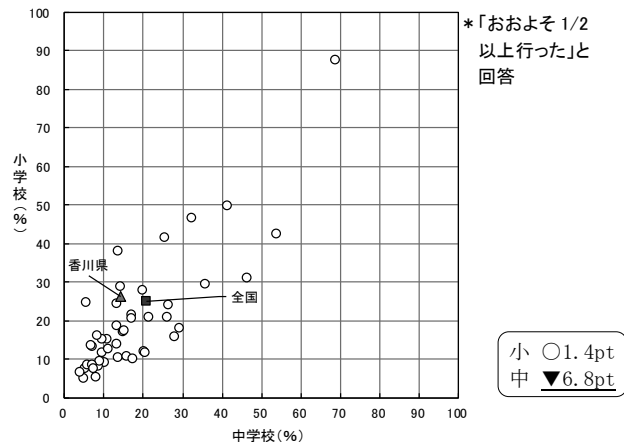
- 64/64 対象児童生徒に対して、算数(数学)の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか



【個に応じた指導《習熟度別少人数指導》】

習熟の早いグループへの少人数指導

- 65/65 対象児童生徒に対して、算数(数学)の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか

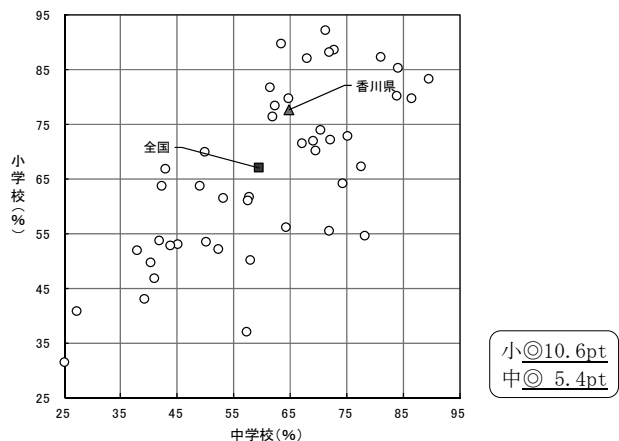


【個に応じた指導《チームティーチング》】

チームティーチングの実施(算数・数学)

- 66/66 対象児童生徒に対して、算数(数学)の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか

*「行った」と回答

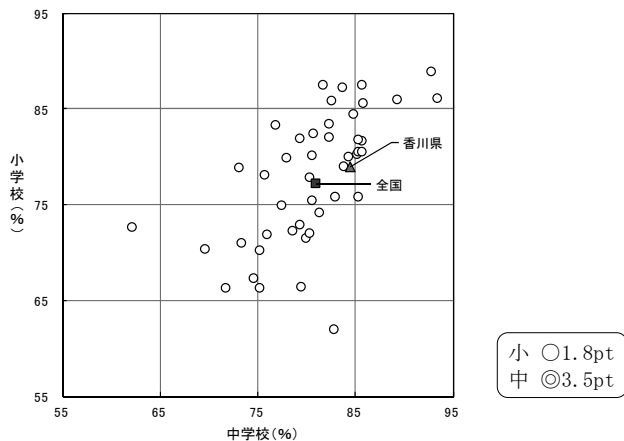


【国語科の指導方法】

補的な学習の指導

- 67/67 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補的な学習の指導を行いましたか

*肯定的回答

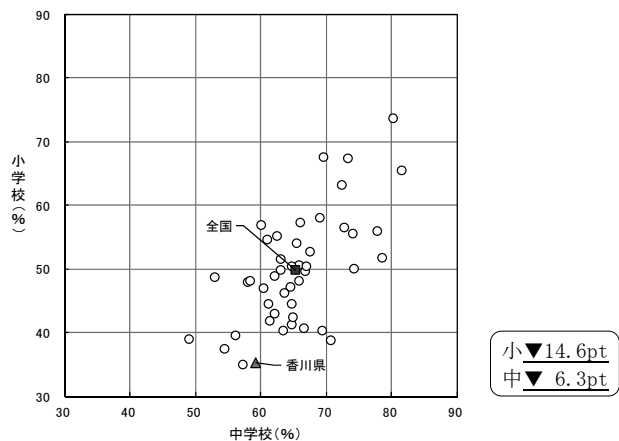


【国語科の指導方法】

発展的な学習の指導

- 68/68 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか

*肯定的回答

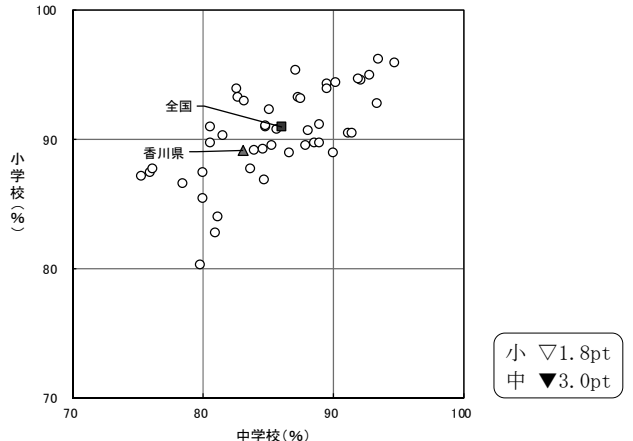


【国語科の指導方法】

目的に応じて話したり聞いたりする授業

- 69/69 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか

*肯定的回答

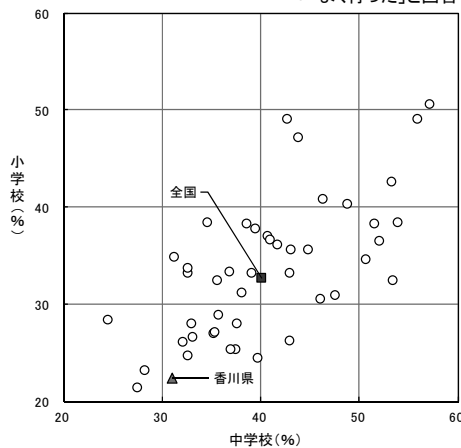


【国語科の指導方法】

書く習慣を付ける授業

■70/70 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか

*「よく行った」と回答



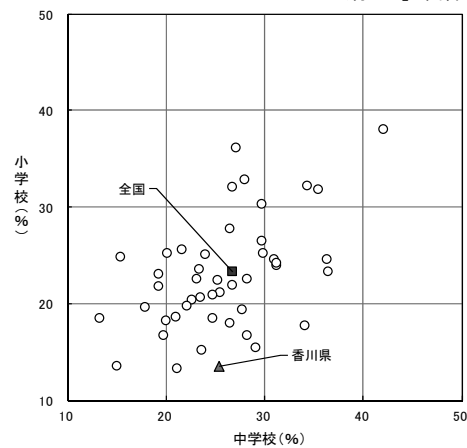
小 ▼10.2pt
中 ▼9.1pt

【国語科の指導方法】

様々な文章を読む習慣を付ける授業

■71/71 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか

*「よく行った」と回答



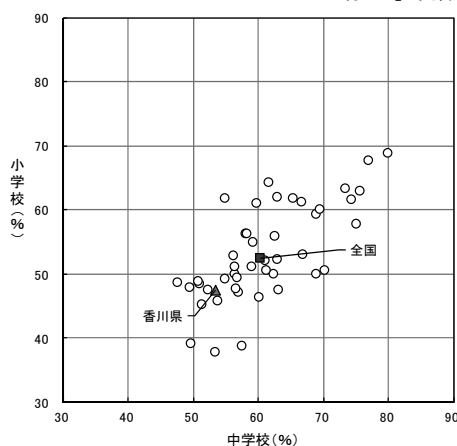
小 ▼9.8pt
中 ▽1.4pt

【国語科の指導方法】

基礎的・基本的な事項を定着させる授業

■72/72 対象児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか

*「よく行った」と回答



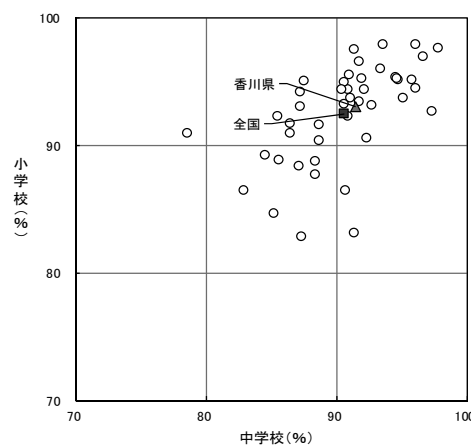
小 ▼4.9pt
中 ▼6.8pt

【算数・数学科の指導方法】

補充的な学習の指導

■73/73 対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか

*肯定的回答



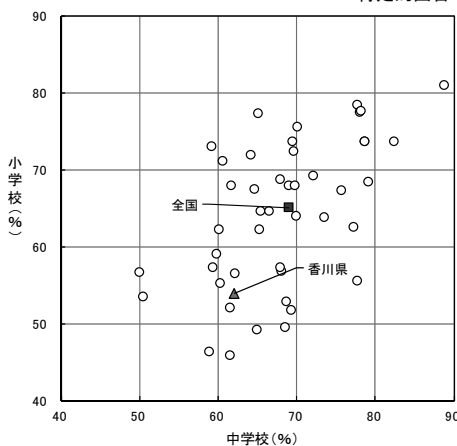
小 ○0.6pt
中 ○0.9pt

【算数・数学科の指導方法】

発展的な学習の指導

■74/74 対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか

*肯定的回答



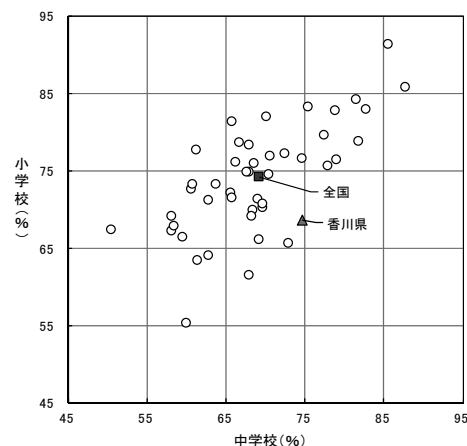
小 ▼11.1pt
中 ▼7.1pt

【算数・数学科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った授業

■75/75 対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか

*肯定的回答



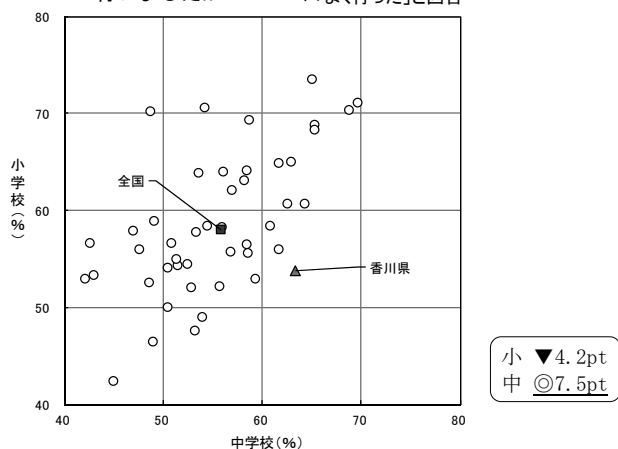
小 ▼5.5pt
中 ◎5.4pt

【算数・数学科の指導方法】

計算問題などの反復練習をする授業

- 76/76 対象児童生徒に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか

*「よく行った」と回答

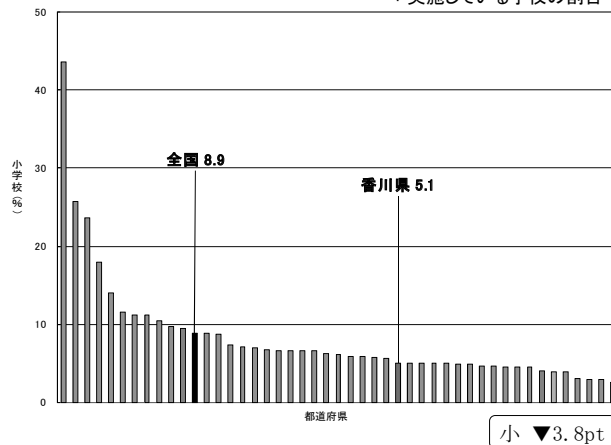


【算数・数学科の指導方法】

【小学校】教科担任制の実施

- 77 対象児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか

*実施している学校の割合

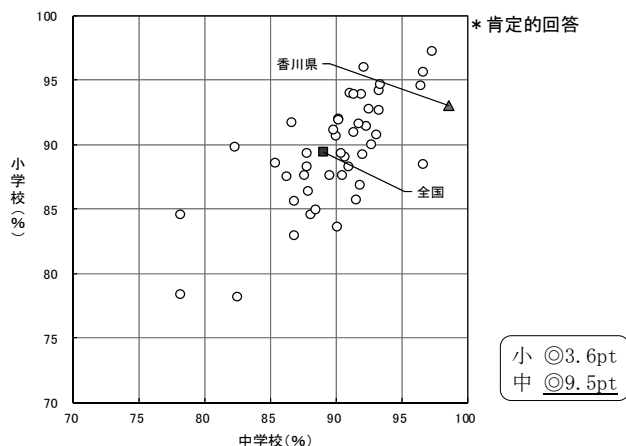


【ユニバーサルデザイン, 規範意識, 道徳の時間】

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

- 78/77 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、対象児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行いましたか

*肯定的回答

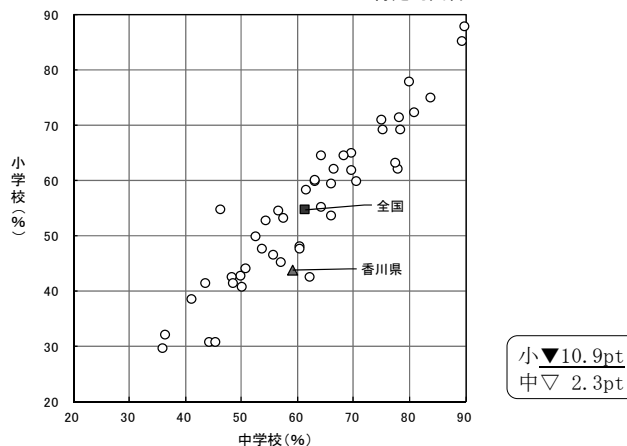


【小中連携】

近隣の小中学校と教育目標の共有

- 79/78 教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校(小学校)と教育目標を共有する取組を行っていましたか

*肯定的回答

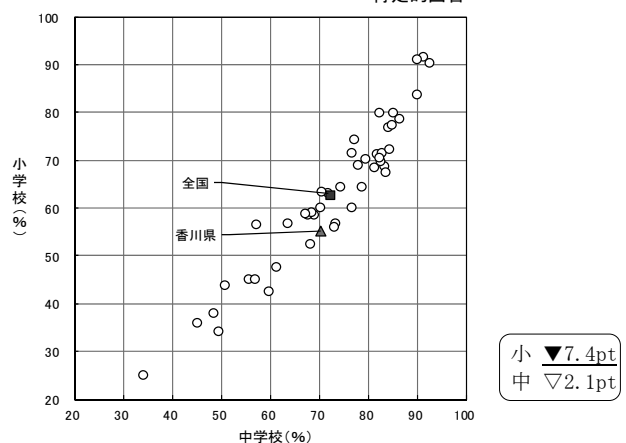


【小中連携】

小中学校の合同研修

- 80/79 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか

*肯定的回答

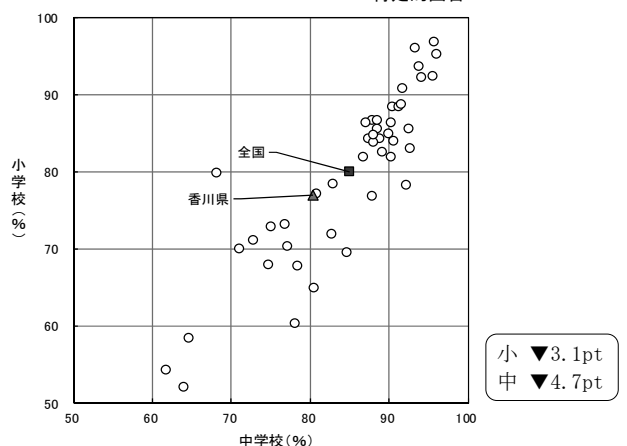


【小中連携】

小中学校の教員同士の交流

- 81/80 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と意見を出し合うなど教員同士の交流を行いましたか

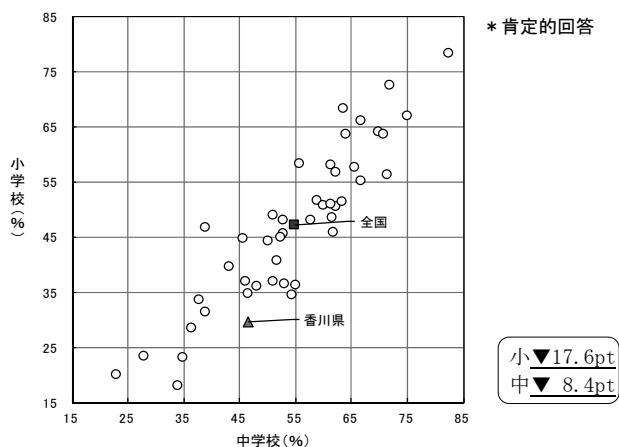
*肯定的回答



【小中連携】

小中学校の教育課程に関する共通の取組

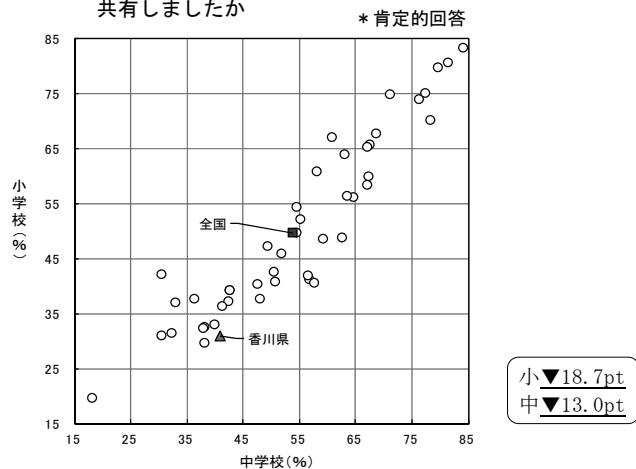
■82/81 前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか



【小中連携】

小中学校間での成果や課題の共有

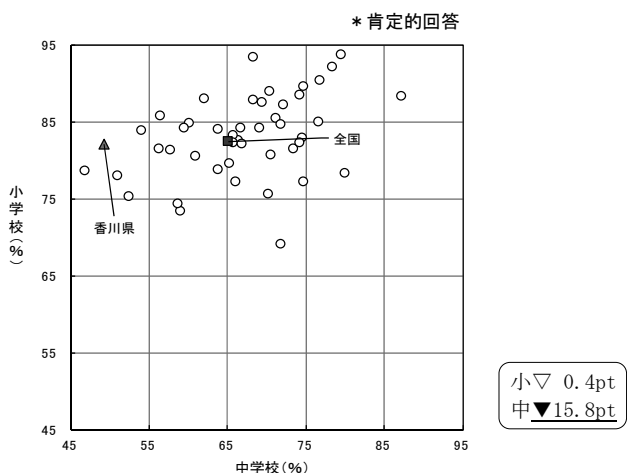
■83/82 前年度までに、前年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか



【カリキュラム・マネジメント】

地域人材を外部講師として招聘した授業

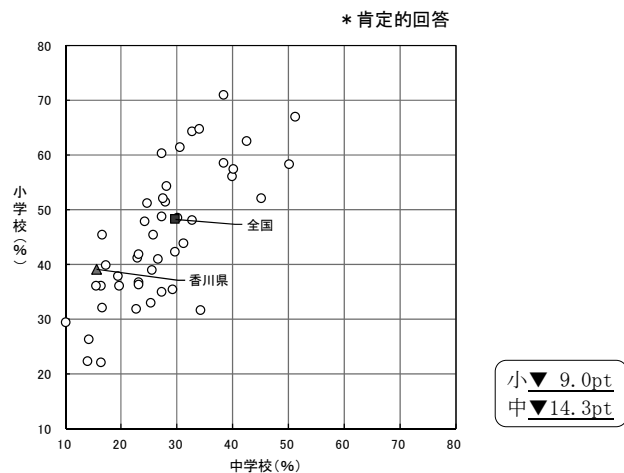
■84/83 対象児童生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか



【地域の人材・施設の活用】

ボランティア等による授業サポート

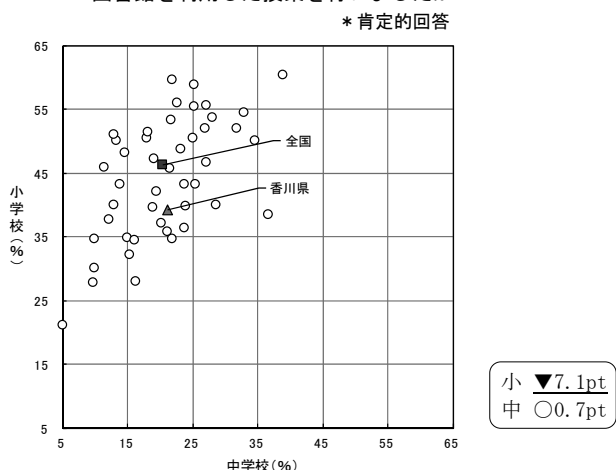
■85/84 対象児童生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか



【カリキュラム・マネジメント】

博物館や科学館、図書館を利用した授業

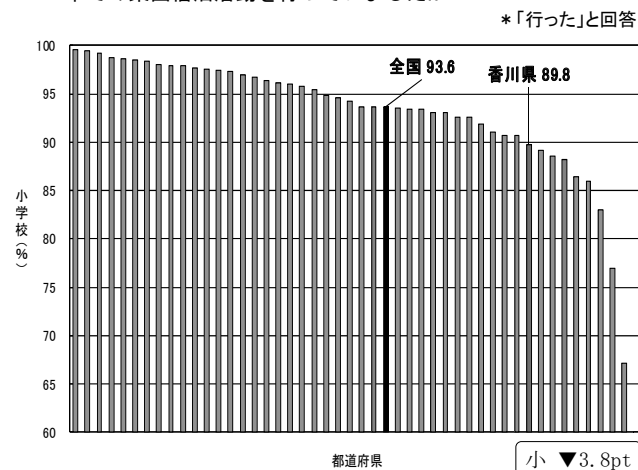
■86/85 対象児童生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか



【地域の人材・施設の活用】

【小学校】集団宿泊活動の実施

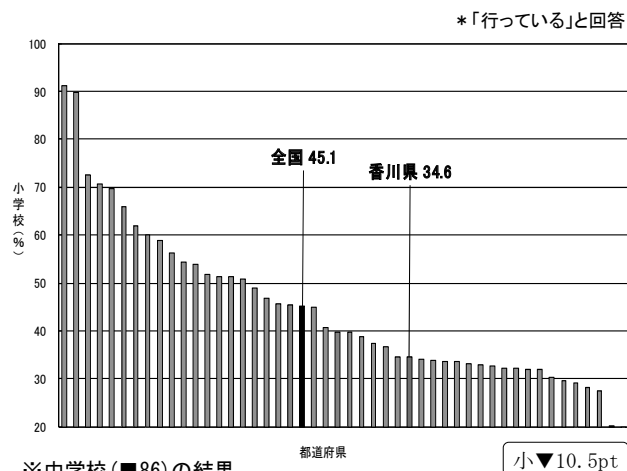
■87 第6学年の児童に対して、第5学年までの間に自然の中での集団宿泊活動を行っていましたか



【地域の人材・施設の活用】

【小学校】職場見学や職場体験活動の実施

■88/86 職場見学や職場体験活動を行っていますか



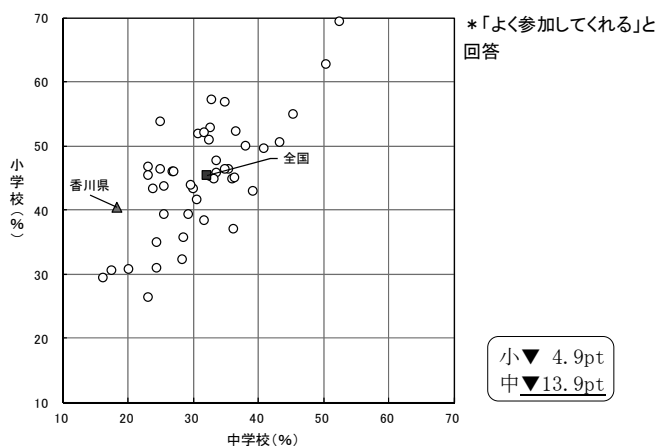
※中学校(■86)の結果

・香川 100% ・全国 98.8% (分布幅 95.9~100%)

【地域の人材・施設の活用】

学校支援ボランティアの仕組み

■90/88 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人々が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか

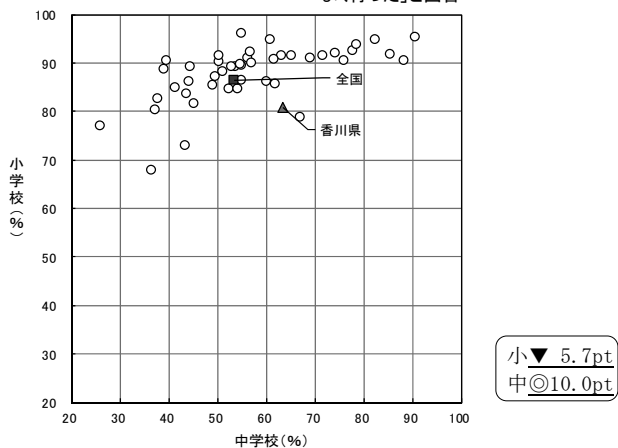


【家庭学習】

家庭学習の課題(宿題)

■92/90 対象児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか

*「よく行った」と回答

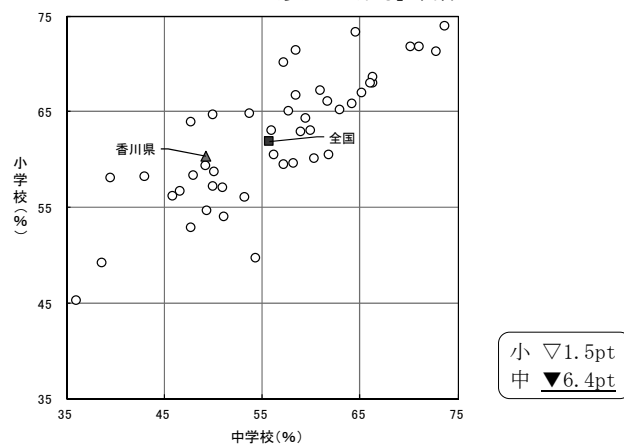


【地域の人材・施設の活用】

P T Aや地域の人によるボランティア

■89/87 P T Aや地域の人々が学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか

*「よく参加してくれる」と回答

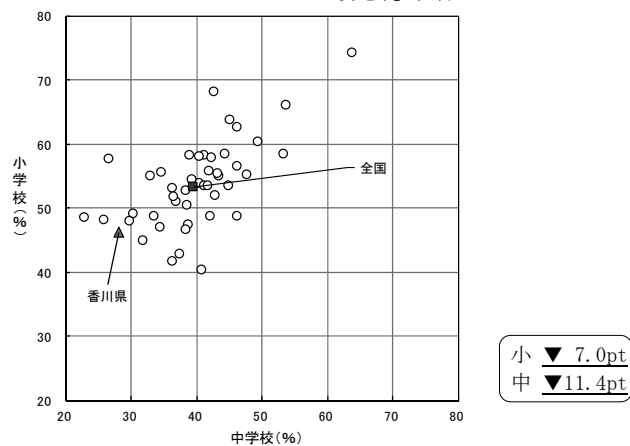


【地域の人材・施設の活用】

学校支援ボランティアの効果

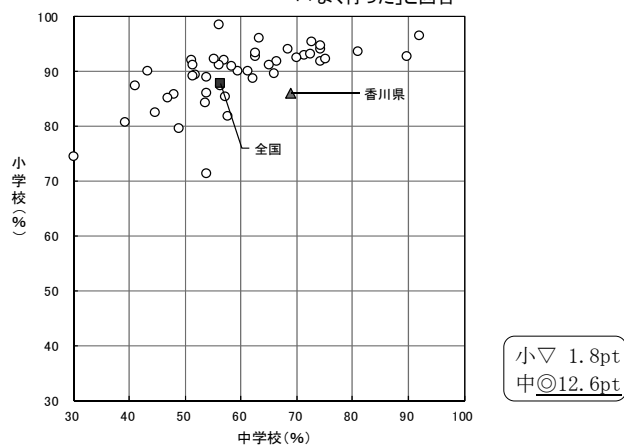
■91/89 保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか

*「そう思う」と回答



■94/92 対象児童生徒に対して、前年度までに、算数(数学)の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか

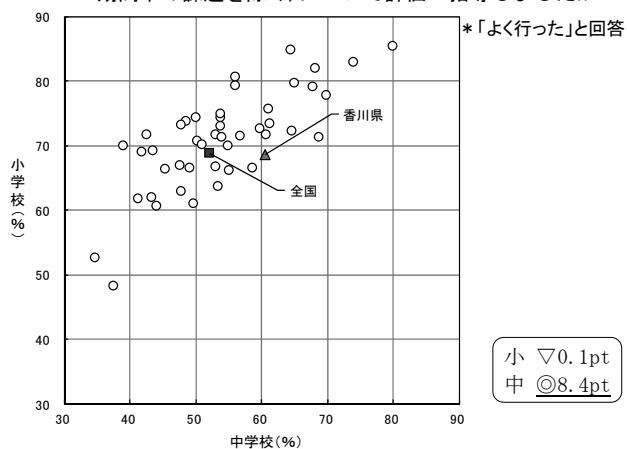
*「よく行った」と回答



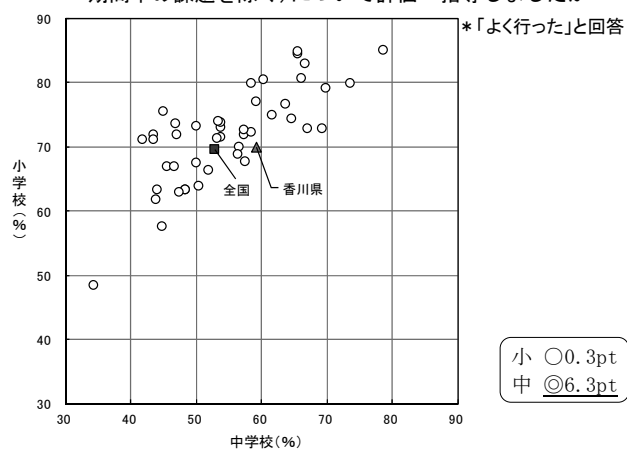
【家庭学習】

家庭学習の課題についての評価と指導

■93/91 対象児童生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について評価・指導しましたか



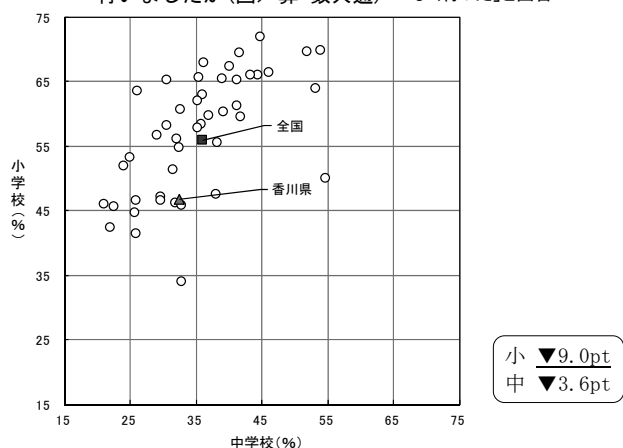
■95/93 対象児童生徒に対して、前年度までに、算数(数学)の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について評価・指導しましたか



【家庭学習】

家庭学習を促す働きかけ

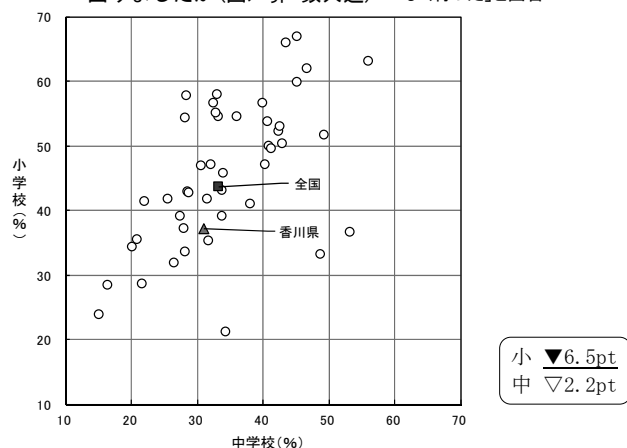
■96/94 対象児童生徒に対して、前年度までに、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国/算・数共通) *「よく行った」と回答



【家庭学習】

家庭学習の課題の与え方についての共通理解

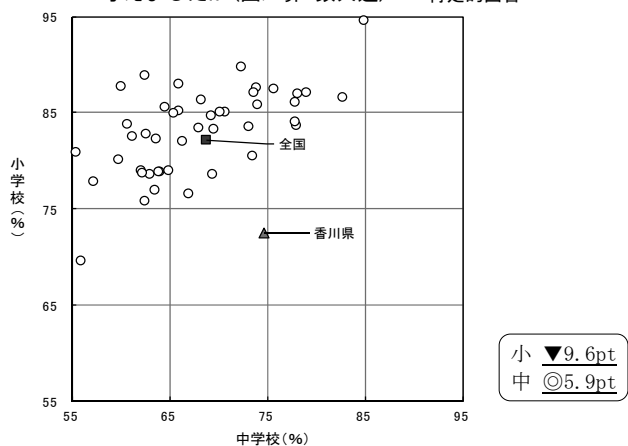
■97/95 対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国/算・数共通) *「よく行った」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善の取組状況】

調べたり文章を書いたりする宿題

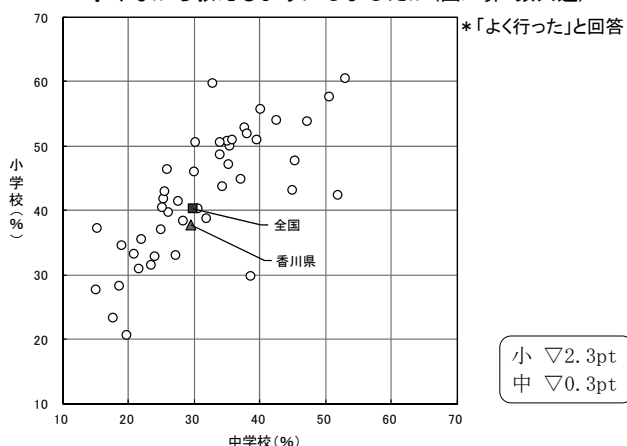
■98/96 対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国/算・数共通) *肯定的回答



【家庭学習】

家庭での学習方法等に関する指導

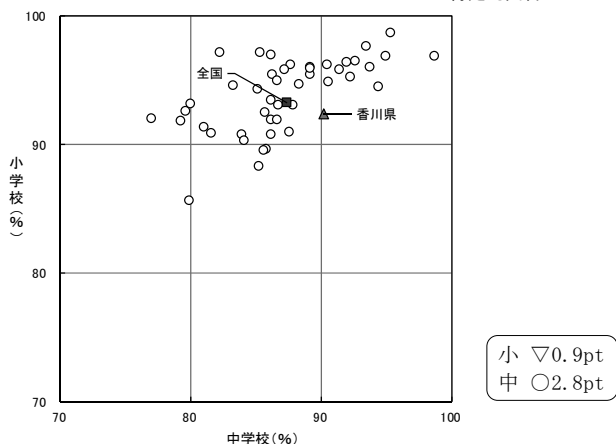
■99/97 対象児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国/算・数共通)



【家庭学習】

教科書の活用

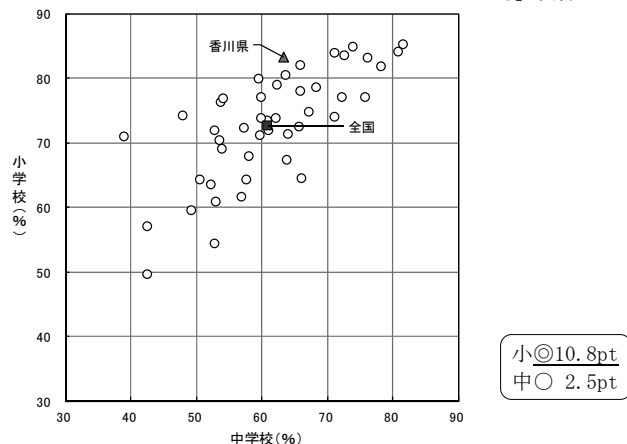
■100/98 対象児童生徒に対して、前年度までに、予習や復習をさせる際に、教科書の活用（自宅等で教科書を読むなども含む）を促していましたか *肯定的回答



【教職員の資質能力の向上】

組織的、継続的な研修

■101/99 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか *「よくしている」と回答

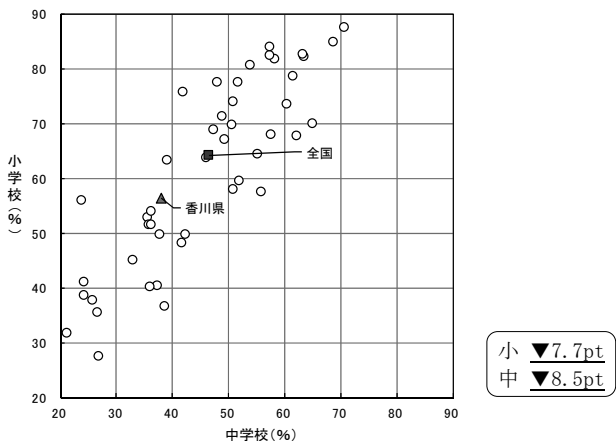


【教職員の資質能力の向上】

講師を招聘するなどの校内研修

■102/100 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか

*「よくしている」と回答

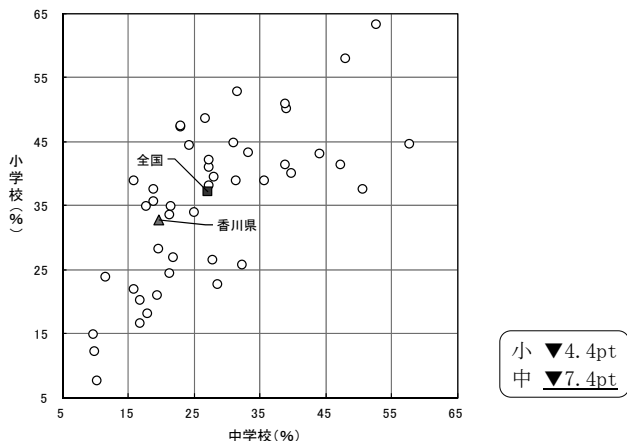


【教職員の資質能力の向上】

指導主事や大学教員等の定期的な来校

■103/101 都道府県や市町村の指導主事や大学教員等専門家が、校内研修の指導のために定期的に来校していますか

*「よくしている」と回答

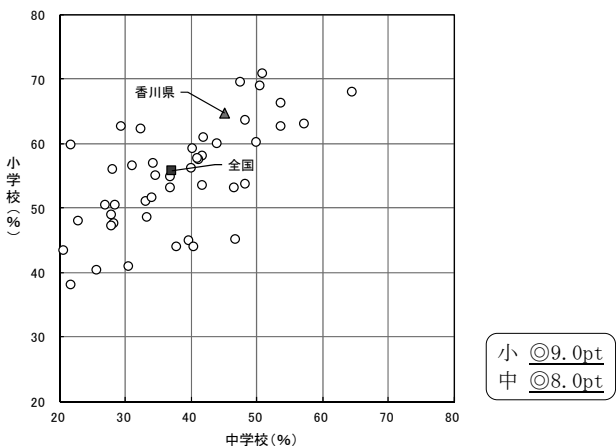


【教職員の資質能力の向上】

実践的な研修

■104/102 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

*「よくしている」と回答

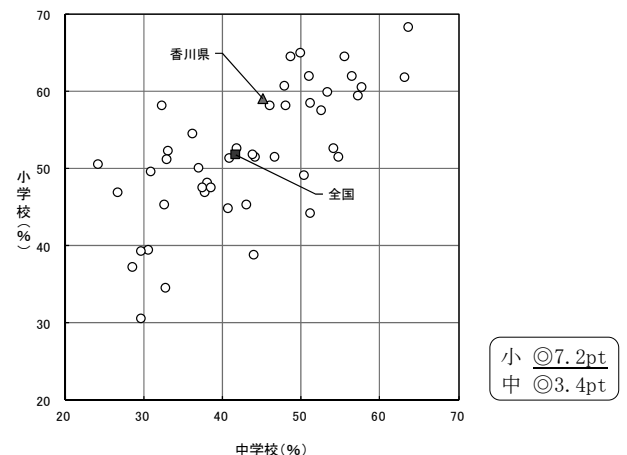


【教職員の資質能力の向上】

学校外での研修

■105/103 教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか

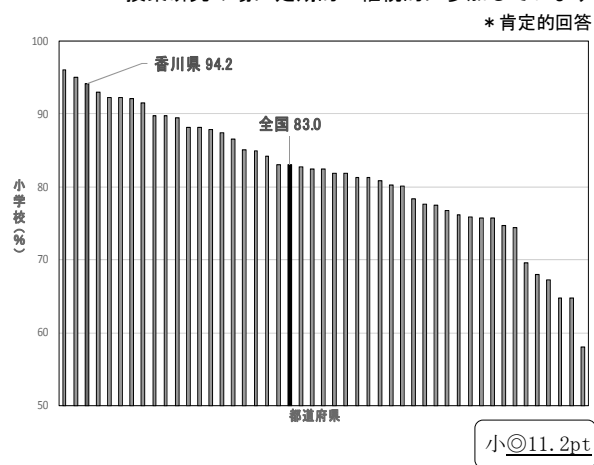
*「よくしている」と回答



【教職員の資質能力の向上】

【小学校】教科・領域を決め、校外の授業研究に参加している

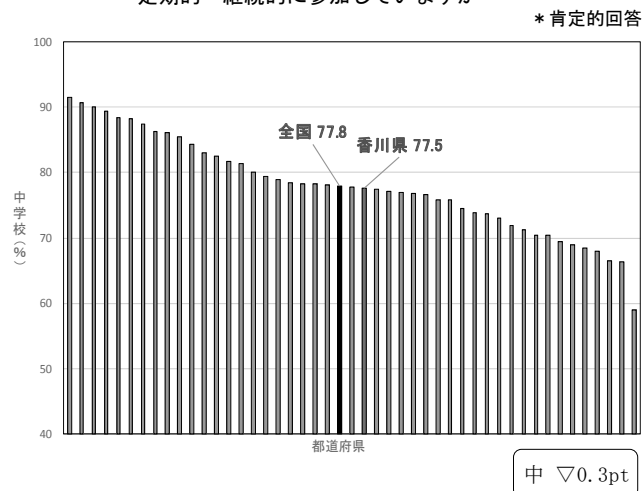
- 106/※ 個々の教員が自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか



【教職員の資質能力の向上】

【中学校】校外の授業研究に参加している

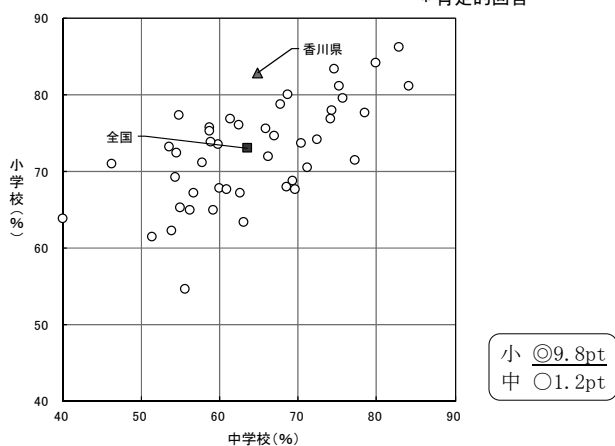
- ※/104 教員は、校外の教員同士の授業研究の場に定期的・継続的に参加していますか



【教職員の資質能力の向上】

自ら課題を設定し、解決する学習活動を学ぶ研修

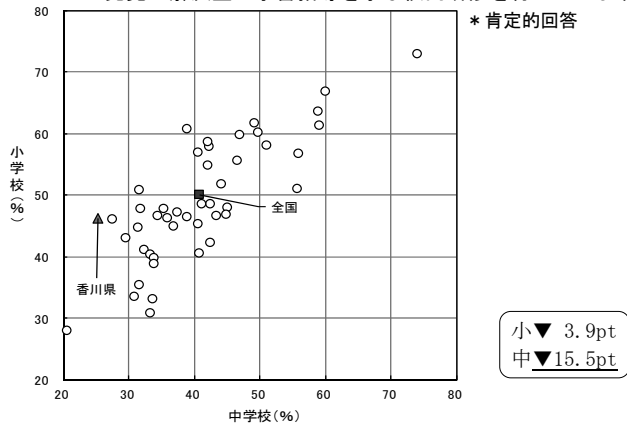
- 107/105 児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現する等の学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか



【教職員の資質能力の向上】

情報通信技術を活用して、協働学習、課題発見・解決型の学習指導を学ぶ研修

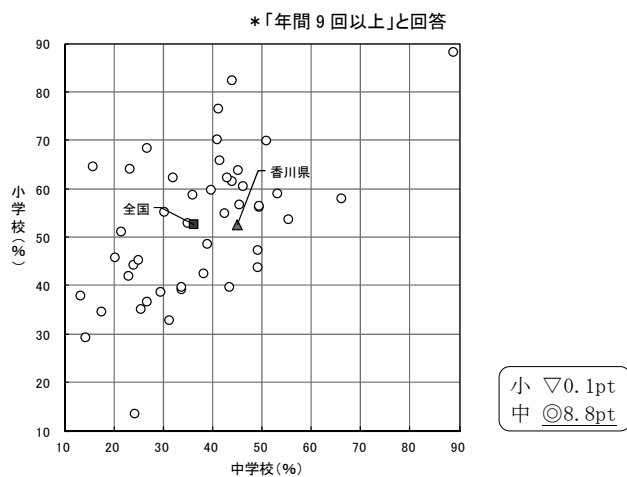
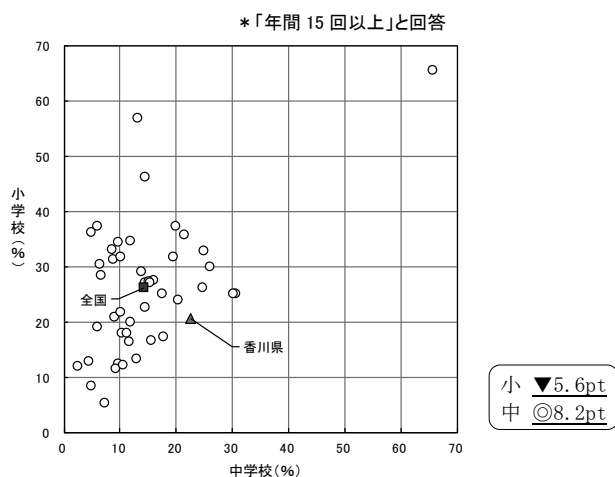
- 108/106 コンピュータなどの情報通信技術を活用して、子ども同士が教え合い学び合うなどの学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を学ぶ校内研修を行っていますか



【教職員の資質能力の向上】

授業研究の実施回数

- 109/107 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

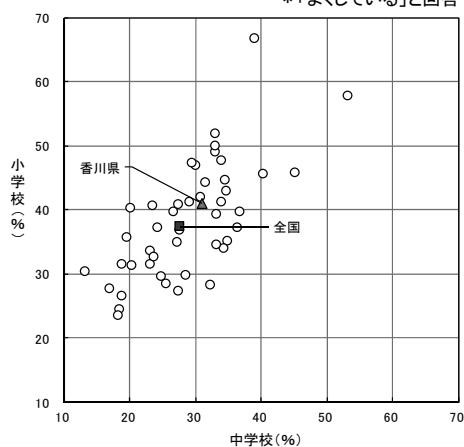


【教職員の資質能力の向上】

研修成果の反映

■110/108 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか

*「よくしている」と回答



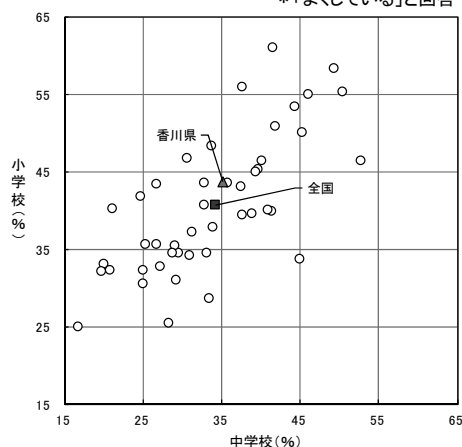
小 ◎3.7pt
中 ◎3.3pt

【カリキュラム・マネジメント】

指導計画の作成にあたっての協力

■111/109 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力していますか

*「よくしている」と回答



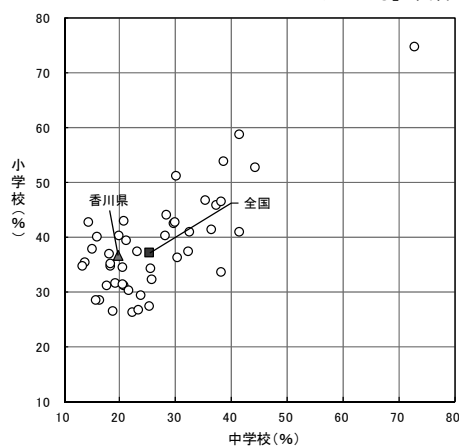
小 ◎3.0pt
中 ○1.0pt

【カリキュラム・マネジメント】

言語活動の実施状況と課題の検討

■112/110 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか

*「よくしている」と回答



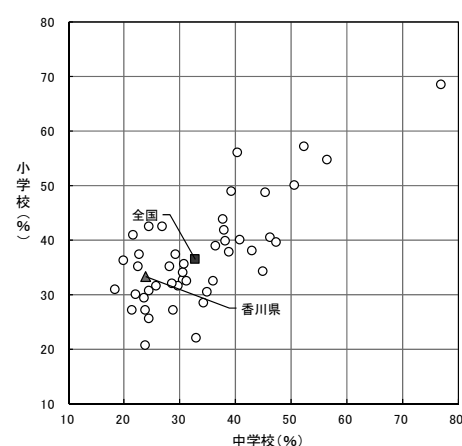
小 ▽0.6pt
中 ▼5.6pt

【カリキュラム・マネジメント】

学校全体としての言語活動の取組

■113/111 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか

*「よくしている」と回答



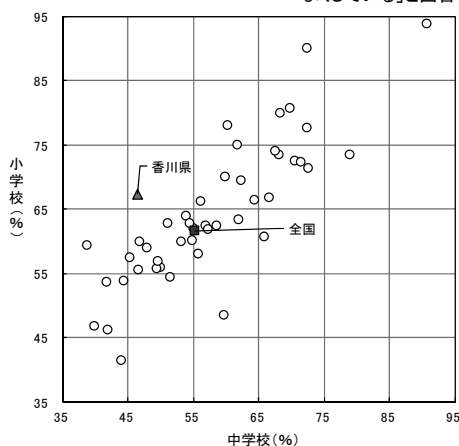
小 ▼3.0pt
中 ▼8.9pt

【カリキュラム・マネジメント】

学力の傾向や課題の共有

■114/112 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか

*「よくしている」と回答



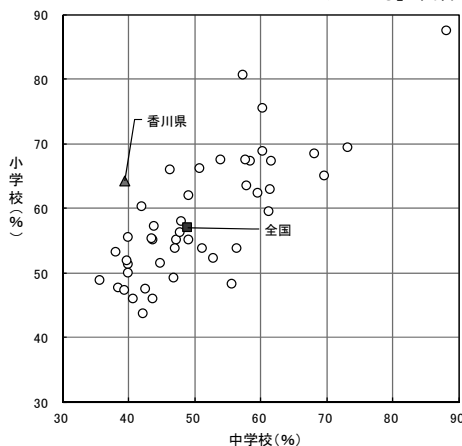
小 ◎5.8pt
中 ▼8.8pt

【カリキュラム・マネジメント】

学校運営の状況や課題を組織的に取り組む

■115/113 学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

*「よくしている」と回答



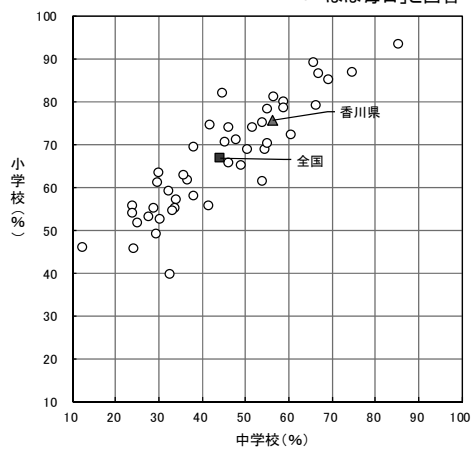
小 ◎7.1pt
中 ▼9.5pt

【教職員の取組】

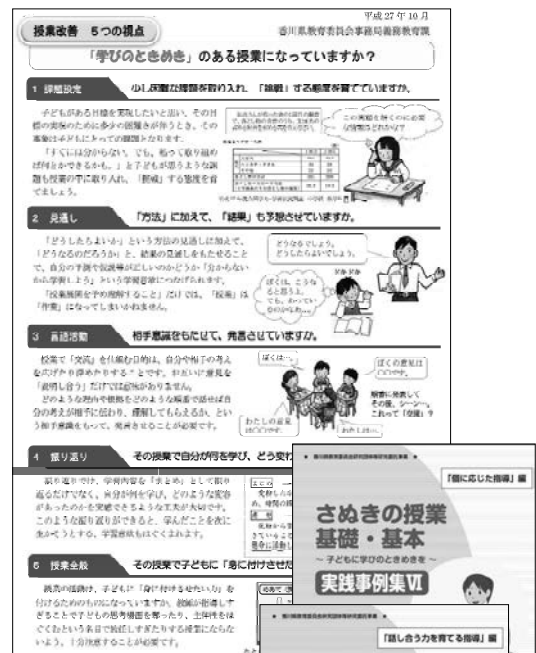
校長による授業参観

■116/114 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか

*「ほぼ毎日」と回答



小◎ 8.9pt
中◎12.1pt



参考：香川県教育委員会

「さめきの授業 基礎・基本」

「さめきの授業 基礎・基本 実践事例集Ⅰ～Ⅵ」より



参考：香川県教育委員会

「さめきの授業 基礎・基本 実践事例集 子どもをその気にさせる教材・教具集Ⅰ～Ⅲ」より